

第26回 県民意識調査報告書

調査テーマ

「兵庫の未来を考える」

令和2年度

兵 庫 県

目次

I	調査の概要	
1	調査目的	1
2	調査概要	1
3	回収結果	1
4	標本抽出および集計方法	2
5	回答者のプロフィール	3
6	標本誤差	5
II	調査の結果	
1	「お住まいの地域」に関することについて	
問1	居住地域の生活環境の満足度	6
問2	居住地域での項目別満足度	10
問3-1	居住年数	44
問3-2	居住場所についての考え方	48
問3-3	居住したい場所	52
問3-4	居住地選定の視点	56
2	「日々の暮らし」に関することについて	
問4	日常生活における充実感	60
問5-1	理想の同居者	64
問5-2	同居者に求めること	68
問6-1	理想的な仕事	72
問6-2	理想的な働き方	76
問6-3	テレワークの経験	80
問6-4	テレワークの課題	84
問6-5	テレワーク導入の要件	88
問6-6	テレワークの普及による変化	92
3	「将来への期待」に関することについて	
問7-1	これからの学校教育で大切なこと	96
問7-2	取り組むべき教育の手法	100
問8	科学技術の発展	104
問9	在留外国人	108
問10	地域社会の将来像	113
4	毎年調査項目	
問11	今の生活全般での満足度	118
問12	今の生活の項目別での満足度	122
問13	去年と比べた生活の向上感	149
問14	大地震発生の可能性	153
問15	地域活動への参加	157
問16	県政への関心	160
問17	県政への評価	164
問18	県民局・県民センターの認知度	197

Ⅲ 調査票

第 26 回 県民意識調査「兵庫の未来を考える」調査票…………… 200

調査結果を読む際の注意

結果数値（％）は0.1%未満を四捨五入しているため、内訳の合計が計に一致しないことがある。

グラフ中のカテゴリーの順番が、調査票と異なることがある。

グラフ・表中での選択肢表記は、語句を短縮・簡略化していることがある。

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は県民の価値観や行動志向、行政への評価・要望など、県民生活の基本的な意識の経年変化を大きな潮流として捉えることにより、政策形成、施策運営の基礎資料を得ることを目的としている。

今回は、年次テーマを「兵庫の未来を考える」とし、兵庫の将来のイメージや、人生100年時代における県民の生き方や働き方などを調査し、「21世紀兵庫長期ビジョン」（想定年次2020年頃）に代わる新たな長期ビジョンの策定（令和3年度末）の基礎資料とする。

2 調査概要

- (1) 調査地域 県下全域
- (2) 調査対象 県内に居住する満20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 5,000人
- (4) 調査方法 郵送法（ハガキによる督促1回）
- (5) 調査時期 令和2年11月19日（木）～12月11日（金）
- (6) 県民意識調査有識者会議
設問作成にあたり、県民意識調査有識者会議を開催して、下記の学識経験者から指導・助言を得た。

草郷 孝好 （関西大学教授）
立木 茂雄 （同志社大学教授）
鳥越 皓之 （大手前大学学長）
吉田 三千代 （一般財団法人大阪デザインセンター 企画事業部長） [五十音順]

3 回収結果

回収数 3,041件（回収率60.8%）

地域	標本数	回収数	回収率	無効票	有効回答
神戸	500	290	58.0%	0	290
阪神南	500	275	55.0%	0	275
阪神北	500	286	57.2%	0	286
東播磨	500	311	62.2%	0	311
北播磨	500	320	64.0%	0	320
中播磨	500	301	60.2%	0	301
西播磨	500	332	66.4%	0	332
但馬	500	322	64.4%	0	322
丹波	500	312	62.4%	0	312
淡路	500	292	58.4%	0	292
不明		0		0	0
全県	5,000	3,041	60.8%	0	3,041

※無効票は属性不明等

4 標本抽出および集計方法

- (1) 母集団 住民基本台帳（R2.3.31）に記載された県民数
- (2) 標本配分 10の地域毎に500の標本数を市町別・男女別・年齢10歳階級別の母集団構成比に応じて配分（合計5,000人）
- (3) 抽出方法 層化無作為抽出法
- (4) 集計方法 地域ごとの回収数について、重み付け集計により、全県内の母集団構成比を復元



地域区分

県民局・ 県民センター	該当市町
神戸	神戸市
阪神南	尼崎市、西宮市、芦屋市
阪神北	伊丹市、宝塚市、川西市、 三田市、猪名川町
東播磨	明石市、加古川市、高砂市、 稲美町、播磨町
北播磨	西脇市、三木市、小野市、 加西市、加東市、多可町
中播磨	姫路市、神河町、市川町、 福崎町
西播磨	相生市、たつの市、赤穂市、 宍粟市、太子町、上郡町、 佐用町
但馬	豊岡市、養父市、朝来市、 香美町、新温泉町
丹波	丹波篠山市、丹波市
淡路	洲本市、南あわじ市、淡路市

5 回答者のプロフィール

○ 性別 (%)

	男性	女性	不明
全県	39.2	59.0	1.8
神戸	39.7	58.3	2.1
阪神南	36.4	61.8	1.8
阪神北	38.1	59.1	2.8
東播磨	41.8	58.2	0.0
北播磨	39.4	58.1	2.5
中播磨	38.5	60.8	0.7
西播磨	40.1	57.2	2.7
但馬	44.4	52.5	3.1
丹波	42.3	56.4	1.3
淡路	39.4	57.5	3.1

○ 年齢 (%)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	不明
全県	7.9	10.7	16.7	16.6	17.0	19.6	9.8	1.6
神戸	7.6	10.7	16.2	17.2	16.6	20.0	10.0	1.7
阪神南	8.7	12.4	17.5	15.3	17.8	19.3	7.3	1.8
阪神北	6.6	8.7	19.2	17.8	13.3	20.6	11.2	2.4
東播磨	9.6	11.9	15.8	17.4	17.4	19.6	8.4	0.0
北播磨	7.5	11.3	12.8	15.6	19.4	19.7	11.6	2.2
中播磨	10.0	10.6	21.3	16.3	15.9	16.3	9.0	0.7
西播磨	5.7	10.8	12.3	15.1	19.6	22.0	12.0	2.4
但馬	5.9	9.3	11.5	15.8	22.4	18.0	13.7	3.4
丹波	7.1	7.4	12.2	14.7	22.8	19.2	15.7	1.0
淡路	4.1	7.2	14.0	18.2	19.5	22.6	11.6	2.7

○ 職業 (%)

	職業別								
	自営業	正規社員 (職員)	会社等の 役員	契約・ 派遣社員	パート・ アルバイト	主婦 (主夫)	学生	その他 無職	不明
全県	7.3	27.9	2.5	6.0	15.5	17.8	1.8	19.3	1.9
神戸	7.9	26.6	3.4	4.8	16.2	16.9	2.1	20.0	2.1
阪神南	5.5	29.8	2.2	8.4	16.0	17.1	2.2	17.5	1.5
阪神北	3.5	29.7	1.7	7.3	13.6	21.3	1.7	18.2	2.8
東播磨	5.5	30.2	1.9	5.1	13.5	19.0	1.9	22.8	0.0
北播磨	8.8	26.6	2.8	5.0	15.3	16.9	2.5	20.3	1.9
中播磨	8.6	28.9	3.3	5.0	17.9	18.9	0.7	15.0	1.7
西播磨	9.0	22.3	1.8	6.0	15.4	18.4	2.1	22.6	2.4
但馬	16.1	25.5	2.2	5.0	13.0	11.8	0.9	21.4	4.0
丹波	14.1	24.0	2.2	5.4	15.4	16.0	0.0	19.9	2.9
淡路	19.5	19.2	1.4	4.8	17.8	13.7	0.7	19.5	3.4

○ 世帯構成 (%)

	1人世帯	夫婦だけ (1世代)	親と子ども (2世代)	親と子と孫 (3世代)	その他	不明
全県	10.9	27.0	50.6	6.6	4.8	0.1
神戸	11.0	30.7	51.0	2.4	4.5	0.3
阪神南	15.3	25.1	50.5	4.7	4.4	0.0
阪神北	11.9	25.2	51.4	7.0	4.5	0.0
東播磨	8.7	27.0	56.3	4.8	3.2	0.0
北播磨	6.9	25.9	43.8	16.3	6.9	0.3
中播磨	7.0	24.3	54.2	8.6	6.0	0.0
西播磨	9.6	28.9	45.2	12.0	4.2	0.0
但馬	8.7	22.0	42.5	17.4	9.0	0.3
丹波	7.1	26.3	42.3	18.3	6.1	0.0
淡路	12.7	27.4	36.3	16.4	7.2	0.0

○ 在住年数 (%)

	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	不明
全県	1.7	5.2	5.0	8.4	11.5	9.0	58.3	0.9
神戸	1.4	6.6	5.9	9.3	10.7	9.0	56.2	1.0
阪神南	2.9	6.9	5.8	7.3	17.5	10.2	48.7	0.7
阪神北	2.1	5.2	6.6	10.5	14.0	11.5	49.0	1.0
東播磨	1.3	3.9	4.8	10.0	9.0	7.7	62.7	0.6
北播磨	0.3	1.6	2.5	6.6	6.9	6.3	75.3	0.6
中播磨	1.7	4.7	3.7	8.3	11.6	9.6	59.8	0.7
西播磨	0.9	2.1	0.6	5.1	4.2	4.5	81.6	0.9
但馬	0.9	3.1	2.8	4.3	6.8	6.2	74.5	1.2
丹波	1.0	3.5	2.2	4.8	5.4	6.1	76.0	1.0
淡路	1.7	1.7	2.7	5.1	4.5	9.2	72.3	2.7

○ インターネット利用環境 (%)

	パソコン	スマートフォン	持っていない	不明
全県	19.0	60.6	18.5	1.9
神戸	21.7	60.0	16.2	2.1
阪神南	17.8	62.2	18.5	1.5
阪神北	18.5	63.3	15.0	3.1
東播磨	17.0	62.4	19.9	0.6
北播磨	17.8	59.1	20.9	2.2
中播磨	17.3	64.1	17.6	1.0
西播磨	19.0	53.0	25.6	2.4
但馬	20.5	50.3	25.8	3.4
丹波	20.5	54.2	23.1	2.2
淡路	17.5	49.0	30.8	2.7

6 標本誤差

世論調査で無作為抽出法をとった場合は、数学的に標本誤差を計算することが可能であり、誤差の幅はサンプル数と得られた結果の比率などによって異なる。

今回の調査のサンプル数についての標本誤差の幅は、以下のとおりである。

誤差の算出 (層化抽出、信頼度95%の場合)

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

N : 母集団 n : 回答者 P : 回答比率 (%)

〈例 : サンプル数 3, 0 4 1 の場合〉

回答比率	10%	20%	30%	40%	50%
(%)	(または90%)	(または80%)	(または70%)	(または60%)	
誤差 (%)	±1.09	±1.45	±1.66	±1.78	±1.81

Ⅱ 調査結果

1 「お住まいの地域」に関することについて

問1 居住地域の生活環境の満足度

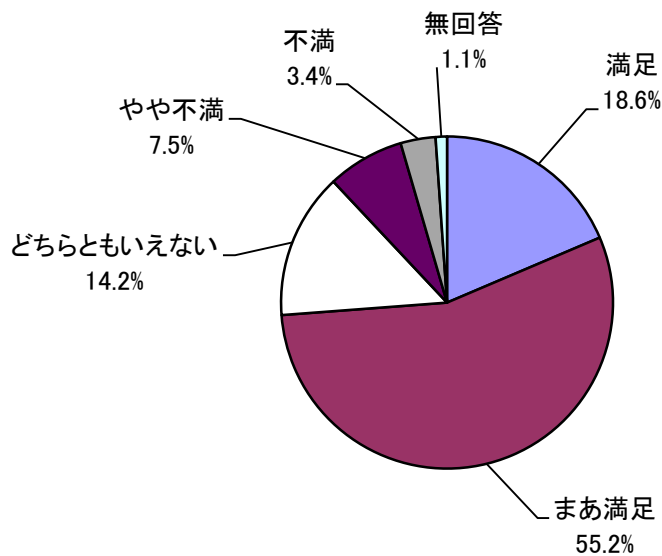
問1

あなたは、お住まいの地域の生活環境についてどう感じていますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|-------------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 どちらともいえない |
| 4 やや不満 | 5 不満 | |

【全 県】

「満足」と「まあ満足」とを合わせた『満足』は73.8%、「やや不満」と「不満」とを合わせた『不満』は10.9%となった。



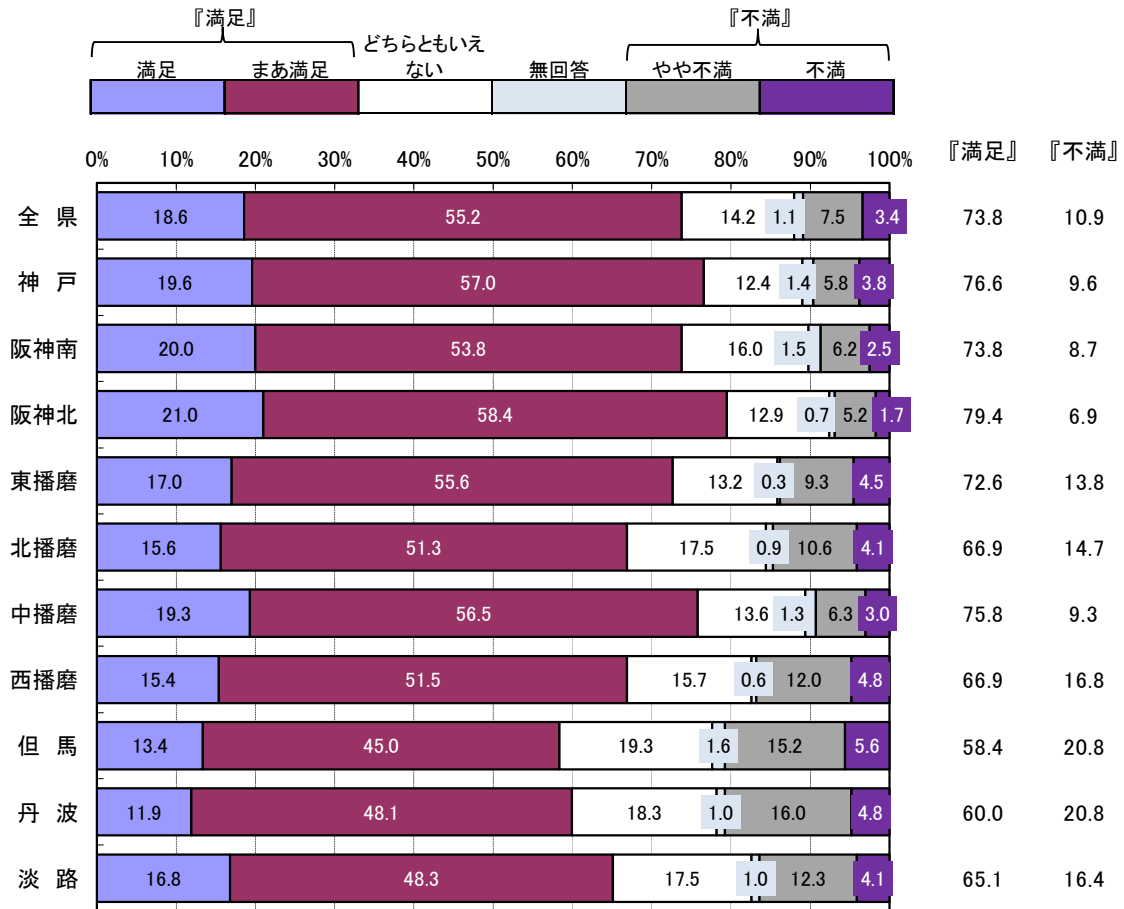
「満足」+「まあ満足」
=『満足』 73.8%

「やや不満」+「不満」
=『不満』 10.9%

居住地域の生活環境の満足度

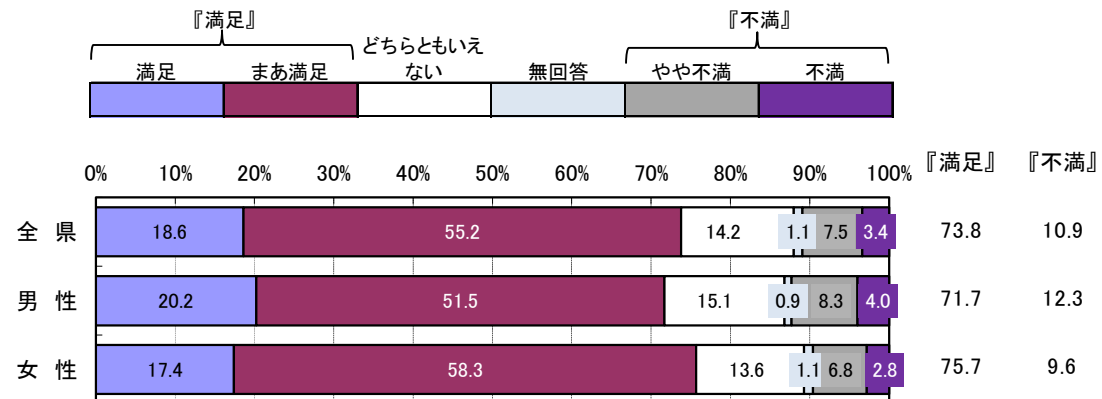
【地域別】

『満足』は阪神北が最も高く、神戸、中播磨が続いている。



【性 別】

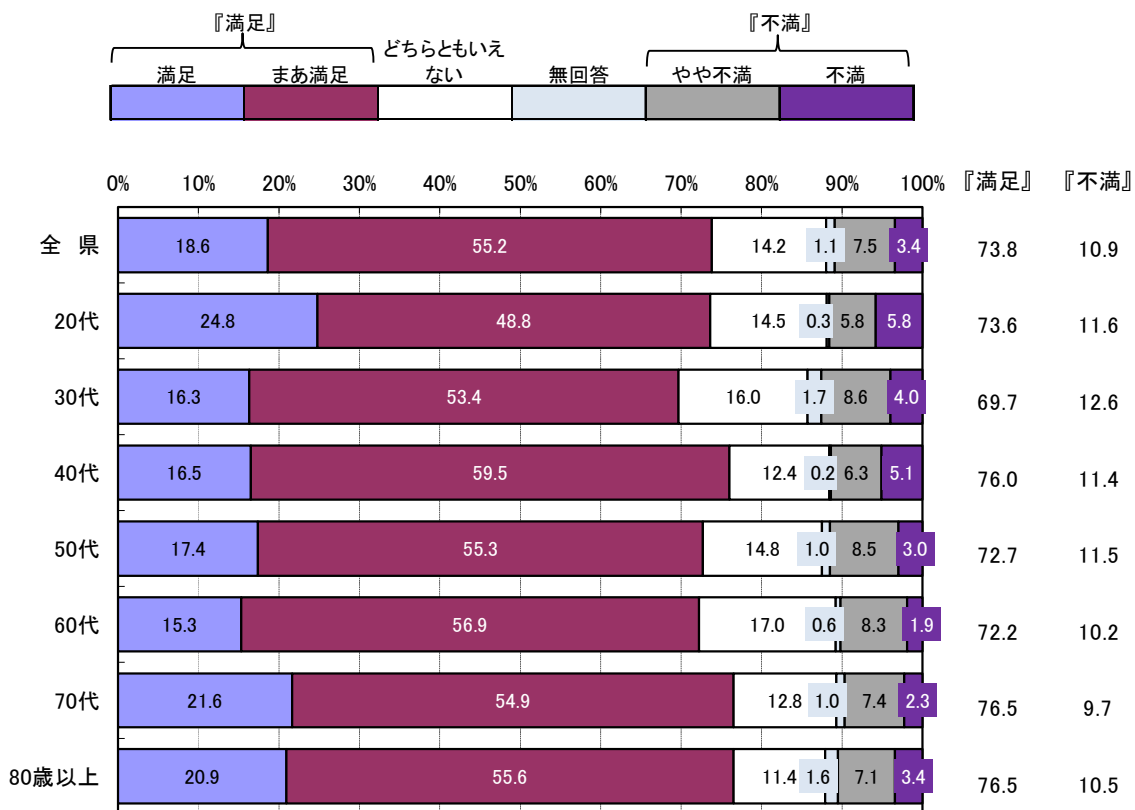
『満足』は、女性の方が男性より4.0ポイント高い。



居住地域の生活環境の満足度

【年代別】

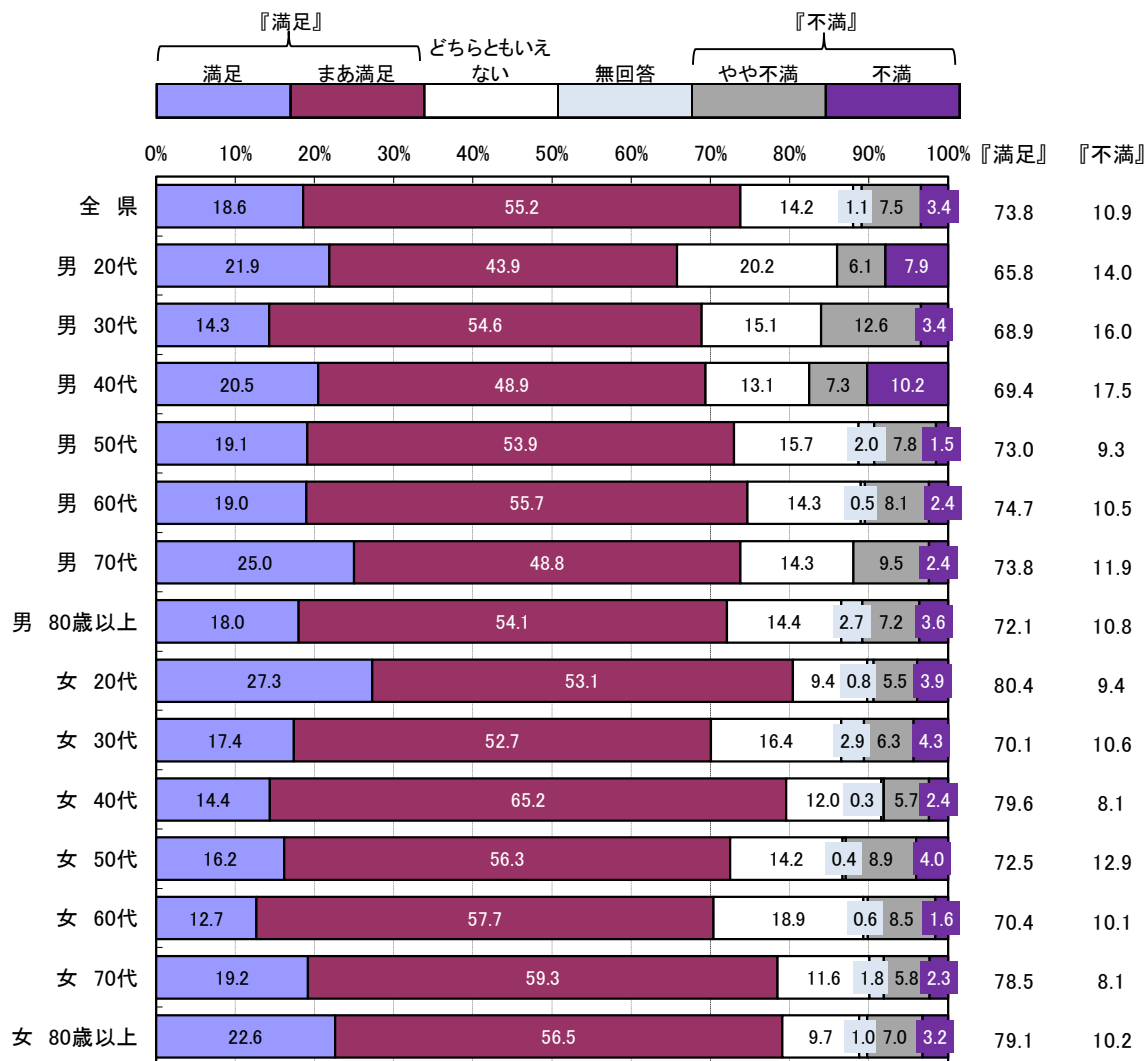
『満足』は70代・80歳以上が最も高い。



居住地域の生活環境の満足度

【性・年代別】

『満足』は、男性は60代、女性は20代が最も高い。



問2 居住地域での項目別満足度

問2

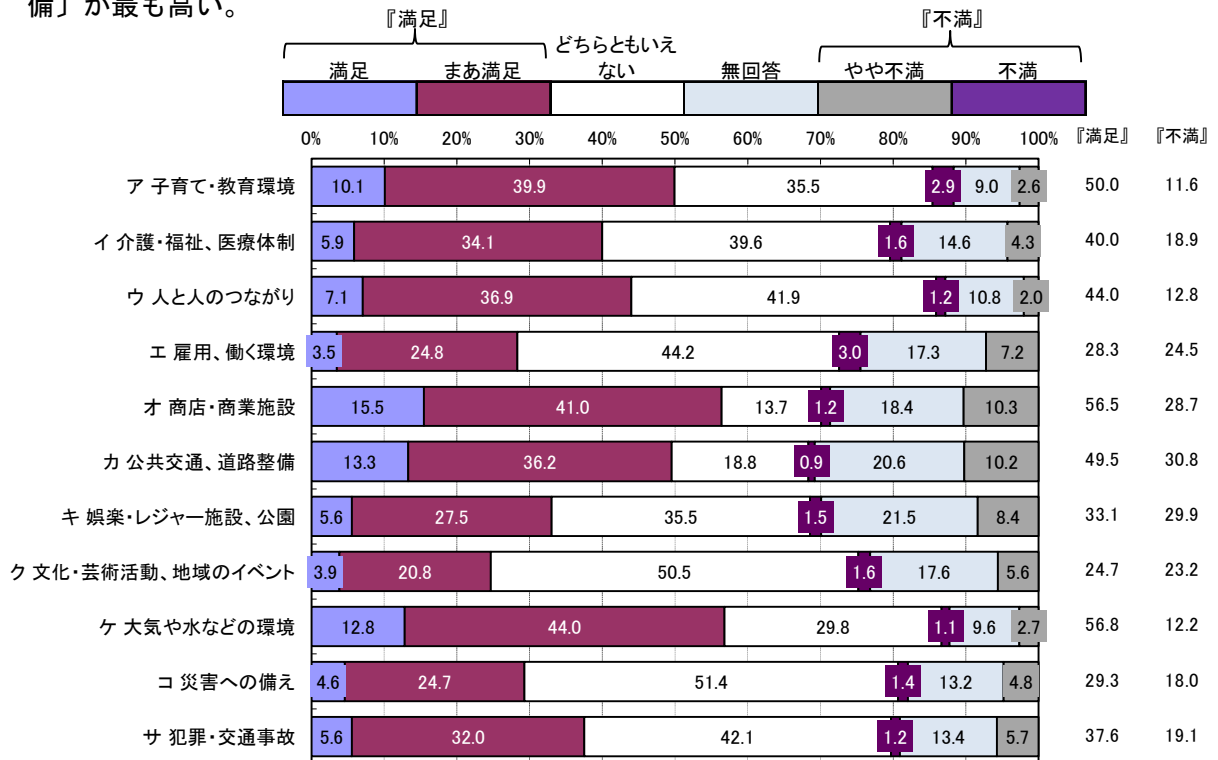
あなたは、お住まいの地域における次の面について、どう感じていますか。次のア～サのそれぞれの項目について1つ選んで番号に○をつけてください。

- ア 子育て・教育環境
- イ 介護・福祉、医療体制
- ウ 人と人とのつながり
- エ 雇用、働く環境
- オ 商店・商業施設（買物の環境）
- カ 公共交通、道路整備
- キ 娯楽、レジャー施設、公園
- ク 文化・芸術活動、地域のイベント
- ケ 大気や水などの環境
- コ 災害への備え
- サ 犯罪・交通事故

1 満足 2 まあ満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満

【全 県】

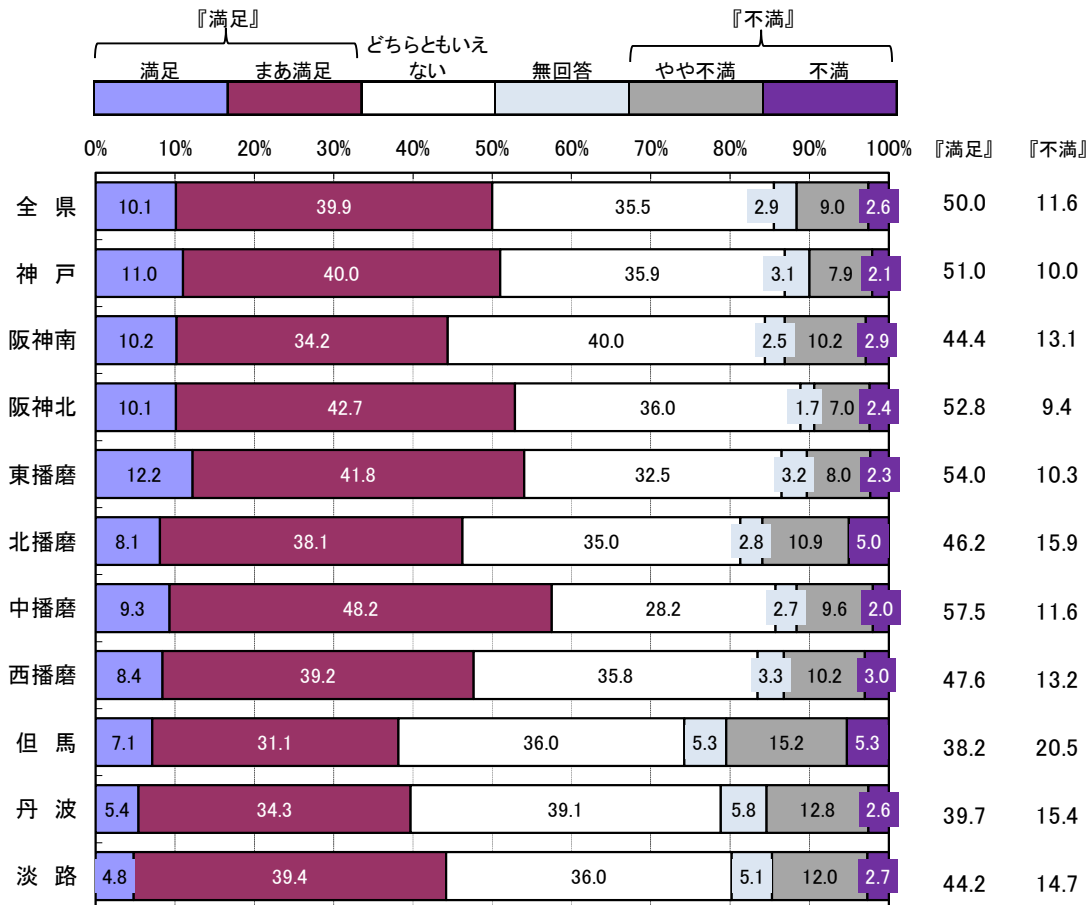
『満足』は、〔ケ 大気や水などの環境〕が最も高く、『不満』は〔カ 公共交通、道路整備〕が最も高い。



〔ア 子育て・教育環境〕

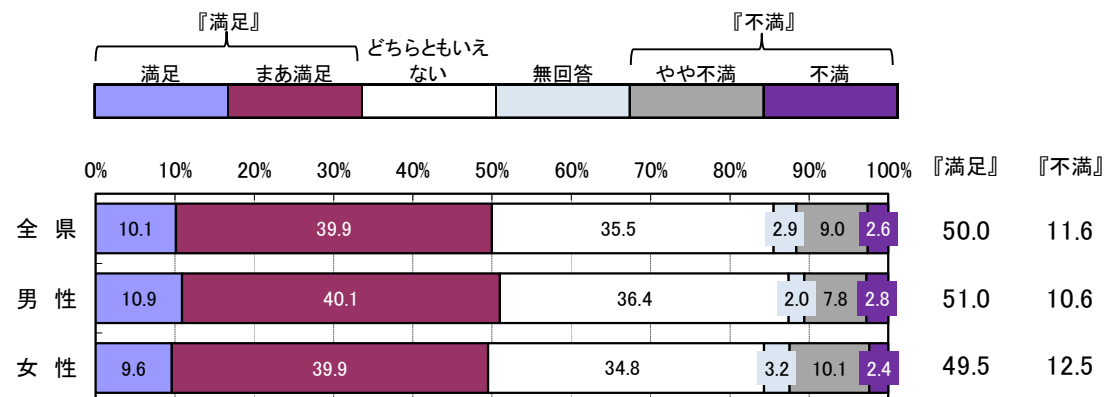
【地域別】

『満足』は、中播磨が最も高く、東播磨、阪神北が続いている。



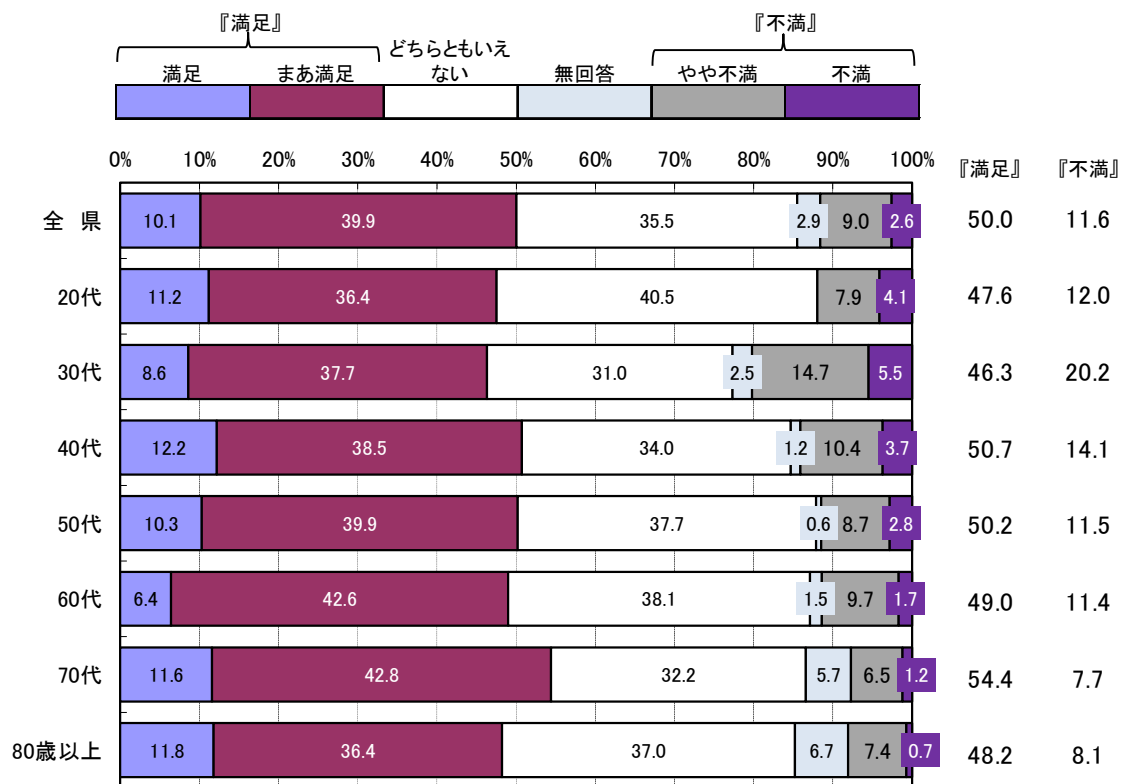
【性 別】

『不満』は、女性の方が男性より1.9ポイント高い。



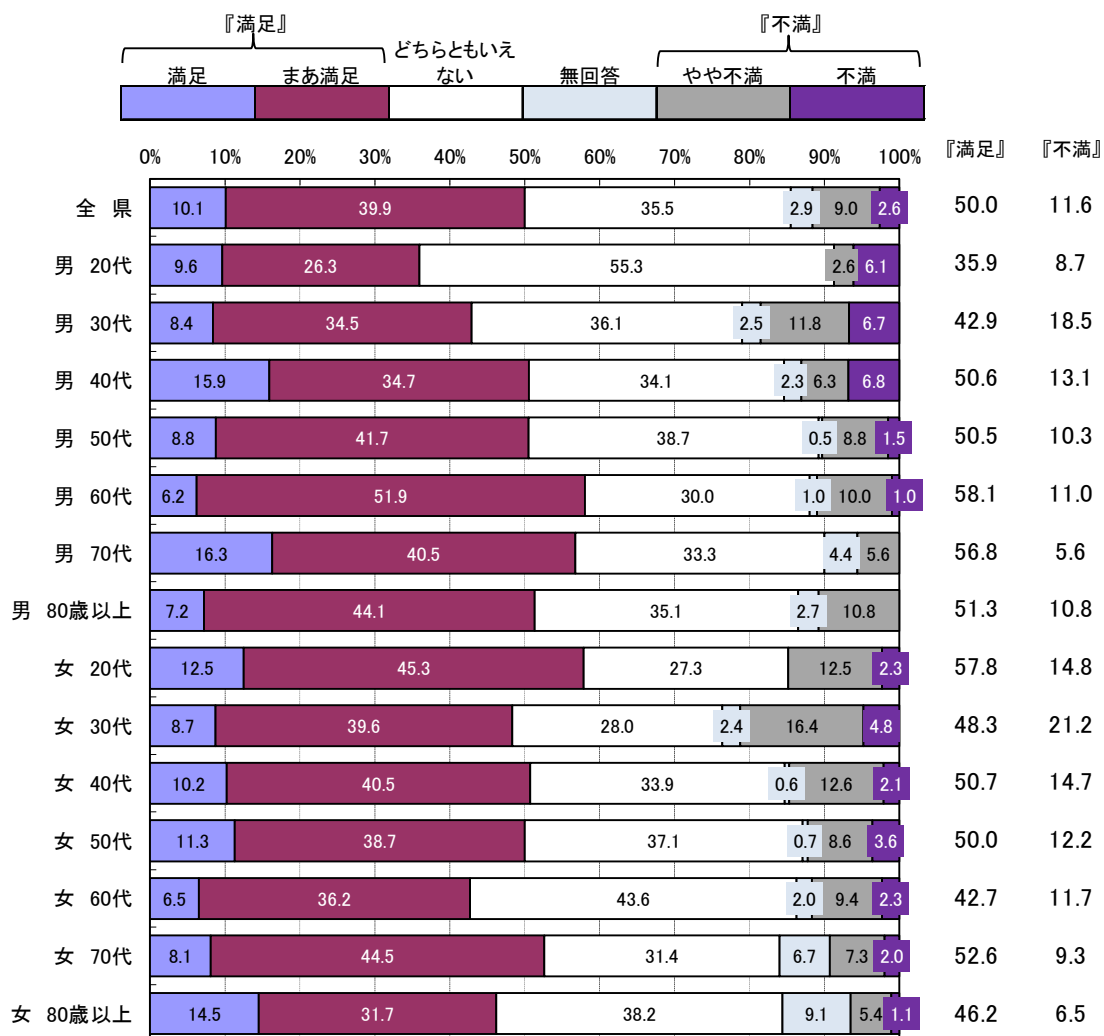
【年代別】

『満足』は、70代が最も高い。



【性・年代別】

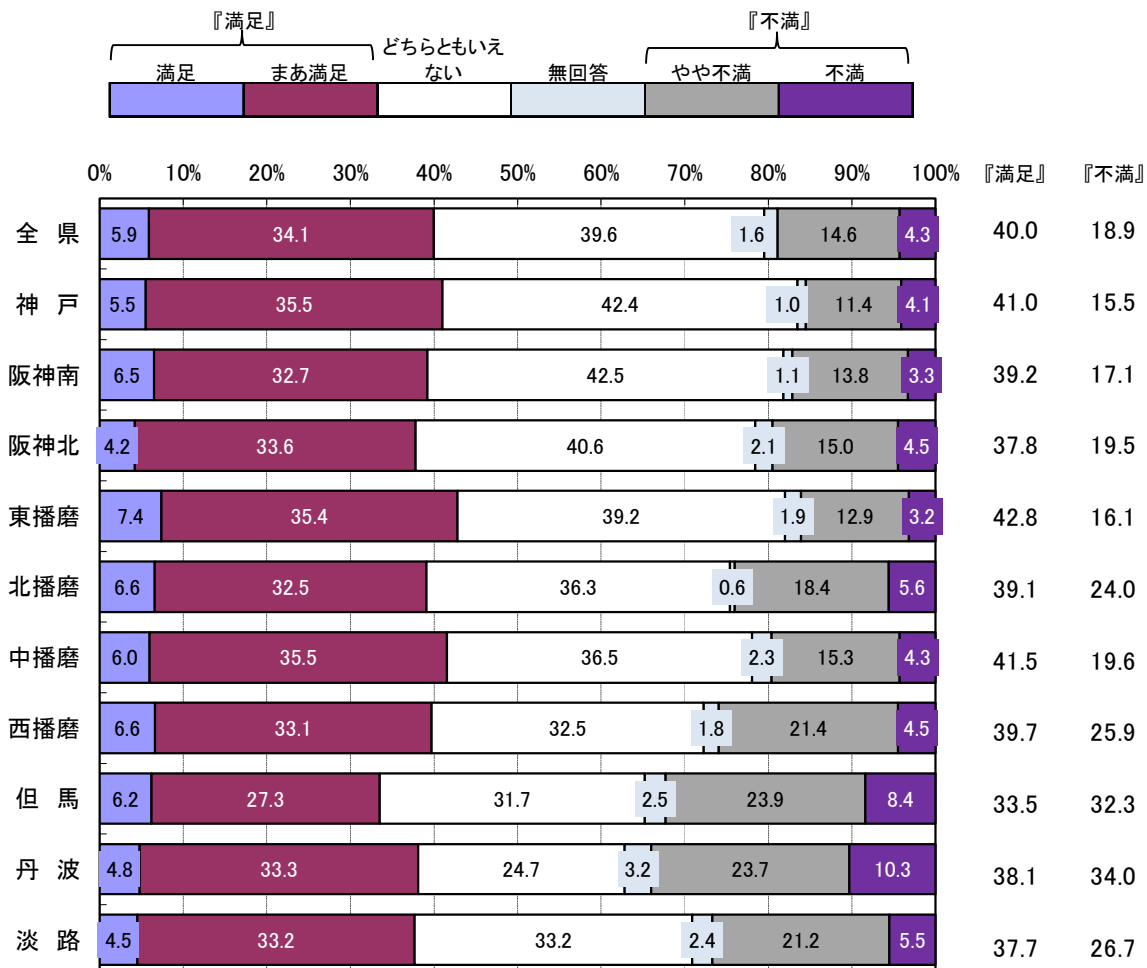
『満足』は、男性は60代、女性は20代が最も高い。



〔イ 介護・福祉、医療体制〕

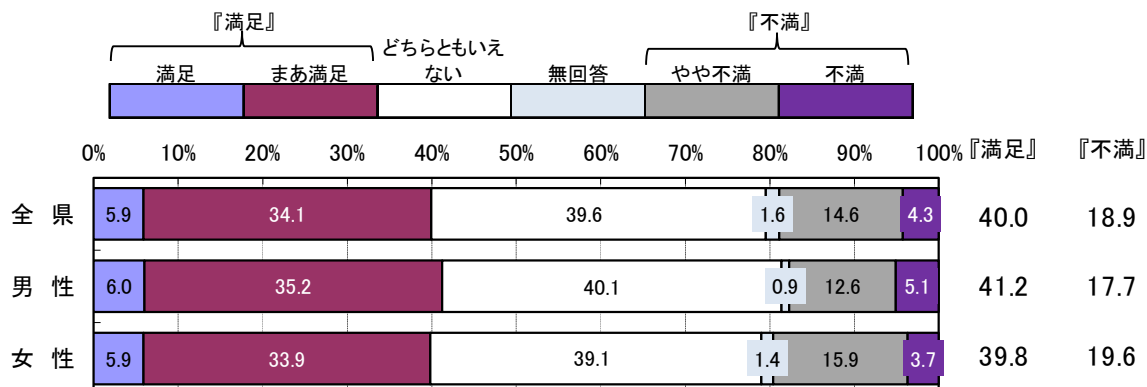
【地域別】

『満足』は東播磨が最も高く、中播磨、神戸と続いている。



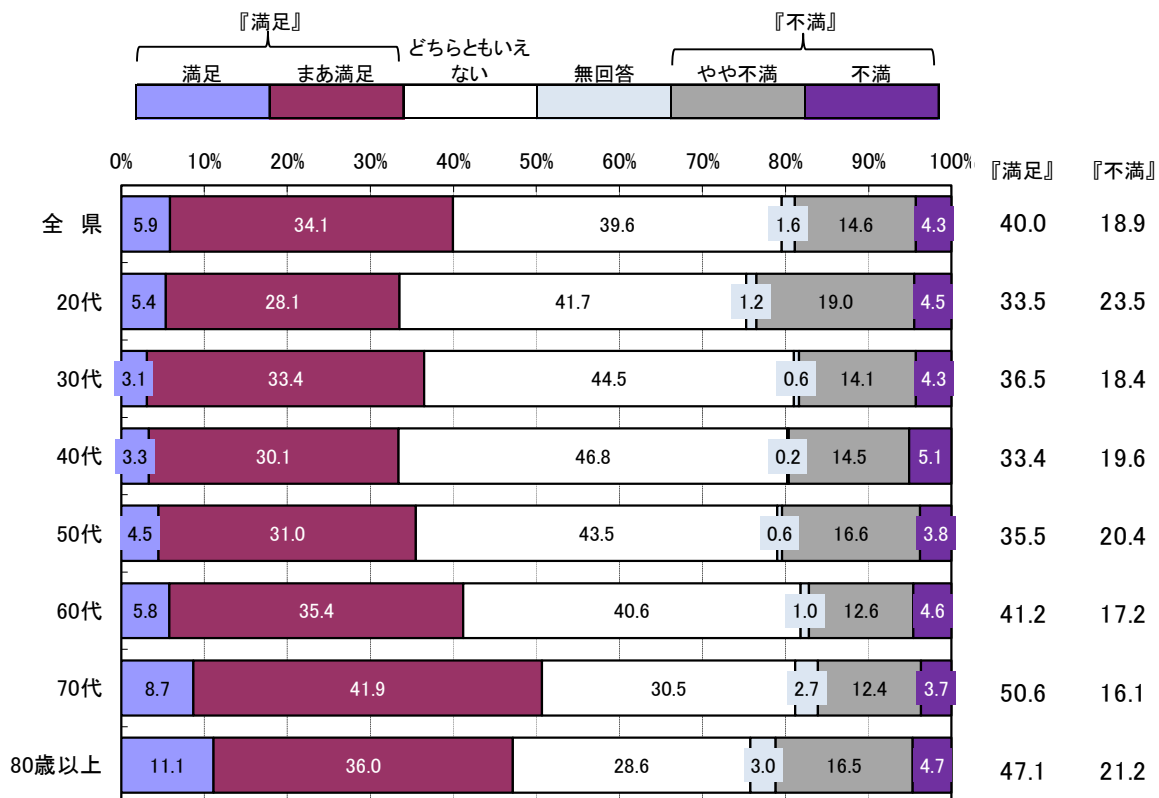
【性 別】

『満足』は、男性の方が女性より1.4ポイント高い。



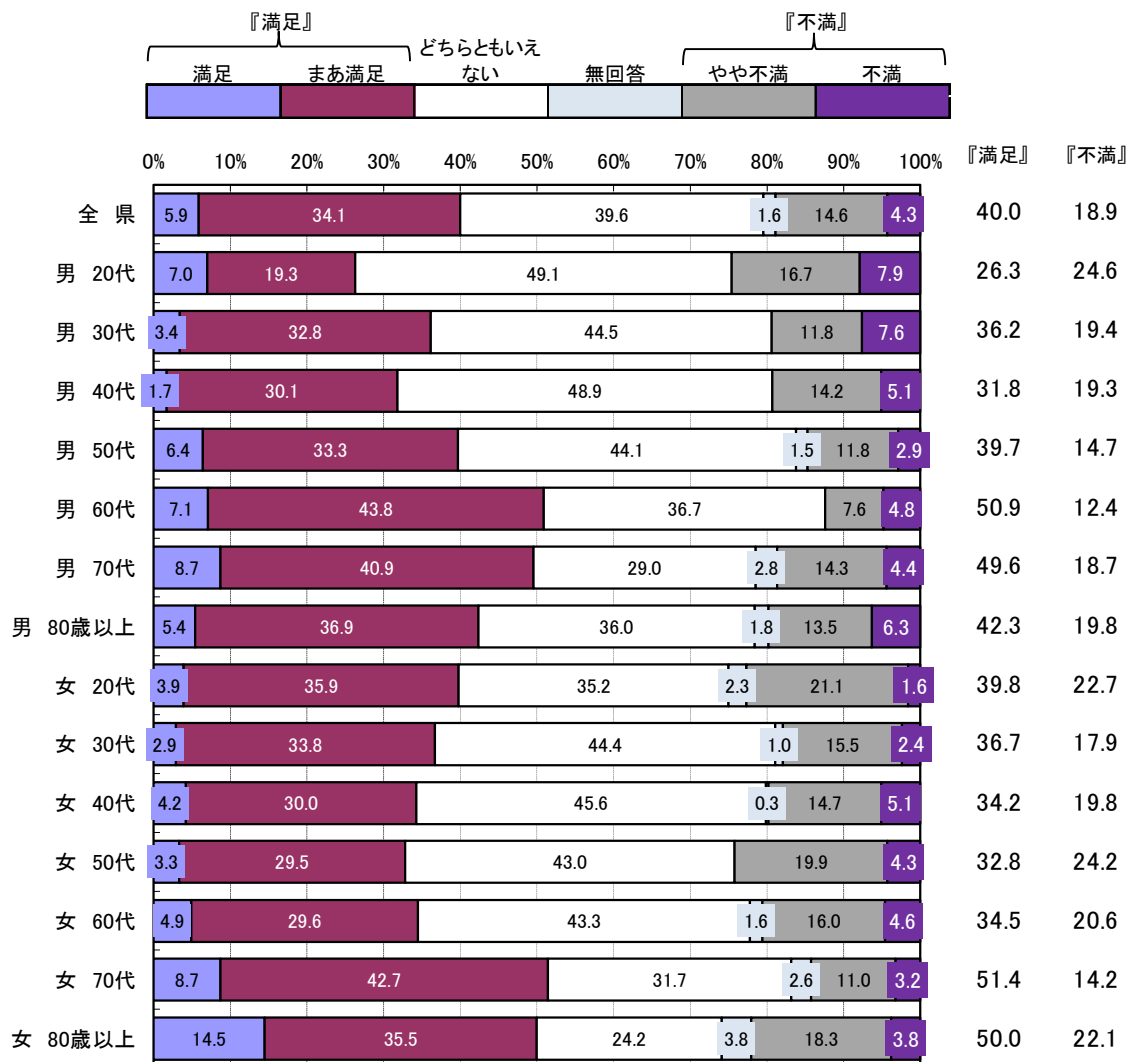
【年代別】

『満足』は、70代が最も高い。



【性・年代別】

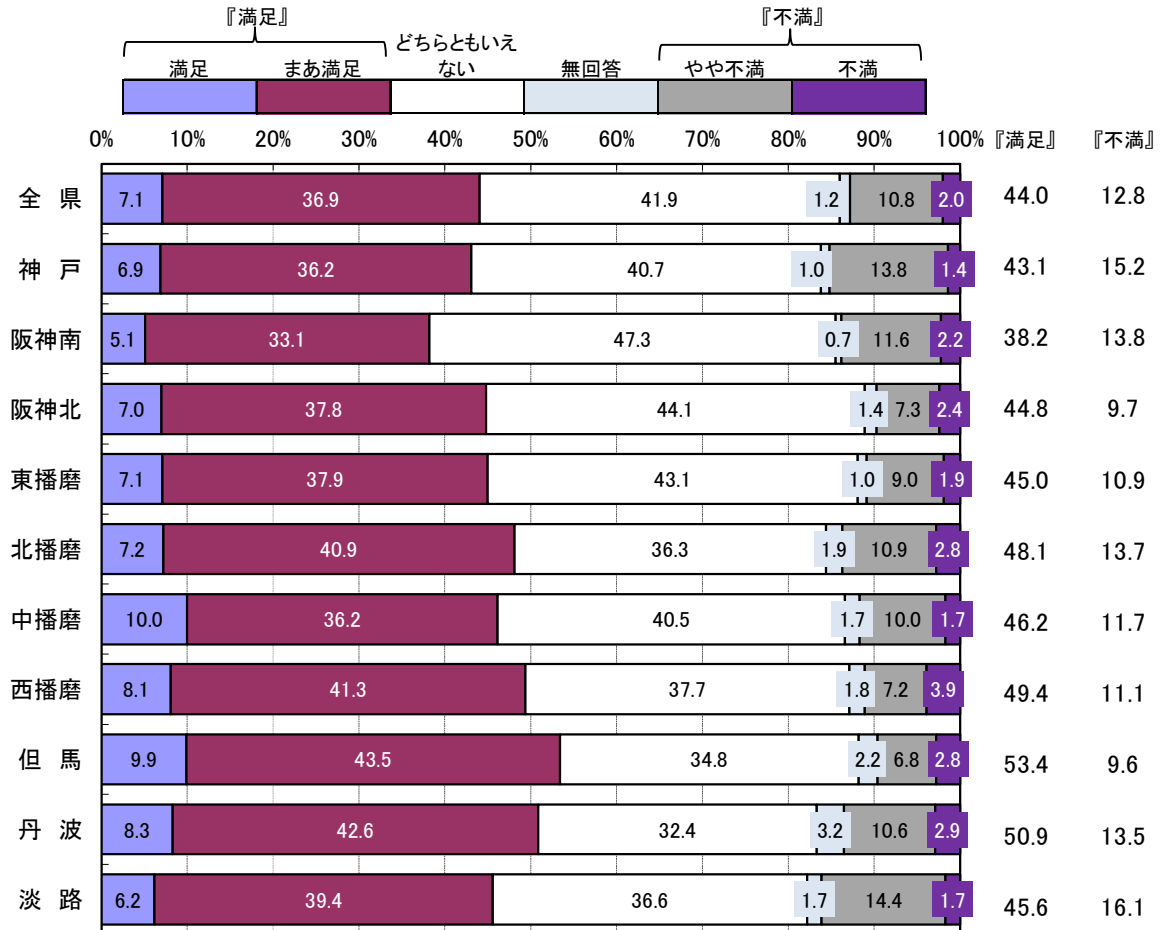
『満足』は、男性は60代、女性は70代が最も高い。



〔ウ 人と人とのつながり〕

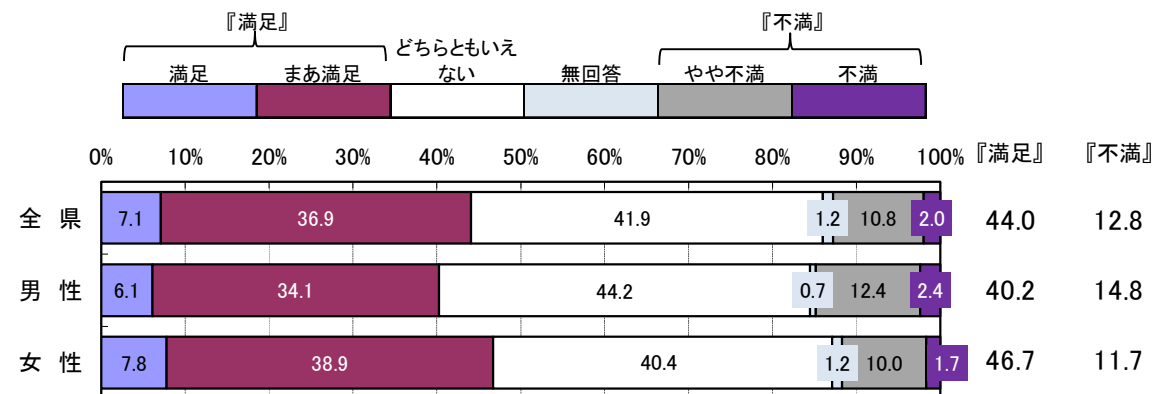
【地域別】

『満足』は但馬が最も高く、丹波、西播磨が続いている。



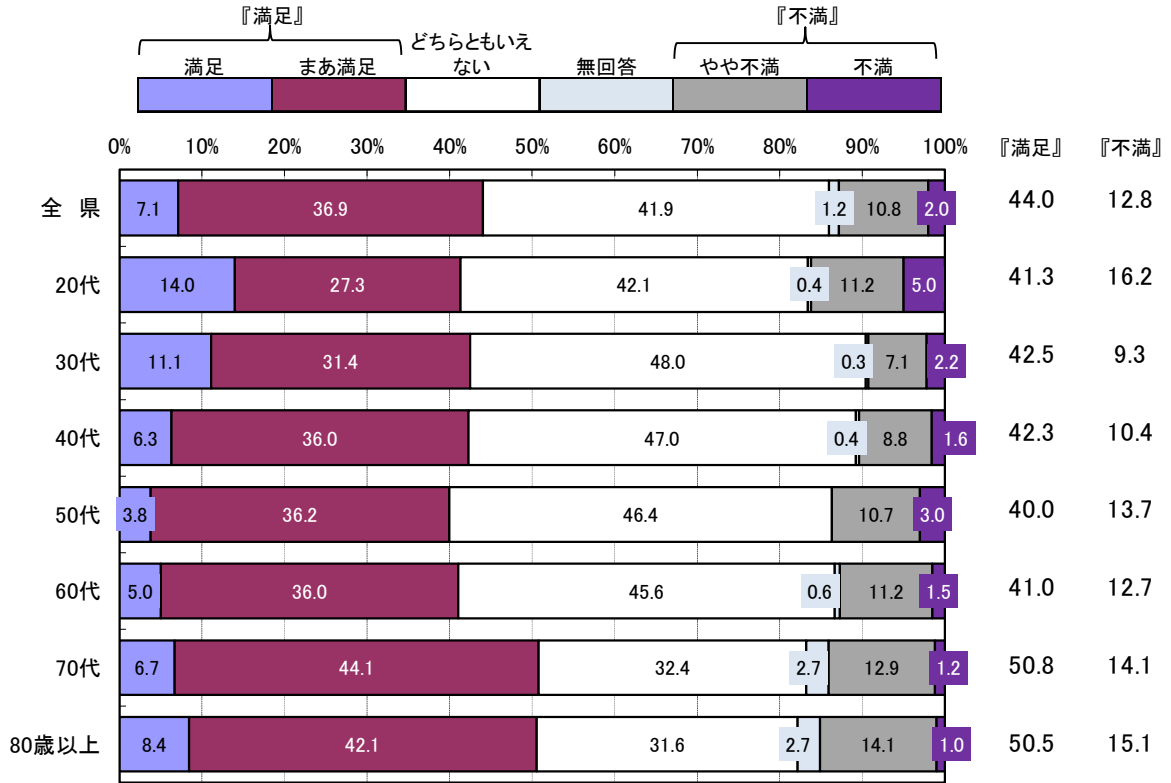
【性 別】

『満足』は、女性の方が男性より6.5ポイント高い。



【年代別】

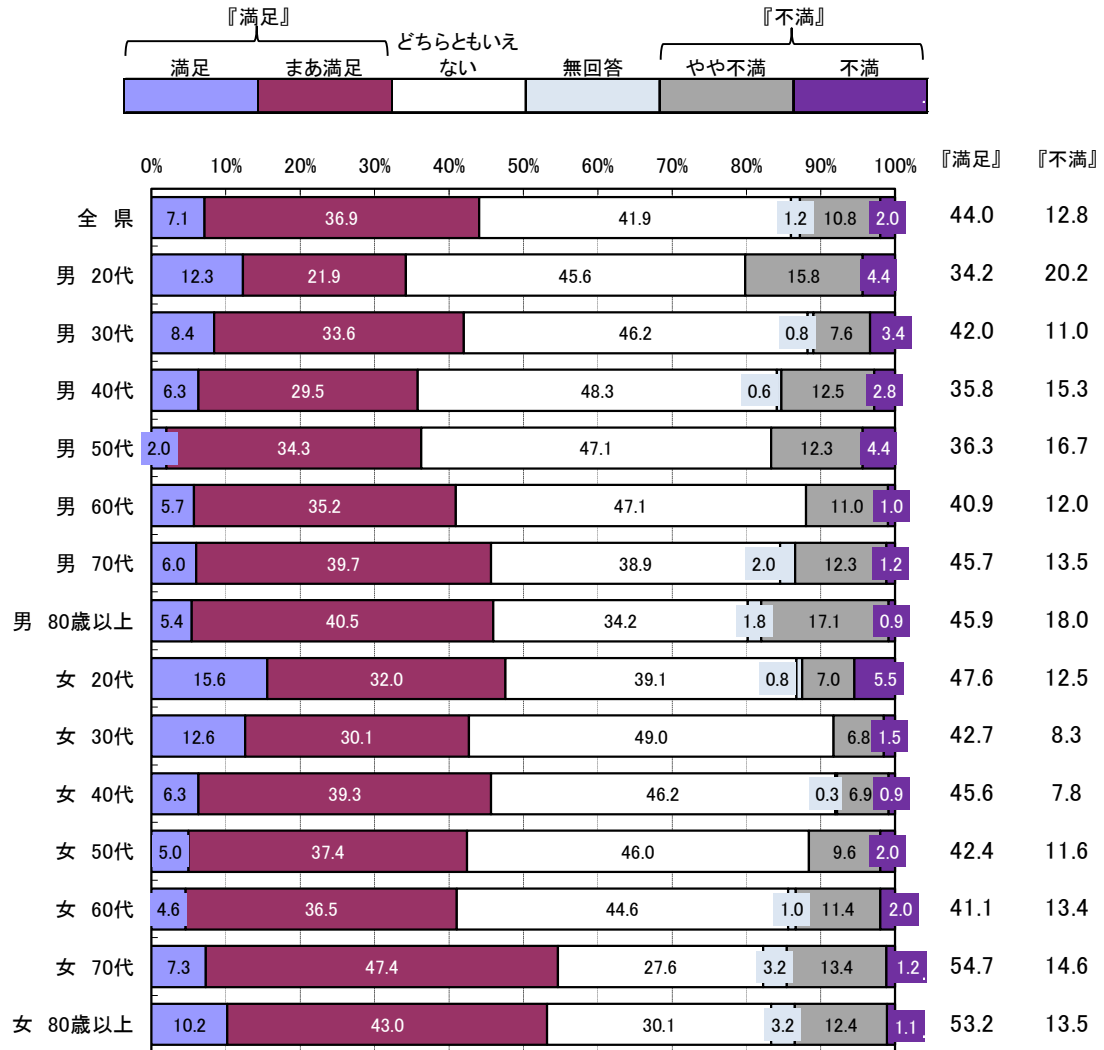
『満足』は、70代が最も高い。



居住地域での項目別満足度-人と人のつながり

【性・年代別】

『満足』は、男性は80歳以上、女性は70代が最も高い。

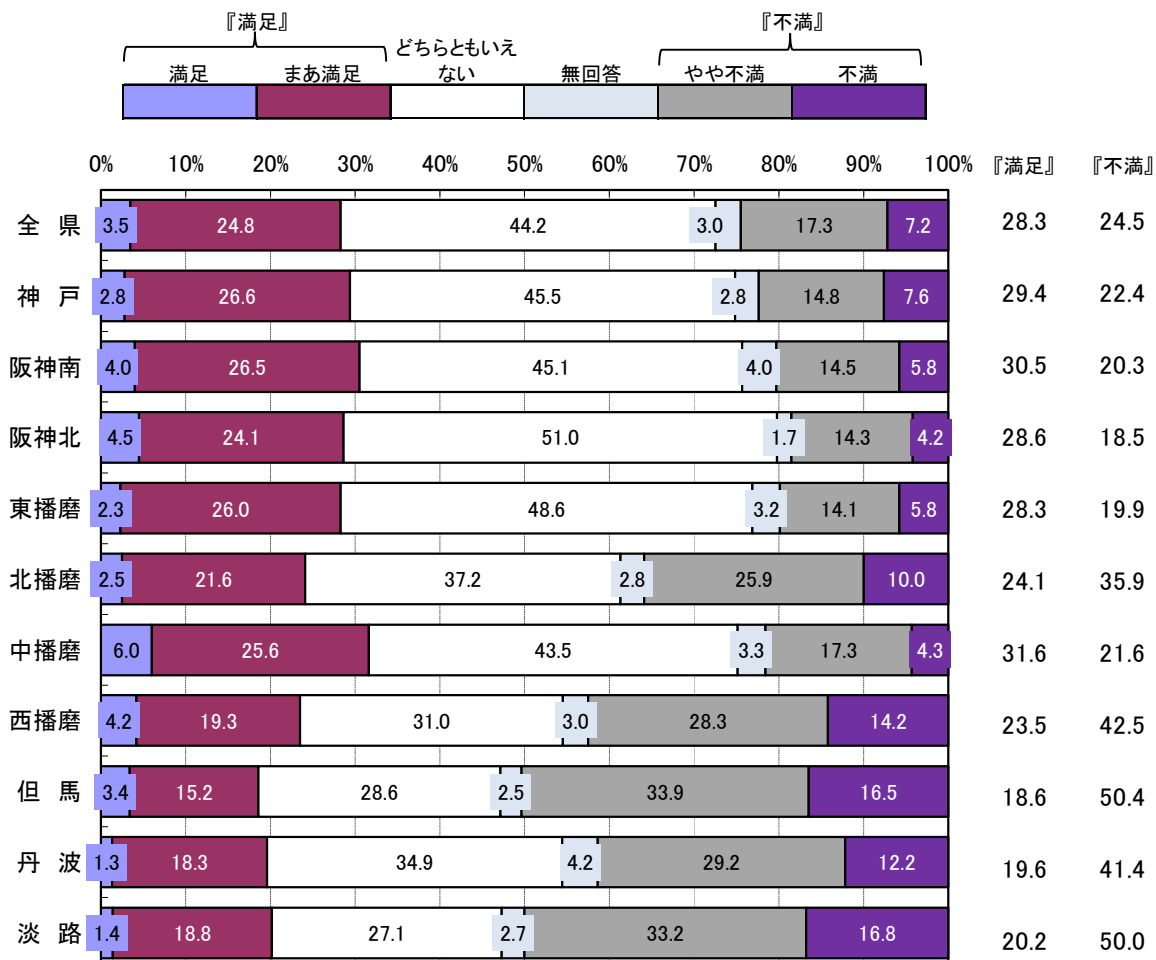


居住地域での項目別満足度-雇用、働く環境

〔工 雇用、働く環境〕

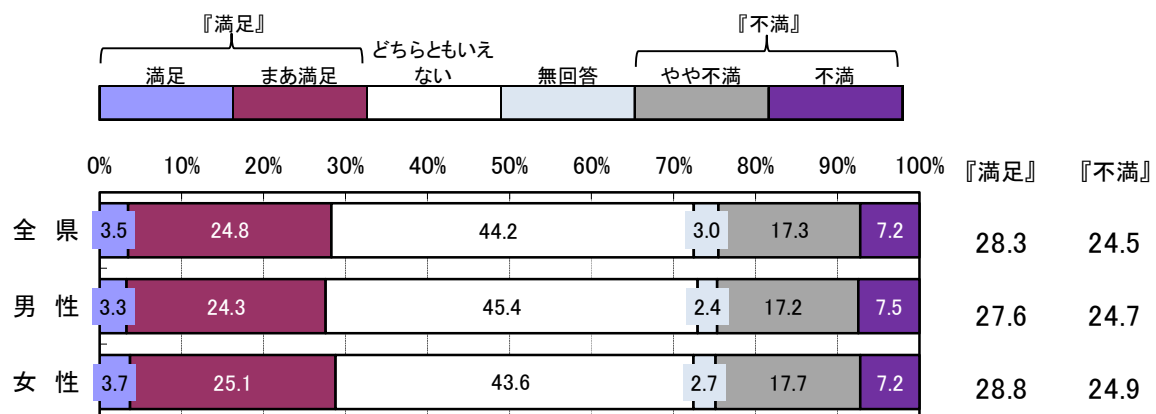
【地域別】

『満足』は中播磨が最も高く、阪神南、神戸が続いている。



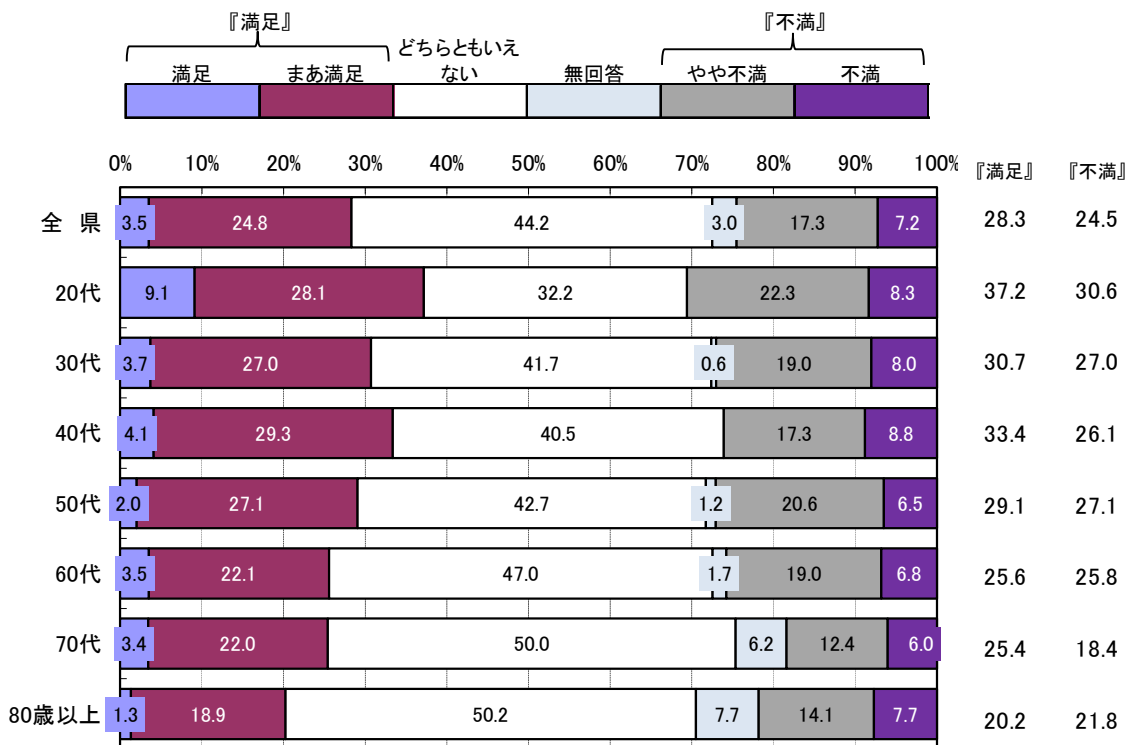
【性 別】

男女間で大きな差は見られない。



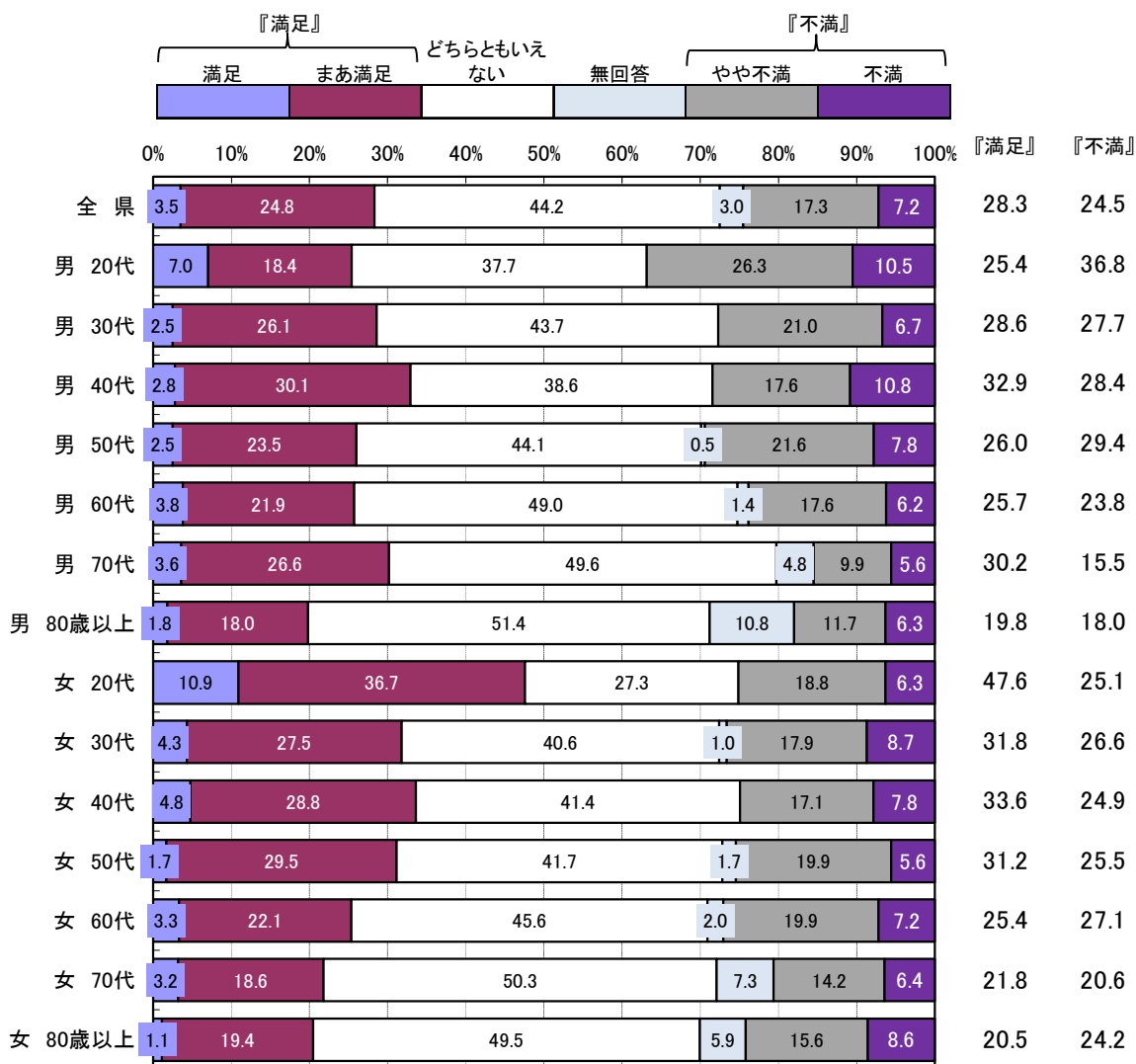
【年代別】

『満足』は20代が最も高い。



【性・年代別】

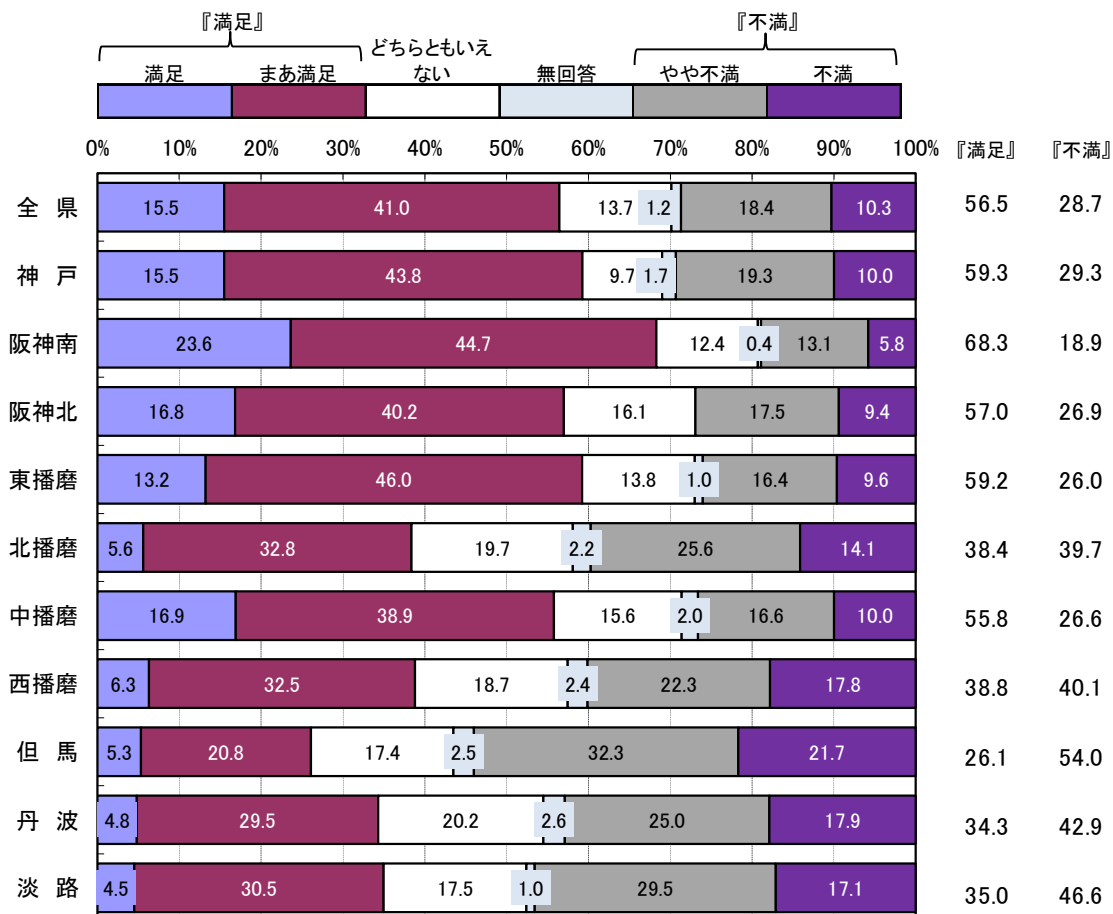
『満足』は、男性は40代、女性は20代が最も高い。



〔オ 商店・商業施設（買物の環境）〕

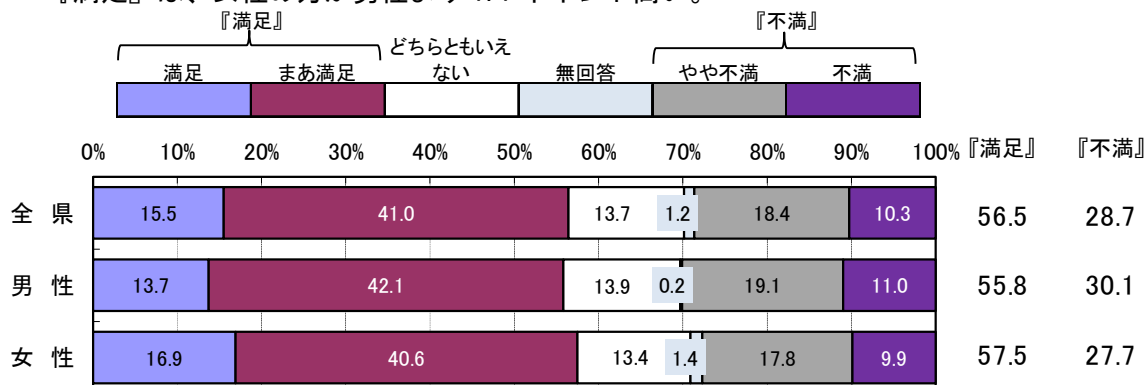
【地域別】

『満足』は阪神南が最も高く、神戸、東播磨が最も高い。



【性 別】

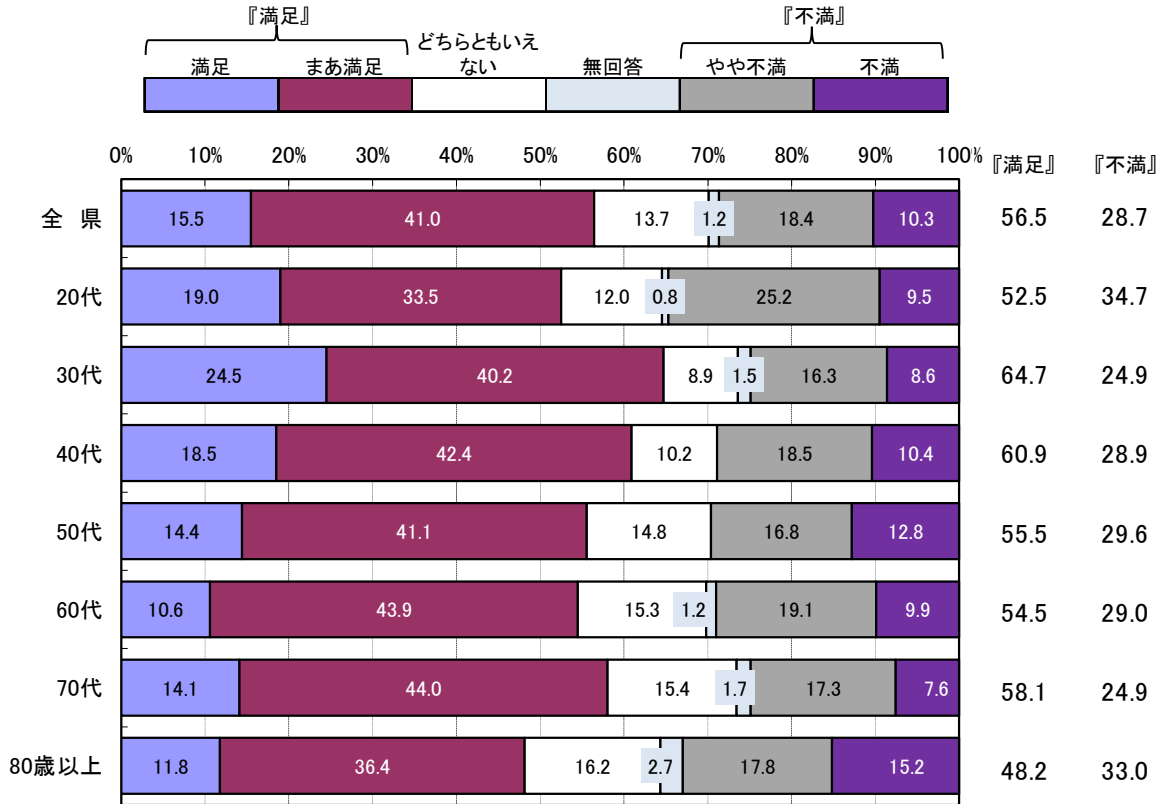
『満足』は、女性の方が男性より1.7ポイント高い。



居住地域での項目別満足度-商店・商業施設（買物の環境）

【年代別】

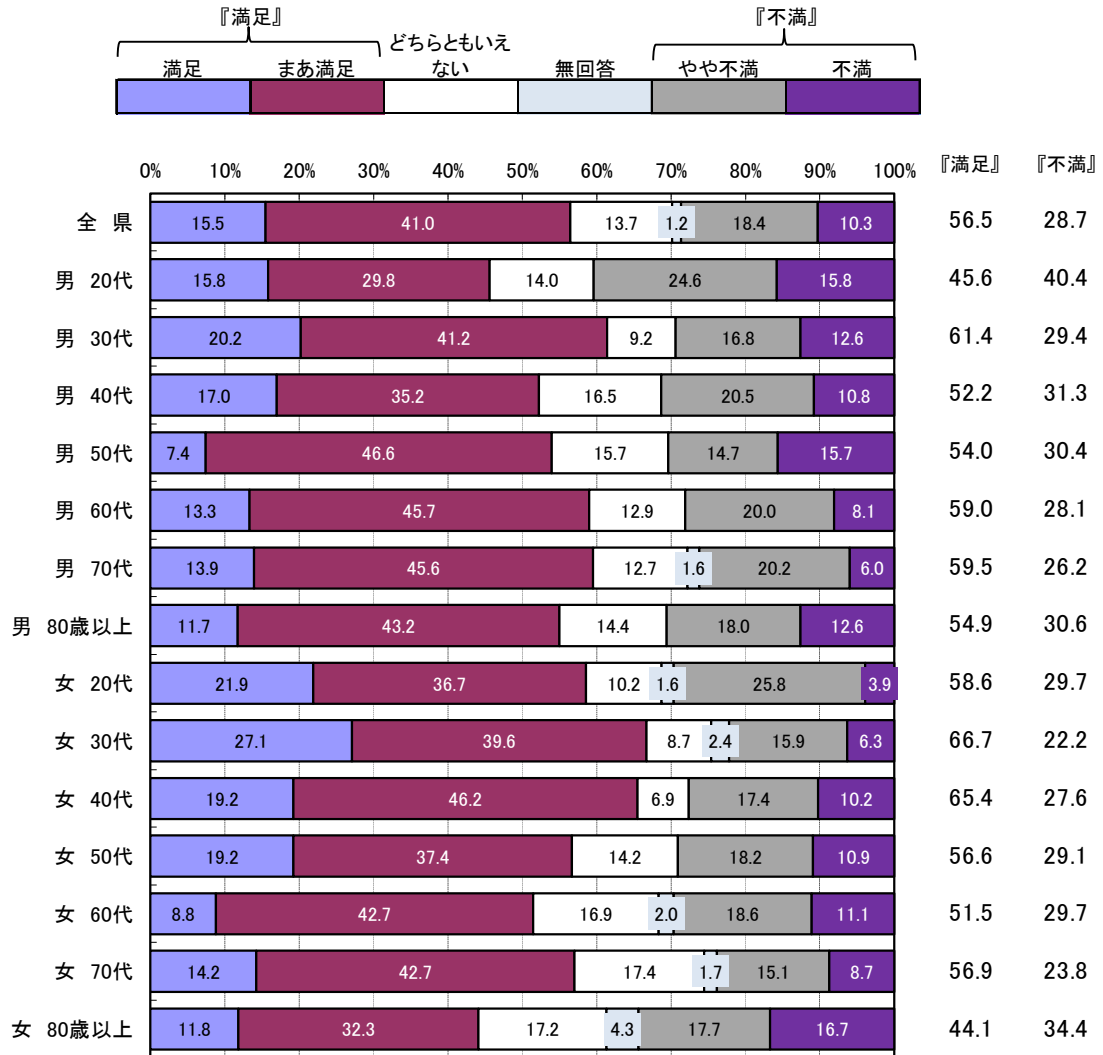
『満足』は、30代が最も高い。



居住地域での項目別満足度-商店・商業施設（買物の環境）

【性・年代別】

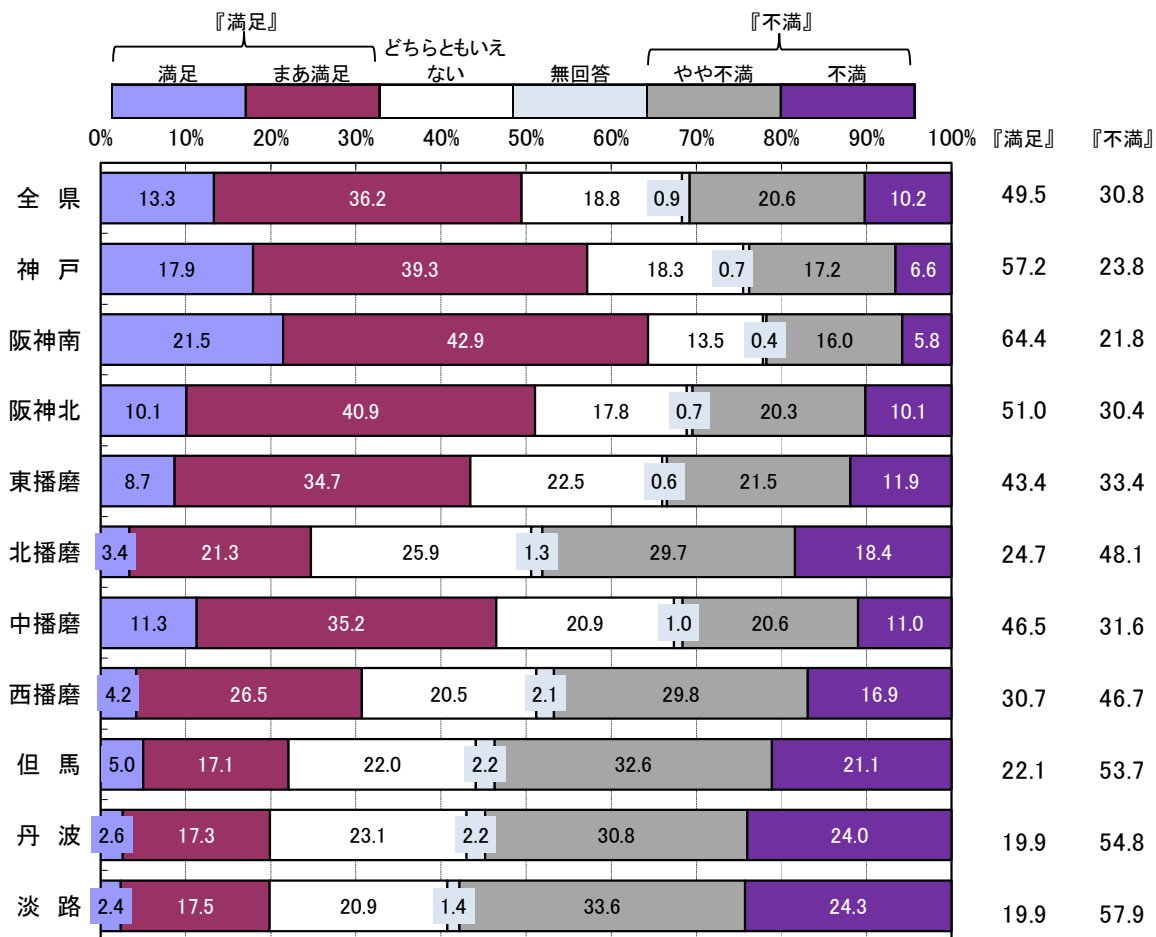
『満足』は、男女ともに30代が最も高い。



〔カ 公共交通、道路整備〕

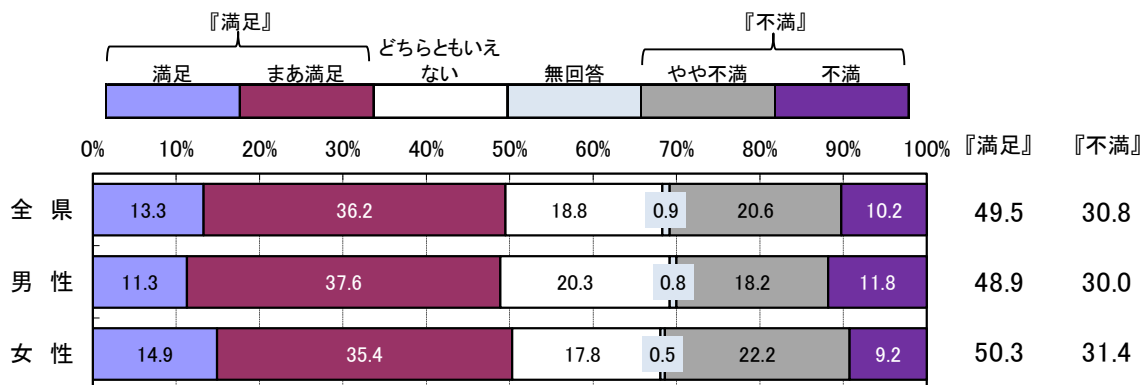
【地域別】

『満足』は、阪神南が最も高く、神戸、阪神北が最も高い。



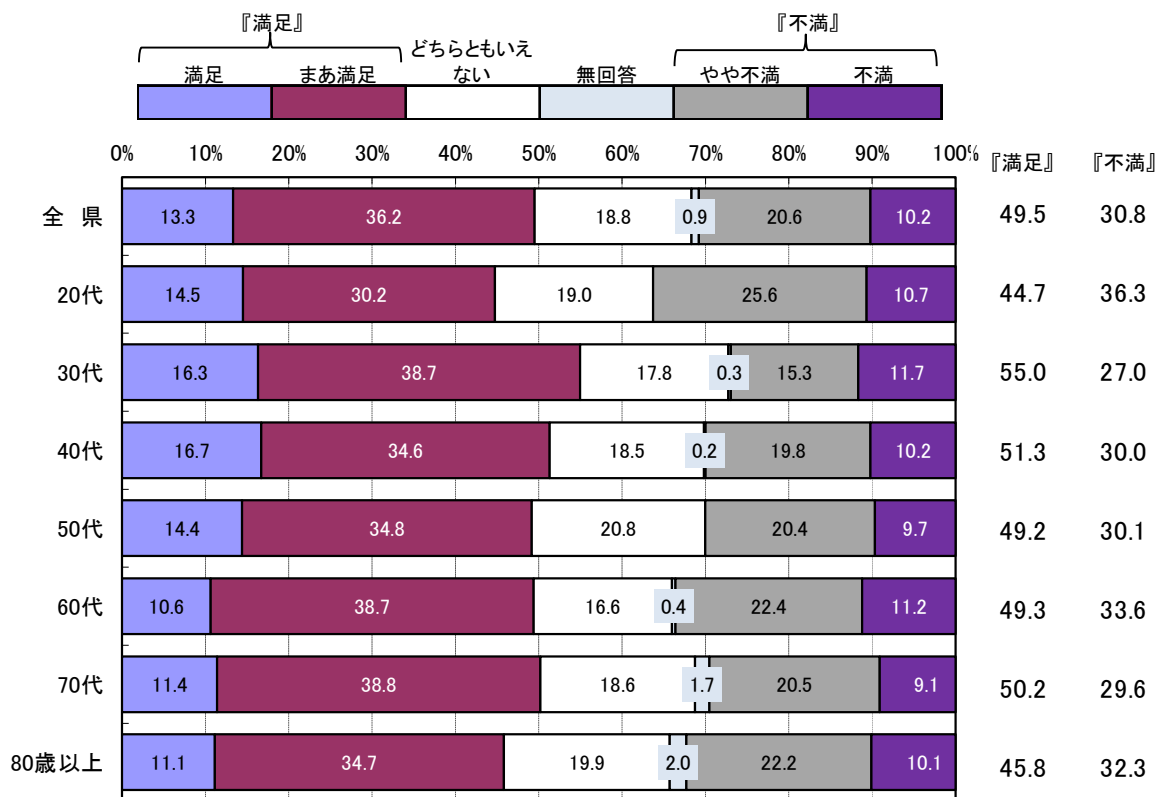
【性別】

『満足』は、女性の方が男性より、1.4ポイント高い。



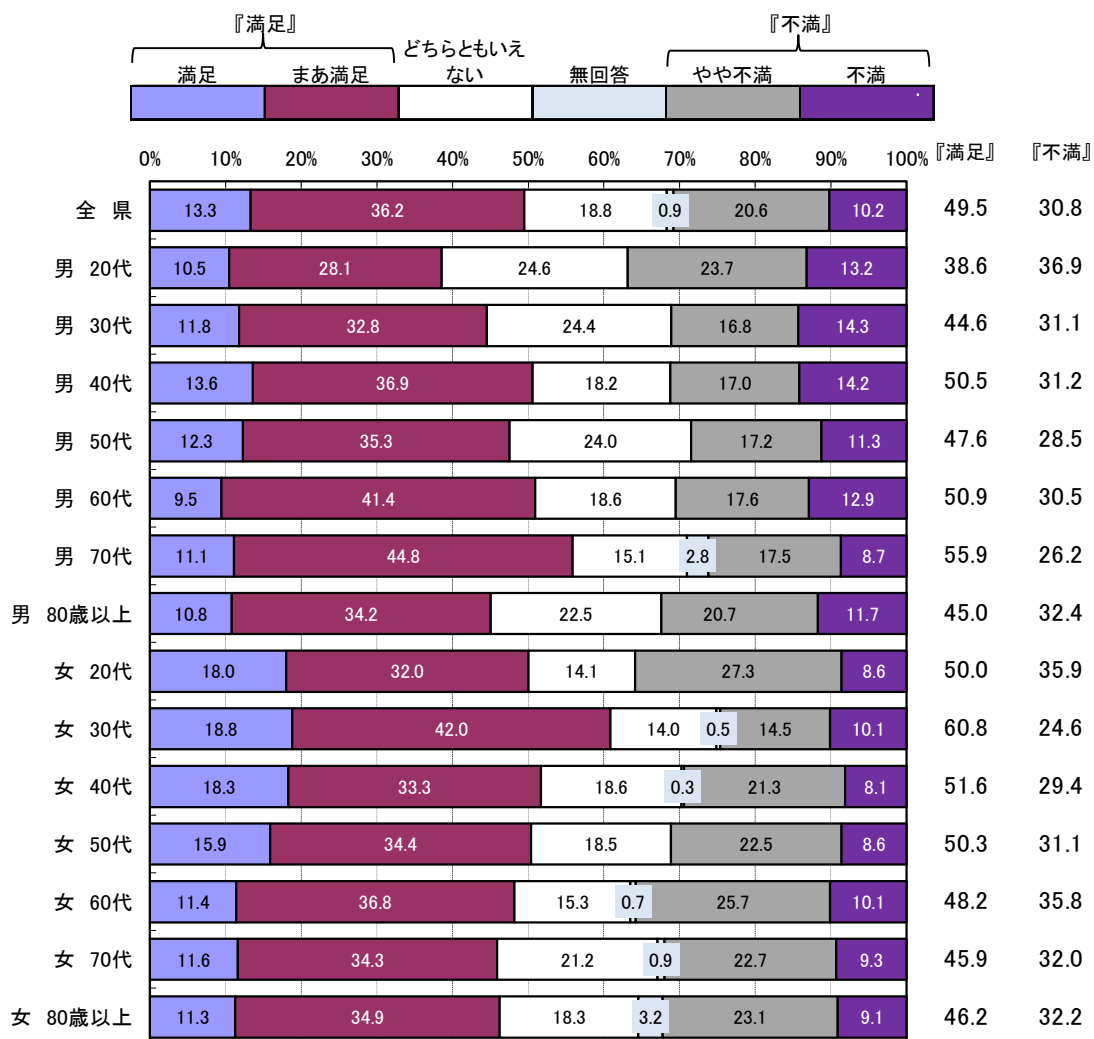
【年代別】

『満足』は、30代が最も高い。



【性・年代別】

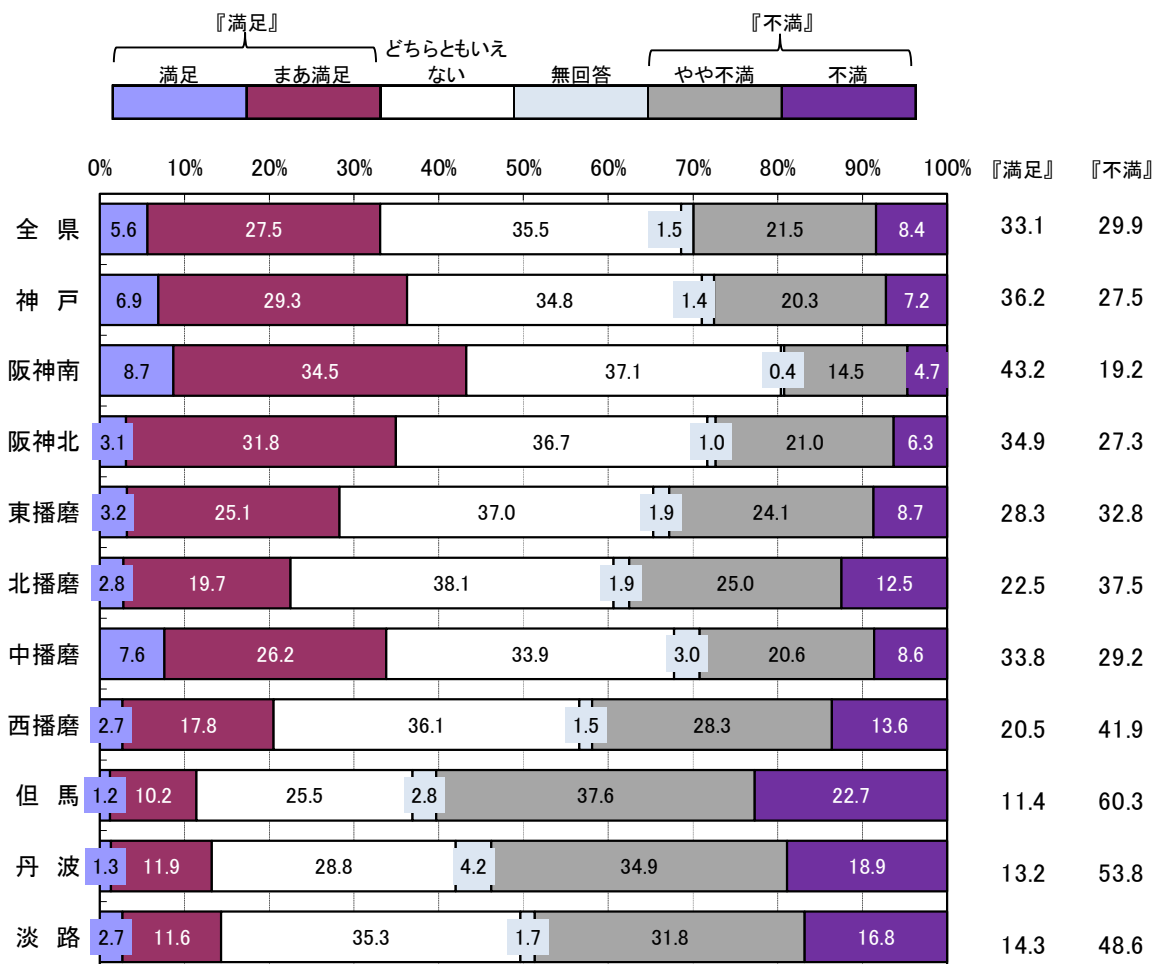
『満足』は、男性は70代、女性は30代が最も高い。



〔キ 娯楽・レジャー施設、公園〕

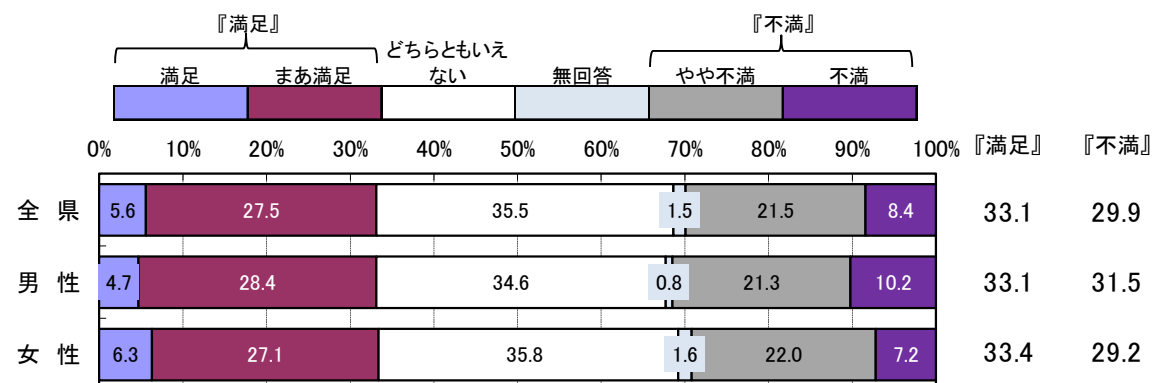
【地域別】

『満足』は阪神南が最も高く、神戸、阪神北が続いている。



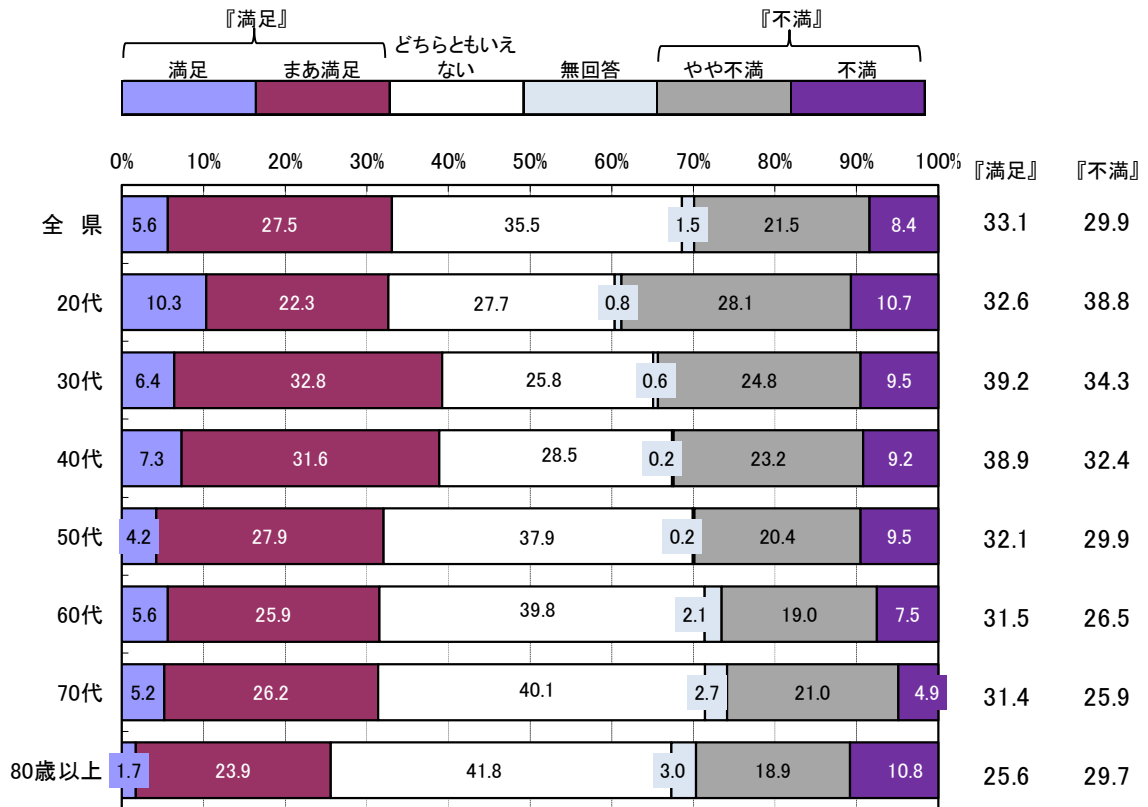
【性別】

男女間で大きな差は見られない。



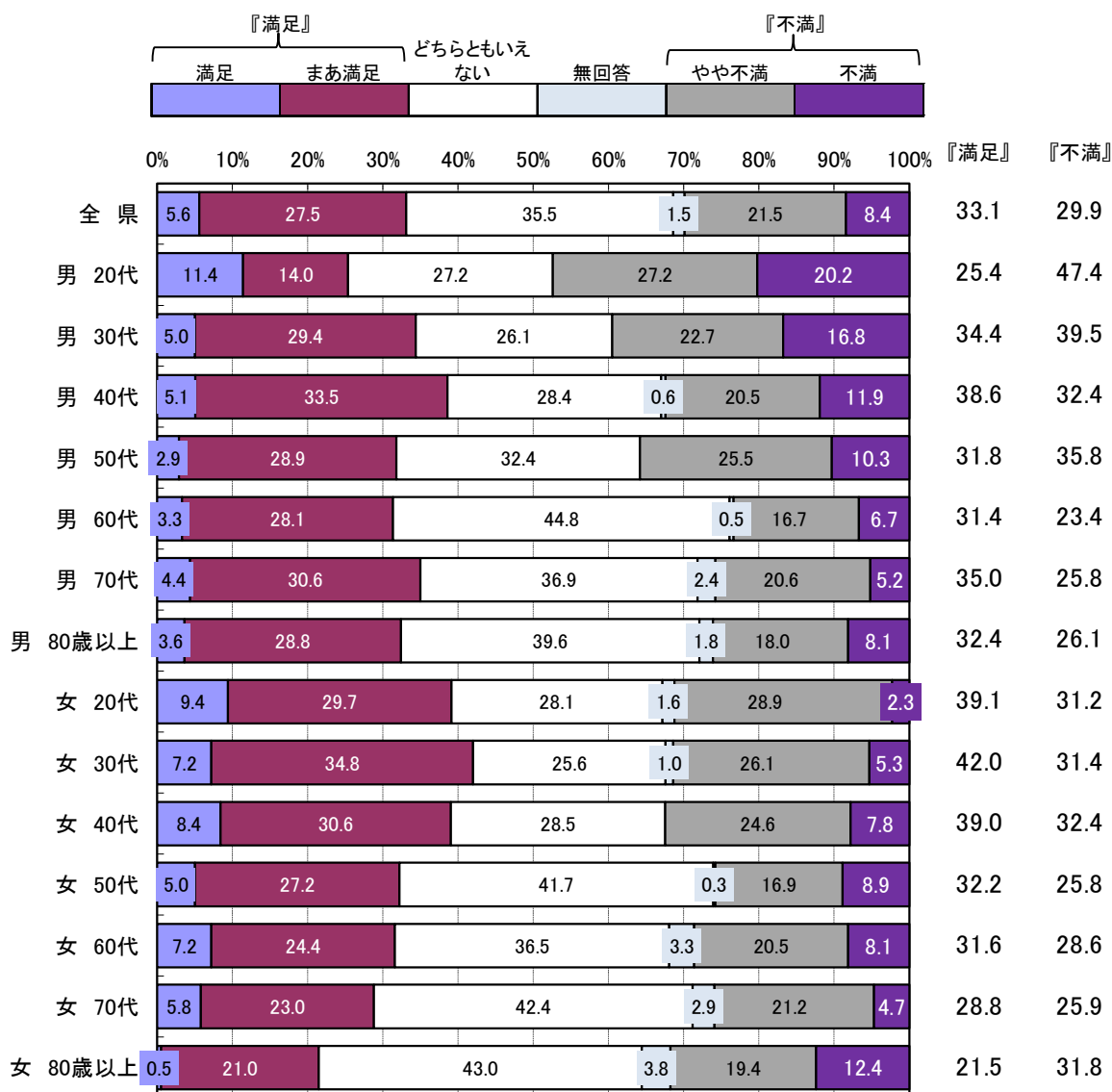
【年代別】

『満足』は、30代が最も高い。



【性・年代別】

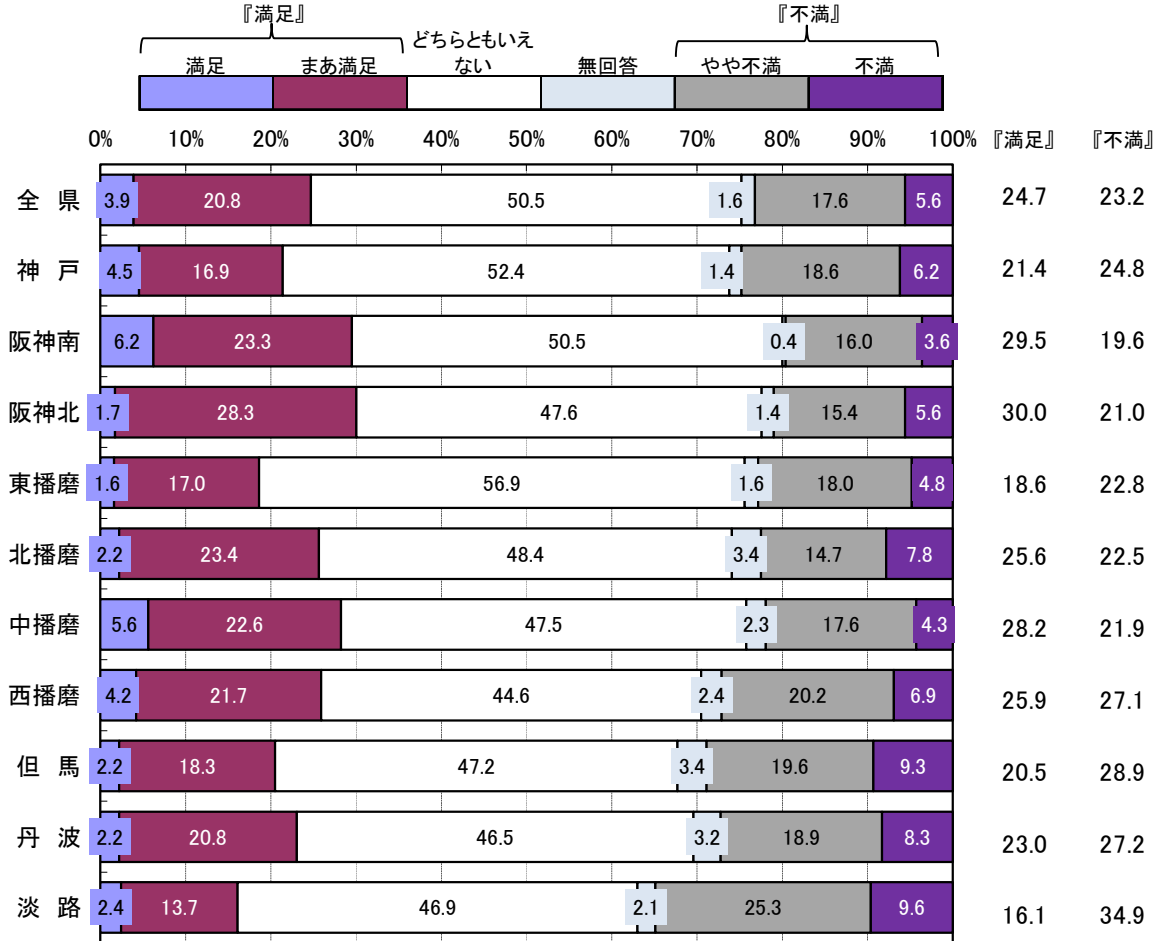
『満足』は、男性は40代、女性は30代が最も高い。



〔ク 文化・芸術活動、地域のイベント〕

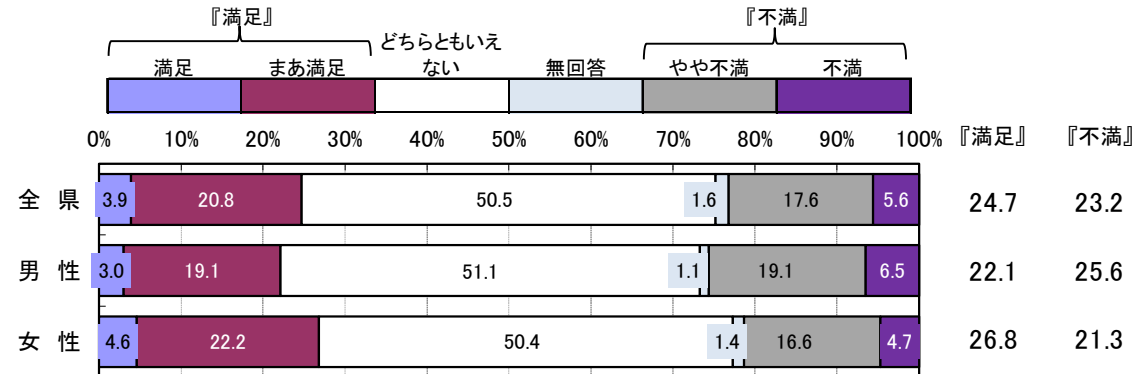
【地域別】

『満足』は阪神北が最も高く、阪神南、中播磨が続いている。



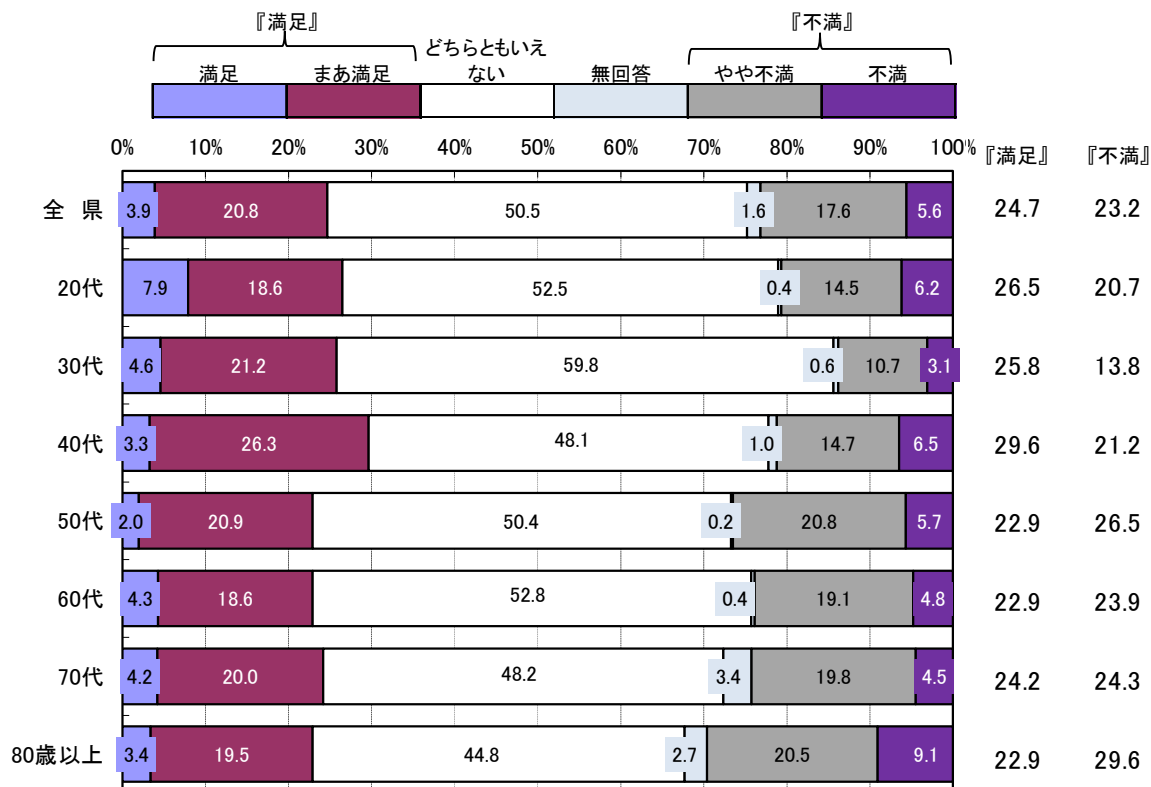
【性別】

『満足』は、女性の方が男性より4.7ポイント高い。



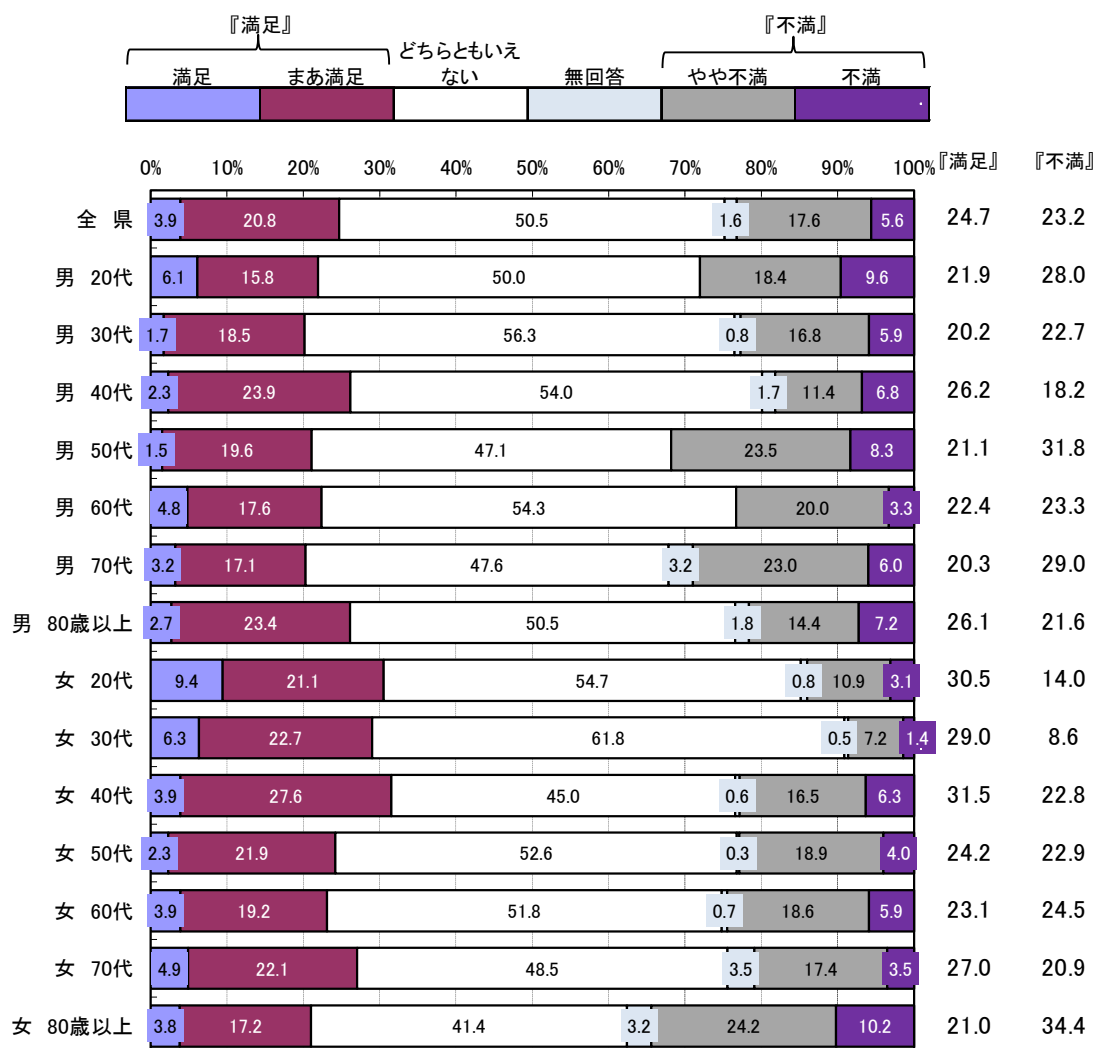
【年代別】

『満足』は、40代が最も高い。



【性・年代別】

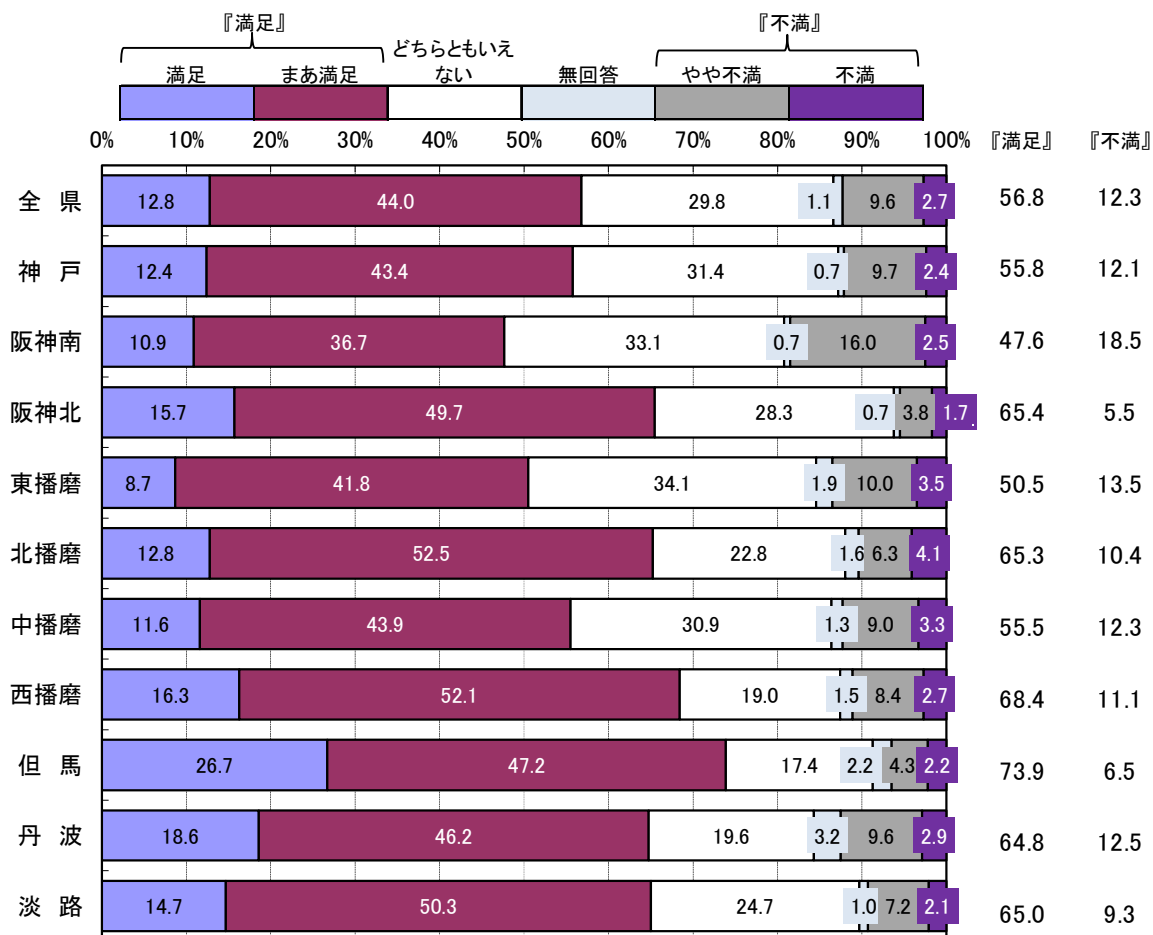
『満足』は、男女ともに40代が最も高い。



〔ケ 大気や水などの環境〕

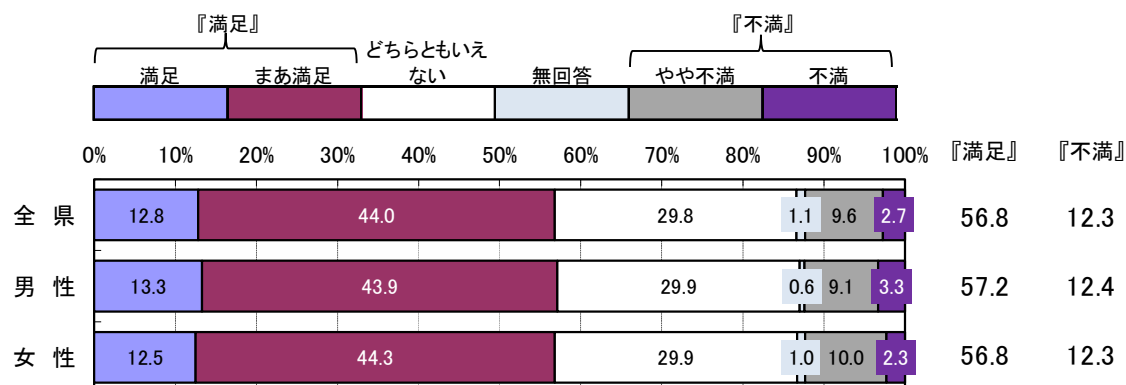
【地域別】

『満足』は、但馬が最も高く、西播磨、阪神北が続いている。



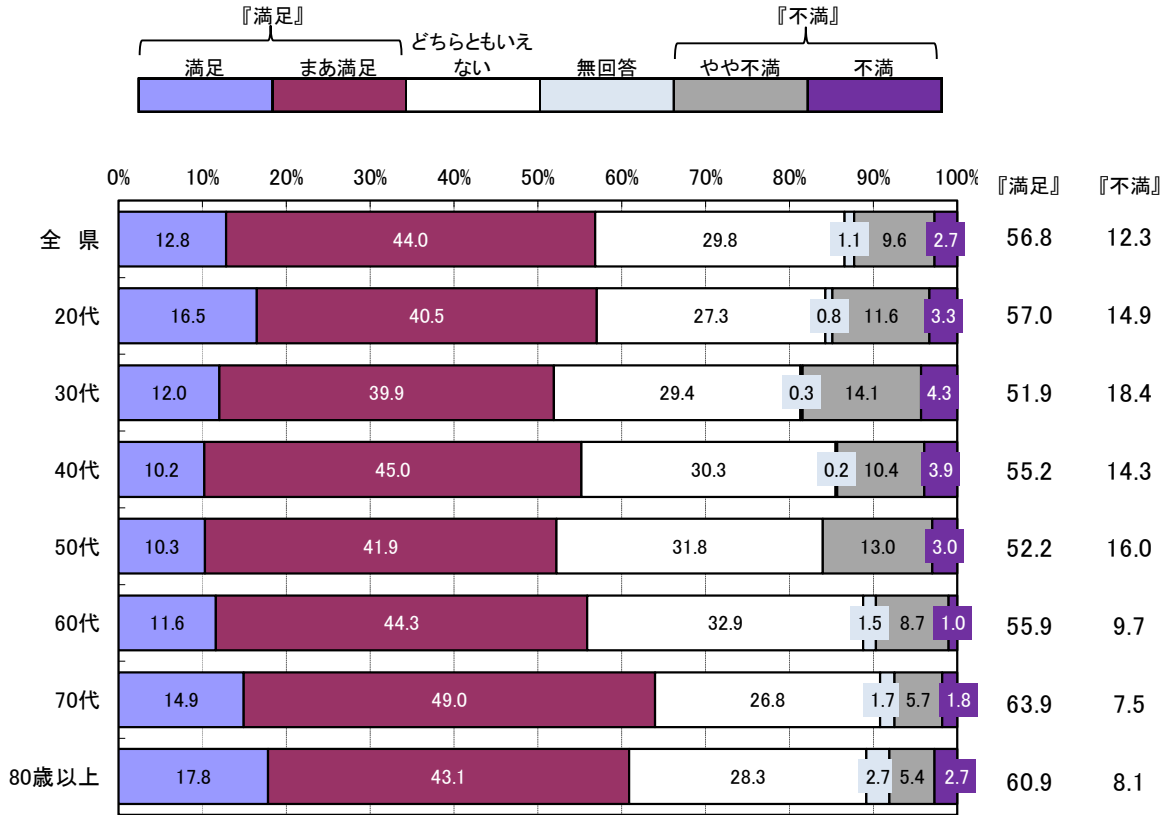
【性別】

男女間で大きな差は見られない。



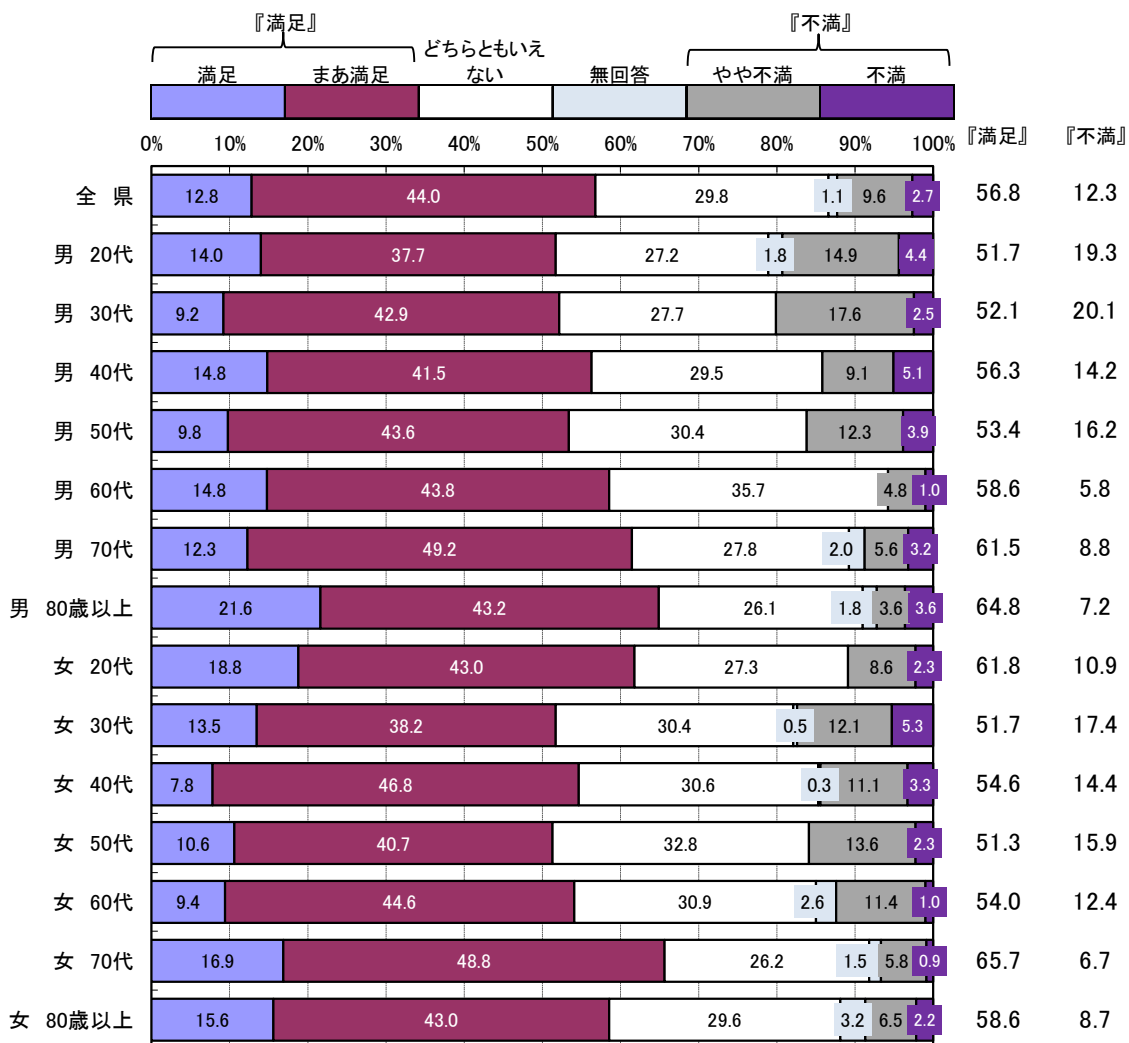
【年代別】

『満足』は70代が最も高い。



【性・年代別】

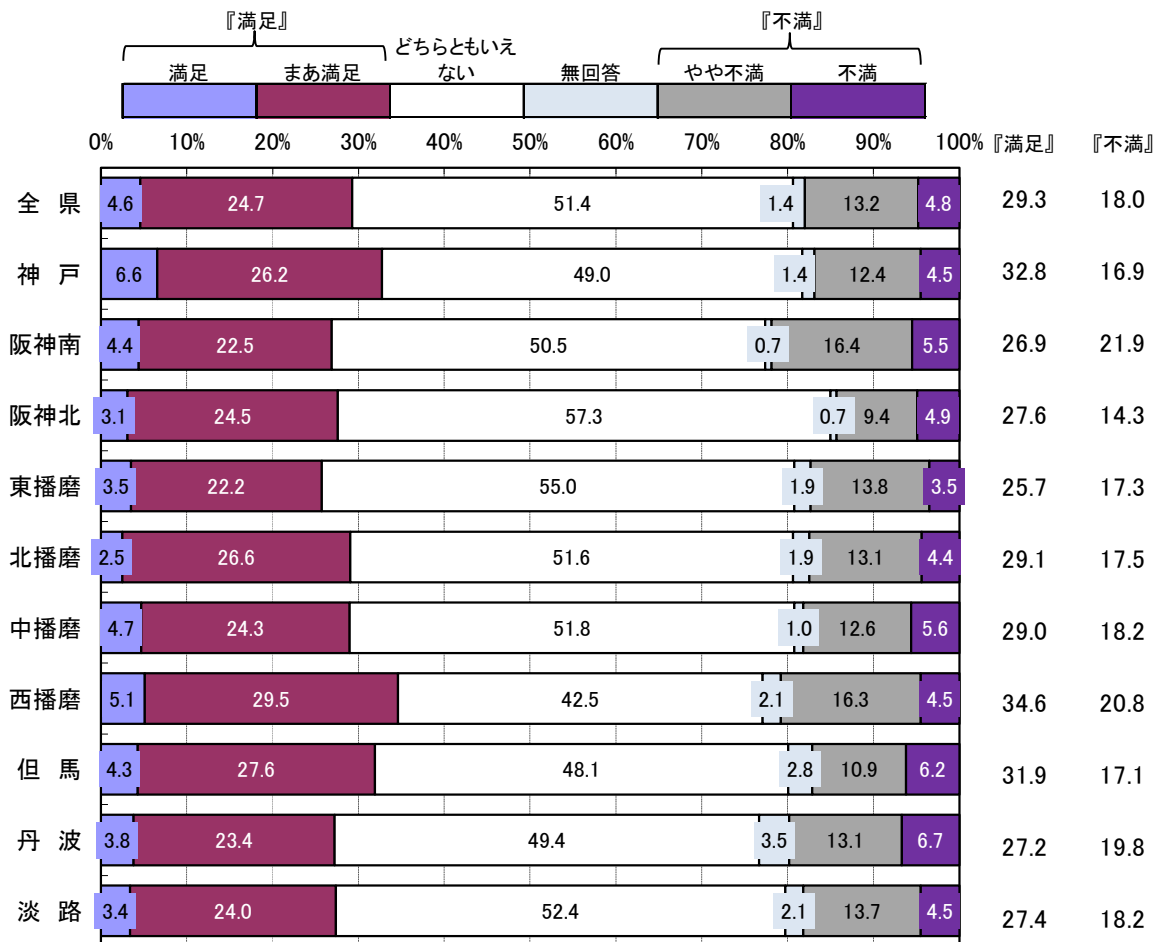
『満足』は、男性は80歳以上、女性は70代が最も高い。



〔コ 災害への備え〕

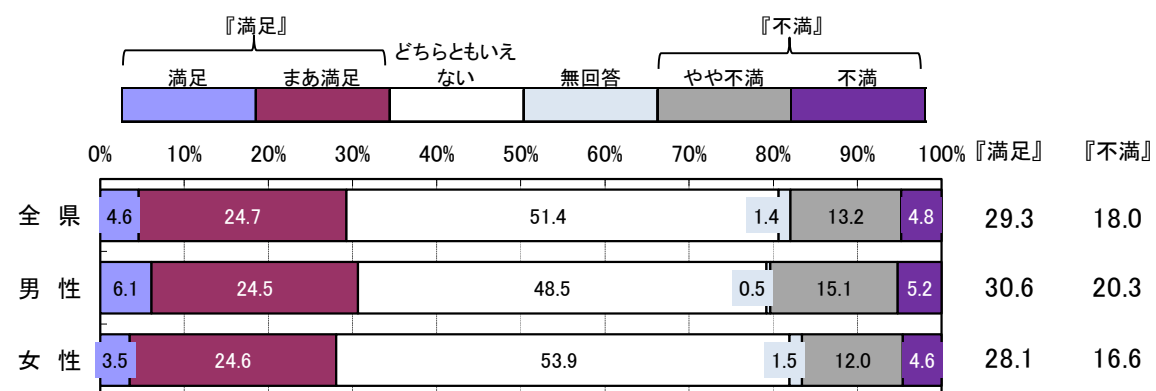
【地域別】

『満足』は西播磨が最も高く、神戸、但馬が続いている。



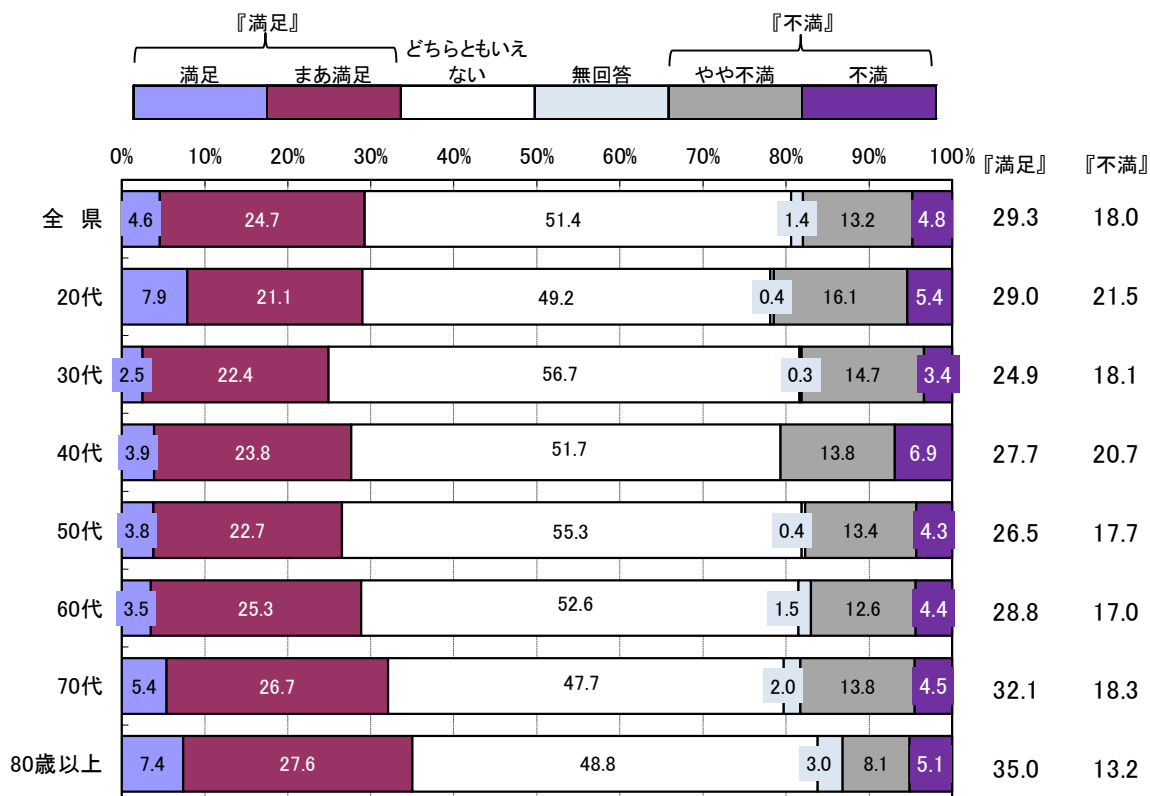
【性別】

『不満』は、男性の方が女性より3.7ポイント高い。



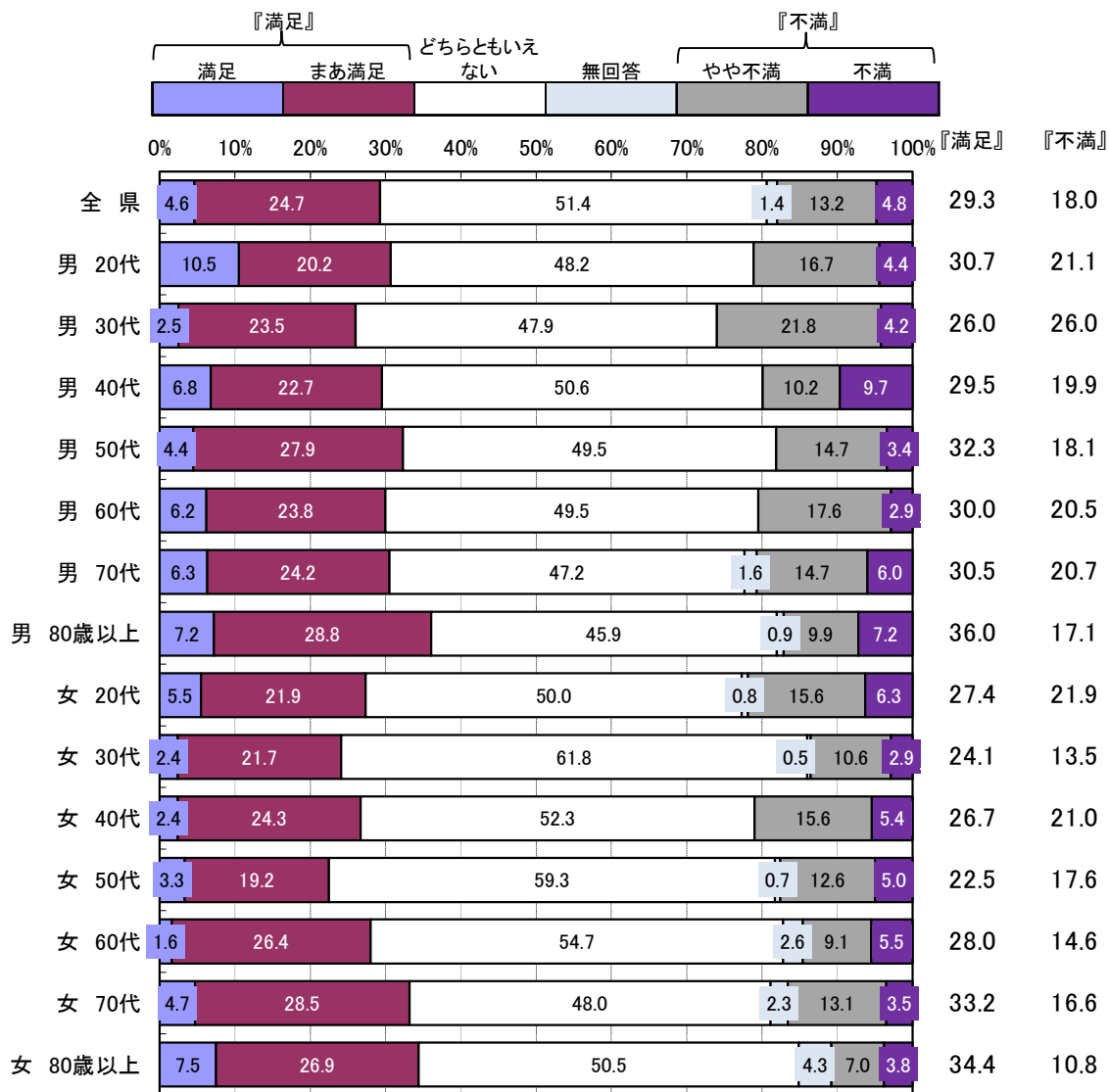
【年代別】

『満足』は80歳以上が最も高い。



【性・年代別】

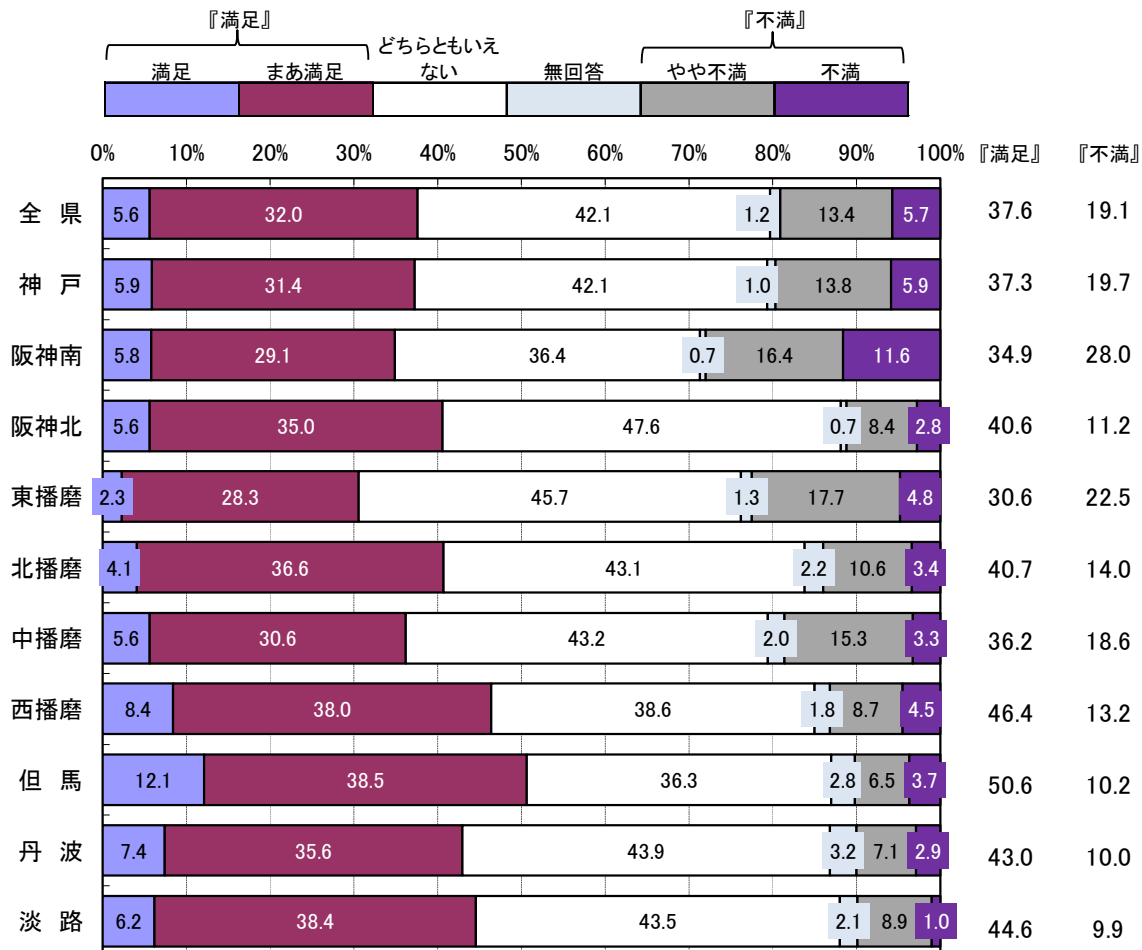
『満足』は、男女ともに80歳以上で最も高い。



〔サ 犯罪・交通事故〕

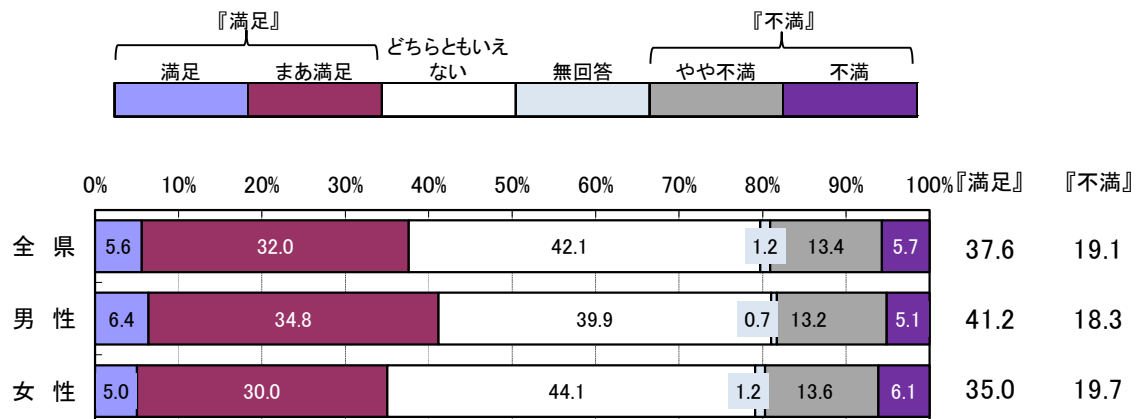
【地域別】

『満足』は但馬が最も高く、西播磨、淡路が最も高い。



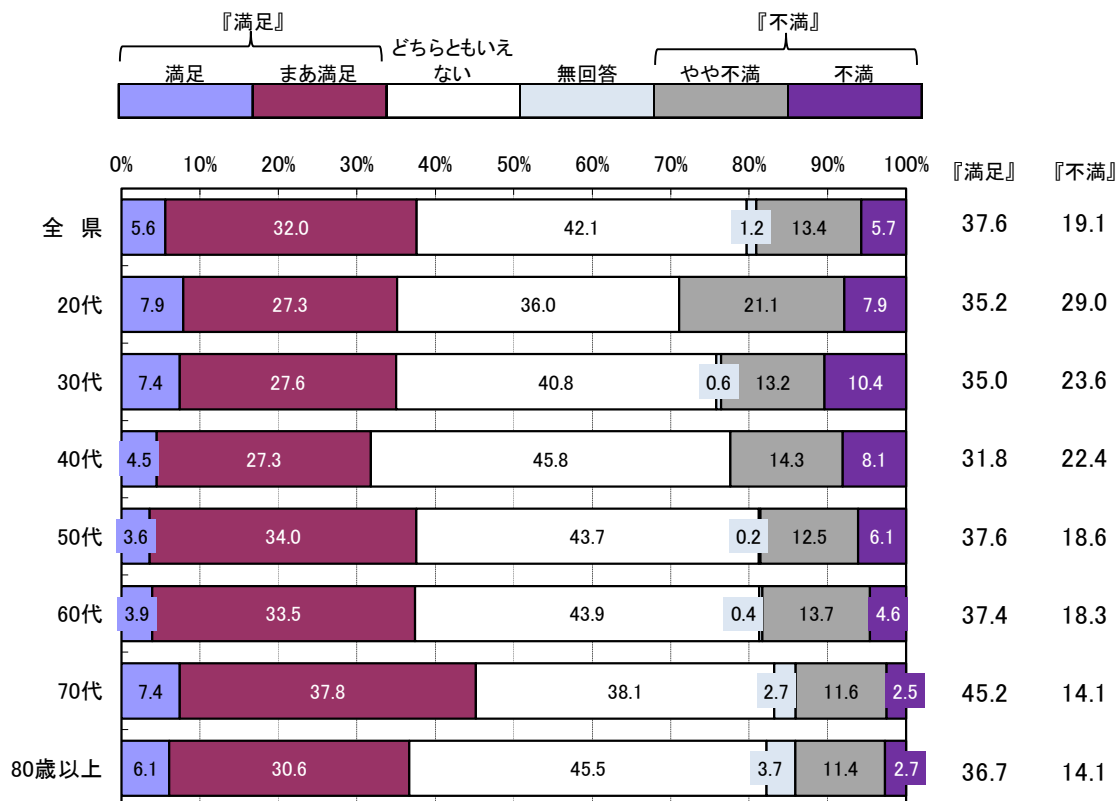
【性 別】

『満足』は、男性の方が女性より6.2ポイント高い。



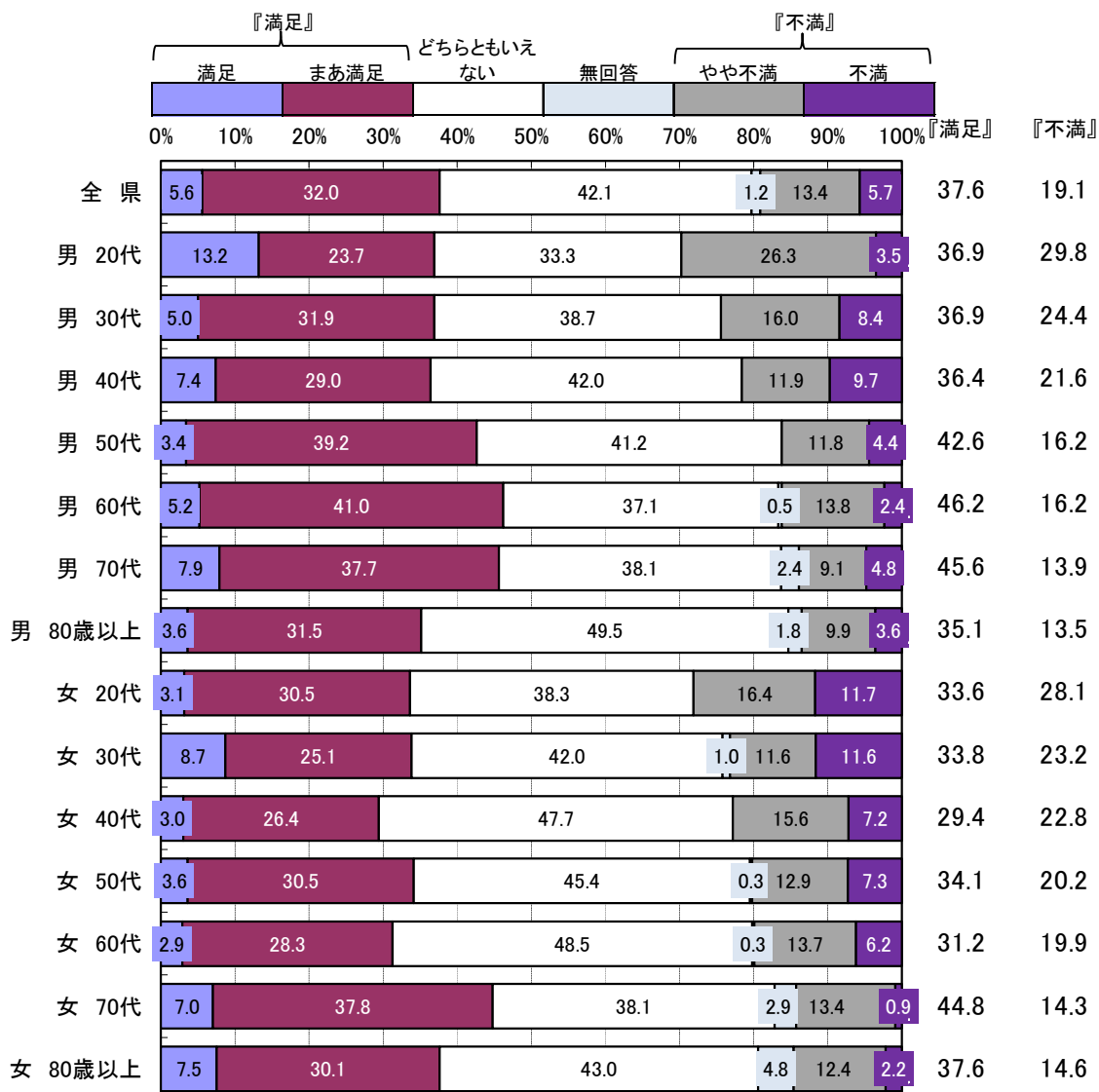
【年代別】

『満足』は70代が最も高い。



【性・年代別】

『満足』は、男性は60代、女性は70代が最も高い。



問3-1 居住年数

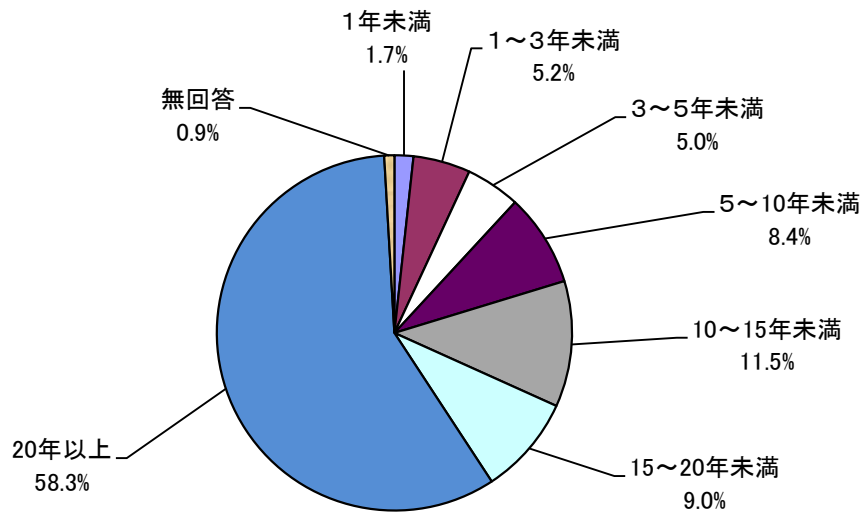
問3-1

あなたは現在、お住まいのところに通算、何年お住まいですか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | | | | |
|---|---------|---|----------|---|----------|
| 1 | 1年未満 | 2 | 1～3年未満 | 3 | 3～5年未満 |
| 4 | 5～10年未満 | 5 | 10～15年未満 | 6 | 15～20年未満 |
| 7 | 20年以上 | | | | |

【全 県】

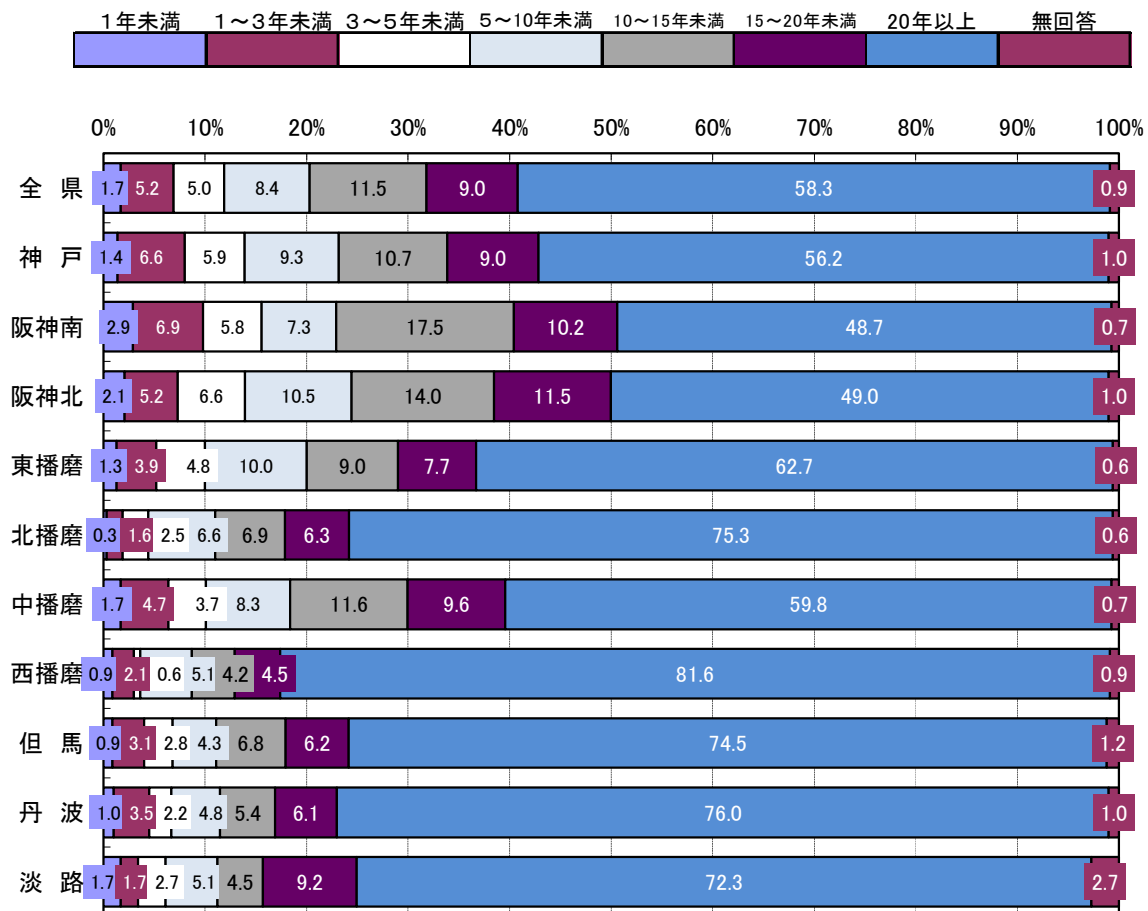
「20年以上」が58.3%で最も高い。



居住年数

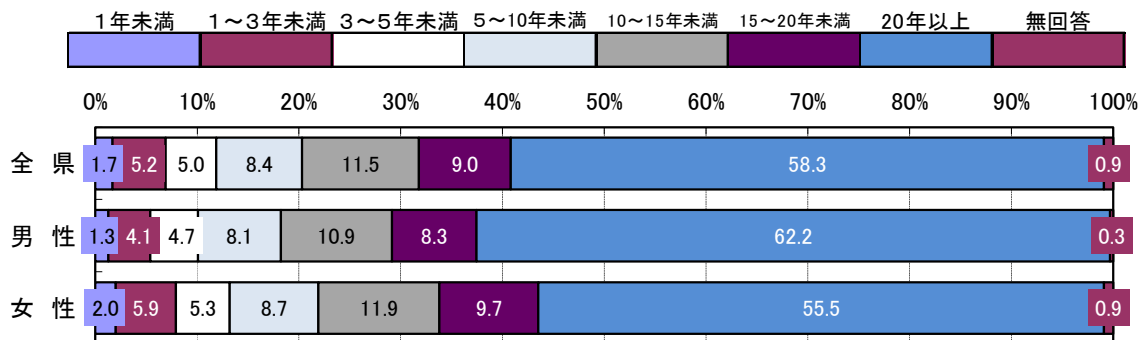
【地域別】

「20年以上」は西播磨が最も高く、「1年未満」は阪神南が最も高い。



【性別】

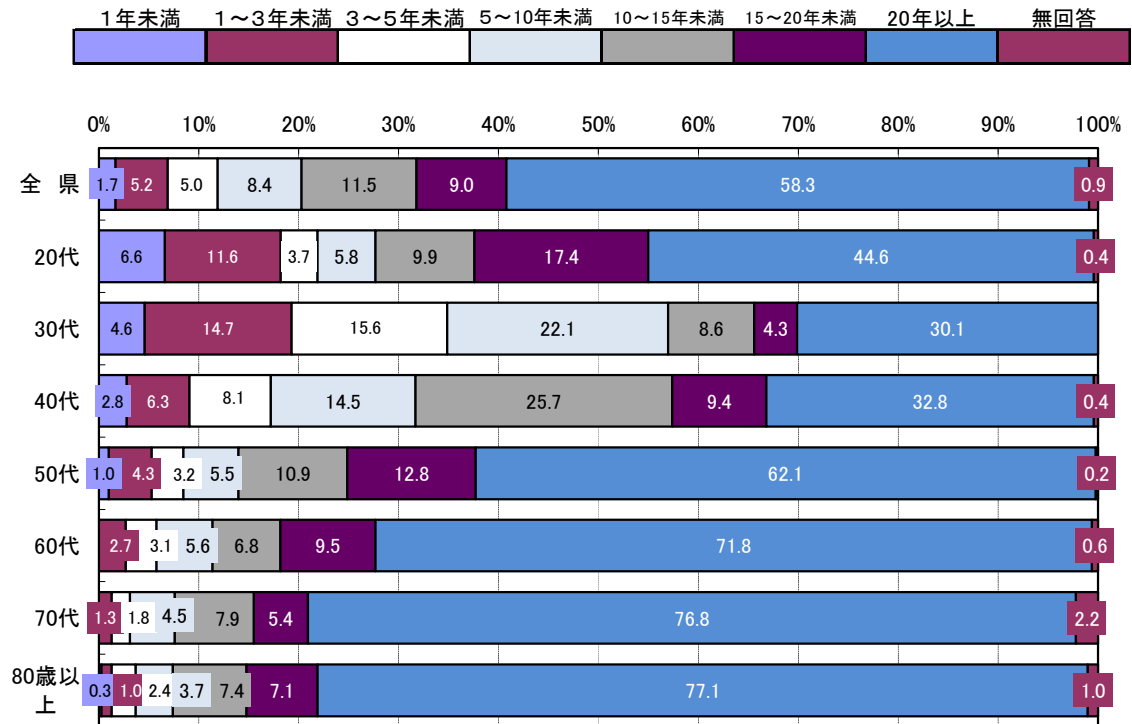
「20年以上」は、男性の方が女性より6.7ポイント高い。



居住年数

【年代別】

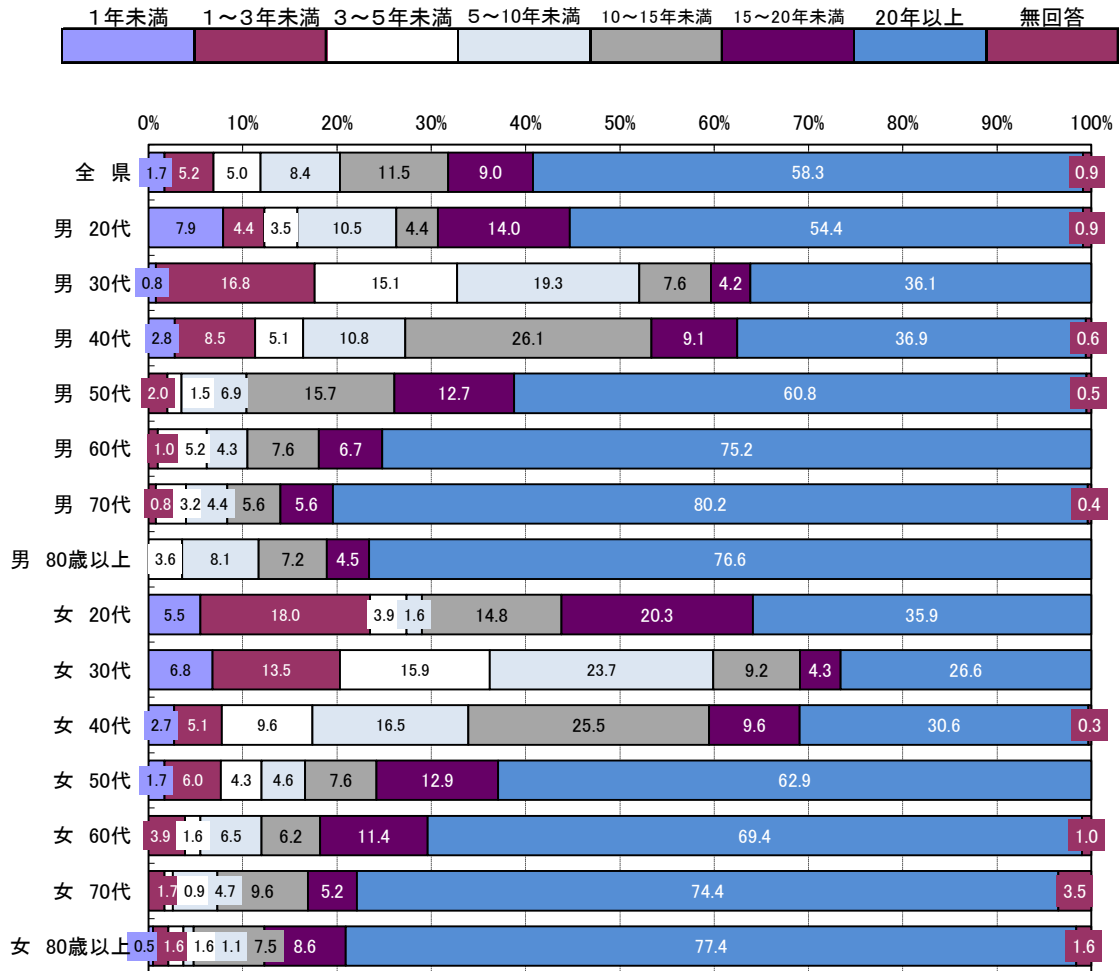
「20年以上」は80歳以上で最も高く、「1年未満」は20代で最も高い。



居住年数

【性・年代別】

「20年以上」は、男性は70代で最も高く、女性は80歳以上で最も高い。



問3-2 居住場所についての考え方

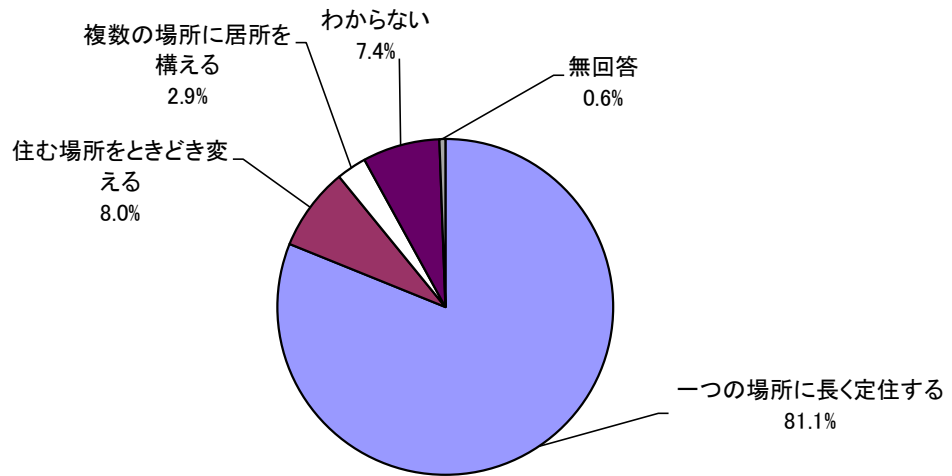
問3-2

住む場所について、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 一つの場所に長く定住する | 2 住む場所をときどき変える |
| 3 複数の場所に居所を構える | 4 わからない |

【全 県】

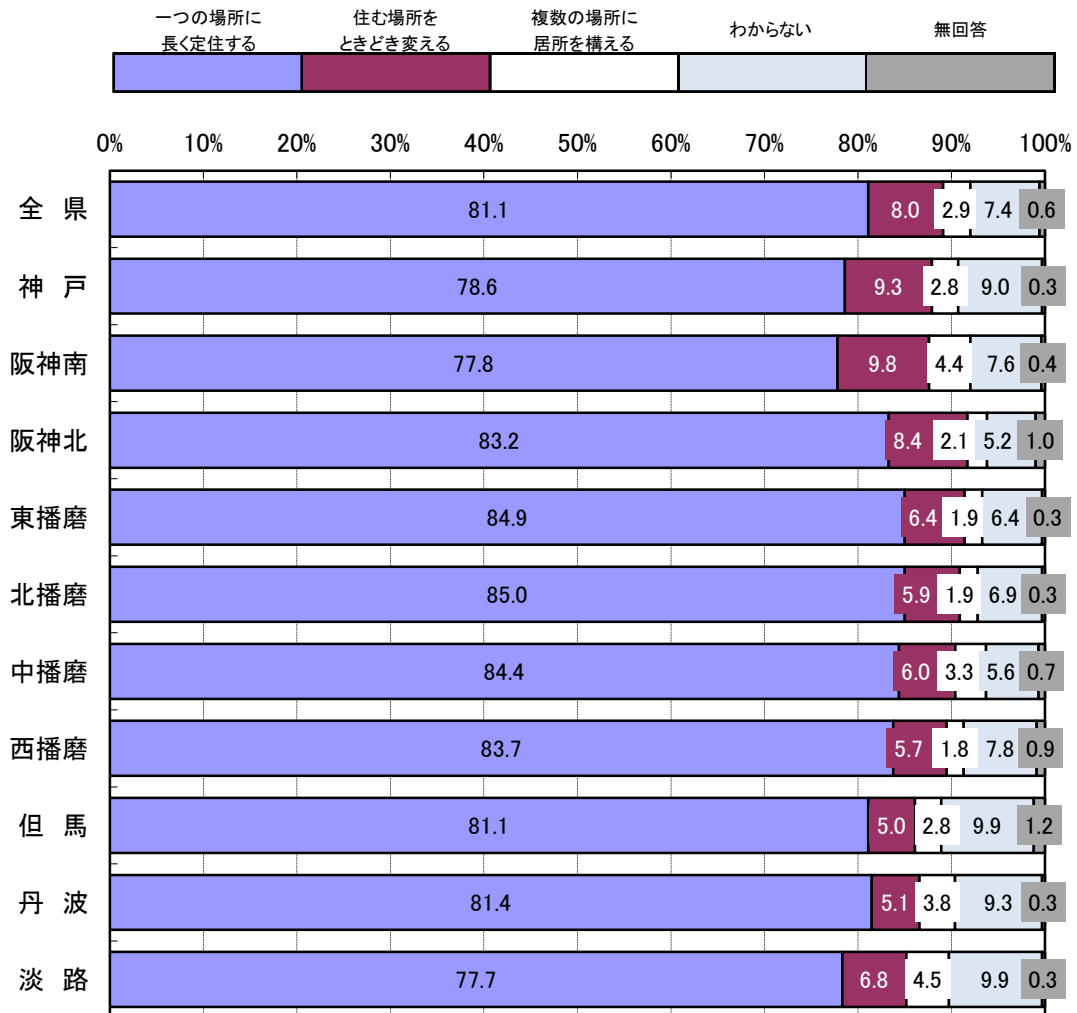
「一つの場所に長く定住する」が81.1%で最も高い。



居住場所についての考え方

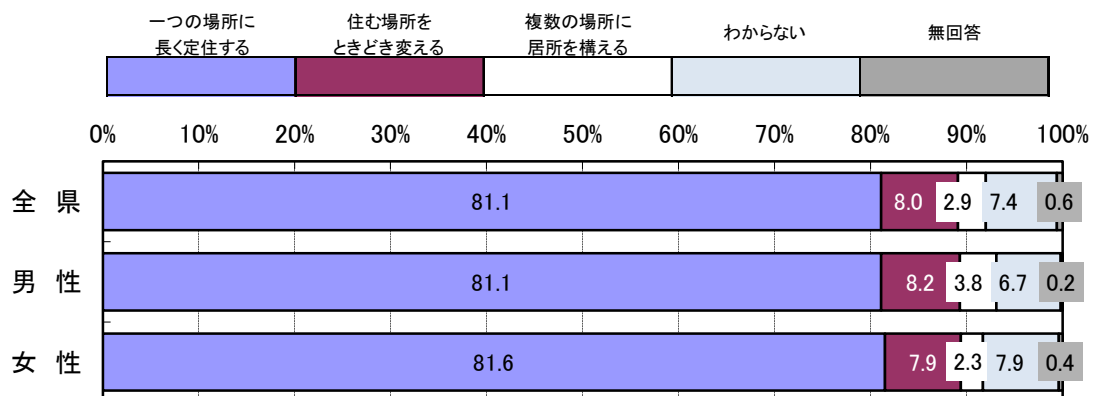
【地域別】

「一つの場所に長く定住する」は北播磨が最も高く、東播磨、中播磨が続いている。



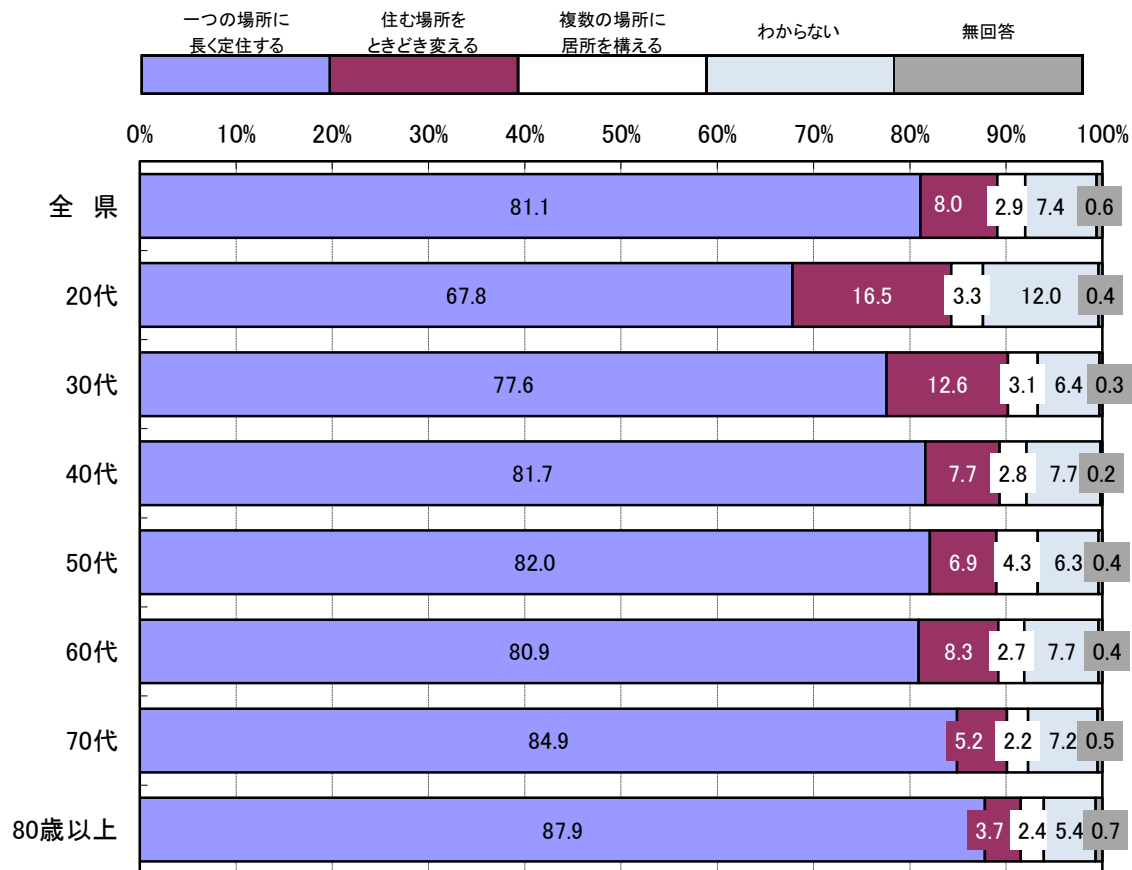
【性 別】

男女間で大きな差は見られない。



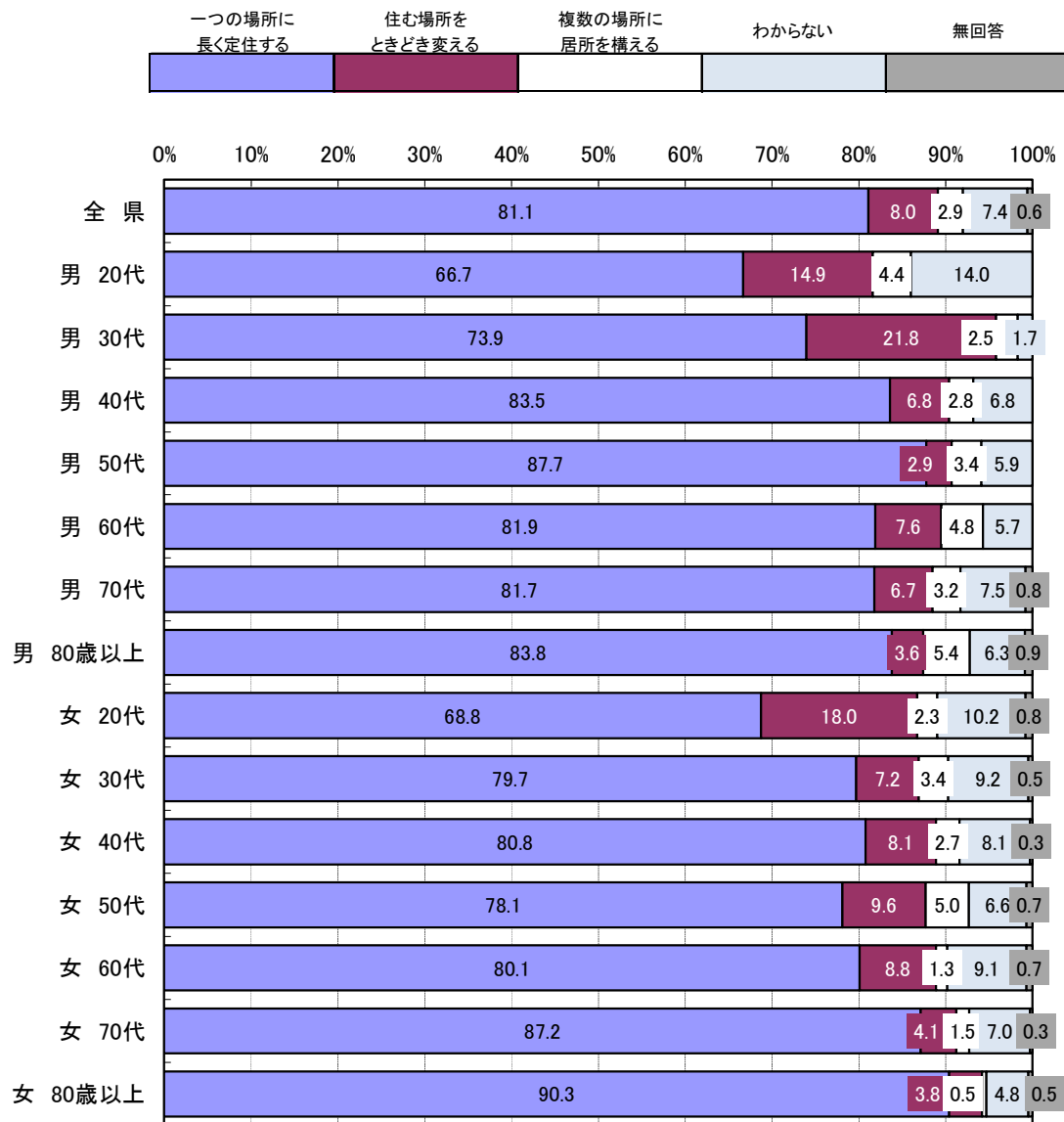
【年代別】

「一つの場所に長く定住する」は80歳以上で最も高く、20代・30代では「住む場所を時々どき変える」が1割を超えている。



【性・年代別】

「一つの場所に長く定住する」は80歳以上の女性で最も高く、「住む場所をときどき変える」は30代の男性で最も高い。



問3-3 居住したい場所

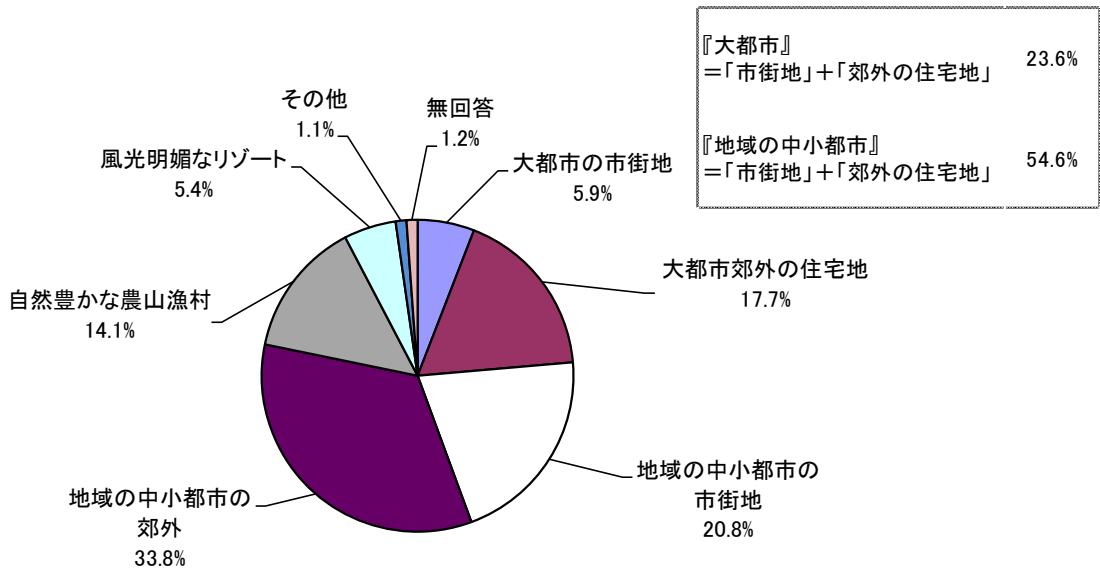
問3-3

あなたが暮らす場所を好きに選べるとしたら、どこに住みたいですか。次の中からあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 大都市の市街地
- 2 大都市郊外の住宅地
- 3 地域の中小都市の市街地
- 4 地域の中小都市の住宅地
- 5 自然豊かな農山漁村
- 6 風光明媚なリゾート地
- 7 その他

【全 県】

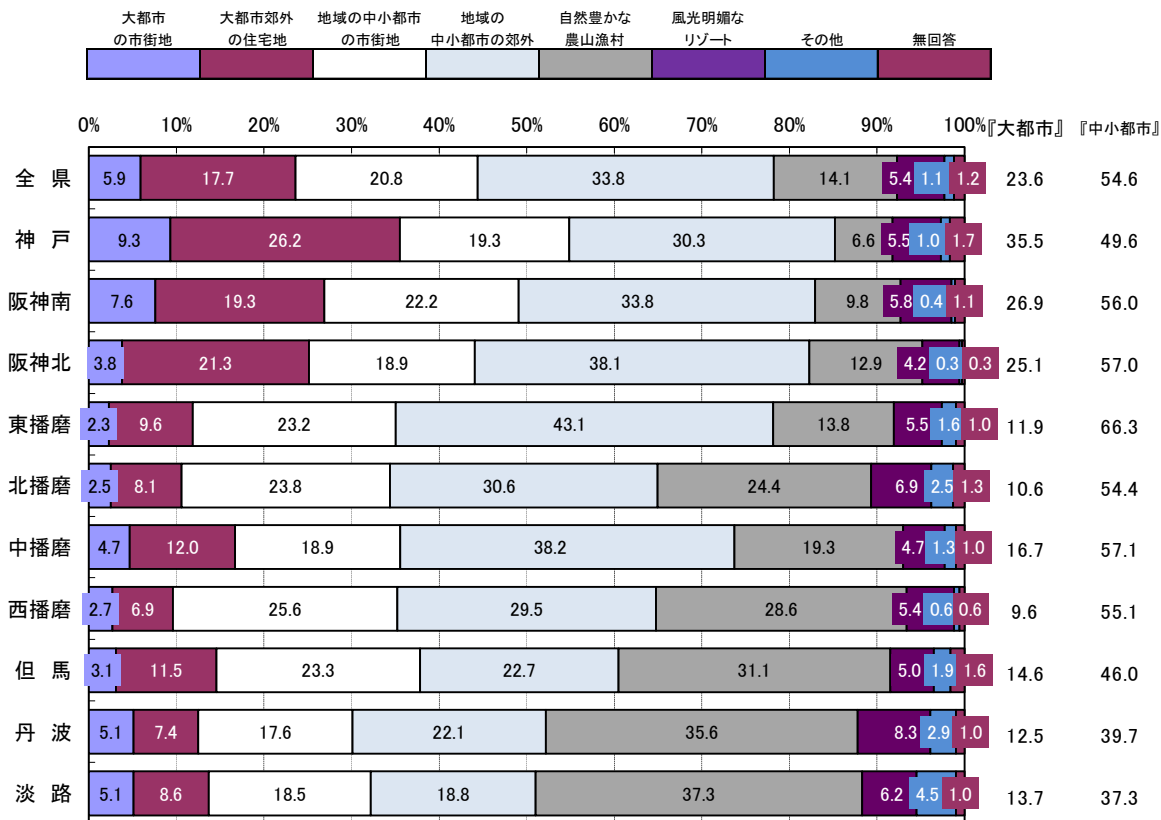
「大都市の市街地」と「大都市郊外の住宅地」とを合わせた『大都市』は23.6%、「地域の中小都市の市街地」と「地域の中小都市の住宅地」とを合わせた『地域の中小都市』は54.6%となった。



居住したい場所

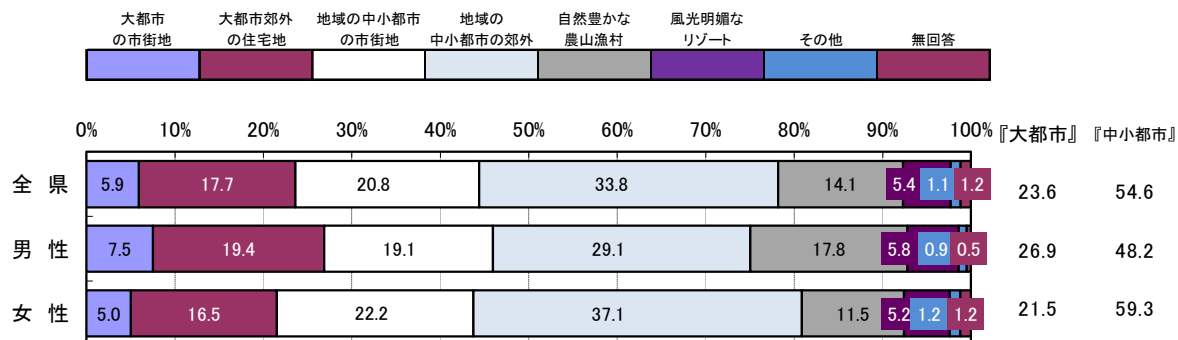
【地域別】

『大都市』は神戸が最も高く、『中小都市』は東播磨で最も高い。



【性別】

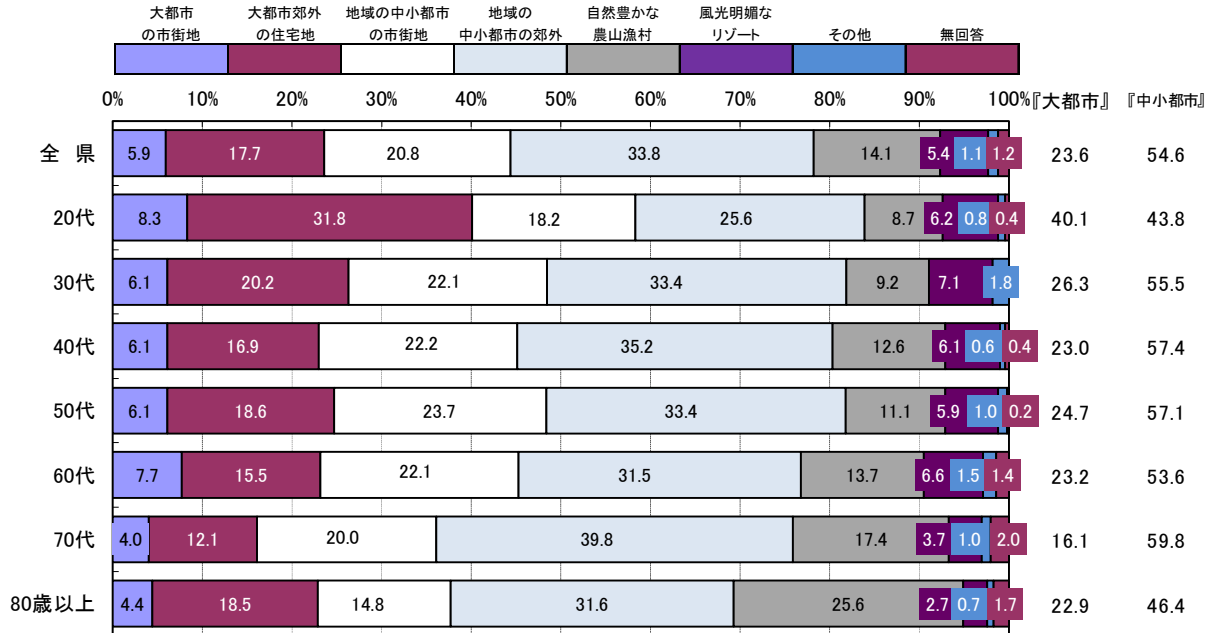
『大都市』は、男性の方が女性より5.4ポイント高く、『中小都市』は女性の方が男性より11.1ポイント高い。



居住したい場所

【年代別】

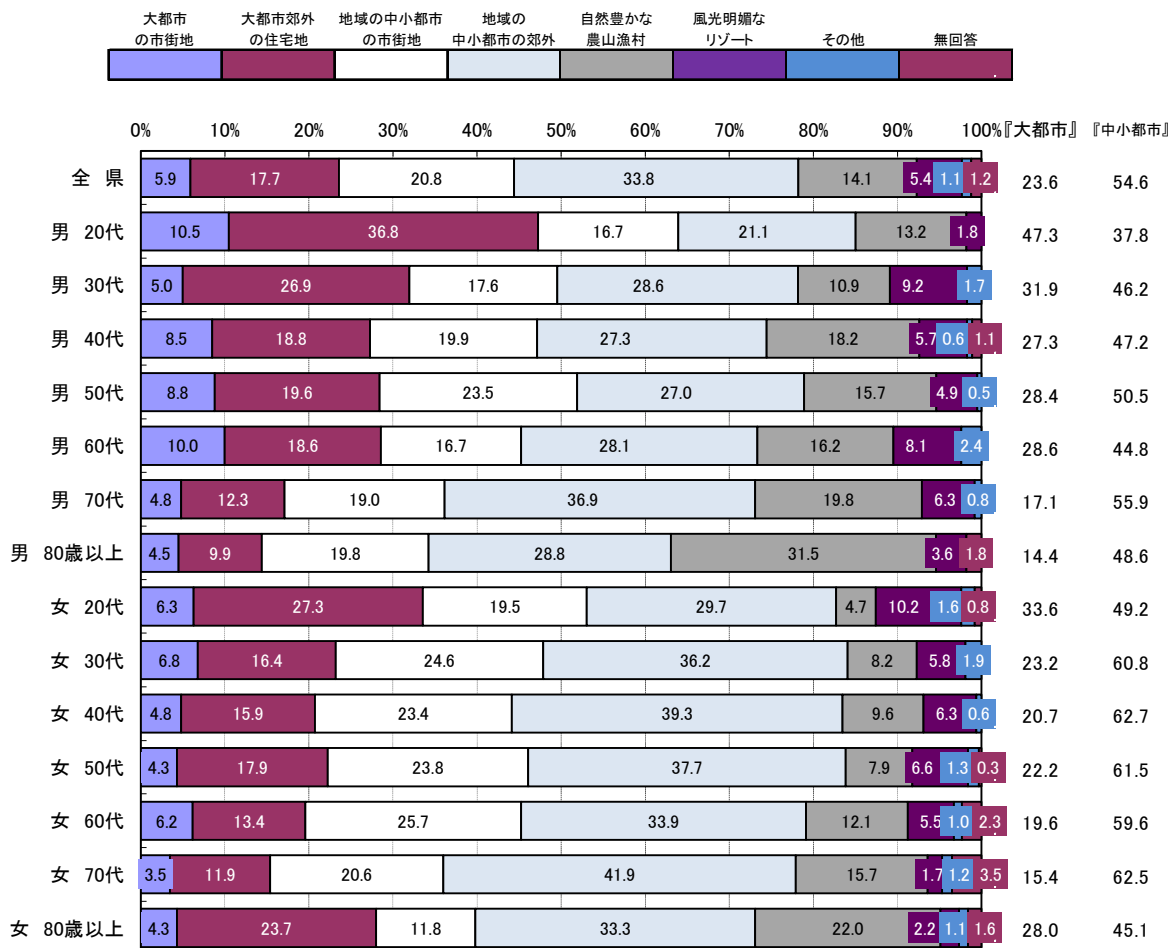
『大都市』は20代が最も高く、『中小都市』は70代で最も高い。



居住したい場所

【性・年代別】

『大都市』は男女ともに20代で最も高く、『中小都市』は、男性は70代、女性は40代で最も高い。



問3-4 居住地選定の視点

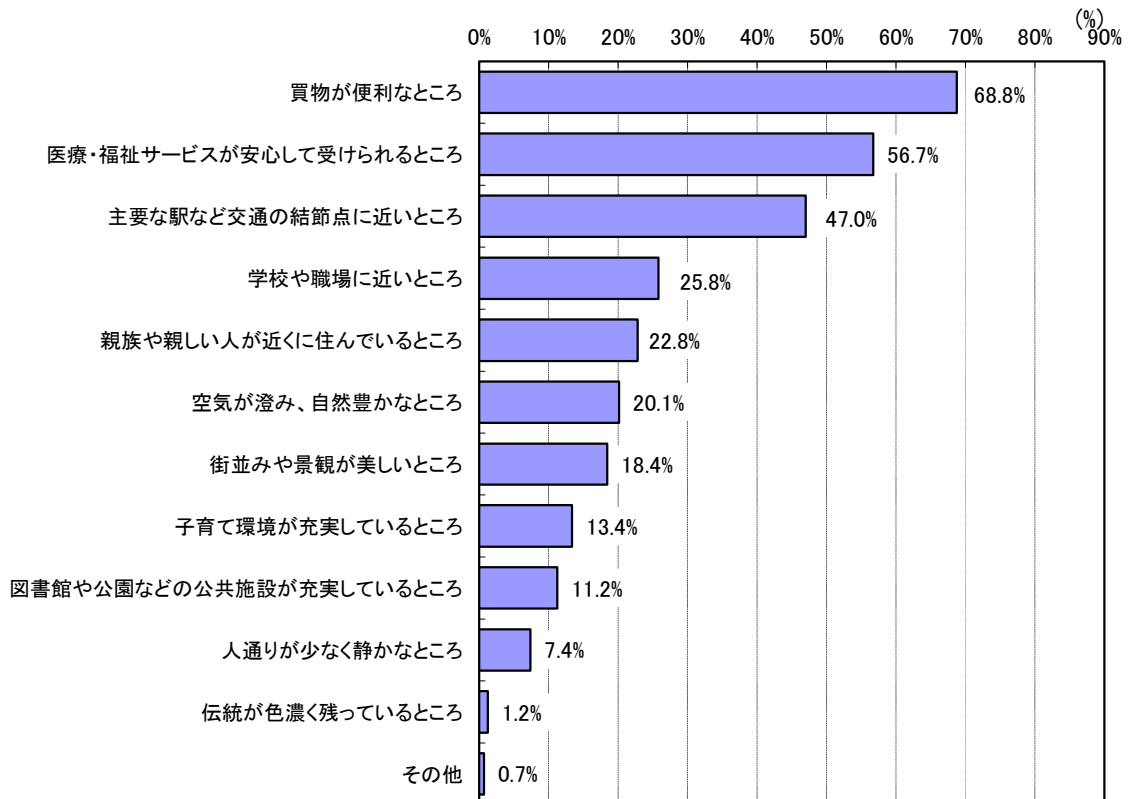
問3-4

あなたが暮らす場所を好きに選べるとしたら、どのようなところを重視しますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 学校や職場に近いところ
- 2 親族や親しい人が近くに住んでいるところ
- 3 主要な駅など交通の結節点に近いところ
- 4 買物が便利なところ
- 5 図書館や公園などの公共施設が充実しているところ
- 6 子育て環境が充実しているところ
- 7 医療・福祉サービスが安心して受けられるところ
- 8 人通りが少なく静かなところ
- 9 街並みや景観が美しいところ
- 10 伝統が色濃く残っているところ
- 11 空気が澄み、自然ゆたかなところ
- 12 その他

【全 県】

「買物が便利なところ」が最も高く、次いで「医療・福祉サービスが安心して受けられるところ」、「主要な駅など交通の結節点に近いところ」が続いている。



居住地選定の視点

【地域別】

「買物が便利なところ」は東播磨で最も高く、丹波を除く全ての地域で1位となっている。

「医療・福祉サービスが安心して受けられるところ」は丹波で最も高い。

区分	買物が便利なところ	医療・福祉サービスが安心して受けられるところ	主要な駅など交通の結節点に近いところ	学校や職場に近いところ	親族や親しい人がいるところ	自然豊かなところ	街並みや景観が美しいところ	子育て環境が充実しているところ	最大値	最小値	その他		
									図書館や公園などの公共施設が充実しているところ	大通りが少なく静かなところ			(%)
全 県	68.8	56.7	47.0	25.8	22.8	20.1	18.4	13.4	11.2	7.4	1.2	0.7	
地域別	神 戸	69.3	49.3	54.8	26.9	16.9	16.2	23.1	11.0	14.5	7.2	1.0	0.7
	阪神南	67.6	55.3	51.3	26.9	26.2	17.5	20.0	15.3	9.8	6.2	1.1	0.7
	阪神北	68.5	59.4	52.4	20.3	23.4	19.9	19.9	12.6	9.8	7.0	0.3	0.3
	東播磨	71.7	56.6	43.1	27.7	28.0	19.3	14.5	13.2	10.0	7.7	2.3	1.3
	北播磨	69.1	66.9	30.0	23.1	25.9	30.6	10.9	15.9	10.6	8.8	1.3	0.0
	中播磨	65.8	60.5	39.2	28.2	24.3	20.3	16.3	17.3	9.6	10.0	1.3	0.7
	西播磨	69.6	63.3	38.9	25.6	22.9	29.8	12.7	12.7	8.7	6.6	1.2	0.6
	但 馬	70.2	67.7	26.7	25.8	24.2	29.8	10.9	14.6	10.6	7.8	1.6	0.3
	丹 波	64.7	72.8	31.7	21.5	20.5	30.4	11.5	11.2	11.9	8.0	3.2	1.9
淡 路	68.5	65.8	27.7	25.0	22.6	34.2	13.0	12.3	13.0	5.1	2.4	0.7	
地域間の差	7.0	23.5	28.1	7.9	11.1	18.0	12.2	6.3	5.8	4.9	2.9	1.9	

居住地選定の視点

【性別】

「買物が便利なところ」は男女ともに1位となっており、女性の方が男性より8.0ポイント高い。

区分	買物が便利なところ	医療・福祉サービスが安心して受けられるところ	主要な駅など交通の結節点に近いところ	学校や職場に近いところ	親族や親しい人が近くに住んでいるところ	自然豊かなところ	空気が澄み、美しいところ	街並みや景観が美しいところ	子育て環境が充実しているところ	図書館や公園などの公共施設が充実しているところ	人通りが少なく静かなところ	伝統が色濃く残っているところ	その他	(%)
全 県	68.8	56.7	47.0	25.8	22.8	20.1	18.4	13.4	11.2	7.4	1.2	0.7		
性別	男性	63.9	54.7	50.5	29.4	16.1	21.1	20.1	13.5	12.1	9.5	1.4	1.0	
	女性	71.9	58.4	44.9	23.5	26.9	19.6	17.7	13.4	10.8	6.1	1.2	0.5	
性別間の差	8.0	3.7	5.6	5.9	10.8	1.5	2.4	0.1	1.3	3.4	0.2	0.5		

【年代別】

「買物が便利なところ」は80歳以上で最も高く、20~40代は「医療・福祉サービスが安心して受けられるところ」よりも「主要な駅など交通の結節点に近いところ」の方が高い。

区分	買物が便利なところ	医療・福祉サービスが安心して受けられるところ	主要な駅など交通の結節点に近いところ	学校や職場に近いところ	親族や親しい人が近くに住んでいるところ	自然豊かなところ	空気が澄み、美しいところ	街並みや景観が美しいところ	子育て環境が充実しているところ	図書館や公園などの公共施設が充実しているところ	人通りが少なく静かなところ	伝統が色濃く残っているところ	その他	最大値	最小値	(%)
全 県	68.8	56.7	47.0	25.8	22.8	20.1	18.4	13.4	11.2	7.4	1.2	0.7				
年代別	20代	59.5	24.8	53.7	46.7	30.2	16.9	15.3	22.3	7.9	13.2	0.8	0.8			
	30代	63.2	31.9	38.7	42.3	29.1	14.7	17.8	40.5	12.3	7.7	0.3	1.5			
	40代	66.8	39.9	43.6	37.9	24.6	18.1	19.3	22.6	9.4	9.8	3.9	0.8			
	50代	69.8	56.1	52.0	27.7	19.4	19.8	24.7	7.3	9.3	6.1	0.6	0.4			
	60代	70.4	70.2	48.9	18.4	18.2	20.9	17.8	4.8	15.3	4.8	1.2	1.2			
	70代	71.0	77.0	49.0	10.9	20.8	21.3	17.6	4.5	13.6	5.9	0.3	0.2			
	80歳以上	76.1	76.4	41.4	10.1	23.9	30.0	14.1	5.1	8.1	8.1	1.7	0.3			
年代間の差	16.6	52.2	15.0	36.6	12.0	15.3	10.6	36.0	7.4	8.4	3.6	1.3				

居住地選定の視点

【性・年代別】

70代・80歳以上の男性、60～70代の女性は「医療・福祉サービスが安心して受けられるところ」が1位となり、20代の男性は「主要な駅など交通の結節点に近いところ」が1位となっている。

区分		最大値											最小値	(%)
		買物が便利なところ	医療・福祉サービスが安心して受けられるところ	主要な駅など交通の結節点に近いところ	学校や職場に近いところ	親族や親しい人が住んでいるところ	空気が澄み、自然豊かなところ	街並みや景観が美しいところ	子育て環境が充実しているところ	図書館や公園などの公共施設が充実しているところ	人通りが少なく静かなところ	伝統が色濃く残っているところ	その他	
全 県		68.8	56.7	47.0	25.8	22.8	20.1	18.4	13.4	11.2	7.4	1.2	0.7	
男性・年代別	20代	53.5	27.2	59.6	48.2	28.9	19.3	18.4	18.4	7.9	18.4	0.9	0.0	
	30代	55.5	32.8	41.2	47.1	27.7	12.6	21.0	34.5	16.8	5.9	0.8	2.5	
	40代	64.2	35.8	46.6	40.3	12.5	19.9	23.9	23.3	10.2	11.4	5.7	1.1	
	50代	66.2	52.5	58.3	32.4	13.2	20.6	24.5	9.3	6.4	9.3	0.5	0.0	
	60代	71.4	67.6	49.0	24.3	10.5	21.4	18.1	7.6	14.8	6.7	1.0	2.4	
	70代	63.5	73.4	48.4	15.5	15.1	17.5	21.4	6.0	18.3	8.7	0.0	0.4	
	80歳以上	67.6	73.9	50.5	10.8	16.2	40.5	8.1	8.1	7.2	9.0	0.9	0.0	
男性・年代間の差		17.9	46.7	18.4	37.4	18.4	27.9	16.4	28.5	11.9	12.5	5.7	2.5	
女性・年代別	20代	64.8	22.7	48.4	45.3	31.3	14.8	12.5	25.8	7.8	8.6	0.8	1.6	
	30代	67.6	31.4	37.2	39.6	30.0	15.9	15.9	44.0	9.7	8.7	0.0	1.0	
	40代	68.2	42.0	42.0	36.6	30.9	17.1	16.8	22.2	9.0	9.0	3.0	0.6	
	50代	72.2	58.6	47.7	24.5	23.5	19.2	24.8	6.0	11.3	4.0	0.7	0.7	
	60代	69.7	72.0	48.9	14.3	23.5	20.5	17.6	2.9	15.6	3.6	1.3	0.3	
	70代	76.5	79.7	49.4	7.6	25.0	24.1	14.8	3.5	10.2	3.8	0.6	0.0	
	80歳以上	81.2	78.0	36.0	9.7	28.5	23.7	17.7	3.2	8.6	7.5	2.2	0.5	
女性・年代間の差		16.4	57.0	13.4	37.7	7.8	9.3	12.3	41.1	7.8	5.4	3.0	1.6	

2 「日々の暮らし」に関することについて

問4 日常生活における充実感

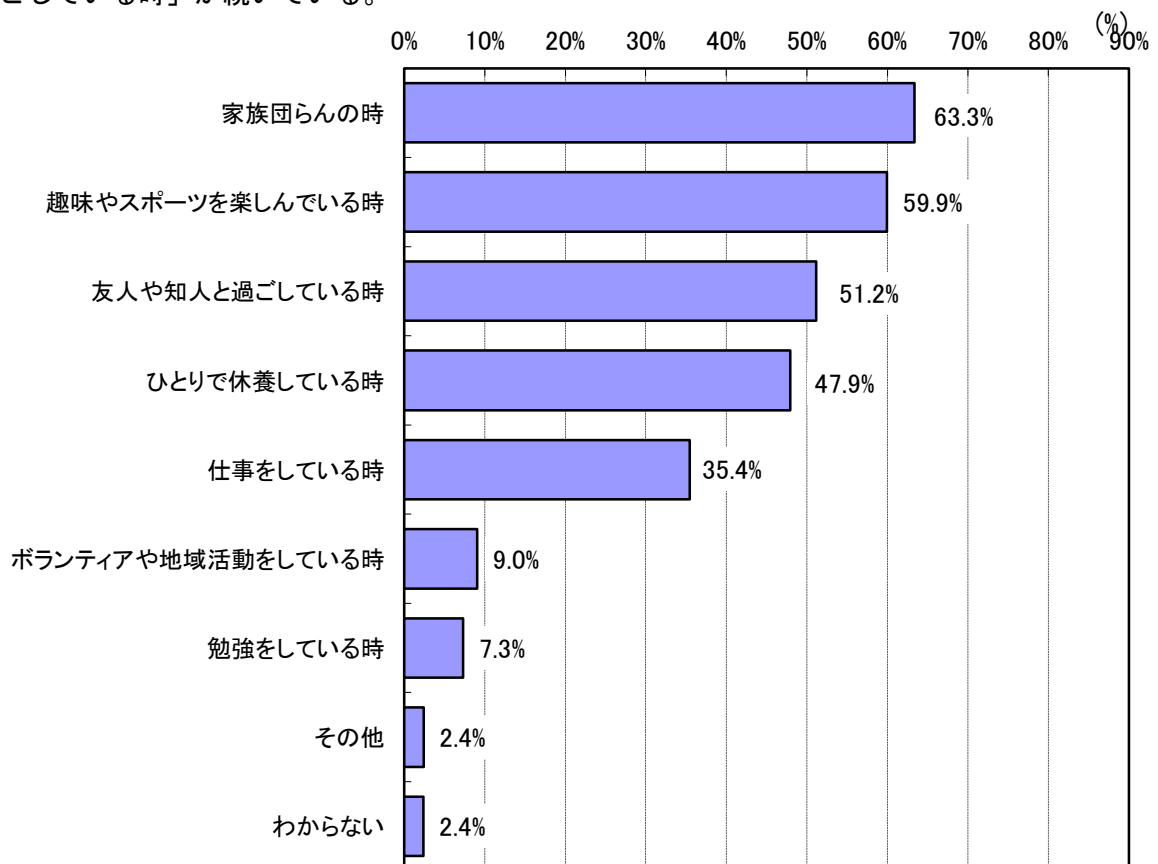
問4

あなたが、日常生活において充実感を感じるのは、主にどのような時ですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 仕事をしている時
- 2 勉強をしている時
- 3 趣味やスポーツを楽しんでいる時
- 4 ひとりで休養している時
- 5 家族団らんの時
- 6 友人や知人と過ごしている時
- 7 ボランティアや地域活動をしている時
- 8 その他
- 9 わからない

【全 県】

「家族団らんの時」が最も高く、「趣味やスポーツを楽しんでいる時」、「友人や知人と過ごしている時」が続いている。



【地域別】

「家族団らんの時」が全ての地域で最も高い。

区分		最大値					最小値			(%)
		家族団らんの時	趣味やスポーツを 楽しんでいる時	友人や知人と過ごしている時	ひとりで休養している時	仕事をしている時	ボランティアや 地域活動をしている時	勉強をしている時	その他	
全 県		63.3	59.9	51.2	47.9	35.4	9.0	7.3	2.4	2.4
地域別	神 戸	63.4	61.7	51.4	49.7	38.3	9.7	9.7	2.8	4.5
	阪神南	64.0	62.5	51.6	48.7	32.4	9.1	7.3	2.5	1.5
	阪神北	63.6	60.5	47.2	49.7	31.8	8.7	8.0	1.7	1.0
	東播磨	63.0	60.5	48.2	50.5	32.2	9.6	6.1	3.5	1.6
	北播磨	60.9	55.9	56.6	45.3	43.4	8.1	7.8	0.6	2.8
	中播磨	63.8	55.5	57.1	45.8	33.9	5.3	4.3	2.7	0.7
	西播磨	61.4	57.2	55.1	38.6	34.0	10.5	5.4	0.3	3.0
	但 馬	64.0	55.9	51.9	40.1	46.6	11.2	5.0	1.6	3.1
	丹 波	64.1	60.3	47.1	40.1	46.5	12.2	5.4	3.2	3.2
	淡 路	60.6	50.0	43.8	46.2	38.7	9.6	2.4	1.0	0.0
地域間の差		3.5	12.5	13.3	11.9	14.8	6.9	7.3	3.2	4.5

【性別】

男性では「趣味やスポーツを楽しんでいる時」が最も高く、「友人や知人と過ごしている時」で男女差が最も大きい（16.2ポイント差）。

(%)

区分		家族団らんの時	趣味やスポーツを楽しんでいる時	友人や知人と過ごしている時	ひとりでのんびりしている時	仕事をしている時	ボランティア活動をしている時	勉強をしている時	その他	わからない
全 県		63.3	59.9	51.2	47.9	35.4	9.0	7.3	2.4	2.4
性別	男 性	61.8	67.7	41.5	40.9	35.9	8.3	8.1	1.0	2.8
	女 性	64.4	55.4	57.7	52.7	35.1	9.6	6.9	3.4	2.1
性別間の差		2.6	12.3	16.2	11.8	0.8	1.3	1.2	2.4	0.7

【年代別】

「家族団らんの時」は30～50代・80歳以上で最も高く、「趣味やスポーツを楽しんでいる時」は20代・60～70代で最も高い。

最大値 最小値 (%)

区分		家族団らんの時	趣味やスポーツを楽しんでいる時	友人や知人と過ごしている時	ひとりでのんびりしている時	仕事をしている時	ボランティア活動をしている時	勉強をしている時	その他	わからない
全 県		63.3	59.9	51.2	47.9	35.4	9.0	7.3	2.4	2.4
年代別	20代	64.9	67.8	70.7	62.0	23.1	4.5	15.7	1.7	2.1
	30代	74.2	62.6	54.0	54.3	33.4	4.0	8.3	2.8	3.7
	40代	68.8	59.7	53.2	58.2	43.8	7.3	7.5	1.0	0.8
	50代	65.4	63.4	47.8	47.2	46.4	4.5	5.9	3.4	0.6
	60代	60.0	60.2	42.9	42.2	41.0	10.1	8.1	1.2	4.3
	70代	58.4	58.9	48.8	39.8	25.2	17.4	3.4	4.4	2.3
	80歳以上	53.5	49.8	53.2	39.4	26.3	10.8	9.1	1.3	4.0
年代間の差		20.7	18.0	27.8	22.6	23.3	13.4	12.3	3.4	3.7

【性・年代別】

女性は 80 歳以上を除く全ての世代で「家族団らんの時」が 1 位となっている。男性は、30～70 代で「趣味やスポーツを楽しんでいる時」が 1 位となっている。

区分		最大値										最小値										(%)
		家族団らんの時	趣味やスポーツを楽しんでいる時	友人や知人と過ごしている時	ひとりで休養している時	仕事をしている時	地域活動をしている時	ボランティアや勉強をしている時	その他	わからない												
全 県		63.3	59.9	51.2	47.9	35.4	9.0	7.3	2.4	2.4												
男性・年代別	20代	61.4	76.3	77.2	60.5	25.4	6.1	15.8	0.0	1.8												
	30代	68.1	69.7	42.0	50.4	31.1	4.2	13.4	2.5	2.5												
	40代	64.2	66.5	36.9	43.8	38.1	3.4	5.1	0.6	0.0												
	50代	59.8	71.6	37.3	38.7	45.1	3.4	4.9	1.0	1.5												
	60代	61.4	67.6	29.5	33.8	47.6	9.0	10.5	0.5	4.8												
	70代	61.1	66.7	42.5	35.7	27.8	16.3	5.2	1.6	4.0												
	80歳以上	59.5	55.9	40.5	36.0	27.0	13.5	8.1	0.0	4.5												
男性・年代間の差		8.6	20.4	47.7	26.7	22.2	12.9	10.9	2.5	4.8												
女性・年代別	20代	68.0	60.2	64.8	63.3	21.1	3.1	15.6	3.1	2.3												
	30代	77.8	58.5	60.9	56.5	34.8	3.9	5.3	2.9	4.3												
	40代	71.2	56.2	61.9	65.8	46.8	9.3	8.7	1.2	1.2												
	50代	69.2	57.9	55.0	53.0	47.4	5.3	6.6	5.0	0.0												
	60代	59.0	55.0	52.1	47.9	36.5	10.7	6.5	1.6	3.9												
	70代	56.4	53.2	53.5	42.7	23.3	18.3	2.0	6.4	1.2												
	80歳以上	50.0	46.2	60.8	41.4	25.8	9.1	9.7	2.2	3.8												
女性・年代間の差		27.8	14.0	12.7	24.4	26.3	15.2	13.6	5.2	4.3												

問5-1 理想の同居者

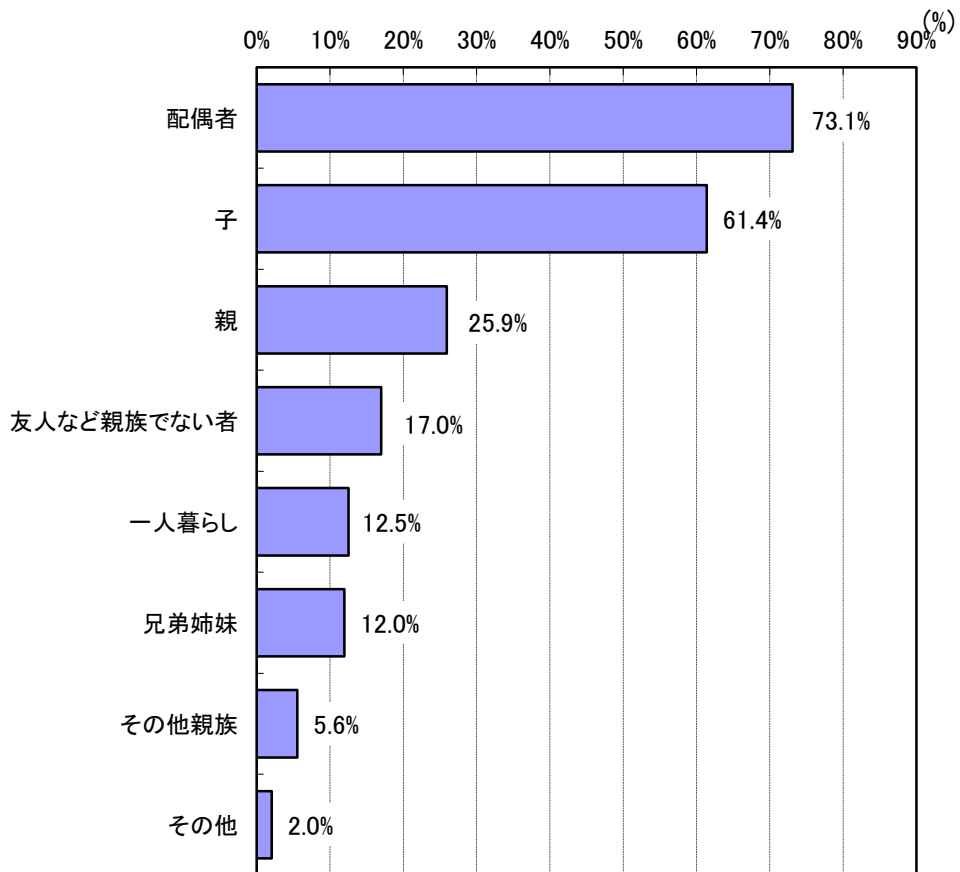
問5-1

日々の暮らしを誰と過ごすのが理想ですか、次の中からあてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|---------|---------|--------------|
| 1 配偶者 | 2 子 | 3 親 |
| 4 兄弟姉妹 | 5 その他親族 | 6 友人など親族でない者 |
| 7 一人暮らし | 8 その他 | |

【全 県】

「配偶者」が最も高く、「子」、「親」が続いている。



理想の同居者

【地域別】

全ての地域で「配偶者」が最も高い。

区分		最大値									最小値									(%)
		配偶者	子	親	友人など親族でない者	一人暮らし	兄弟姉妹	その他親族	その他	配偶者	子	親	友人など親族でない者	一人暮らし	兄弟姉妹	その他親族	その他			
全 県		73.1	61.4	25.9	17.0	12.5	12.0	5.6	2.0											
地域別	神 戸	74.5	60.3	28.6	18.6	13.8	13.1	5.5	1.4											
	阪神南	69.5	58.9	25.5	14.9	14.5	13.1	5.8	2.2											
	阪神北	73.4	62.9	25.2	19.9	11.2	10.8	5.6	2.1											
	東播磨	71.4	61.1	23.2	17.0	11.9	10.6	5.5	3.9											
	北播磨	77.5	62.8	27.5	17.8	10.3	12.5	6.6	2.2											
	中播磨	71.8	64.5	22.9	16.9	11.6	9.0	4.7	2.0											
	西播磨	76.2	62.7	26.8	11.4	10.2	12.3	6.0	0.9											
	但 馬	78.3	65.2	28.0	13.7	10.2	12.7	4.0	2.2											
	丹 波	78.2	64.7	25.3	15.4	7.1	11.9	6.4	1.0											
	淡 路	75.0	60.3	24.7	12.0	12.0	13.7	6.2	1.0											
地域間の差		8.8	6.3	5.7	8.5	7.4	4.7	2.6	3.0											

理想の同居者

【性別】

男女ともに「配偶者」が最も高いが、男性の方が女性より11.7ポイント高く、男女差が最も大きい。

(%)

区分		配偶者	子	親	親友 族で ない 者	一 人 暮 ら し	兄 弟 姉 妹	そ の 他 親 族	そ の 他
全 県		73.1	61.4	25.9	17.0	12.5	12.0	5.6	2.0
性別	男 性	80.4	57.1	24.8	16.8	12.1	8.8	5.6	1.5
	女 性	68.7	64.7	27.1	17.2	13.0	13.9	5.6	2.4
性別間の差		11.7	7.6	2.3	0.4	0.9	5.1	0.0	0.9

【年代別】

全ての世代で「配偶者」が最も高い。

(%)

区分		配偶者	子	親	親友 族で ない 者	一 人 暮 ら し	兄 弟 姉 妹	そ の 他 親 族	そ の 他
全 県		73.1	61.4	25.9	17.0	12.5	12.0	5.6	2.0
年代別	20代	52.5	42.6	63.6	33.5	20.2	31.0	10.3	4.1
	30代	78.2	73.3	39.0	23.6	8.9	16.3	5.2	1.5
	40代	73.9	73.5	37.5	20.8	10.8	11.0	4.9	1.4
	50代	78.9	65.0	30.8	12.6	9.9	5.7	1.6	3.6
	60代	74.1	60.0	15.3	13.0	14.9	9.9	6.2	1.2
	70代	74.3	53.0	7.9	13.9	13.4	10.6	6.4	1.0
	80歳以上	71.0	58.9	9.1	10.4	12.8	10.4	7.7	3.0
年代間の差		26.4	30.9	55.7	23.1	11.3	25.3	8.7	3.1

理想の同居者

【性・年代別】

20代の男女は「親」が、40代・80歳以上の女性は「子」が1位となっている。

区分		最大値							最小値	(%)
		配偶者	子	親	友人など親族でない者	一人暮らし	兄弟姉妹	その他親族	その他	
全 県		73.1	61.4	25.9	17.0	12.5	12.0	5.6	2.0	
男性・年代別	20代	50.9	36.8	63.2	44.7	25.4	29.8	11.4	0.9	
	30代	84.0	73.1	35.3	19.3	12.6	9.2	5.0	0.0	
	40代	77.8	72.2	29.0	17.6	10.2	5.7	4.0	1.7	
	50代	83.8	65.2	30.9	10.8	9.3	3.4	1.5	4.4	
	60代	84.8	55.2	15.7	11.4	11.9	3.8	5.7	1.4	
	70代	82.9	46.8	9.5	14.3	9.5	9.1	8.7	0.4	
	80歳以上	89.2	51.4	9.0	9.9	13.5	11.7	3.6	0.9	
男性・年代間の差		38.3	36.3	54.2	34.8	16.1	26.4	9.9	4.4	
女性・年代別	20代	53.9	47.7	64.1	23.4	15.6	32.0	9.4	7.0	
	30代	74.9	73.4	41.1	26.1	6.8	20.3	5.3	2.4	
	40代	71.8	74.2	42.0	22.5	11.1	13.8	5.4	1.2	
	50代	75.5	64.9	30.8	13.9	10.3	7.3	1.7	3.0	
	60代	66.8	63.2	15.0	14.0	16.9	14.0	6.5	1.0	
	70代	68.0	57.6	6.7	13.7	16.3	11.6	4.7	1.5	
	80歳以上	60.2	63.4	9.1	10.8	12.4	9.7	10.2	4.3	
女性・年代間の差		21.6	26.5	57.4	15.3	10.1	24.7	8.5	6.0	

問5-2 同居者に求めること

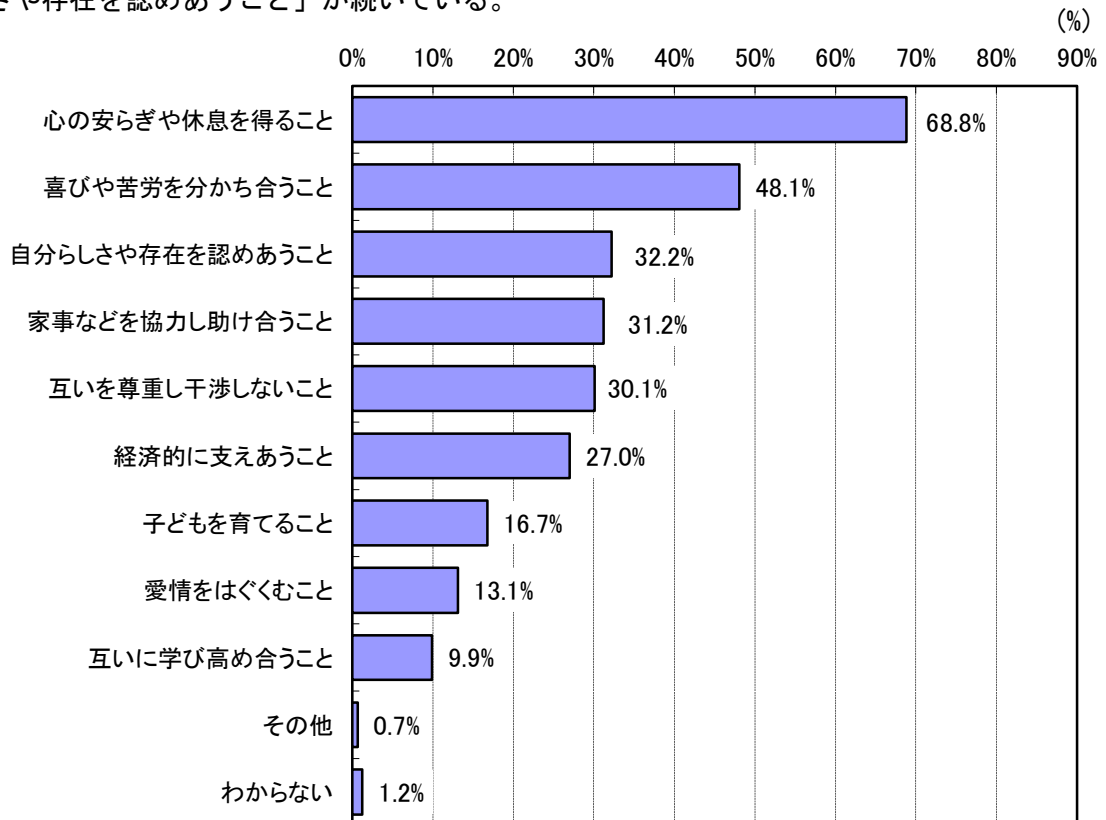
問5-2

人と一緒に暮らすことに対して求めることは何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 心の安らぎや休息を得ること
- 2 愛情をはぐくむこと
- 3 子どもを育てること
- 4 喜びや苦勞を分かち合うこと
- 5 互いに学び高め合うこと
- 6 自分らしさや存在を認めあうこと
- 7 経済的に支えあうこと
- 8 家事などを協力し助け合うこと
- 9 互いを尊重し干渉しないこと
- 10 その他
- 11 わからない

【全 県】

「心の安らぎや休息を得ること」が最も高く、「喜びや苦勞を分かち合うこと」、「自分らしさや存在を認めあうこと」が続いている。



同居者に求めること

【地域別】

全ての地域で「心の安らぎや休息を得ること」が最も高い。

区分	心の安らぎや休息を得ること	喜びや苦勞を分かち合うこと	自分らしさや存在を認めあうこと	家事などを協力し助け合うこと	互いを尊重し干渉しないこと	経済的に支えあうこと	子どもを育てること	愛情をはぐくむこと	最大値	最小値	わからない	
									互いに学び高め合うこと	その他		(%)
全 県	68.8	48.1	32.2	31.2	30.1	27.0	16.7	13.1	9.9	0.7	1.2	
地域別	神 戸	69.3	44.1	32.8	30.3	29.3	25.9	16.9	11.0	10.7	1.0	1.4
	阪神南	70.9	49.1	26.9	28.4	27.6	30.2	19.3	17.8	9.8	0.7	1.5
	阪神北	71.0	53.1	39.5	32.5	32.5	24.1	16.4	12.6	8.0	0.0	0.7
	東播磨	69.1	49.8	33.4	31.5	26.0	25.4	16.4	12.9	13.8	1.0	0.6
	北播磨	66.3	51.3	31.3	33.4	33.8	29.4	14.1	10.9	8.8	0.6	1.9
	中播磨	68.4	42.5	32.9	34.6	35.2	26.2	15.0	14.3	8.0	0.3	1.3
	西播磨	64.2	51.2	26.2	34.9	32.2	30.1	13.6	10.5	6.6	0.3	2.1
	但 馬	63.0	50.6	28.6	28.6	30.7	29.2	20.8	13.0	7.5	0.3	1.2
	丹 波	60.6	47.4	34.6	31.4	35.3	28.2	16.0	11.5	13.5	0.0	1.0
	淡 路	61.6	56.2	30.5	31.2	30.5	30.1	13.0	9.2	8.2	1.4	1.4
地域間の差	10.4	13.7	13.3	6.5	9.3	6.1	7.8	8.6	7.2	1.4	1.5	

【性別】

「家事などを協力し助け合うこと」で男女差が最も大きい（6.6ポイント差）

（%）

区分		心の安らぎや休息を得ること	喜びや苦勞を分かち合うこと	自分らしさや存在を認めあうこと	家事などを協力し助け合うこと	互いを尊重し干渉しないこと	経済的に支えあうこと	子どもを育てること	愛情をはぐくむこと	互いに学び高め合うこと	その他	わからない
全 県		68.8	48.1	32.2	31.2	30.1	27.0	16.7	13.1	9.9	0.7	1.2
性別	男 性	72.5	47.9	30.5	27.2	29.1	25.5	18.6	14.2	9.6	0.5	2.1
	女 性	67.1	47.9	33.9	33.8	30.9	28.0	15.4	12.6	10.2	0.8	0.7
性別間の差		5.4	0.0	3.4	6.6	1.8	2.5	3.2	1.6	0.6	0.3	1.4

【年代別】

全ての世代で「心の安らぎや休息を得ること」が最も高い。

区分		心の安らぎや休息を得ること	喜びや苦勞を分かち合うこと	自分らしさや存在を認めあうこと	家事などを協力し助け合うこと	互いを尊重し干渉しないこと	経済的に支えあうこと	子どもを育てること	愛情をはぐくむこと	互いに学び高め合うこと	その他	わからない
全 県		68.8	48.1	32.2	31.2	30.1	27.0	16.7	13.1	9.9	0.7	1.2
年代別	20代	80.6	41.7	33.5	33.1	26.0	21.1	25.2	17.4	10.7	0.8	1.7
	30代	70.2	53.1	27.0	30.1	18.7	21.2	27.9	30.7	8.9	2.5	0.6
	40代	75.8	43.6	32.8	28.9	18.5	22.6	21.0	29.9	11.6	0.0	0.8
	50代	74.7	53.4	32.6	30.2	23.7	31.2	17.8	9.1	8.3	0.0	0.2
	60代	66.0	45.8	34.0	26.5	38.7	30.6	13.3	6.0	7.9	0.2	2.5
	70代	59.6	48.5	35.4	32.6	41.3	27.5	9.7	2.7	12.6	1.2	1.8
	80歳以上	62.6	47.5	27.6	41.4	38.7	31.3	9.4	2.7	9.1	0.7	0.7
年代間の差		21.0	11.7	8.4	14.9	22.8	10.2	18.5	28.0	4.7	2.5	2.3

同居者に求めること

【性・年代別】

全ての性・年代で「心の安らぎや休息を得ること」が最も高い。

区分		最大値											最小値	(%)
		心の安らぎや休息を得ること	喜びや苦勞を分かち合うこと	自分らしさや存在を認めあうこと	家事などを協力し助け合うこと	互いを尊重し干渉しないこと	経済的に支えあうこと	子どもを育てること	愛情をはぐくむこと	互いに学び高め合うこと	その他	わからない		
全 県		68.8	48.1	32.2	31.2	30.1	27.0	16.7	13.1	9.9	0.7	1.2		
男性・年代別	20代	79.8	49.1	29.8	28.9	30.7	21.9	25.4	12.3	11.4	0.9	2.6		
	30代	75.6	42.9	30.3	25.2	17.6	22.7	31.9	33.6	5.9	0.0	0.0		
	40代	80.1	39.2	25.0	21.0	16.5	23.3	21.0	34.7	16.5	0.0	1.1		
	50代	75.0	53.9	29.4	26.0	25.5	28.9	18.1	15.2	9.3	0.0	0.0		
	60代	67.6	48.1	32.9	24.3	33.8	28.1	18.1	5.2	5.7	0.0	4.3		
	70代	68.3	51.6	34.1	28.6	34.9	19.8	11.9	4.4	10.7	1.2	3.2		
	80歳以上	64.0	48.6	27.0	43.2	41.4	37.8	10.8	0.9	7.2	0.0	0.9		
男性・年代間の差		16.1	14.7	9.1	22.2	24.9	18.0	21.1	33.8	10.8	1.2	4.3		
女性・年代別	20代	81.3	35.2	36.7	36.7	21.9	20.3	25.0	21.9	10.2	0.8	0.8		
	30代	67.1	58.9	25.1	32.9	19.3	20.3	25.6	29.0	10.6	3.9	1.0		
	40代	73.6	45.9	36.9	33.0	19.5	22.2	21.0	27.3	9.0	0.0	0.6		
	50代	74.5	53.0	34.8	33.1	22.5	32.8	17.5	5.0	7.6	0.0	0.3		
	60代	64.8	44.3	34.9	28.0	42.0	32.2	10.1	6.5	9.4	0.3	1.3		
	70代	53.2	46.2	36.3	35.5	45.9	33.1	8.1	1.5	14.0	1.2	0.9		
	80歳以上	61.8	46.8	28.0	40.3	37.1	27.4	8.6	3.8	10.2	1.1	0.5		
女性・年代間の差		28.1	23.7	11.8	12.3	26.6	12.8	17.5	27.5	6.4	3.9	1.0		

問6-1 理想的な仕事

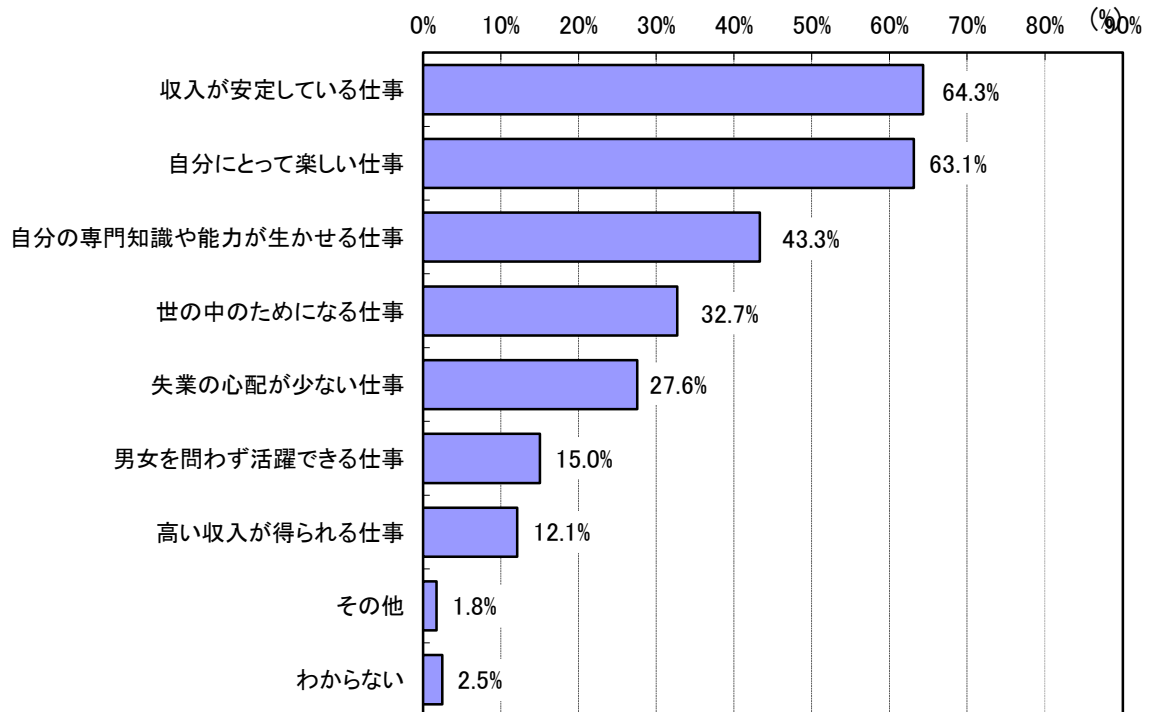
問6-1

あなたにとってどのような仕事が理想的ですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 世の中のためになる仕事
- 2 自分の専門知識や能力が活かせる仕事
- 3 自分にとって楽しい仕事
- 4 男女を問わず活躍できる仕事
- 5 失業の心配が少ない仕事
- 6 収入が安定している仕事
- 7 高い収入が得られる仕事
- 8 その他
- 9 わからない

【全 県】

「収入が安定している仕事」が最も高く、「自分にとって楽しい仕事」、「自分の専門知識や能力が活かせる仕事」が続いている。



理想的な仕事

【地域別】

神戸・阪神北以外の地域では「収入が安定している仕事」が最も高く、神戸・阪神北は「自分にとって楽しい仕事」が最も高い。

区分	収入が安定している仕事	自分にとって楽しい仕事	自分の専門知識や能力が 生かせる仕事	世の中のためになる仕事	失業の心配が少ない仕事	最大値	最小値	その他		わからない
						男女を問わず活躍できる仕事	高い収入が得られる仕事			
全 県	64.3	63.1	43.3	32.7	27.6	15.0	12.1	1.8	2.5	
地域別	神 戸	60.3	62.4	44.5	34.1	27.9	13.1	10.0	1.7	3.1
	阪神南	65.1	61.1	38.2	34.2	31.3	15.3	14.5	1.8	3.3
	阪神北	63.3	65.4	49.0	34.6	21.3	15.4	10.8	3.1	2.8
	東播磨	66.2	64.0	43.4	32.2	27.3	14.8	14.1	1.6	0.6
	北播磨	66.9	64.7	43.1	32.5	30.6	15.6	10.6	1.3	3.4
	中播磨	69.1	63.8	41.5	28.6	28.6	16.9	14.0	1.0	2.3
	西播磨	67.5	64.2	44.3	28.3	28.9	16.9	9.9	1.2	0.0
	但 馬	67.1	61.8	46.9	28.0	26.7	16.8	10.6	1.2	0.6
	丹 波	66.0	65.7	40.4	29.8	23.4	18.9	13.5	2.9	2.9
	淡 路	64.4	62.7	41.4	32.2	24.3	16.4	14.4	0.7	2.1
地域間の差	8.8	4.6	10.8	6.6	10.0	5.8	4.6	2.4	3.4	

理想的な仕事

【性別】

「世の中のためになる仕事」は男性の方が女性より 11.5 ポイント高い。また、「男女を問わず活躍できる仕事」は女性の方が男性より 10.6 ポイント高く、男女間の差が大きい。

区分		収入が安定している仕事	自分にとって楽しい仕事	能力が生かせる仕事	自分の専門知識や	世の中のためになる仕事	失業の心配が少ない仕事	男女を問わず活躍できる仕事	高い収入が得られる仕事	その他	わからない
全 県		64.3	63.1	43.3	32.7	27.6	15.0	12.1	1.8	2.5	
性別	男 性	64.1	62.7	46.2	39.6	25.7	8.7	16.3	1.7	1.9	
	女 性	65.1	63.7	41.7	28.1	29.1	19.3	9.5	1.9	2.8	
性別間の差		1.0	1.0	4.5	11.5	3.4	10.6	6.8	0.2	0.9	

【年代別】

20・30代は「自分にとって楽しい仕事」が1位となっている。

区分		収入が安定している仕事	自分にとって楽しい仕事	能力が生かせる仕事	自分の専門知識や	世の中のためになる仕事	失業の心配が少ない仕事	男女を問わず活躍できる仕事	高い収入が得られる仕事	その他	わからない
全 県		64.3	63.1	43.3	32.7	27.6	15.0	12.1	1.8	2.5	
年代別	20代	64.9	70.7	40.1	29.8	28.1	10.3	25.6	2.1	0.0	
	30代	62.6	76.1	42.6	29.1	31.9	17.2	18.7	2.1	1.2	
	40代	69.7	65.8	46.0	32.6	28.3	14.9	16.3	1.8	0.2	
	50代	69.2	64.0	48.4	38.7	27.7	13.8	15.4	0.6	0.0	
	60代	65.0	62.1	46.2	36.0	25.5	12.2	8.9	0.2	2.5	
	70代	62.4	57.6	39.6	27.0	27.9	17.3	5.0	2.9	4.5	
	80歳以上	54.5	50.8	37.7	33.7	25.3	20.2	1.7	4.0	8.8	
年代間の差		15.2	25.3	10.7	11.7	6.6	9.9	23.9	3.8	8.8	

理想的な仕事

【性・年代別】

20・30代の男女と60代の男性、40代の女性は「自分にとって楽しい仕事」が1位となっている。

区分		最大値										最小値										(%)	
		収入が安定している仕事	自分にとって楽しい仕事	生かせる仕事	自分の専門知識や能力が	世の中のためになる仕事	失業の心配が少ない仕事	男女を問わず活躍できる仕事	高い収入が得られる仕事	その他	わからない												
全 県		64.3	63.1	43.3	32.7	27.6	15.0	12.1	1.8	2.5													
男性・年代別	20代	56.1	64.9	50.0	34.2	28.9	5.3	31.6	0.0	0.0													
	30代	63.0	68.9	37.8	36.1	35.3	3.4	26.9	1.7	2.5													
	40代	71.0	58.5	47.2	40.9	25.6	11.9	23.3	2.3	0.6													
	50代	67.2	65.2	52.9	47.1	24.0	6.9	20.6	0.5	0.0													
	60代	60.0	66.2	49.0	40.5	25.2	6.2	13.3	0.0	1.4													
	70代	65.1	60.7	42.9	34.5	22.2	10.3	4.8	2.8	4.8													
	80歳以上	64.9	55.0	38.7	43.2	24.3	17.1	2.7	5.4	3.6													
男性・年代間の差		14.9	13.9	15.1	12.9	13.1	13.7	28.9	5.4	4.8													
女性・年代別	20代	72.7	75.8	31.3	25.8	27.3	14.8	20.3	3.9	0.0													
	30代	62.3	80.2	45.4	25.1	30.0	25.1	14.0	2.4	0.5													
	40代	69.1	69.7	45.3	28.2	29.7	16.5	12.6	1.5	0.0													
	50代	70.5	63.2	45.4	33.1	30.1	18.5	11.9	0.7	0.0													
	60代	68.4	59.3	44.3	32.9	25.7	16.3	5.9	0.3	3.3													
	70代	60.5	55.2	37.2	21.5	32.0	22.4	5.2	2.9	4.4													
	80歳以上	48.4	48.4	37.1	28.0	25.8	22.0	1.1	3.2	11.8													
女性・年代間の差		24.3	31.8	14.1	11.6	6.3	10.3	19.2	3.6	11.8													

問6-2 理想的な働き方

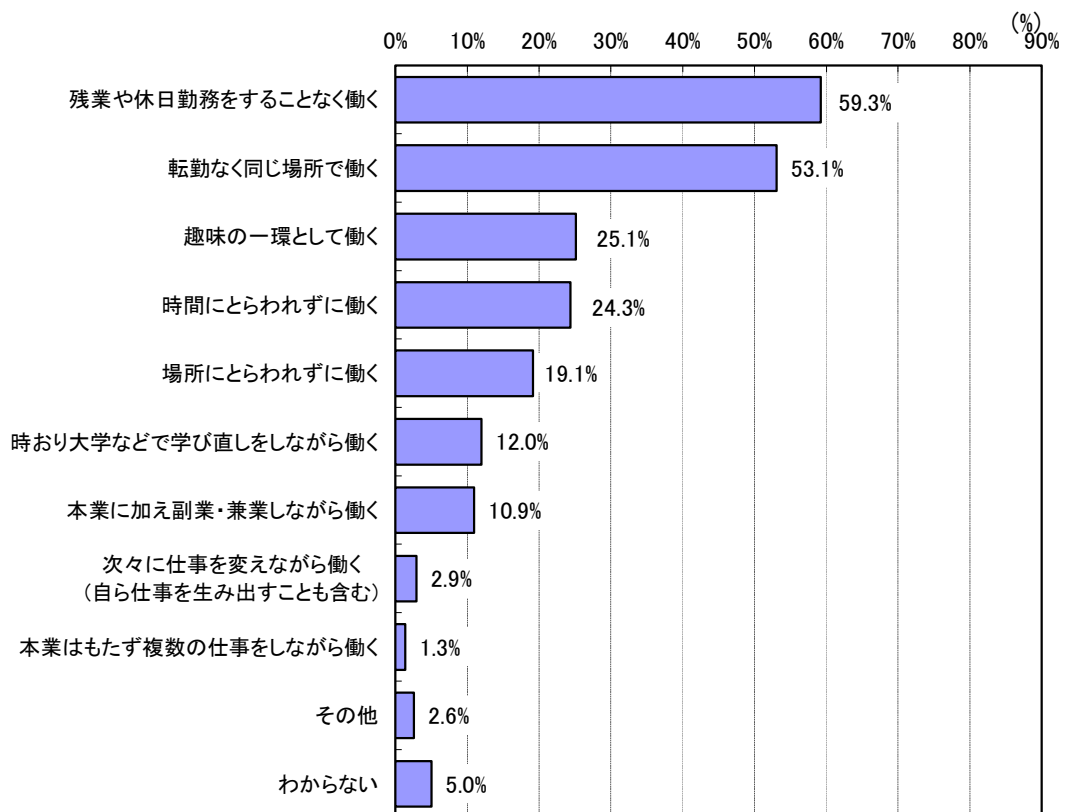
問6-2

あなたにとってどのような働き方が理想的ですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 残業や休日勤務をすることなく働く
- 2 転勤なく同じ場所で働く
- 3 場所にとらわれず働く
- 4 時間にとらわれず働く
- 5 次々に仕事を変えながら働く（自ら仕事を生み出すことも含む）
- 6 本業に加え副業・兼業しながら働く
- 7 本業はもたず複数の仕事をしながら働く
- 8 趣味の一環として働く
- 9 時おり大学などで学び直しをしながら働く
- 10 その他
- 11 わからない

【全 県】

「残業や休日勤務をすることなく働く」が最も高く、「転勤なく同じ場所で働く」、「趣味の一環として働く」が続いている。



理想的な働き方

【地域別】

阪神北、北播磨・西播磨以外の地域では「残業や休日勤務をすることなく働く」が最も高く、阪神北・北播磨・西播磨では「転勤なく同じ場所で働く」が最も高い。

区分	残業や休日勤務をすることなく働く	転勤なく同じ場所で働く	趣味の一環として働く	時間にとらわれずに働く	場所にとらわれずに働く	学時直しをしながら働く	時おり大学などで働く	最大値	最小値	(%)		
								副業・兼業しながら働く	（次々に仕事を生み出すことも含む）	（複数本業をしながら働く）	その他	わからない
全 県	59.3	53.1	25.1	24.3	19.1	12.0	10.9	2.9	1.3	2.6	5.0	
地域別	神 戸	57.9	48.6	26.2	23.1	19.0	15.5	13.1	3.1	0.7	1.4	6.2
	阪神南	61.5	51.3	22.9	25.1	22.5	12.7	9.1	2.5	0.7	3.3	3.6
	阪神北	57.0	58.4	24.8	25.2	21.7	10.1	8.7	3.5	1.4	4.2	5.2
	東播磨	60.5	55.0	26.0	23.2	14.1	13.8	9.6	4.2	2.3	2.6	3.5
	北播磨	58.1	62.5	24.7	28.1	15.3	7.2	10.3	2.2	1.3	1.9	3.8
	中播磨	65.1	56.1	25.9	24.9	16.9	6.6	9.3	2.0	1.7	2.7	2.3
	西播磨	55.4	55.7	25.0	21.7	19.6	8.1	15.1	3.0	1.8	1.8	10.2
	但 馬	57.8	51.6	22.4	28.0	20.2	8.7	13.4	3.1	3.7	3.1	7.8
	丹 波	52.2	51.3	28.8	27.6	19.9	11.2	9.9	0.6	2.2	2.2	6.1
	淡 路	55.8	46.2	24.7	22.9	19.9	8.9	16.8	1.0	3.1	2.4	7.2
地域間の差	12.9	16.3	6.4	6.4	8.4	8.9	8.1	3.6	3.0	2.8	7.9	

理想的な働き方

【性別】

男女間で順位の差は見られない。

(%)

区分		残業や休日勤務をすることなく働く	転勤なく同じ場所で働く	趣味の一環として働く	時間にとらわれずに働く	場所にとらわれずに働く	学び直しをしながら働く	時おり大学などで学ぶ	副業・兼業しながら働く	本業に加え	（自ら仕事を生み出すことも含む） 次々に仕事を変えながら働く	複数の仕事をしながら働く	本業はもたず	その他	わからない
全 県		59.3	53.1	25.1	24.3	19.1	12.0	10.9	2.9	1.3	2.6	5.0			
性別	男性	56.7	53.1	28.0	27.8	20.8	12.7	12.3	3.8	1.5	2.7	3.5			
	女性	61.2	53.6	23.2	21.9	17.9	11.6	9.8	2.5	1.2	2.4	6.1			
性別間の差		4.5	0.5	4.8	5.9	2.9	1.1	2.5	1.3	0.3	0.3	2.6			

【年代別】

「残業や休日勤務をすることなく働く」は30代で最も高い。

最大値

最小値

(%)

区分		残業や休日勤務をすることなく働く	転勤なく同じ場所で働く	趣味の一環として働く	時間にとらわれずに働く	場所にとらわれずに働く	学び直しをしながら働く	時おり大学などで学ぶ	副業・兼業しながら働く	本業に加え	（自ら仕事を生み出すことも含む） 次々に仕事を変えながら働く	複数の仕事をしながら働く	本業はもたず	その他	わからない
全 県		59.3	53.1	25.1	24.3	19.1	12.0	10.9	2.9	1.3	2.6	5.0			
年代別	20代	74.0	52.5	20.2	24.0	27.3	9.5	9.5	5.4	3.3	0.4	1.7			
	30代	81.0	55.5	23.3	29.1	21.2	10.4	11.7	6.4	0.6	1.8	0.3			
	40代	73.5	57.4	25.1	25.1	16.5	11.0	12.8	2.6	1.0	0.8	0.4			
	50代	59.1	53.0	24.7	26.5	20.8	13.0	13.4	2.2	1.0	1.8	1.4			
	60代	60.0	49.3	22.4	22.8	18.6	15.1	8.5	1.9	1.0	2.1	6.6			
	70代	44.1	53.2	27.0	22.1	14.9	9.4	8.2	2.7	1.3	5.7	10.7			
	80歳以上	29.6	52.5	32.0	20.9	21.5	14.1	12.1	1.7	2.4	3.7	13.1			
年代間の差		51.4	8.1	11.8	8.2	12.4	5.7	5.2	4.7	2.7	5.3	12.8			

理想的な働き方

【性・年代別】

「残業や休日勤務をすることなく働く」は男女とも30代で最も高い。

区分		理想な働き方										その他	わからない	(%)
		残業や休日勤務を することなく働く	転勤なく同じ場所で働く	趣味の一環として働く	時間にとらわれずに働く	場所にとらわれずに働く	学び直しをしながら働く	時おり大学などで働く	副業・兼業しながら働く	本業に加え (自ら仕事を生み出すことも含む)	次々に仕事を変えながら働く			
全 県		59.3	53.1	25.1	24.3	19.1	12.0	10.9	2.9	1.3	2.6	5.0		
男性・年代別	20代	72.8	48.2	19.3	25.4	28.9	10.5	10.5	4.4	5.3	0.9	0.9		
	30代	80.7	60.5	28.6	28.6	21.0	9.2	7.6	10.1	0.0	0.0	0.0		
	40代	67.0	63.1	27.8	26.7	18.8	7.4	11.9	3.4	0.0	1.1	1.1		
	50代	57.4	52.9	25.5	32.8	22.1	10.8	15.7	2.9	0.5	2.0	2.5		
	60代	53.8	42.9	26.2	26.7	20.0	16.7	9.0	3.8	1.4	1.4	4.8		
	70代	43.3	48.4	34.1	24.2	18.3	14.7	13.5	2.8	2.0	7.1	6.7		
	80歳以上	34.2	65.8	32.4	29.7	21.6	16.2	17.1	0.9	1.8	3.6	6.3		
男性・年代間の差		46.5	22.9	14.8	8.6	10.6	9.3	9.5	9.2	5.3	7.1	6.7		
女性・年代別	20代	75.0	56.3	21.1	22.7	25.8	8.6	8.6	6.3	1.6	0.0	2.3		
	30代	81.2	52.7	20.3	29.5	21.3	11.1	14.0	4.3	1.0	2.9	0.5		
	40代	76.9	54.4	23.7	24.3	15.3	12.9	13.2	2.1	1.5	0.6	0.0		
	50代	60.3	53.0	24.2	22.2	19.9	14.6	11.9	1.7	1.3	1.7	0.7		
	60代	64.2	53.7	19.9	20.2	17.6	14.0	8.1	0.7	0.7	2.6	7.8		
	70代	44.8	56.7	21.8	20.6	12.5	5.5	4.4	2.6	0.9	4.7	13.7		
	80歳以上	26.9	44.6	31.7	15.6	21.5	12.9	9.1	2.2	2.7	3.8	17.2		
女性・年代間の差		54.3	12.1	11.8	13.9	13.3	9.1	9.6	5.6	2.0	4.7	17.2		

問6-3 テレワークの経験

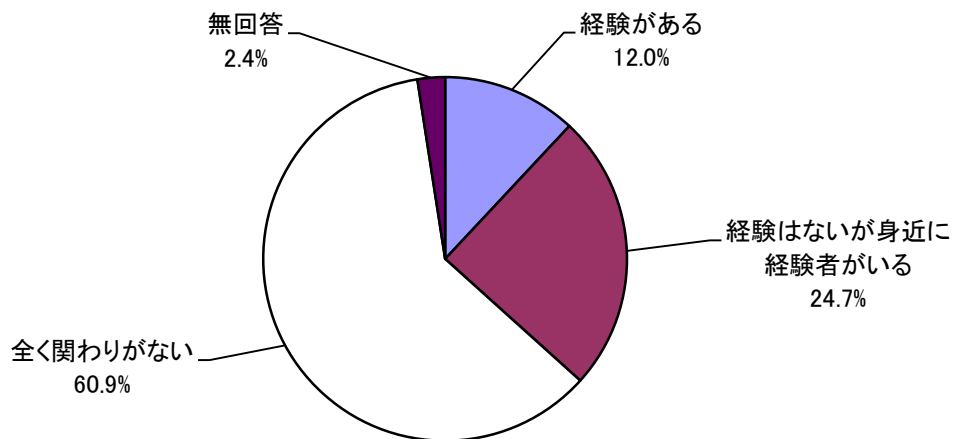
問6-3

現在、場所にとらわれない働き方であるテレワークが注目されています。テレワークの経験について、当てはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 経験がある
- 2 経験はないが身近に経験者がいる
- 3 全く関わりがない

【全 県】

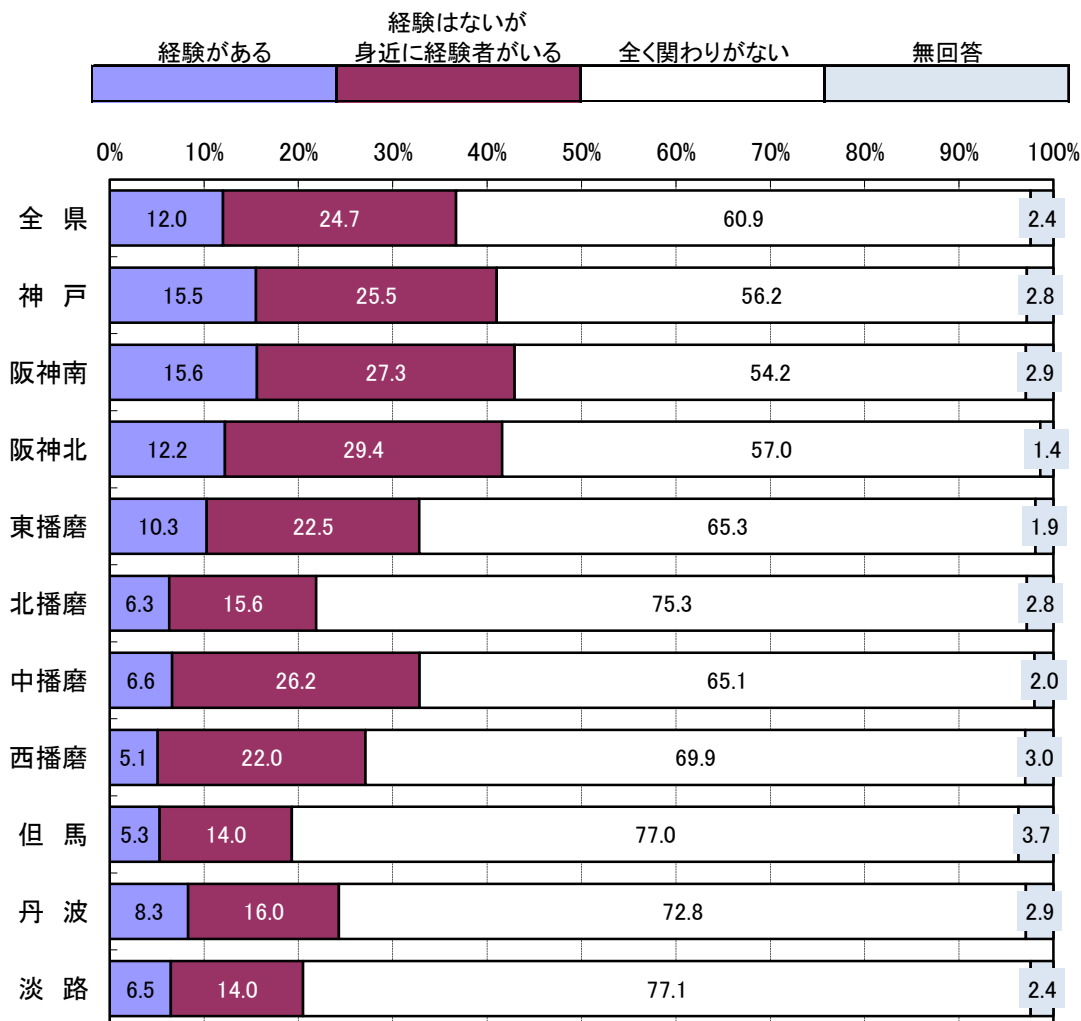
「全く関わりがない」が60.9%で最も高く、「経験がある」は12.0%、「経験がないが身近に経験者がいる」は24.7%となった。



テレワークの経験

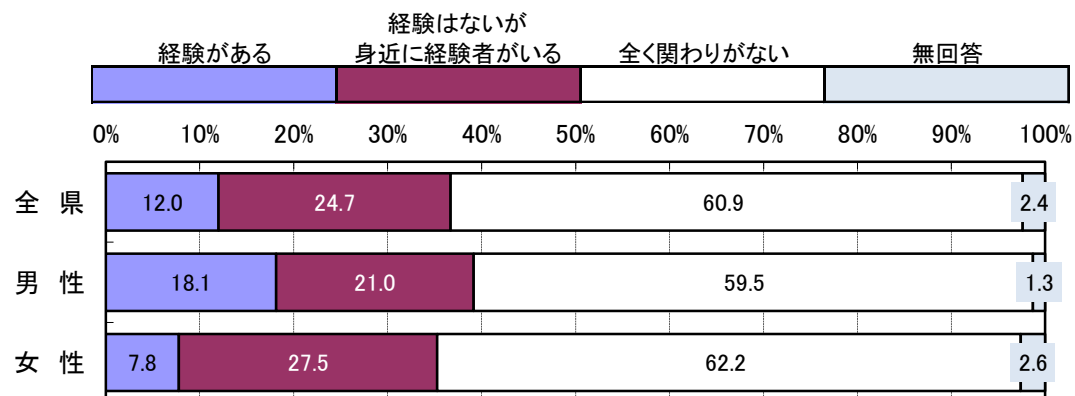
【地域別】

「経験がある」は阪神南が最も高い。



【性 別】

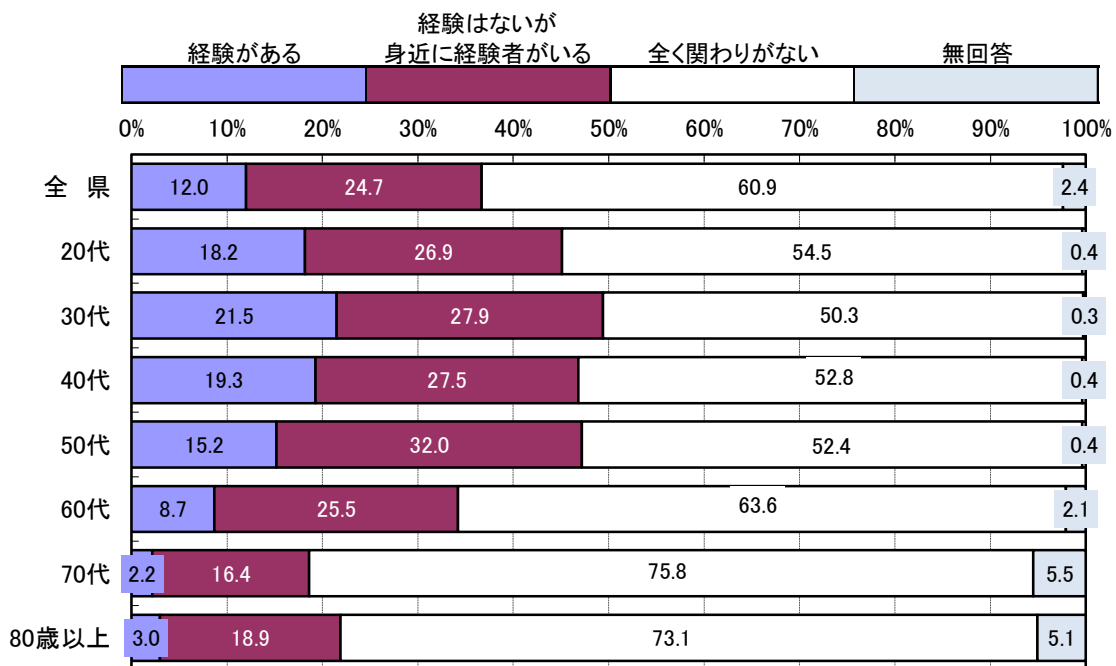
「経験がある」は、男性の方が女性より 10.3 ポイント高い。



テレワークの経験

【年代別】

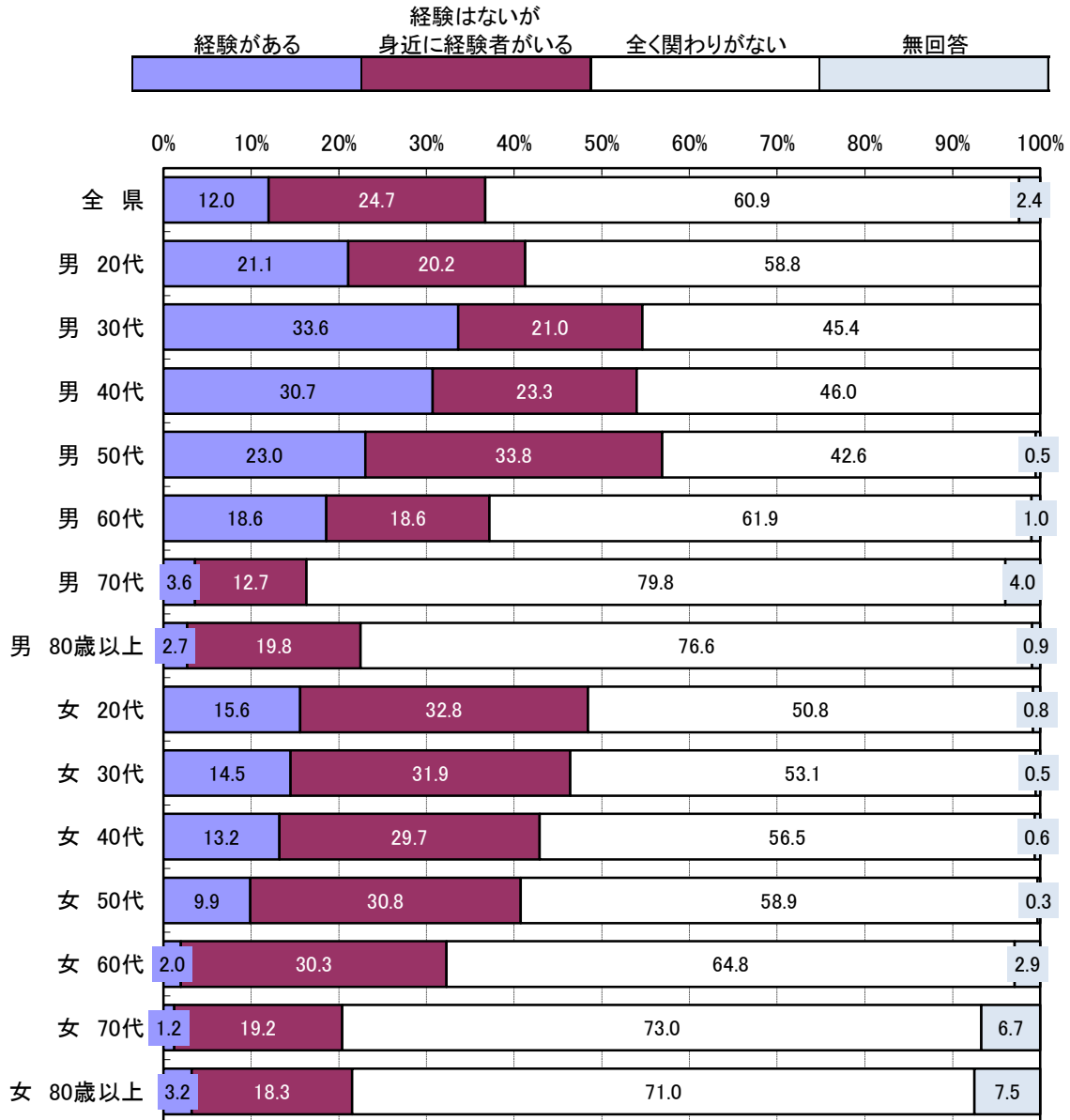
「経験がある」は30代が最も高い。



テレワークの経験

【性・年代別】

「経験がある」は、男性は30代、女性は20代が最も高い。



問6-4 テレワークの課題

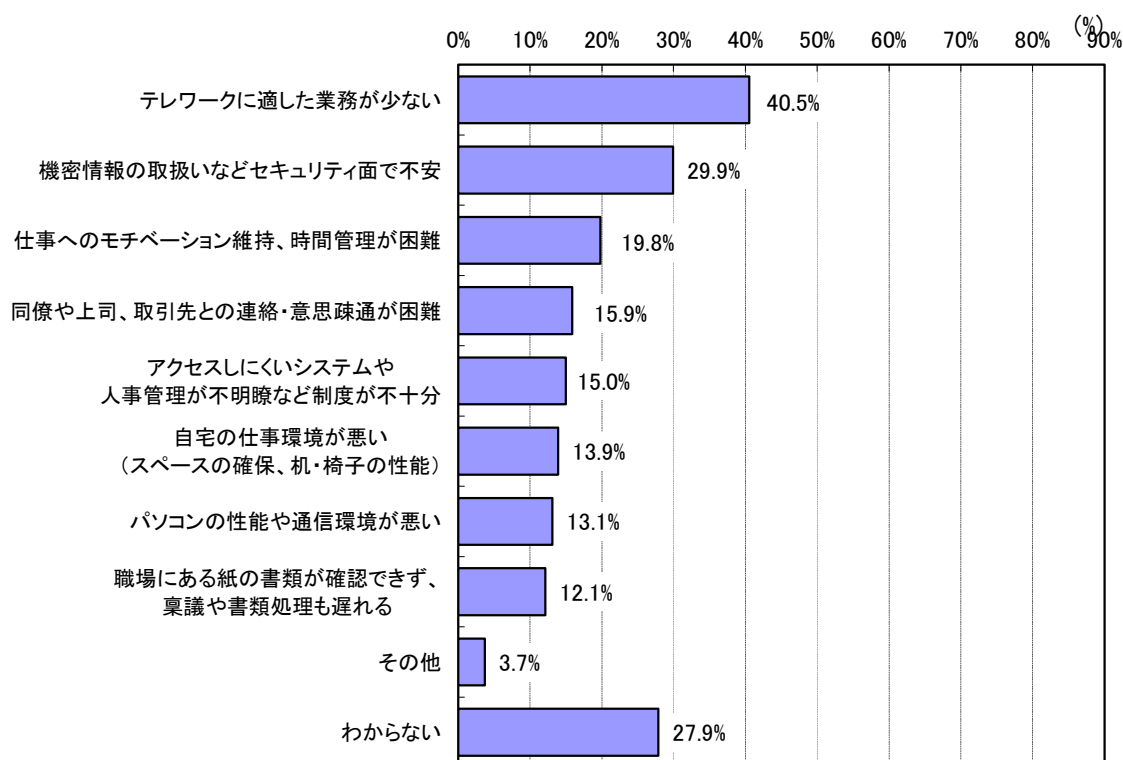
問6-4

テレワークを進めるうえでの課題は何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 テレワークに適した業務が少ない
- 2 アクセスしにくいシステムや人事管理が不明瞭など制度が不十分
- 3 機密情報の取扱いなどセキュリティ面で不安
- 4 職場にある紙の書類が確認できず、稟議や書類処理も遅れる
- 5 同僚や上司、取引先との連絡・意思疎通が困難
- 6 仕事のモチベーション維持、時間管理が困難
- 7 自宅の仕事環境が悪い（スペースの確保、机・椅子の性能）
- 8 パソコンの性能や通信環境が悪い
- 9 その他
- 10 わからない

【全 県】

「テレワークに適した業務が少ない」が最も高く、「機密情報の取扱いなどセキュリティ面で不安」、「仕事へのモチベーション維持、時間管理が困難」が続いている。



【地域別】

全ての地域で「テレワークに適した業務が少ない」が最も高い。

区分		最大値										最小値	(%)
		テレワークに適した業務が少ない	機密情報の取扱いなど セキュリティ面で不安	仕事へのモチベーション維持、 時間管理が困難	同僚や上司、取引先との 連絡・意思疎通が困難	アクセスしにくいシステムや 人事管理が不明瞭など	（自宅の作業環境が悪い 机・椅子の性能）	パソコンの性能や通信環境が悪い	職場にある書類の 確認も遅れる、 紙の書類処理も遅れる、 会議や書類	その他	わからない		
全 県		40.5	29.9	19.8	15.9	15.0	13.9	13.1	12.1	3.7	27.9		
地域別	神 戸	36.9	33.1	17.9	16.2	16.6	15.2	12.4	11.7	4.1	27.6		
	阪神南	38.5	26.9	22.9	17.1	13.8	16.0	12.7	14.9	4.0	26.5		
	阪神北	40.6	31.5	22.0	15.0	17.1	15.4	16.1	11.5	3.5	26.6		
	東播磨	42.8	28.3	17.7	15.4	15.4	12.5	14.5	16.7	2.9	27.3		
	北播磨	43.1	31.3	23.4	13.8	14.1	13.1	11.6	7.2	1.6	28.8		
	中播磨	47.2	27.9	18.6	17.3	12.6	10.6	11.0	8.6	3.7	26.2		
	西播磨	40.1	31.3	19.9	14.5	15.4	11.7	10.8	9.3	3.6	34.3		
	但 馬	48.1	27.0	16.1	13.0	9.9	10.9	15.5	8.7	3.4	32.0		
	丹 波	42.3	24.4	18.6	12.8	14.1	11.9	12.5	11.2	6.1	32.4		
	淡 路	42.5	27.4	20.5	15.4	9.2	7.5	11.6	7.5	3.8	35.6		
地域間の差		11.2	8.7	7.3	4.5	7.9	8.5	5.3	9.5	4.5	9.4		

テレワークの課題

【性別】

「わからない」を除く全ての項目で男性の方が女性よりも割合が高くなっている。(%)

区分		テレワークに適した業務が少ない	機密情報の取扱いなどセキュリティ面で不安	仕事へのモチベーション維持、時間管理が困難	同僚や上司、取引先との連絡・意思疎通が困難	アクセスしにくいシステムや人事管理が不明瞭など	自宅の作業環境が悪い(スペースの確保、机・椅子の性能)	パソコンの性能や通信環境が悪い	職場にある紙の書類が確認できず、稟議や書類処理も遅れる	その他	わからない
全 県		40.5	29.9	19.8	15.9	15.0	13.9	13.1	12.1	3.7	27.9
性別	男性	44.4	32.7	22.8	20.7	17.9	14.4	13.7	14.8	3.6	21.8
	女性	38.5	28.6	18.1	12.9	13.1	13.7	12.6	10.6	3.5	31.6
性別間の差		5.9	4.1	4.7	7.8	4.8	0.7	1.1	4.2	0.1	9.8

【年代別】

「テレワークに適した業務が少ない」は30代で最も高い。

区分		テレワークに適した業務が少ない	機密情報の取扱いなどセキュリティ面で不安	仕事へのモチベーション維持、時間管理が困難	同僚や上司、取引先との連絡・意思疎通が困難	アクセスしにくいシステムや人事管理が不明瞭など	自宅の作業環境が悪い(スペースの確保、机・椅子の性能)	パソコンの性能や通信環境が悪い	職場にある紙の書類が確認できず、稟議や書類処理も遅れる	その他	わからない
全 県		40.5	29.9	19.8	15.9	15.0	13.9	13.1	12.1	3.7	27.9
年代別	20代	46.7	28.9	16.1	16.5	21.5	15.3	13.6	14.5	3.3	23.6
	30代	54.0	40.5	24.5	12.9	17.5	15.0	17.2	23.6	3.4	15.6
	40代	47.2	30.3	23.8	25.0	20.0	21.0	16.7	19.4	3.1	16.1
	50代	53.2	36.0	22.9	20.2	12.6	14.6	15.4	13.6	4.2	18.2
	60代	44.7	34.4	23.0	15.5	15.5	12.0	13.9	6.6	3.3	25.5
	70代	25.7	21.6	15.3	9.9	11.7	9.1	6.7	4.7	4.7	44.1
	80歳以上	13.8	18.9	8.8	10.4	8.4	11.4	7.7	8.1	2.4	52.5
年代間の差		40.2	21.6	15.7	15.1	13.1	11.9	10.5	18.9	2.3	36.9

【性・年代別】

「テレワークに適した業務が少ない」は、男性は50代、女性は30代で最も高い。

区分	最大値						最小値			わ か ら な い	(%)
	テレワークに適した業務が少ない	機密情報の取扱いなどセキュリティ面で不安	仕事へのモチベーション維持、時間管理が困難	同僚や上司、取引先との連絡・意思疎通が困難	制度が不十分	人事管理が不明瞭など	アクセスしにくいシステムや（スペースの確保、机・椅子の性能）	自宅の仕事環境が悪い	パソコンの性能や通信環境が悪い		
全 県	40.5	29.9	19.8	15.9	15.0	13.9	13.1	12.1	3.7	27.9	
男性・年代別	20代	47.4	35.1	14.0	11.4	22.8	23.7	20.2	10.5	7.0	16.7
	30代	54.6	38.7	11.8	16.0	26.1	16.8	22.7	28.6	0.8	14.3
	40代	46.6	25.0	25.6	35.2	21.6	22.7	13.6	28.4	2.3	12.5
	50代	54.9	36.8	32.8	28.4	14.7	9.8	9.8	17.6	4.9	14.7
	60代	53.3	36.2	31.0	19.5	15.2	9.0	15.7	7.1	4.8	16.7
	70代	34.5	30.2	18.3	15.9	17.1	11.9	9.1	9.1	2.8	34.5
	80歳以上	15.3	27.0	12.6	13.5	10.8	14.4	9.9	6.3	2.7	45.0
男性・年代間の差	39.6	13.7	21.0	23.8	15.3	14.7	13.6	22.3	6.2	32.5	
女性・年代別	20代	46.1	23.4	18.0	21.1	20.3	7.8	7.8	18.0	0.0	29.7
	30代	53.6	41.5	31.9	11.1	12.6	14.0	14.0	20.8	4.8	16.4
	40代	47.4	33.0	22.8	19.5	19.2	20.1	18.3	14.7	3.6	18.0
	50代	52.0	35.4	16.2	14.6	11.3	17.9	19.2	10.9	3.6	20.5
	60代	38.8	33.2	17.6	12.7	15.6	14.0	12.7	6.2	2.3	31.6
	70代	19.2	15.4	13.1	5.5	7.8	7.0	4.9	1.5	6.1	51.2
	80歳以上	12.9	14.0	6.5	8.6	7.0	9.7	6.5	9.1	2.2	57.0
女性・年代間の差	40.7	27.5	25.4	15.6	13.3	13.1	14.3	19.3	6.1	40.6	

問6-5 テレワーク導入の要件

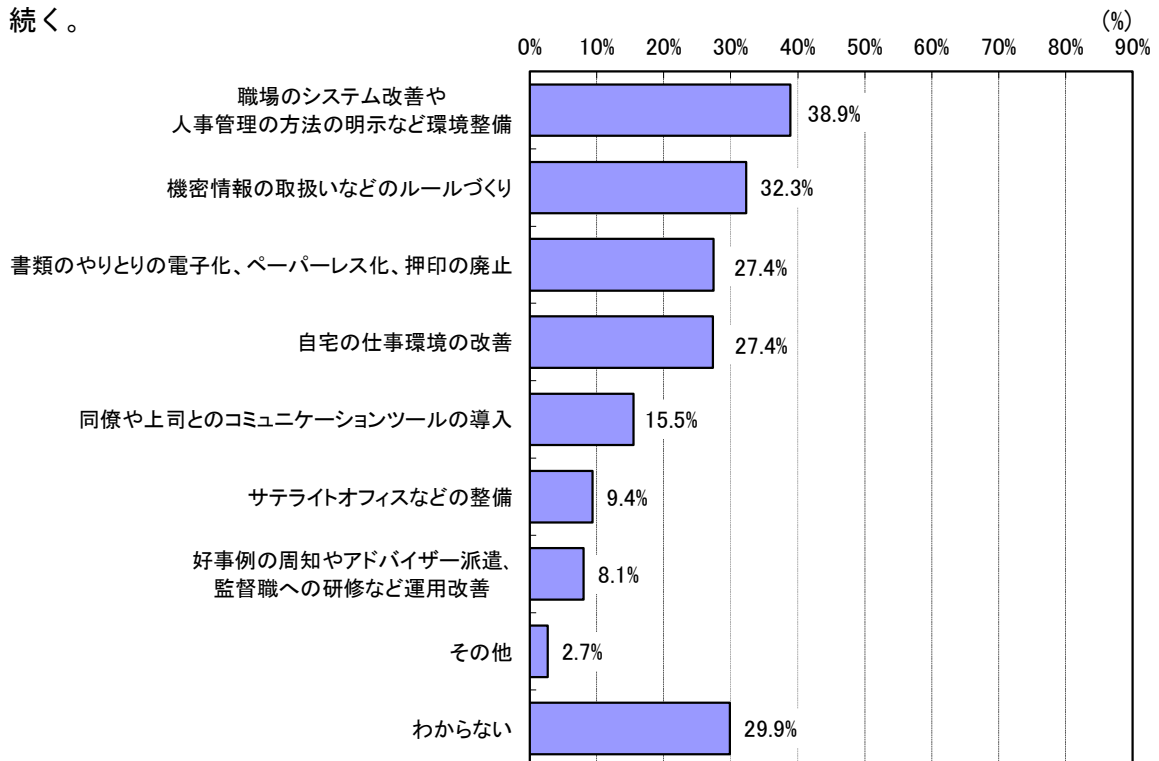
問6-5

テレワークの導入に向けて何が整備されるとよいですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 職場のシステム改善や人事管理の方法の明示など環境整備
- 2 機密情報の取扱いなどのルールづくり
- 3 書類のやりとりの電子化、ペーパーレス化、押印の廃止
- 4 好事例の周知やアドバイザー派遣、監督職への研修など運用改善
- 5 同僚や上司とのコミュニケーションツールの導入
- 6 自宅の仕事環境の改善
- 7 サテライトオフィスなどの整備
- 8 その他
- 9 わからない

【全 県】

「職場のシステム改善や人事管理の方法の明示など環境整備」が最も高く、「機密情報の取扱いなどのルールづくり」、「書類のやりとりの電子化、ペーパーレス化、押印の廃止」が続く。



【地域別】

全ての地域で「職場のシステム改善や人事管理方法の明示など環境整備」が最も高い。

区分	環境整備 人事管理の 職場のシス テム改善や 方法の明示 など	機 密 情 報 の 取 扱 い な ど の	ペ ー パ ー の や り と り の 電 子 化 、 押 印 の 廃 止	自 宅 の 仕 事 環 境 の 改 善	最大値		最小値		わ か ら な い	
					同 僚 や 上 司 と の コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ツ ー ル の 導 入	サ テ ラ イ ト オ フ イ ス な ど の 整 備	監 督 職 へ の 研 修 な ど 、 運 用 改 善	好 事 例 の 周 知 や ア ド バ イ ザ ー 派 遣 、 等		そ の 他
全 県	38.9	32.3	27.4	27.4	15.5	9.4	8.1	2.7	29.9	
地域別	神 戸	35.9	33.8	25.9	27.6	15.5	12.8	6.9	2.8	29.0
	阪神南	37.5	28.7	31.6	25.8	17.1	9.8	7.3	2.9	28.7
	阪神北	43.7	34.3	30.1	29.7	16.8	7.7	7.7	3.5	28.0
	東播磨	46.0	35.7	30.9	30.9	13.5	7.1	8.4	2.3	25.4
	北播磨	41.3	32.2	20.3	28.1	19.4	5.0	8.4	2.2	31.6
	中播磨	38.5	31.6	24.3	25.9	13.3	10.0	10.0	1.7	31.9
	西播磨	35.8	30.7	21.7	23.2	12.7	8.1	10.5	2.1	40.7
	但 馬	35.4	29.2	22.7	24.2	15.5	4.3	10.6	2.8	36.0
	丹 波	33.0	26.0	22.4	25.3	15.4	8.0	8.3	3.8	38.8
	淡 路	31.5	30.1	25.0	23.3	12.3	3.1	11.6	2.4	37.0
地域間の差	14.5	9.7	11.3	7.7	7.1	9.7	4.7	2.1	15.3	

【性別】

男女ともに「職場のシステム改善や人事管理の方法の明示など環境整備」が最も高い。(%)

区分	職場のシステム改善や人事管理の方法の明示など環境整備	機密情報の取り扱いなどのルールづくり	書類のやりとりの電子化、ペーパーレス化、押印の廃止	自宅の仕事環境の改善	同僚や上司とのコミュニケーションツールの導入	サテライトオフィスなどの整備	監督職への研修など、運用改善	好事例の周知や派遣、	その他	わからない
	全 県	38.9	32.3	27.4	27.4	15.5	9.4	8.1	2.7	29.9
性別	男性	45.1	36.6	32.2	28.5	18.5	12.3	9.7	2.5	23.8
	女性	35.1	29.5	24.5	26.8	13.6	7.6	7.1	2.6	33.9
性別間の差	10.0	7.1	7.7	1.7	4.9	4.7	2.6	0.1	10.1	

【年代別】

20～50代で「職場のシステム改善や人事管理の方法の明示など環境整備」が4割を超えている。

区分		最大値		最小値		(%)				
		職場のシステム改善や人事管理の方法の明示など環境整備	機密情報の取り扱いなどのルールづくり	書類のやりとりの電子化、ペーパーレス化、押印の廃止	自宅の仕事環境の改善	同僚や上司とのコミュニケーションツールの導入	サテライトオフィスなどの整備	監督職への研修など、運用改善	好事例の周知や派遣、	その他
全 県		38.9	32.3	27.4	27.4	15.5	9.4	8.1	2.7	29.9
年代別	20代	47.5	30.2	39.7	29.3	16.1	9.1	9.1	2.5	21.9
	30代	48.5	38.7	44.5	36.2	12.0	13.8	6.1	4.0	15.3
	40代	46.8	33.6	35.4	32.8	17.9	12.6	10.6	3.1	21.2
	50代	49.0	42.5	28.7	32.2	14.6	11.7	4.9	3.0	20.2
	60代	38.5	33.8	27.3	26.9	19.5	8.5	11.8	1.2	29.2
	70代	25.3	24.5	13.1	17.4	13.8	5.2	7.7	3.4	46.3
	80歳以上	20.2	20.2	13.8	19.9	13.5	5.7	5.7	0.7	52.5
年代間の差		28.8	22.3	31.4	18.8	7.5	8.6	6.9	3.3	37.2

問6-6 テレワークの普及による変化

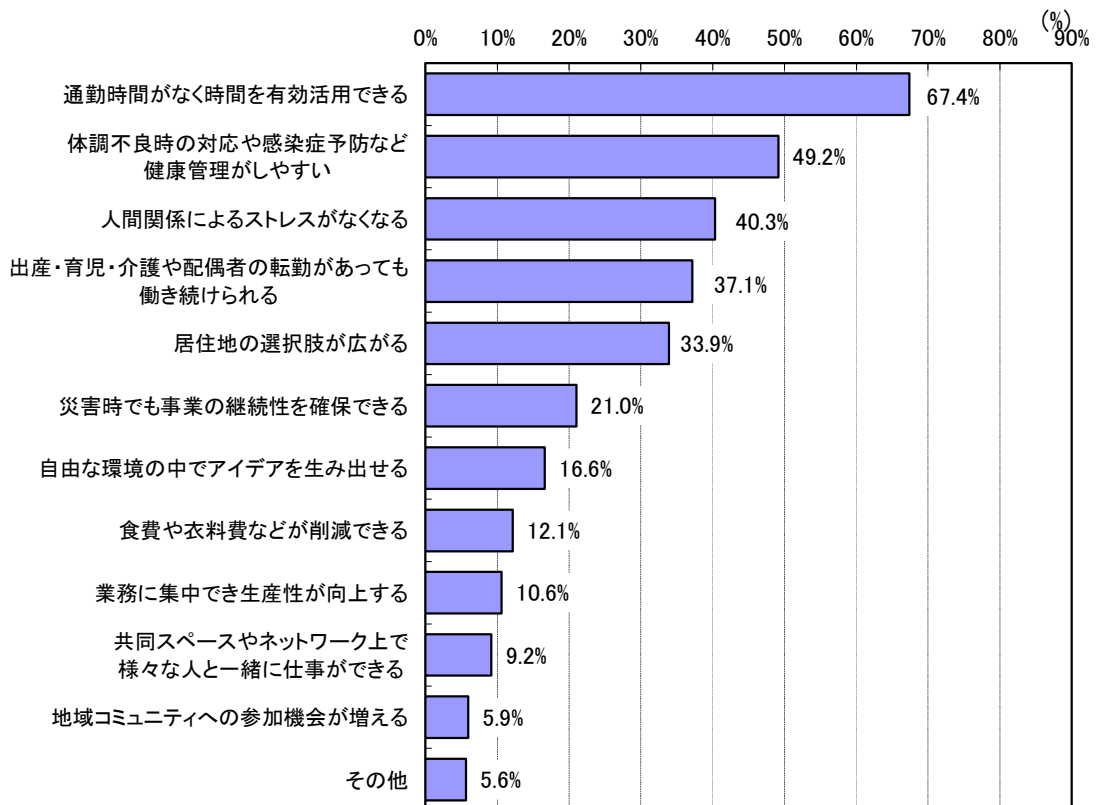
問6-6

テレワークの普及による働き方や生活の変化に期待することについて、あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 通勤時間がなく時間を有効活用できる
- 2 業務に集中でき生産性が向上する
- 3 自由な環境の中でアイデアを生み出せる
- 4 共同スペースやネットワーク上で様々な人と一緒に仕事ができる
- 5 人間関係によるストレスがなくなる
- 6 災害時でも事業の継続性を確保できる
- 7 体調不良時の対応や感染症予防など健康管理がしやすい
- 8 出産・育児・介護や配偶者の転勤があっても働き続けられる
- 9 食費や衣料費などが削減できる
- 10 居住地の選択肢が広がる
- 11 地域コミュニティへの参加機会が増える
- 12 その他

【全 県】

「通勤時間がなく時間を有効活用できる」が最も高く、「体調不良時の対応や感染症予防など体調管理がしやすい」、「人間関係によるストレスがなくなる」が続いている。



テレワークの普及による変化

【地域別】

全ての地域で「通勤時間がなく時間を有効活用できる」が最も高い。

区分	通勤時間がなく時間を有効活用できる	体調不良時の対応や健康管理がしやすい	人間関係によるストレスがなくなる	働き続けられる	出産・育児・介護や配偶者の転勤があっても	居住地の選択肢が広がる	災害時でも事業の継続性を確保できる	自由な環境の中でアイデアを生み出せる	最大値	最小値	地域コミュニティへの参加機会が増える	その他	
									生産性が向上する	業務に集中できる			(%)
全 県	67.4	49.2	40.3	37.1	33.9	21.0	16.6	12.1	10.6	9.2	5.9	5.6	
地域別	神 戸	67.9	50.3	38.6	36.6	36.9	22.8	16.9	12.1	11.0	8.3	6.2	4.1
	阪神南	70.2	49.8	38.2	43.3	36.0	21.1	13.5	12.0	11.6	9.1	3.6	4.7
	阪神北	72.7	49.7	39.9	35.3	34.6	24.8	15.4	11.9	11.9	10.5	6.3	7.0
	東播磨	68.5	53.1	41.5	39.5	32.8	18.6	17.7	14.8	8.0	8.7	5.8	5.5
	北播磨	63.1	46.9	45.9	35.6	26.6	20.9	17.5	9.7	9.7	11.6	8.4	7.2
	中播磨	64.8	48.5	43.2	33.6	30.2	19.9	20.3	11.0	8.6	10.0	6.0	6.6
	西播磨	59.3	42.8	42.2	33.4	31.6	16.9	17.5	14.8	12.0	9.6	6.9	8.4
	但 馬	59.3	40.7	42.5	33.9	27.0	14.9	19.3	9.9	15.2	9.9	9.3	5.3
	丹 波	53.5	44.9	39.7	32.4	27.9	16.3	14.1	7.7	8.0	6.1	8.3	8.7
	淡 路	57.2	39.4	44.5	26.7	30.8	14.7	19.5	11.3	8.6	8.2	6.5	8.6
地域間の差	19.2	13.7	7.7	16.6	10.3	10.1	6.8	7.1	7.2	5.5	5.7	4.6	

テレワークの普及による変化

【性別】

「出産・育児・介護や配偶者の転勤があっても働き続けられる」で男女差が最も大きい
(11.6ポイント差)

区分		通勤時間がなく時間を有効活用できる	体調不良時の対応や健康管理がしやすい	人間関係によるストレスがなくなる	出産・育児・介護や配偶者の転勤があっても働き続けられる	居住地の選択肢が広がる	災害時でも事業の継続性を確保できる	自由な環境の中でアイデアを生み出せる	食費や衣料費などが削減できる	業務性が向上する	様々な人と一緒に仕事ができる	ネットワーク上で様々な人と一緒に仕事ができる	地域コミュニティへの参加機会が増える	その他
全 県		67.4	49.2	40.3	37.1	33.9	21.0	16.6	12.1	10.6	9.2	5.9	5.6	
性別	男性	68.8	46.7	37.3	30.3	36.7	25.8	18.4	11.6	13.3	9.1	7.3	5.5	
	女性	66.9	51.1	42.7	41.9	32.5	18.2	15.8	12.5	9.0	9.4	4.9	5.5	
性別間の差		1.9	4.4	5.4	11.6	4.2	7.6	2.6	0.9	4.3	0.3	2.4	0.0	

【年代別】

全ての世代で「通勤時間がなく時間を有効活用できる」が最も高い。

区分		通勤時間がなく時間を有効活用できる	体調不良時の対応や健康管理がしやすい	人間関係によるストレスがなくなる	出産・育児・介護や配偶者の転勤があっても働き続けられる	居住地の選択肢が広がる	災害時でも事業の継続性を確保できる	自由な環境の中でアイデアを生み出せる	食費や衣料費などが削減できる	業務性が向上する	様々な人と一緒に仕事ができる	ネットワーク上で様々な人と一緒に仕事ができる	地域コミュニティへの参加機会が増える	その他
全 県		67.4	49.2	40.3	37.1	33.9	21.0	16.6	12.1	10.6	9.2	5.9	5.6	
年代別	20代	82.2	56.6	54.5	50.0	39.7	16.5	27.7	10.7	17.4	12.0	3.3	2.5	
	30代	84.0	62.6	44.2	61.7	41.1	20.6	20.2	13.8	16.6	12.9	3.7	1.5	
	40代	77.8	60.1	44.8	47.0	34.4	22.8	13.2	14.3	12.8	10.8	4.5	2.0	
	50代	75.3	55.7	39.5	35.6	36.4	26.9	14.0	12.6	8.7	8.7	2.8	2.4	
	60代	67.7	48.9	40.8	35.2	39.7	24.4	20.7	11.2	7.5	9.5	6.4	3.7	
	70代	48.8	34.6	33.9	23.7	27.5	16.3	11.7	10.4	7.7	7.4	8.4	11.4	
	80歳以上	43.8	30.3	32.7	17.2	20.9	16.8	18.5	11.8	9.8	4.4	11.4	15.5	
年代間の差		40.2	32.3	21.8	44.5	20.2	10.6	16.0	3.9	9.9	8.5	8.6	14.0	

テレワークの普及による変化

【性・年代別】

男女とも全ての年代で「通勤時間がなく時間を有効活用できる」が最も高い。

区分		最大値										最小値		その他			
		通勤時間がなく時間を有効活用できる	健康管理がしやすい	体調不良時の対応や感染症予防など	ストレスがなくなる	人間関係による	働き続けられる	出産・育児・介護や配偶者の転勤があっても	居住地の選択肢が広がる	災害時でも事業の継続性を確保できる	自由な環境の中でアイデアを生み出せる	食費や衣料費などが削減できる	生産性が向上できる		業務に集中できる	様々な人と一緒に仕事ができる	ネットワーク上で
全 県		67.4	49.2	40.3	37.1	33.9	21.0	16.6	12.1	10.6	9.2	5.9	5.6				
男性・年代別	20代	82.5	60.5	53.5	43.0	39.5	20.2	33.3	13.2	23.7	9.6	2.6	2.6				
	30代	85.7	58.8	39.5	54.6	38.7	19.3	17.6	13.4	19.3	18.5	5.0	0.8				
	40代	76.7	56.8	35.8	30.1	35.8	26.7	10.8	11.9	14.2	8.0	3.4	1.1				
	50代	76.5	52.0	37.3	27.9	38.7	33.3	14.2	10.8	8.8	7.4	3.4	2.9				
	60代	69.0	42.9	36.7	26.2	43.8	31.4	26.2	10.5	9.5	9.0	9.0	3.3				
	70代	55.2	35.7	32.9	26.6	34.5	23.8	14.7	10.7	12.3	9.5	9.9	11.5				
	80歳以上	41.4	26.1	34.2	13.5	20.7	18.9	18.9	12.6	13.5	2.7	18.9	15.3				
男性・年代間の差		44.3	34.4	20.6	41.1	23.1	14.4	22.5	2.9	14.9	15.8	16.3	14.5				
女性・年代別	20代	82.0	53.1	55.5	56.3	39.8	13.3	22.7	8.6	11.7	14.1	3.9	2.3				
	30代	83.1	64.7	46.9	65.7	42.5	21.3	21.7	14.0	15.0	9.7	2.9	1.9				
	40代	78.4	61.9	49.5	55.9	33.6	20.7	14.4	15.6	12.0	12.3	5.1	2.4				
	50代	74.5	58.3	41.1	40.7	34.8	22.5	13.9	13.9	8.6	9.6	2.3	2.0				
	60代	66.8	53.1	43.6	41.4	36.8	19.5	16.9	11.7	6.2	9.8	4.6	3.9				
	70代	44.2	33.7	34.6	21.5	22.4	10.8	9.6	10.2	4.4	5.8	7.3	11.3				
	80歳以上	45.2	32.8	31.7	19.4	21.0	15.6	18.3	11.3	7.5	5.4	7.0	15.6				
女性・年代間の差		38.9	31.9	23.8	46.3	21.5	11.7	13.1	7.0	10.6	8.7	5.0	13.7				

3 「将来への期待」に関することについて

問 7-1 これからの学校教育で大切なこと

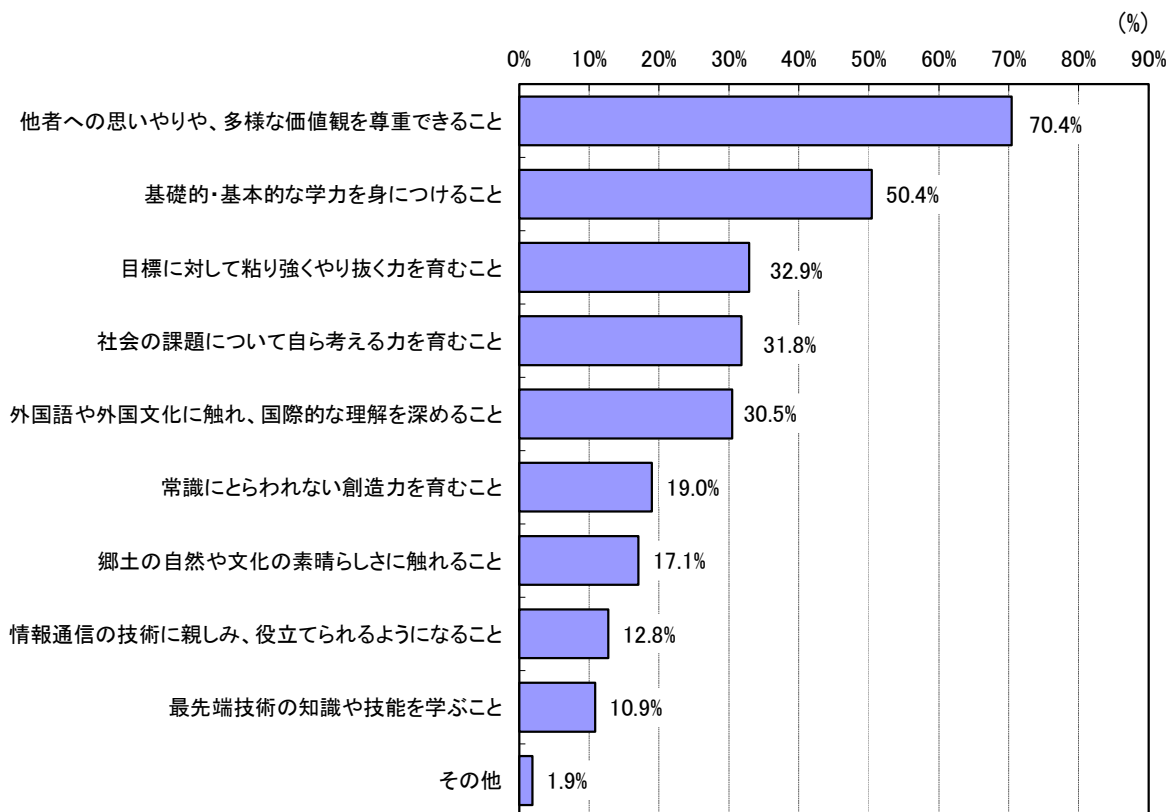
問 7-1

これからの学校教育について、あなたが大切だと思うことはどのようなことですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 他者への思いやりや、多様な価値観を尊重できること
- 2 目標に対して粘り強くやり抜く力を育むこと
- 3 社会の課題について自ら考える力を育むこと
- 4 常識にとらわれない想像力を育むこと
- 5 基礎的・基本的な学力を身につけること
- 6 情報発信の技術に親しみ、役立てられるようになること
- 7 最先端技術の知識や技能を学ぶこと
- 8 郷土の自然や文化の素晴らしさに触れること
- 9 外国語や外国文化に触れ、国際的な理解を深めること
- 10 その他

【全 県】

「他者への思いやりや、多様な価値観を尊重できること」が最も高く、「基礎的・基本的な学力を身につけること」、「目標に対して粘り強くやり抜く力を育むこと」が続いている。



これからの学校教育で大切なこと

【地域別】

全ての地域で、「他者への思いやりや、多様な価値観を尊重できること」が最も高い。

区分	他者への思いやりや、多様な価値観を尊重できること	基本的な学力を身につけること	目標に力をつけて粘り強くやり抜くこと	社会の課題について自ら考える力を育むこと	外国語や外国文化に触れ、国際的な理解を深めること	最大値	最小値	(%)			
						創造力や知識を育むこと	郷土の自然や文化に触れること	情報通信の技術に親しむこと	最先端技術の知識や技術を学ぶこと	その他	
全 県	70.4	50.4	32.9	31.8	30.5	19.0	17.1	12.8	10.9	1.9	
地域別	神 戸	73.4	47.6	32.4	30.3	35.5	17.9	16.6	13.4	11.4	1.7
	阪神南	72.0	52.4	32.0	35.3	28.0	16.4	14.2	10.9	10.2	2.2
	阪神北	68.9	51.4	29.7	38.1	31.5	22.0	16.8	15.4	11.2	1.7
	東播磨	69.1	54.7	35.4	29.3	29.9	19.9	18.0	10.6	11.3	2.6
	北播磨	67.8	49.1	34.7	27.2	26.9	21.9	19.7	13.8	12.2	1.6
	中播磨	71.4	50.5	34.9	29.9	28.2	18.3	15.6	12.3	8.0	3.7
	西播磨	65.4	47.9	32.8	27.1	25.3	22.9	23.2	12.3	13.6	0.0
	但 馬	62.1	46.9	35.1	26.1	27.0	21.4	23.9	14.6	10.9	0.0
	丹 波	63.1	51.9	33.3	34.0	22.8	18.3	21.5	11.9	13.5	0.0
淡 路	64.7	49.0	36.6	29.5	25.3	17.5	20.2	14.4	8.9	0.0	
地域間の差	11.3	7.8	6.9	12.0	12.7	6.5	9.7	4.8	5.6	3.7	

これからの学校教育で大切なこと

【性別】

「他者への思いやりや、多様な価値観を尊重できること」は、女性の方が男性より3.1ポイント高い。

区分		多様な価値観を尊重できること	基本的な学力を身につけること	目標に対して粘り強くやり抜く力を育むこと	社会の課題について自ら考える力を育むこと	国際的な外国文化に触れ、外国語や外国文化を深めること	常識にとられない創造力を育むこと	郷土の自然や文化の素晴らしに触れること	情報通信の技術に親しみ、役立てられるようになること	最先端技術の知識や技術を学ぶこと	その他
全 県		70.4	50.4	32.9	31.8	30.5	19.0	17.1	12.8	10.9	1.9
性別	男性	68.8	50.5	30.6	32.4	29.1	23.3	17.5	11.5	15.0	1.8
	女性	71.9	50.8	34.2	31.8	31.8	16.3	17.0	13.6	8.4	2.0
性別間の差		3.1	0.3	3.6	0.6	2.7	7.0	0.5	2.1	6.6	0.2

【年代別】

「他者への思いやりや、多様な価値観を尊重できること」は50代・60代で最も高い。

区分		多様な価値観を尊重できること	基本的な学力を身につけること	目標に対して粘り強くやり抜く力を育むこと	社会の課題について自ら考える力を育むこと	国際的な外国文化に触れ、外国語や外国文化を深めること	常識にとられない創造力を育むこと	郷土の自然や文化の素晴らしに触れること	情報通信の技術に親しみ、役立てられるようになること	最先端技術の知識や技術を学ぶこと	その他
全 県		70.4	50.4	32.9	31.8	30.5	19.0	17.1	12.8	10.9	1.9
年代別	20代	67.4	40.9	33.9	30.2	32.2	25.2	16.1	18.6	13.2	3.3
	30代	73.3	46.6	37.4	35.9	29.8	24.5	15.3	12.0	11.0	2.5
	40代	73.5	50.3	40.3	31.2	31.8	18.5	16.5	15.5	11.2	3.1
	50代	74.3	47.2	31.8	35.8	30.6	22.7	11.7	14.0	9.1	1.8
	60代	74.3	51.6	28.0	31.5	30.9	15.7	18.2	13.5	11.2	0.6
	70代	66.3	58.2	26.5	31.2	29.5	15.8	20.0	11.2	10.4	1.0
	80歳以上	62.6	50.8	37.7	26.3	30.6	14.5	23.6	4.4	12.5	2.7
年代間の差		11.7	17.3	13.8	9.6	2.7	10.7	11.9	14.2	4.1	2.7

【性・年代別】

男女ともすべての年代で「他者への思いやりや、多様な価値観を尊重できること」が最も高い。

区分		最大値										最小値	(%)							
		多様な価値観を尊重できること	他者への思いやりや、	基礎的・基本的な学力を	身に付けること	目標に対して粘り強く	やり抜く力を育むこと	自らの考える力を育むこと	社会の課題について	国際的な理解を深めること	外国語や外国文化に触れ、	創造力を育むこと	常識にとらわれない	郷土の自然や文化の	素晴らしさに触れること	情報通信の技術に親しみ、	役立てられるようにすること	最先端技術の	知識や技能を学ぶこと	その他
全 県		70.4	50.4	32.9	31.8	30.5	19.0	17.1	12.8	10.9	1.9									
男性・年代別	20代	71.9	39.5	24.6	31.6	25.4	35.1	15.8	14.9	16.7	6.1									
	30代	71.4	52.1	31.9	39.5	20.2	29.4	10.9	9.2	19.3	3.4									
	40代	66.5	53.4	43.8	24.4	30.7	19.3	19.9	16.5	13.6	1.7									
	50代	74.0	41.7	30.4	37.3	32.4	28.4	10.8	11.3	14.2	2.5									
	60代	67.1	55.7	27.1	34.3	28.6	16.7	17.6	13.3	14.8	0.5									
	70代	65.1	55.6	22.6	32.5	29.8	21.0	21.0	10.7	12.7	0.4									
	80歳以上	69.4	50.5	37.8	27.0	35.1	18.9	25.2	2.7	18.9	0.9									
男性・年代間の差		8.9	16.2	21.2	15.1	14.9	18.4	14.4	13.8	6.6	5.7									
女性・年代別	20代	63.3	42.2	42.2	28.9	38.3	16.4	16.4	21.9	10.2	0.8									
	30代	74.4	43.5	40.6	33.8	35.3	21.7	17.9	13.5	6.3	1.9									
	40代	77.2	48.6	38.4	34.8	32.4	18.0	14.7	15.0	9.9	3.9									
	50代	74.5	51.0	32.8	34.8	29.5	18.9	12.3	15.9	5.6	1.3									
	60代	79.2	48.9	28.7	29.6	32.6	15.0	18.6	13.7	8.8	0.7									
	70代	67.2	60.2	29.4	30.2	29.4	11.9	19.2	11.6	8.7	1.5									
	80歳以上	58.6	51.1	37.6	25.8	28.0	11.8	22.6	5.4	8.6	3.8									
女性・年代間の差		20.6	18.0	13.5	9.0	10.3	9.9	10.3	16.5	4.6	3.2									

問7-2 取り組むべき教育の手法

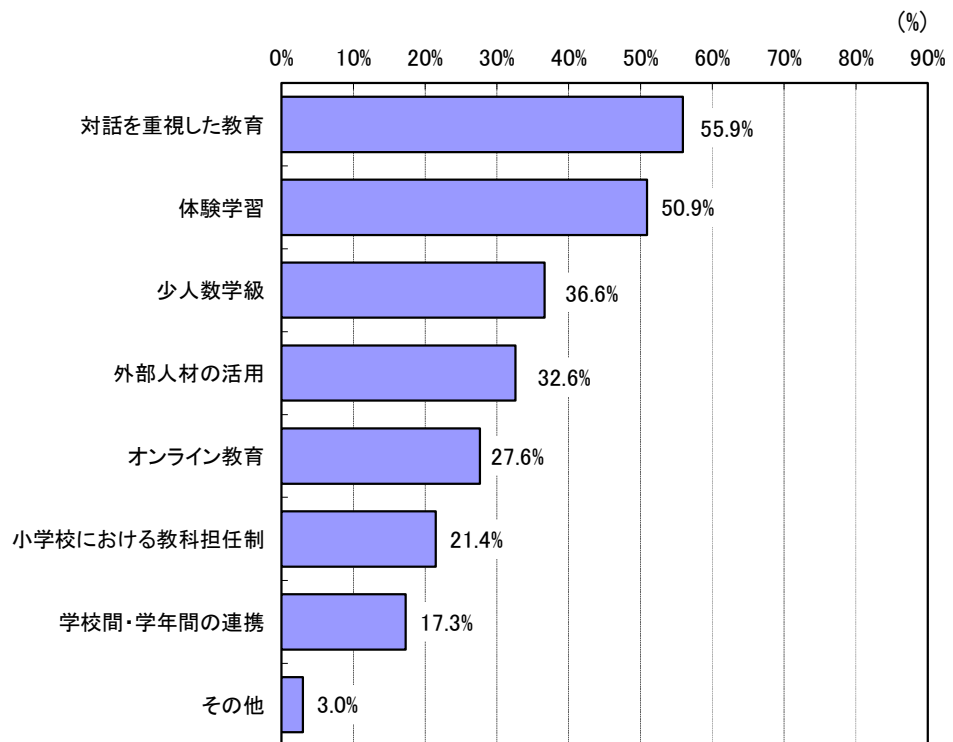
問7-2

これから重点的に取り組むべき教育の手法について、次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 オンライン教育
- 2 少人数学級
- 3 小学校における教科担任制
- 4 対話を重視した教育
- 5 体験学習
- 6 外部人材の活用
- 7 学校間・学年間の連携
- 8 その他

【全 県】

「対話を重視した教育」が最も高く、「体験学習」、「少人数学級」が続いている。



【地域別】

北播磨を除く全ての地域で「対話を重視した教育」が最も高く、北播磨地域では「体験学習」が最も高い。

区分		最大値					最小値		その他	(%)
		対話を重視した教育	体験学習	少人数学級	外部人材の活用	オンライン教育	小学校における教科担任制	学校間・学年間の連携		
全 県		55.9	50.9	36.6	32.6	27.6	21.4	17.3	3.0	
地域別	神 戸	52.1	47.6	33.1	37.6	29.7	25.2	18.3	2.1	
	阪神南	60.0	48.7	38.9	30.2	31.3	19.3	14.9	2.2	
	阪神北	56.6	52.4	40.6	36.0	28.3	21.7	17.5	3.8	
	東播磨	58.5	56.6	37.0	32.2	22.2	17.0	17.4	3.9	
	北播磨	49.1	56.3	35.9	25.9	28.8	21.9	20.0	4.1	
	中播磨	56.8	52.5	40.5	27.2	22.3	19.6	16.9	3.7	
	西播磨	55.1	50.0	37.0	26.8	27.7	21.7	15.1	3.0	
	但 馬	57.8	54.0	30.1	29.2	26.1	22.0	18.3	4.0	
	丹 波	52.9	46.5	31.7	35.6	26.0	26.9	19.9	1.6	
	淡 路	57.5	52.1	30.8	23.3	23.6	18.8	19.2	4.5	
地域間の差		10.9	10.1	10.5	14.3	9.1	9.9	5.1	2.9	

【性別】

男女間で順位の差は見られない。

(%)

区分		対話を重視した教育	体験学習	少人数学級	外部人材の活用	オンライン教育	小学校における教科担任制	学校間・学年間の連携	その他
全 県		55.9	50.9	36.6	32.6	27.6	21.4	17.3	3.0
性別	男 性	56.4	50.2	35.8	34.9	28.5	24.4	16.6	3.0
	女 性	55.4	52.3	37.5	31.7	27.6	19.6	17.5	3.0
性別間の差		1.0	2.1	1.7	3.2	0.9	4.8	0.9	0.0

【年代別】

20～40代では「体験学習」が最も高い。

最大値 最小値 (%)

区分		対話を重視した教育	体験学習	少人数学級	外部人材の活用	オンライン教育	小学校における教科担任制	学校間・学年間の連携	その他
全 県		55.9	50.9	36.6	32.6	27.6	21.4	17.3	3.0
年代別	20代	48.8	56.2	28.9	31.8	35.1	27.7	14.9	4.5
	30代	60.4	61.3	31.0	28.2	34.7	26.4	16.0	3.4
	40代	51.9	57.4	37.3	35.0	32.6	21.8	15.9	3.7
	50代	54.3	48.6	38.3	36.8	30.8	17.6	17.0	3.4
	60代	58.6	50.5	40.2	37.5	25.9	15.5	16.4	1.5
	70代	59.2	47.3	39.1	29.5	18.5	22.7	19.1	2.3
	80歳以上	54.5	40.1	36.4	26.9	23.6	24.9	20.2	3.4
年代間の差		11.6	21.2	11.3	10.6	16.6	12.2	5.3	3.0

【性・年代別】

男性 40 代、女性 20～40 代で「体験学習」が 1 位となっている。

区分		<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> 対話を重視した教育 体験学習 少人数学級 外部人材の活用 オンライン教育 小学校における教科担任制 学校間・学年間の連携 その他 </div>								
		最大値	最小値							
全 県		55.9	50.9	36.6	32.6	27.6	21.4	17.3	3.0	
男性・年代別	20代	51.8	45.6	24.6	40.4	37.7	34.2	14.0	4.4	
	30代	58.8	53.8	30.3	28.6	28.6	29.4	18.5	1.7	
	40代	44.9	58.5	32.4	31.3	35.8	30.1	15.9	4.0	
	50代	55.4	52.0	34.8	37.3	33.3	17.2	19.6	5.4	
	60代	61.0	48.1	41.4	41.9	22.9	13.8	16.7	1.9	
	70代	62.3	46.8	38.1	34.1	18.3	27.0	13.9	1.6	
	80歳以上	56.8	46.8	43.2	26.1	33.3	27.9	19.8	2.7	
男性・年代間の差		17.4	12.9	18.6	15.8	19.4	20.4	5.9	3.8	
女性・年代別	20代	46.1	65.6	32.8	24.2	32.8	21.9	15.6	4.7	
	30代	61.4	65.7	31.4	28.0	38.2	24.6	14.5	4.3	
	40代	55.6	56.8	39.9	36.9	30.9	17.4	15.9	3.6	
	50代	53.6	46.4	40.7	36.4	29.1	17.9	15.2	2.0	
	60代	57.0	52.1	39.4	34.5	28.0	16.6	16.3	1.3	
	70代	57.0	47.7	39.8	26.2	18.6	19.5	23.0	2.9	
	80歳以上	53.2	36.0	32.3	27.4	17.7	23.1	20.4	3.8	
女性・年代間の差		15.3	29.7	9.3	12.7	20.5	8.0	8.5	3.4	

問 8 科学技術の発展

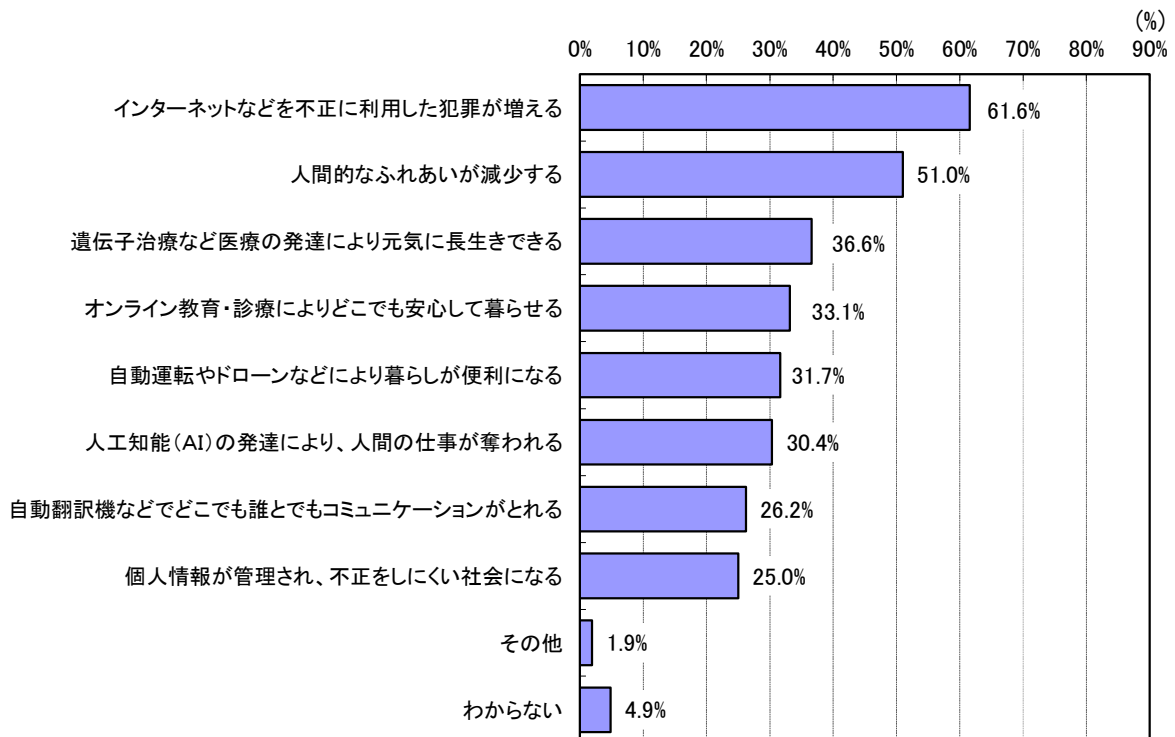
問 8

あなたは科学技術の発展によってもたらされる社会の変化について何に期待し、あるいは不安を感じますか。次の中からあてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 遺伝子治療など医療の発達により元気に長生きできる
- 2 自動運転やドローンなどにより暮らしが便利になる
- 3 オンライン教育・診療によりどこでも安心して暮らせる
- 4 自動翻訳機などでどこでも誰とでもコミュニケーションがとれる
- 5 個人情報管理され、不正をしにくい社会になる
- 6 インターネットなどを不正に利用した犯罪が増える
- 7 人工知能（AI）の発達により、人間の仕事が奪われる
- 8 人間的なふれあいが減少する
- 9 その他
- 10 わからない

【全 県】

「インターネットなどを不正に利用した犯罪が増える」が最も高く、「人間的なふれあいが減少する」、「遺伝子治療など医療の発達により元気に長生きできる」が続いている。



【地域別】

全ての地域で「インターネットなどを不正に利用した犯罪が増える」が最も高い。

区分	不正に利用した犯罪が増える	人間的なふれあいが減少する	医療の発達により 元気に長生きできる	遺伝子治療など	オンライン教育・診療により どこでも安心して暮らせる	自動運転や ドローンなどにより 暮らしが便利になる	人間の仕事が奪われる	人工知能（AI）の発達 により、	最大値	最小値	（%）
									どこでも誰とでも コミュニケーションがとれる	自動翻訳機などで 個人情報が管理され、 不正をしにくい社会になる	
全 県	61.6	51.0	36.6	33.1	31.7	30.4	26.2	25.0	1.9	4.9	
地域別	神 戸	63.4	52.8	34.5	37.2	28.3	35.5	28.3	26.6	0.7	5.5
	阪神南	63.3	44.7	41.5	32.0	30.9	26.2	25.8	25.8	2.9	4.7
	阪神北	58.7	51.0	36.7	37.1	39.5	30.1	28.3	24.1	3.1	4.2
	東播磨	60.1	51.1	37.9	27.3	31.8	27.7	26.0	23.5	2.6	5.8
	北播磨	60.6	52.8	35.0	29.4	34.4	27.2	22.5	24.7	1.6	4.7
	中播磨	62.5	53.2	35.2	30.2	33.9	30.9	27.9	22.9	1.7	4.0
	西播磨	59.3	54.2	34.6	32.2	27.4	27.4	19.0	27.4	2.1	3.6
	但 馬	57.5	55.9	32.6	29.2	29.5	34.8	18.6	24.2	1.9	7.5
	丹 波	57.4	51.0	30.4	35.3	29.8	28.5	22.8	25.0	1.3	5.4
	淡 路	60.3	53.4	36.6	26.7	28.8	23.6	18.8	20.9	0.3	0.0
地域間の差	6.0	11.2	11.1	10.5	12.1	11.9	9.7	6.5	2.8	7.5	

【性別】

「遺伝子治療など医療の発達により元気に長生きできる」で男女差が最も大きい(11.3ポイント差)。

区分		不正にインターネットなどを利用した犯罪が増える	人間的なふれあいが減少する	元気に長生きできる	医療の発達により	遺伝子治療など	どこでも安心して暮らせる	オンライン教育・診療により	自動運転やドローンなどにより	人間の仕事が奪われる	人工知能(AI)の発達	どこでも誰とでもコミュニケーションがとれる	自動翻訳機などで	不正に情報なく管理される	個人情報が管理され、社会になる	その他	わからない
全 県		61.6	51.0	36.6	33.1	31.7	30.4	26.2	25.0	1.9	4.9						
性別	男性	58.6	49.9	43.6	32.5	37.6	29.1	29.6	25.3	1.8	4.0						
	女性	63.7	52.1	32.3	34.0	28.5	31.7	24.1	25.2	2.1	5.3						
性別間の差		5.1	2.2	11.3	1.5	9.1	2.6	5.5	0.1	0.3	1.3						

【年代別】

70代までは「インターネットなどを不正に利用した犯罪が増える」が最も高く、80歳以上は「人間的なふれあいが減少する」が最も高い。

区分		不正にインターネットなどを利用した犯罪が増える	人間的なふれあいが減少する	元気に長生きできる	医療の発達により	遺伝子治療など	どこでも安心して暮らせる	オンライン教育・診療により	自動運転やドローンなどにより	人間の仕事が奪われる	人工知能(AI)の発達	どこでも誰とでもコミュニケーションがとれる	自動翻訳機などで	不正に情報なく管理される	個人情報が管理され、社会になる	その他	わからない
全 県		61.6	51.0	36.6	33.1	31.7	30.4	26.2	25.0	1.9	4.9						
年代別	20代	57.4	41.7	31.8	33.5	36.8	36.8	32.6	36.0	2.5	5.4						
	30代	63.8	44.8	46.3	33.1	37.7	35.6	35.3	24.5	3.1	3.4						
	40代	66.6	44.6	35.2	36.3	38.7	34.6	32.8	25.0	2.9	2.9						
	50代	66.0	50.4	37.0	36.8	37.0	35.0	28.3	22.9	2.2	2.0						
	60代	62.5	57.3	37.7	33.8	31.7	26.9	23.4	23.4	1.2	4.3						
	70代	59.4	58.2	35.4	27.9	20.5	25.2	19.3	22.8	1.2	7.4						
	80歳以上	49.8	55.2	33.0	34.0	26.6	24.2	16.2	30.0	1.3	9.8						
年代間の差		16.8	16.5	14.5	8.9	18.2	12.6	19.1	13.2	1.9	7.8						

【性・年代別】

70代の男性、80歳以上の男女では「人間的なふれあいが減少する」が最も高い。

区分		最大値							最小値		わ か ら な い				
		不正に利用した犯罪が増える	人間的なふれあいが減少する	元気に長生きできる	医療の発達により	遺伝子治療など	どこでも安心して暮らせる	オンライン教育・診療により	暮らしが便利になる	自動運転やドローンなどにより		人間の仕事が奪われる	人工知能（AI）の発達	コミュニケーションがとれる	自動翻訳機などで
全 県		61.6	51.0	36.6	33.1	31.7	30.4	26.2	25.0	1.9	4.9				
男性・年代別	20代	57.0	36.8	39.5	28.9	46.5	42.1	34.2	36.8	1.8	7.9				
	30代	59.7	44.5	53.8	26.9	39.5	36.1	37.0	26.1	3.4	1.7				
	40代	61.4	38.1	36.9	34.7	40.9	33.0	27.3	29.5	2.3	3.4				
	50代	61.8	50.0	44.6	36.3	40.7	33.8	35.8	23.0	2.5	3.9				
	60代	61.0	54.8	45.2	33.8	38.6	21.9	30.0	20.5	1.9	1.4				
	70代	56.3	59.5	44.0	28.6	27.8	22.2	25.0	18.3	1.2	5.6				
	80歳以上	50.5	56.8	43.2	40.5	36.9	23.4	20.7	36.9	0.9	6.3				
男性・年代間の差		11.3	22.7	16.9	13.6	18.7	20.2	16.3	18.6	2.5	6.5				
女性・年代別	20代	57.8	46.1	25.0	37.5	28.1	32.0	31.3	35.2	3.1	3.1				
	30代	66.2	44.9	42.0	36.7	36.7	35.3	34.3	23.7	2.9	4.3				
	40代	69.4	48.0	34.2	37.2	37.5	35.4	35.7	22.5	3.3	2.7				
	50代	68.9	50.7	31.8	37.1	34.4	35.8	23.2	22.8	2.0	0.7				
	60代	63.5	59.0	32.6	33.9	27.0	30.3	18.9	25.4	0.7	6.2				
	70代	61.6	57.3	29.1	27.3	15.1	27.3	15.1	26.2	1.2	8.7				
	80歳以上	49.5	54.3	26.9	30.1	20.4	24.7	13.4	25.8	1.6	11.8				
女性・年代間の差		19.9	14.1	17.0	10.2	22.4	11.1	22.3	12.7	2.6	11.1				

問9 在留外国人

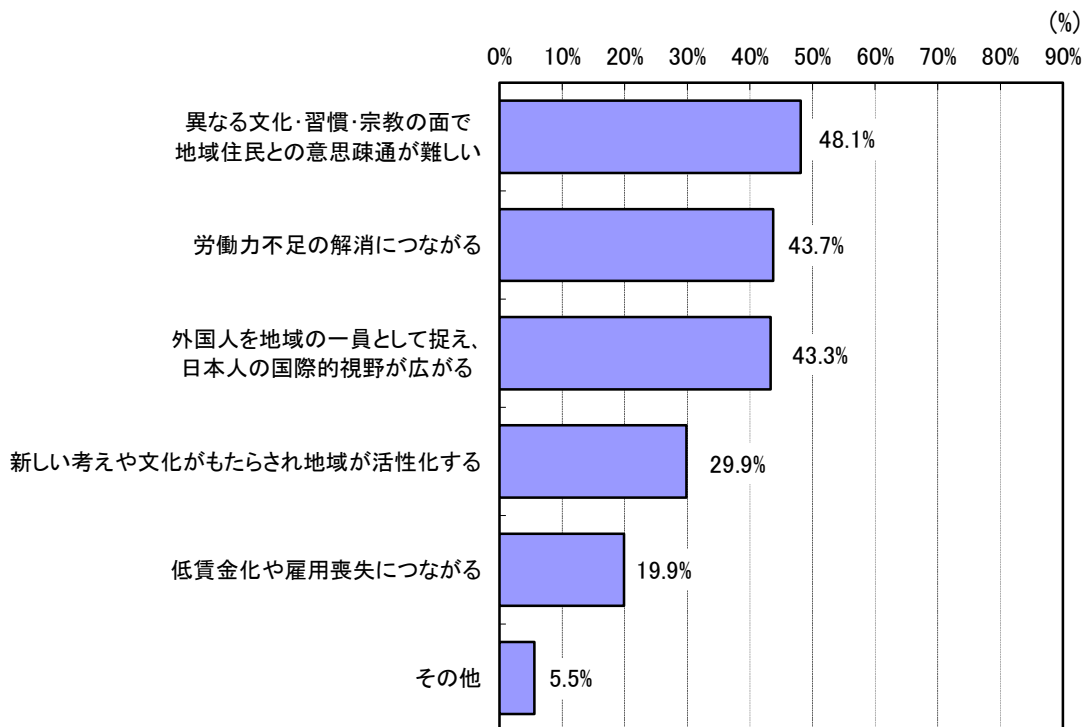
問9

今後、在留外国人が増えることが見込まれますが、お住まいの地域で在留外国人が増えることについてどのような印象をお持ちですか、あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 外国人を地域の一員として捉え、日本人の国際的視野が広がる
- 2 労働力不足の解消につながる
- 3 新しい考えや文化がもたらされ地域が活性化する
- 4 低賃金化や雇用喪失につながる
- 5 異なる文化・習慣・宗教の面で地域住民との意思疎通が難しい
- 6 その他

【全 県】

「異なる文化・習慣・宗教の面で地域住民との意思疎通が難しい」が最も高く、「労働力不足の解消につながる」、「外国人を地域の一員として捉え、日本人の国際的視野が広がる」が続いている。



【地域別】

全県で上位となった「異なる文化・習慣・宗教の面で地域住民との意思疎通が難しい」、
「労働力不足の解消につながる」、「外国人を地域の一員として捉え、日本人国際的視野が広がる」は、地域間で順位に差がある。

区分		最大値		最小値		その他	(%)
		異なる文化・習慣・宗教の面で地域住民との意思疎通が難しい	労働力不足の解消につながる	外国人を地域の一員として捉え日本人の国際的視野が広がる	新しい考えや文化がもたらされる地域活性化		
全 県		48.1	43.7	43.3	29.9	19.9	5.5
地域別	神 戸	49.7	45.2	47.9	33.1	21.4	4.8
	阪神南	45.5	39.6	46.2	28.7	22.9	6.2
	阪神北	45.8	43.4	45.8	32.9	17.8	5.9
	東播磨	55.6	38.3	35.0	27.3	19.3	6.1
	北播磨	50.9	48.8	38.8	21.9	18.4	6.6
	中播磨	49.2	47.2	34.2	23.3	20.6	6.0
	西播磨	43.7	47.6	45.2	30.1	14.8	3.3
	但 馬	40.7	55.0	41.9	30.7	13.4	4.0
	丹 波	42.3	42.3	41.3	31.7	13.1	5.8
	淡 路	37.3	45.2	42.8	35.3	16.8	4.8
地域間の差		18.3	16.7	13.7	13.4	9.8	3.3

【性別】

女性は「異なる文化・習慣・宗教の面で地域住民との意思疎通が難しい」に次いで、「外国人を地域の一員として捉え、日本人の国際的視野が広がる」が2位となっている。

(%)

区分		異なる文化・習慣・宗教の面で地域住民との意思疎通が難しい	労働力不足の解消につながる	外国人を地域の一員として捉え、日本人の国際的視野が広がる	新しい考えや文化がもたらされる地域が活性化	低賃金化や雇用喪失につながる	その他
全 県		48.1	43.7	43.3	29.9	19.9	5.5
性別	男 性	52.6	47.9	41.3	27.1	23.8	6.0
	女 性	45.9	41.2	45.2	31.6	17.4	5.1
性別間の差		6.7	6.7	3.9	4.5	6.4	0.9

【年代別】

20代は「外国人を地域の一員として捉え、日本人の国際的視野が広がる」が最も高く、80歳以上は「労働力不足の解消につながる」が最も高い。

区分		最大値	最小値	（%）			
		労働力不足の解消につながる	外国人の国際的視野が広がる	新しい考えや文化がもたらされる	低賃金化や雇用喪失につながる	その他	
全 県		48.1	43.7	43.3	29.9	19.9	5.5
年代別	20代	44.2	40.5	45.0	33.9	20.2	9.1
	30代	49.7	40.5	43.6	33.4	22.7	8.0
	40代	49.7	41.5	44.2	27.1	26.5	5.9
	50代	48.8	47.4	43.3	26.3	18.4	4.2
	60代	55.1	44.9	42.0	29.2	19.9	4.4
	70代	46.6	39.8	44.3	31.4	18.3	4.9
	80歳以上	40.4	52.9	43.4	31.0	11.4	4.7
年代間の差		14.7	13.1	3.0	7.6	15.1	4.9

【性・年代別】

50代・80歳以上の男性は、「労働力不足の解消につながる」が最も高く、20～30代・50代・80歳以上の女性は「外国人を地域の一員として捉え日本人の国際的視野が広がる」が最も高い。

区分		最大値		最小値		（%）	
		労働力不足の解消につながる	外国人を地域の一員として捉え	新しい考えや文化がもたらされる	低賃金化や雇用喪失につながる	その他	
全 県		48.1	43.7	43.3	29.9	19.9	5.5
男性・年代別	20代	52.6	35.1	32.5	30.7	30.7	12.3
	30代	57.1	33.6	38.7	26.1	31.1	10.9
	40代	54.0	42.0	40.3	23.3	26.7	9.1
	50代	53.4	57.4	37.7	20.6	23.0	4.4
	60代	55.2	54.8	49.5	30.0	20.5	2.9
	70代	46.8	41.7	43.3	33.3	23.4	4.8
	80歳以上	51.4	69.4	43.2	24.3	12.6	1.8
男性・年代間の差		10.3	35.8	17.0	12.7	18.5	10.5
女性・年代別	20代	36.7	45.3	56.3	36.7	10.9	6.3
	30代	45.4	44.4	46.4	37.7	17.9	6.3
	40代	47.4	41.1	46.2	29.1	26.4	4.2
	50代	45.7	40.7	47.0	30.1	15.2	4.0
	60代	55.0	38.1	36.8	28.7	19.5	5.5
	70代	46.5	38.4	45.1	29.9	14.5	4.9
	80歳以上	33.9	43.0	43.5	34.9	10.8	6.5
女性・年代間の差		21.1	7.2	19.5	9.0	15.6	2.5

問 10 地域社会の将来像

問 10

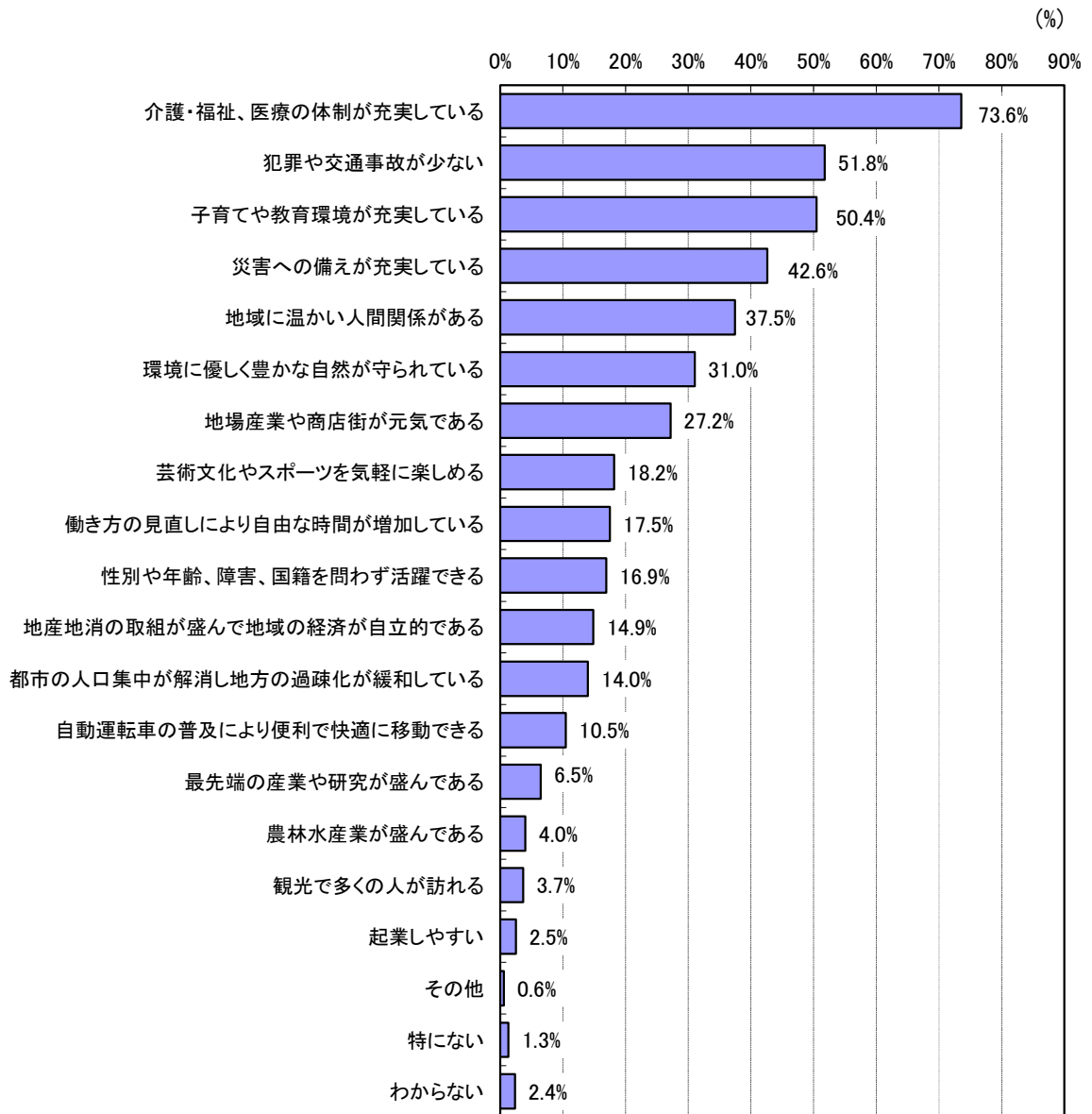
あなたが特に期待する地域社会の将来像はどれですか。次の中からあてはまるものを5つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 子育てや教育環境が充実している
- 2 介護・福祉、医療の体制が充実している
- 3 性別や年齢、障害、国籍を問わず活躍できる
- 4 地域に温かい人間関係がある
- 5 働き方の見直しにより自由な時間が増加している
- 6 芸術文化やスポーツを気軽に楽しめる
- 7 観光で多くの人を訪れる
- 8 起業しやすい
- 9 最先端の産業や研究が盛んである
- 10 地場産業や商店街が元気である
- 11 農林水産業が盛んである
- 12 地産地消の取組が盛んで地域の経済が自立的である
- 13 環境に優しく豊かな自然が守られている
- 14 自動運転車の普及により便利で快適に移動できる
- 15 災害への備えが充実している
- 16 犯罪や交通事故が少ない
- 17 都市の人口集中が解消し地方の過疎化が緩和している
- 18 その他
- 19 特にない
- 20 わからない

【全 県】

「介護・福祉、医療の体制が充実している」が最も高く、「犯罪や交通事故が少ない」、「子育てや教育環境が充実している」が続いている。

地域社会の将来像



地域社会の将来像

【地域別】

「介護・福祉、医療の体制が充実している」が、どの地域でも最も高い。

区分	介護・福祉、医療の体制が充実している	犯罪や交通事故が少ない	子育てや教育環境が充実している	災害への備えが充実している	地域に温かい人間関係がある	環境に優しく豊かな自然が守られている	地場産業や商店街が元気である	芸術文化やスポーツを気軽に楽しめる	働き方の見直しにより自由な時間が増加している	国籍を問わず活躍できる	性別や年齢、障害、地域の経済が自立的である	地産地消の取組が盛んである	都市の人口集中が解消している	地方の過疎化が緩和している	快速移動できる	最先端の産業や研究が盛んである	農林水産業が盛んである	観光で多くの人が訪れる	起業しやすい	最大値	最小値	特にない	わからない	(%)
																				2.5	0.6			
全 県	73.6	51.8	50.4	42.6	37.5	31.0	27.2	18.2	17.5	16.9	14.9	14.0	10.5	6.5	4.0	3.7	2.5	0.6	1.3	2.4				
地域別	神 戸	73.1	53.4	47.9	43.8	37.2	31.4	32.4	20.7	14.8	15.5	16.6	11.7	10.0	9.0	2.4	3.4	2.1	0.3	2.1	2.4			
	阪神南	70.9	53.8	53.1	48.7	32.4	29.5	25.8	21.1	22.9	22.5	10.2	13.1	9.1	6.9	2.2	1.5	2.2	0.0	1.1	2.2			
	阪神北	75.9	56.6	51.7	42.3	40.6	38.8	25.5	19.2	20.3	17.8	14.7	12.9	10.5	4.9	2.4	3.8	1.0	1.4	1.0	1.4			
	東播磨	75.9	55.0	55.3	44.4	36.7	24.4	26.0	14.8	19.6	14.5	13.2	14.5	12.5	4.5	4.8	2.9	3.5	1.0	0.3	1.3			
	北播磨	72.2	42.5	45.9	31.3	43.1	32.8	27.8	14.1	14.4	16.9	13.8	20.0	11.6	4.4	5.6	3.4	3.4	0.6	0.3	2.5			
	中播磨	75.1	54.2	49.2	40.9	40.5	29.2	21.9	16.9	13.3	15.9	18.3	11.6	9.3	5.3	3.0	4.3	4.0	0.7	1.0	3.3			
	西播磨	73.5	39.8	50.0	34.9	38.0	35.2	25.6	12.3	14.2	14.8	16.0	19.6	11.7	7.5	8.7	5.1	1.8	0.0	0.9	3.0			
	但 馬	74.2	37.0	49.1	28.6	36.6	30.1	27.3	11.5	14.0	11.5	17.7	27.0	11.2	3.7	13.4	9.3	3.7	0.3	2.2	5.9			
	丹 波	71.8	34.0	45.8	39.4	41.3	32.7	21.8	14.1	14.4	14.1	16.3	19.6	13.5	7.7	10.3	5.8	3.5	1.3	1.9	3.8			
	淡 路	71.2	31.8	44.2	35.3	39.7	26.0	21.9	12.3	15.4	14.0	22.6	19.9	12.7	3.8	17.1	11.6	3.4	1.4	3.4	3.4			
地域間の差	5.0	24.8	11.1	20.1	10.7	14.4	10.6	9.6	9.6	11.0	12.4	15.4	4.4	5.3	14.9	10.1	3.0	1.4	3.1	4.6				

【性 別】

男女間で大きな差は見られない。

区分	介護・福祉、医療の体制が充実している	犯罪や交通事故が少ない	子育てや教育環境が充実している	災害への備えが充実している	地域に温かい人間関係がある	環境に優しく豊かな自然が守られている	地場産業や商店街が元気である	芸術文化やスポーツを気軽に楽しめる	働き方の見直しにより自由な時間が増加している	国籍を問わず活躍できる	性別や年齢、障害、地域の経済が自立的である	地産地消の取組が盛んである	都市の人口集中が解消している	地方の過疎化が緩和している	快速移動できる	最先端の産業や研究が盛んである	農林水産業が盛んである	観光で多くの人が訪れる	起業しやすい	その他	特にない	わからない	(%)
全 県	73.6	51.8	50.4	42.6	37.5	31.0	27.2	18.2	17.5	16.9	14.9	14.0	10.5	6.5	4.0	3.7	2.5	0.6	1.3	2.4			
性別	男 性	71.6	50.5	48.4	38.1	34.9	29.0	27.7	18.1	18.9	16.0	15.0	14.4	11.1	8.9	4.2	4.5	3.3	0.9	1.9	2.4		
	女 性	76.1	53.0	52.4	46.4	39.4	32.8	26.9	18.0	16.9	17.8	15.0	14.0	10.0	5.1	4.0	3.1	2.0	0.3	0.9	2.3		
性別間の差	4.5	2.5	4.0	8.3	4.5	3.8	0.8	0.1	2.0	1.8	0.0	0.4	1.1	3.8	0.2	1.4	1.3	0.6	1.0	0.1			

地域社会の将来像

【年代別】

「介護・福祉、医療の体制が充実している」は60代で最も高い。

区分	介護・福祉、医療の体制が充実している	犯罪や交通事故が少ない	子育てや教育環境が充実している	災害への備えが充実している	地域に温かい人間関係がある	環境に優しく豊かな自然が守られている	地場産業や商店街が元気である	芸術文化やスポーツを気軽に楽しめる	働き方の見直しにより自由な時間が増加している	国籍を問わず活躍できる	性別や年齢、障害、国籍を問わず活躍できる	地産地消の取組が盛んである	都市の人口集中が解消し地方の過疎化が緩和している	自動運転車の普及により便利で快適に移動できる	最先端の産業や研究が盛んである	農林水産業が盛んである	観光で多くの人が訪れる	最大値	最小値	(%)	
																		起業しやすい	その他	特にない	わからない
全 県	73.6	51.8	50.4	42.6	37.5	31.0	27.2	18.2	17.5	16.9	14.9	14.0	10.5	6.5	4.0	3.7	2.5	0.6	1.3	2.4	
年代別	20代	52.5	60.3	65.7	42.1	27.7	21.9	16.5	14.5	42.1	26.0	9.5	14.9	4.5	13.6	4.1	6.6	4.1	0.8	1.2	2.5
	30代	66.6	64.7	74.2	48.8	28.5	27.3	22.4	15.0	33.1	18.1	12.3	16.6	12.9	10.4	3.1	4.0	4.3	0.0	0.0	0.6
	40代	72.1	58.9	58.0	42.4	36.5	31.0	26.5	15.1	26.1	19.3	14.3	10.0	13.8	7.3	2.4	2.0	3.3	0.4	1.0	1.4
	50代	79.1	58.7	45.1	42.7	33.6	27.3	31.2	18.8	14.8	18.6	19.4	12.3	13.8	3.8	4.5	4.7	3.2	1.4	1.0	0.4
	60代	80.9	45.5	43.5	47.8	42.0	35.0	29.2	21.7	8.9	13.9	16.2	15.5	10.6	5.2	4.6	2.3	1.4	0.0	0.2	3.7
	70代	76.2	41.6	41.9	41.1	43.0	35.2	28.9	22.3	6.4	14.9	13.9	15.3	7.9	4.7	3.4	2.5	1.3	0.8	2.2	3.4
	80歳以上	79.8	40.1	40.1	33.3	45.8	35.7	27.9	13.8	8.4	12.5	15.5	16.8	6.1	6.4	6.7	6.4	1.3	0.7	4.4	4.0
年代間の差	28.4	24.6	34.1	15.5	18.1	13.8	14.7	8.5	35.7	13.5	9.9	6.8	9.3	9.8	4.3	4.6	3.0	1.4	4.4	3.6	

地域社会の将来像

【性・年代別】

「介護・福祉、医療の体制が充実している」は、男性は80歳以上、女性は50代で最も高い。

区分	充実している 介護・福祉、医療の体制が	犯罪や交通事故が少ない	子育てや教育環境が充実している	災害への備えが充実している	地域に温かい人間関係がある	守られていて豊かな自然が環境に優れている	地場産業や商店街が元気である	芸術文化やスポーツを気軽に楽しめる	働き方の見直しにより自由な時間が増加している	国籍を問わず活躍できる	性別や年齢、障害、地域経済が自立的である	地方の過疎化が緩和されている	都市の人口集中が解消し快適に移動できる	自動運転車の普及により便利である	最先端の産業や研究が盛んである	農林水産業が盛んである	観光で多くの人が訪れる	最大値	最小値	(%)	
																		2.5	0.6		
全 県	73.6	51.8	50.4	42.6	37.5	31.0	27.2	18.2	17.5	16.9	14.9	14.0	10.5	6.5	4.0	3.7	2.5	0.6	1.3	2.4	
男性・年代別	20代	48.2	55.3	58.8	36.0	27.2	14.0	10.5	13.2	40.4	21.1	11.4	17.5	7.9	22.8	5.3	7.0	6.1	1.8	0.9	5.3
	30代	68.1	60.5	66.4	40.3	32.8	23.5	23.5	15.1	30.3	11.8	10.9	20.2	22.7	14.3	3.4	5.9	3.4	0.0	0.0	0.0
	40代	70.5	50.6	56.3	33.0	36.9	25.6	36.9	19.9	29.5	14.2	14.8	7.4	11.9	8.0	2.8	2.8	5.1	1.1	2.3	1.1
	50代	71.1	58.3	49.5	35.3	29.4	32.8	36.3	19.6	14.7	17.6	17.6	13.7	14.2	4.4	4.4	7.8	3.9	2.0	2.0	1.0
	60代	77.6	43.8	39.5	42.9	40.5	30.5	25.7	21.4	12.4	12.9	15.7	14.3	10.0	8.6	4.3	1.4	2.9	0.0	0.0	3.3
	70代	75.0	44.0	40.1	40.5	35.7	33.7	26.2	22.6	7.9	19.4	12.7	12.7	7.1	6.0	4.0	3.2	1.6	1.2	2.4	3.6
	80歳以上	83.8	47.7	41.4	36.0	42.3	35.1	27.0	6.3	13.5	12.6	21.6	23.4	4.5	6.3	4.5	5.4	0.9	0.0	6.3	1.8
男性・年代間の差	35.6	16.7	26.9	9.9	15.1	21.1	26.4	16.3	32.5	9.3	10.7	16.0	18.2	18.4	2.5	6.4	5.2	2.0	6.3	5.3	
女性・年代別	20代	56.3	64.8	71.9	47.7	28.1	28.9	21.9	15.6	43.8	30.5	7.8	12.5	1.6	5.5	3.1	6.3	2.3	0.0	1.6	0.0
	30代	65.7	67.1	78.7	53.6	26.1	29.5	21.7	15.0	34.8	21.7	13.0	14.5	7.2	8.2	2.9	2.9	4.8	0.0	0.0	1.0
	40代	73.0	63.4	58.9	47.4	36.3	33.9	21.0	12.6	24.3	21.9	14.1	11.4	14.7	6.9	2.1	1.5	2.4	0.0	0.3	1.5
	50代	84.4	58.9	42.1	47.7	36.4	23.5	27.8	18.2	14.9	19.2	20.5	11.3	13.6	3.3	4.6	2.6	2.6	1.0	0.3	0.0
	60代	83.1	46.6	46.3	51.1	43.0	38.1	31.6	21.8	6.5	14.7	16.6	16.3	11.1	2.9	4.9	2.9	0.3	0.0	0.3	3.9
	70代	77.0	39.8	43.3	41.6	48.3	36.3	30.8	22.1	5.2	11.6	14.8	17.2	8.4	3.8	2.9	2.0	1.2	0.6	2.0	3.2
	80歳以上	77.4	35.5	39.2	31.7	47.8	36.0	28.5	18.3	5.4	12.4	11.8	12.9	7.0	6.5	8.1	7.0	1.6	1.1	3.2	5.4
女性・年代間の差	28.1	31.6	39.5	21.9	22.2	14.6	10.6	9.5	38.6	18.9	12.7	5.9	13.1	5.3	6.0	5.5	4.5	1.1	3.2	5.4	

4 毎年調査項目

問 11 今の生活全般での満足度

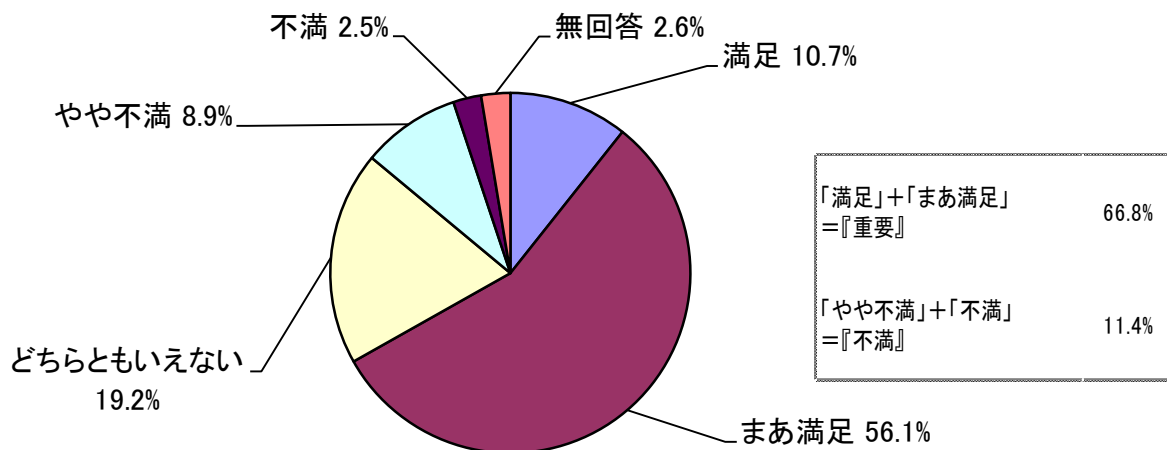
問 11

あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|-------------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 どちらともいえない |
| 4 やや不満 | 5 不満 | |

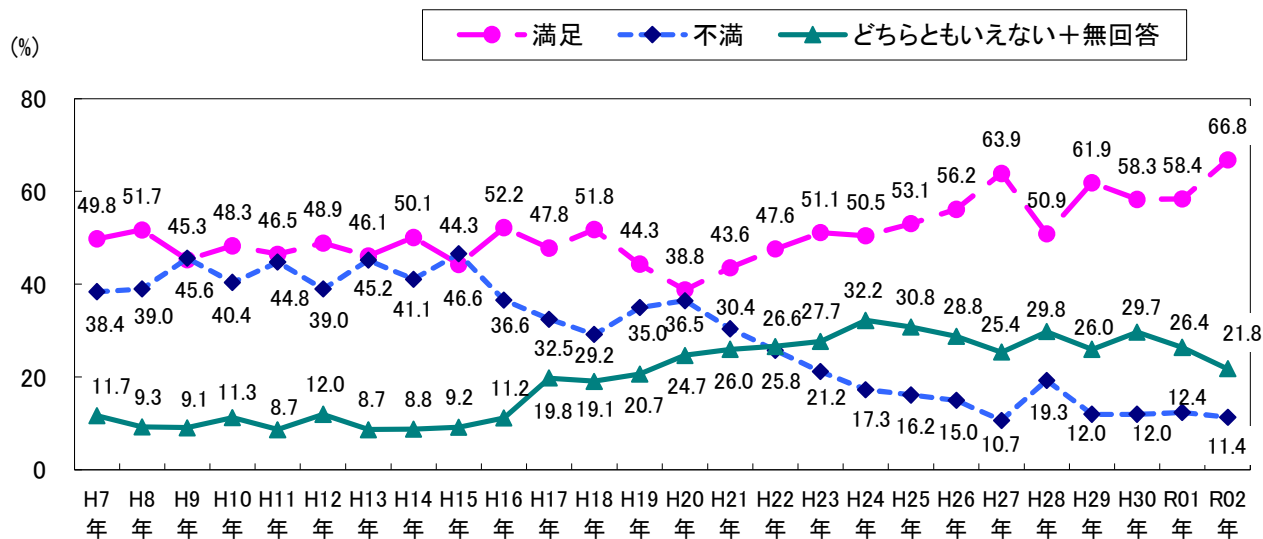
【全県】

「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足(66.8%)』が、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満(11.4%)』を55.4ポイント上回っている。



【経年比較】

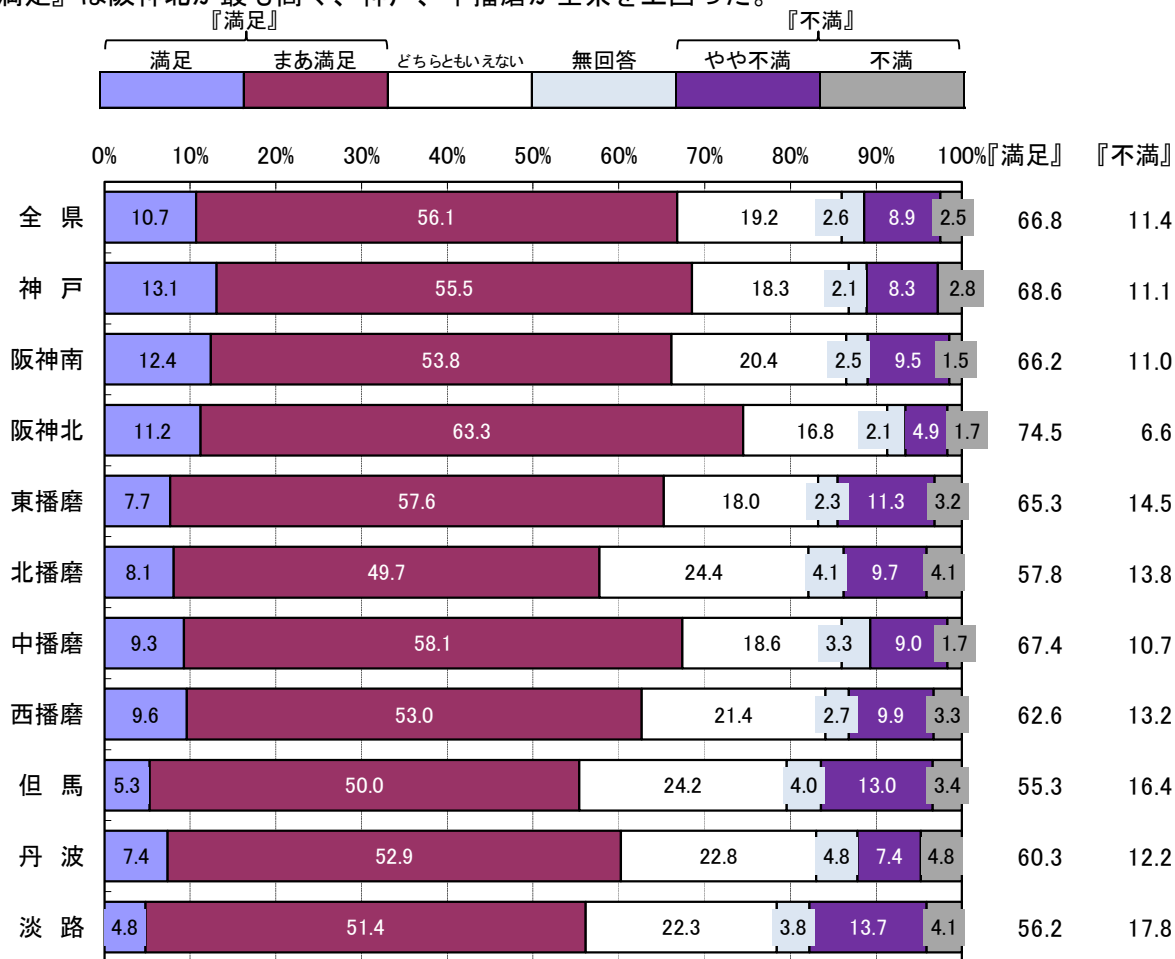
『満足』は前年より8.4ポイント増加、『不満』は1.0ポイント減少となった。



今の生活全般での満足度

【地域別】

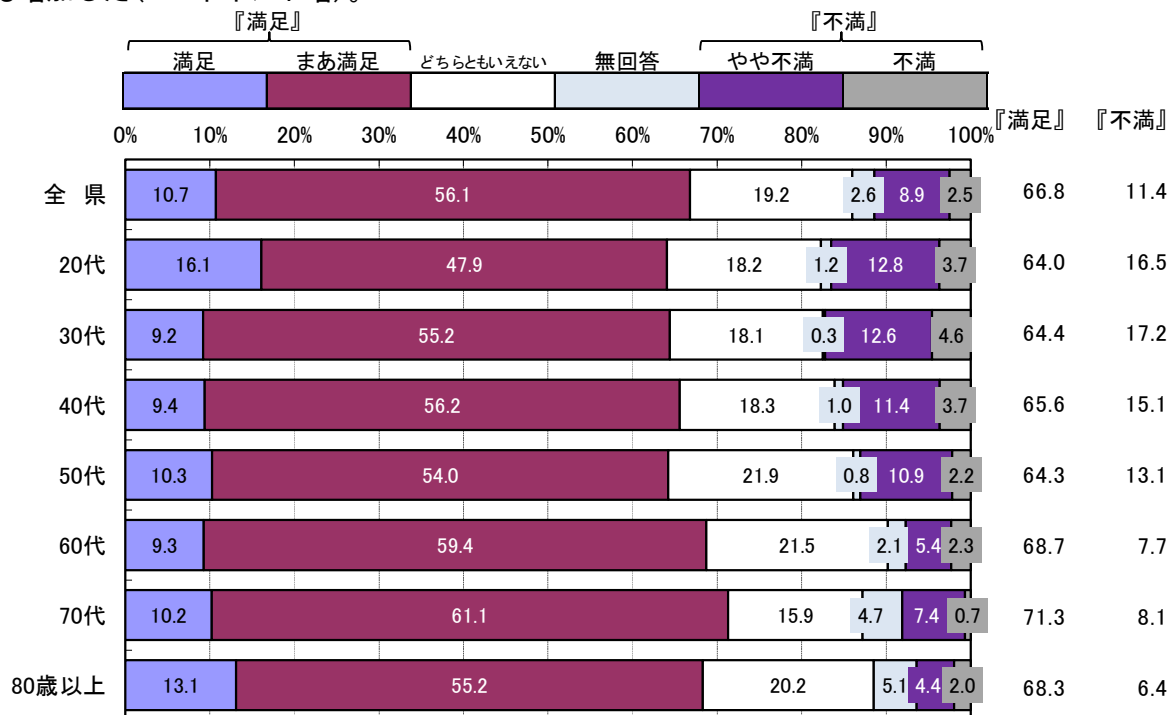
『満足』は阪神北が最も高く、神戸、中播磨が全県を上回った。



今の生活全般での満足度

【年代別】

70代の『満足(71.3%)』が前年より最も増加し(13.3ポイント増)、20代の『不満(16.5%)』が前年より最も増加した(7.6ポイント増)。

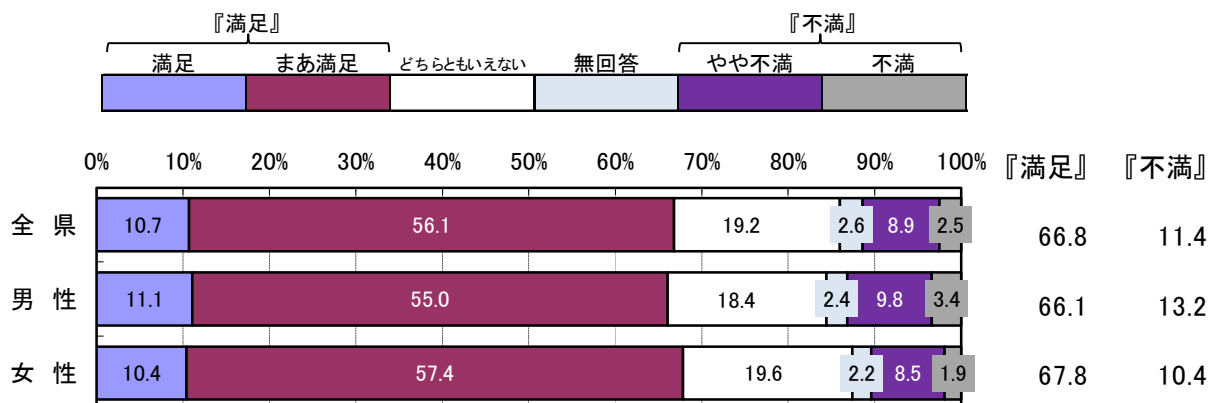


区分	『満足』		R02-R01	『不満』		R02-R01
	R02	R01		R02	R01	
全県	66.8	58.4	8.4	11.4	12.4	-1.0
20代	64.0	64.8	-0.8	16.5	8.9	7.6
30代	64.4	52.5	11.9	17.2	16.6	0.6
40代	65.6	62.4	3.2	15.1	14.7	0.4
50代	64.3	59.1	5.2	13.1	15.5	-2.4
60代	68.7	57.1	11.6	7.7	12.2	-4.5
70代	71.3	58.0	13.3	8.1	10.7	-2.6
80歳以上	68.3	57.0	11.3	6.4	6.2	0.2

今の生活全般での満足度

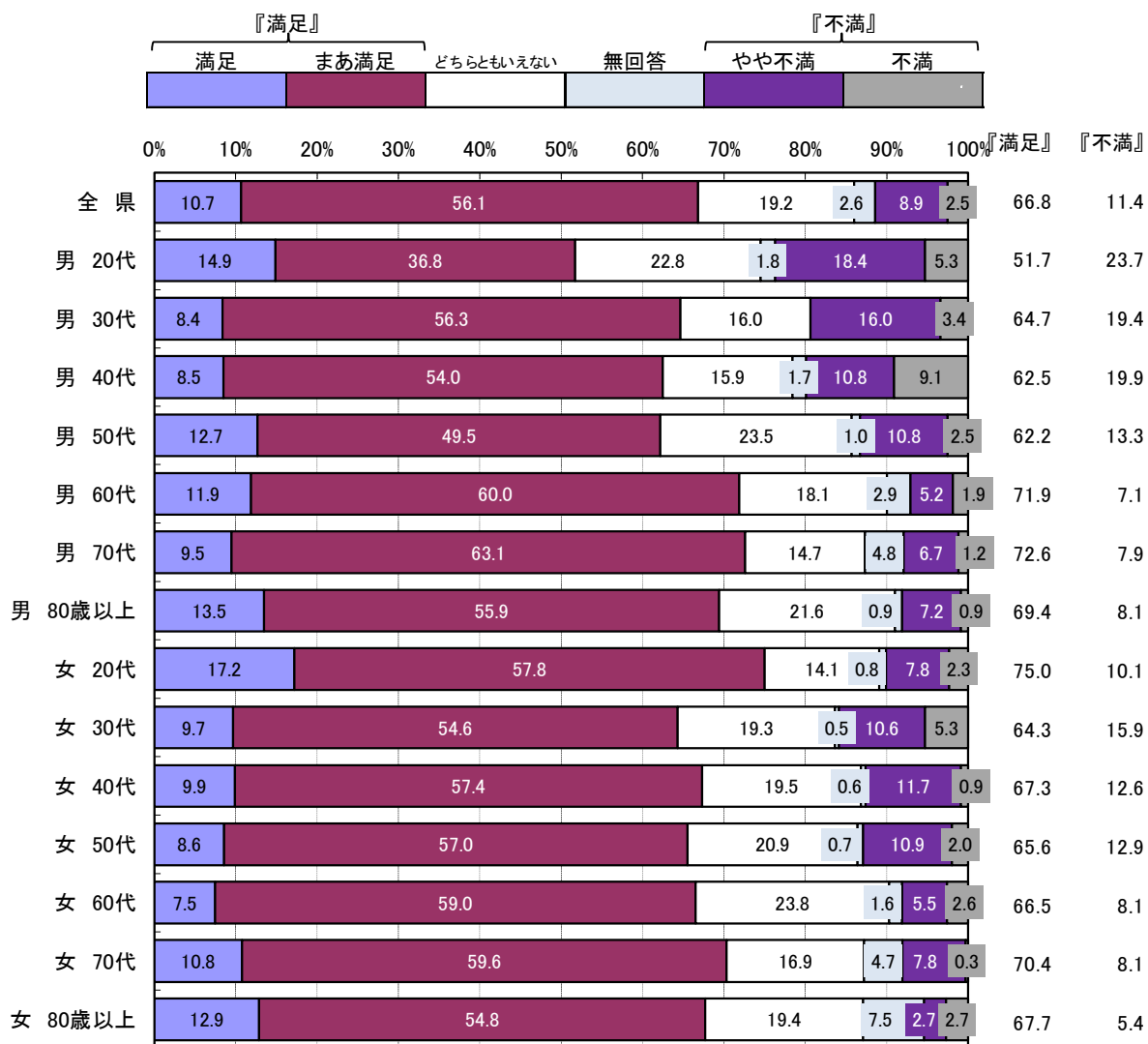
【性別】

『満足』は、女性が男性より1.7ポイント高い。



【性・年代別】

男性、女性ともに、全ての世代で『満足』が『不満』を上回り、最も『満足』が高いのは、男性は70代、女性は20代となった。



問 12 今の生活の項目別での満足度

問 12

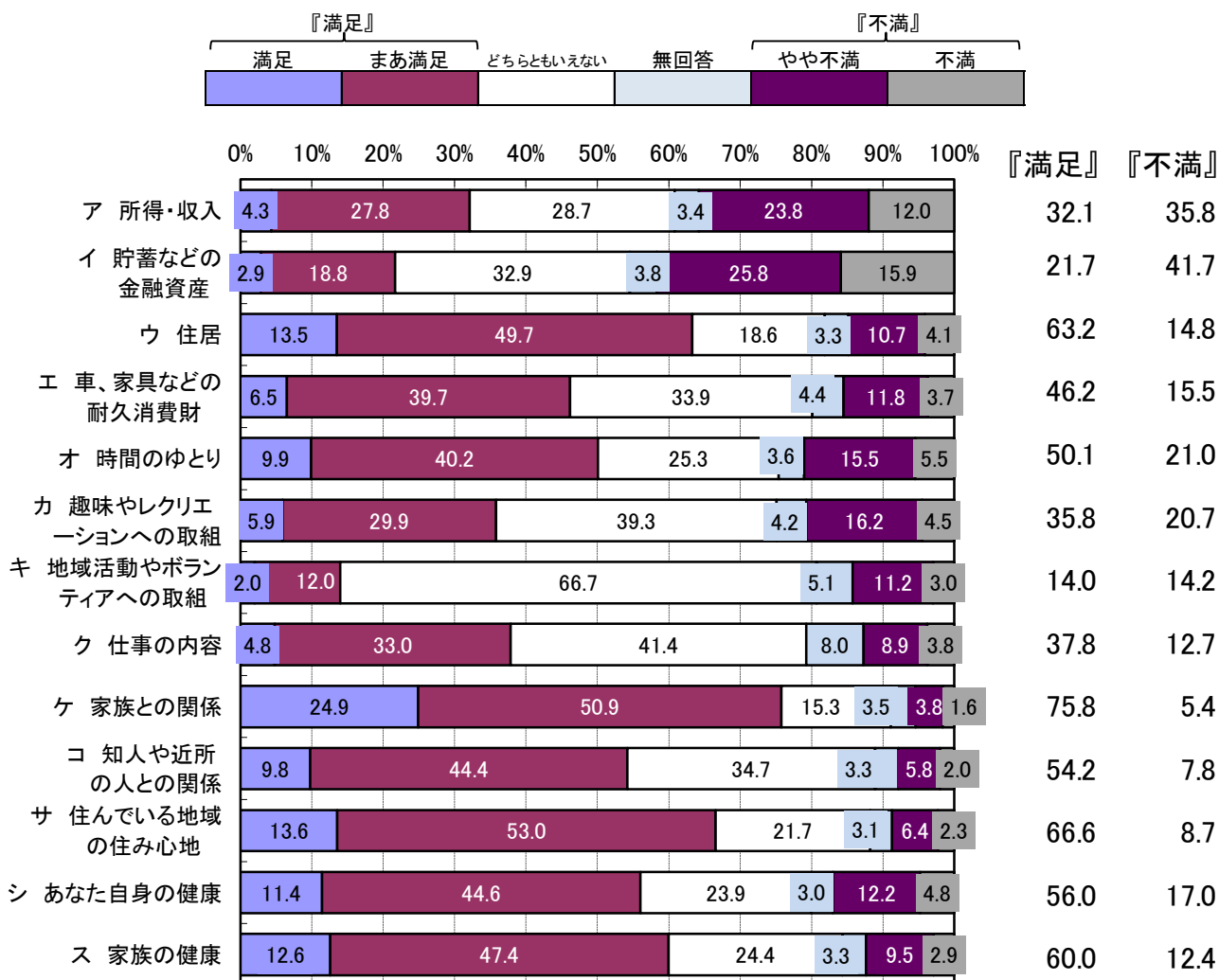
あなたは、今の生活の次のような面ではそれぞれどの程度満足していますか。次のア～スについて、それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------|
| ア 所得・収入 | ク 仕事の内容 |
| イ 貯蓄などの金融資産 | ケ 家族との関係 |
| ウ 住居 | コ 知人や近所の人との関係 |
| エ 車、家具などの耐久消費財 | サ 住んでいる地域の住み心地 |
| オ 時間のゆとり | シ あなた自身の健康 |
| カ 趣味やレクリエーションへの取組 | ス 家族の健康 |
| キ 地域活動やボランティアへの取組 | |

1 満足 2 まあ満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満

【全県】

『満足』は、「ケ 家族との関係(75.8%)」が最も高く、続いて「サ 住んでいる地域の住み心地(66.6%)」、「ウ 住居(63.2%)」と続いている。

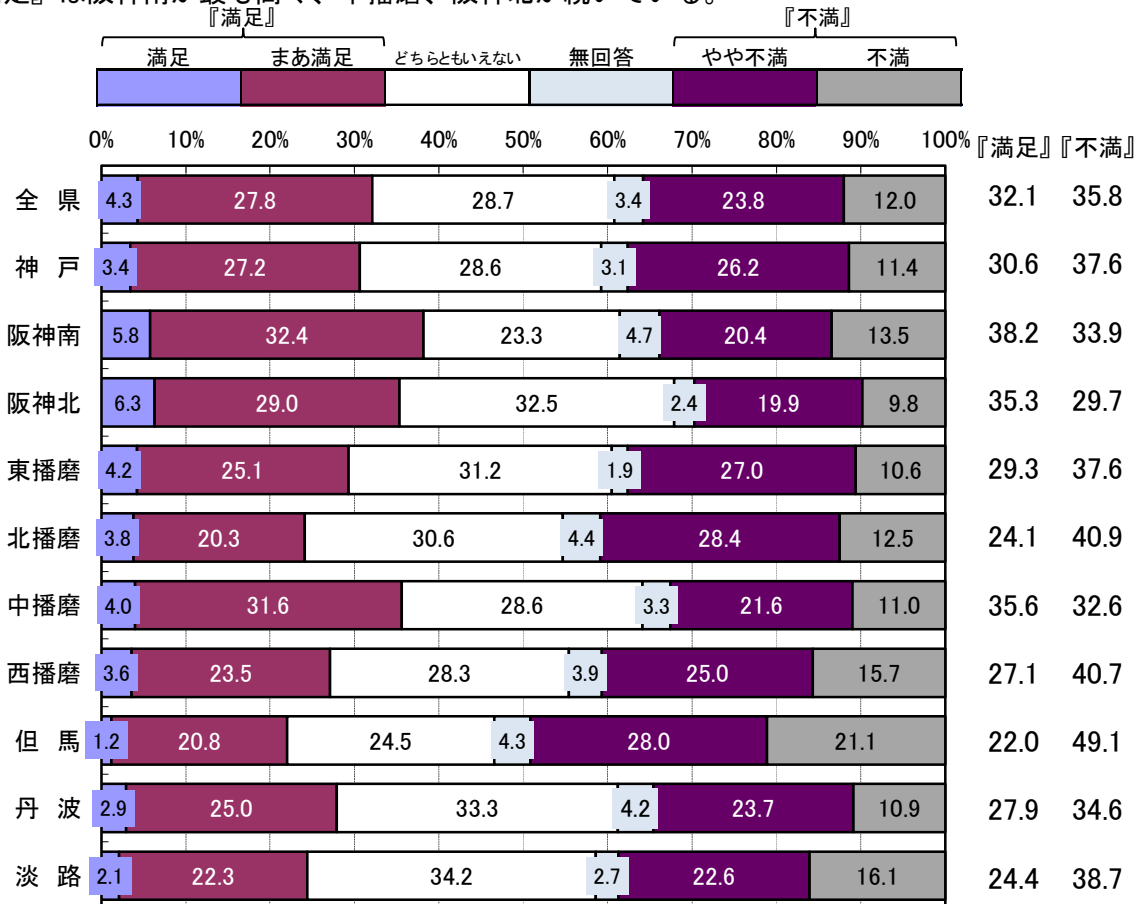


今の生活の項目別での満足度-所得・収入

〔ア 所得・収入〕

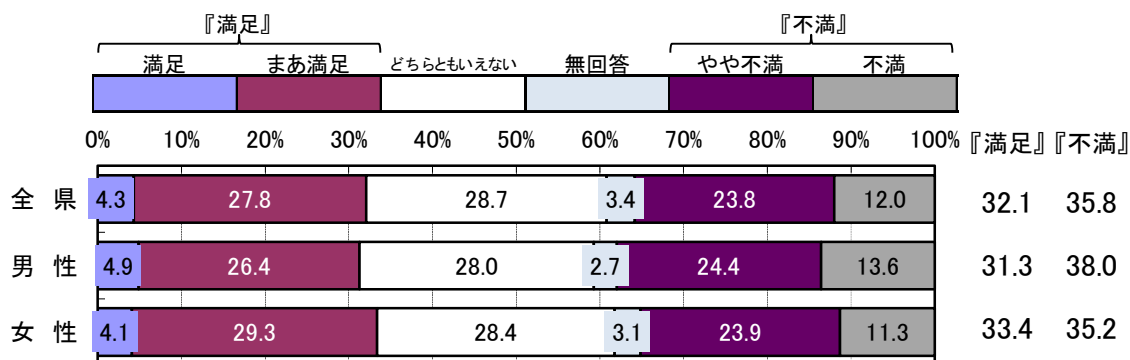
【地域別】

『満足』は阪神南が最も高く、中播磨、阪神北が続いている。



【性別】

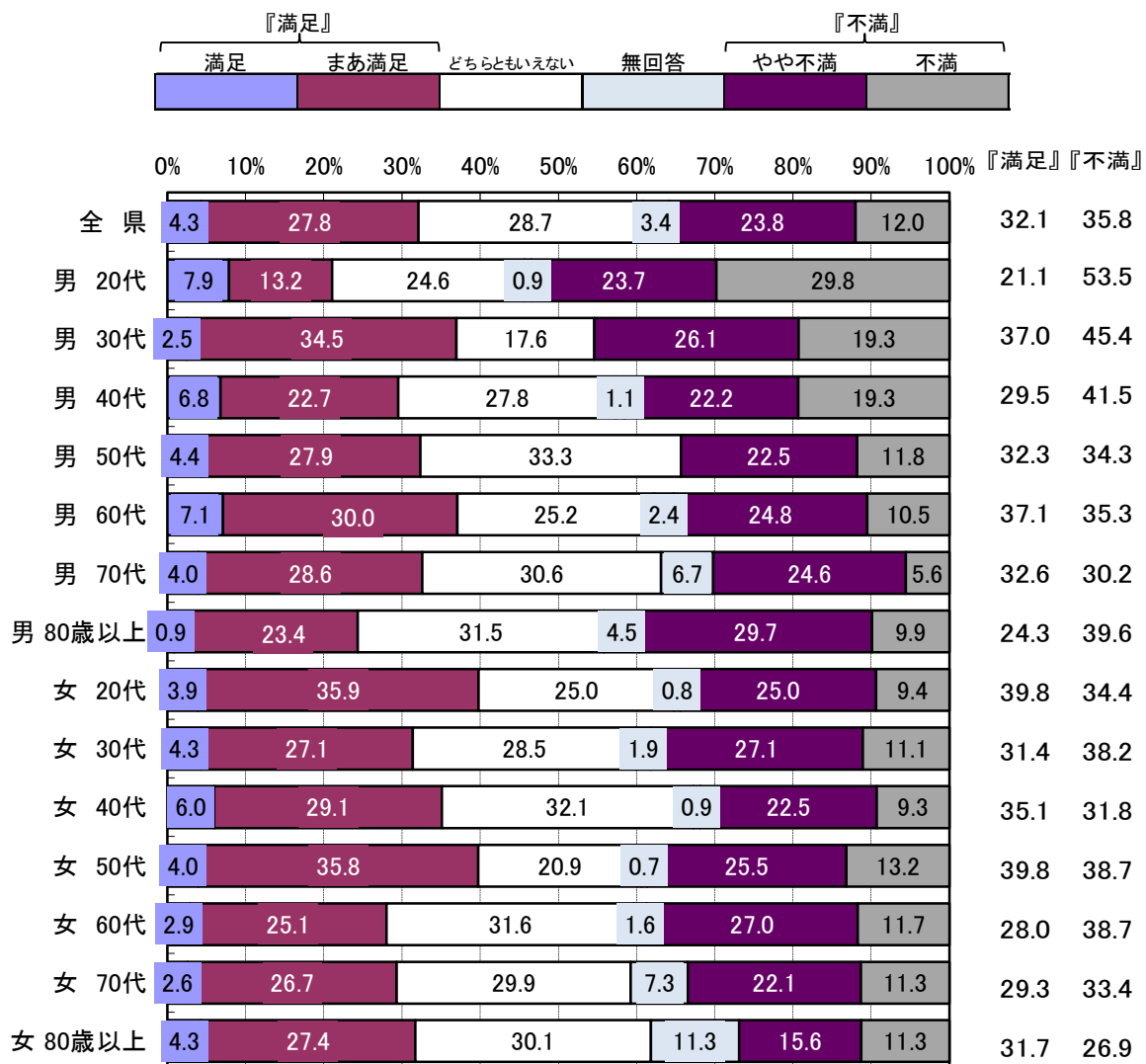
『満足』は女性が男性より2.1ポイント高く、『不満』は男性が2.8ポイント高い。



今の生活の項目別での満足度-所得・収入

【性・年代別】

『満足』は、男性は60代、女性は20代と50代が最も高い。

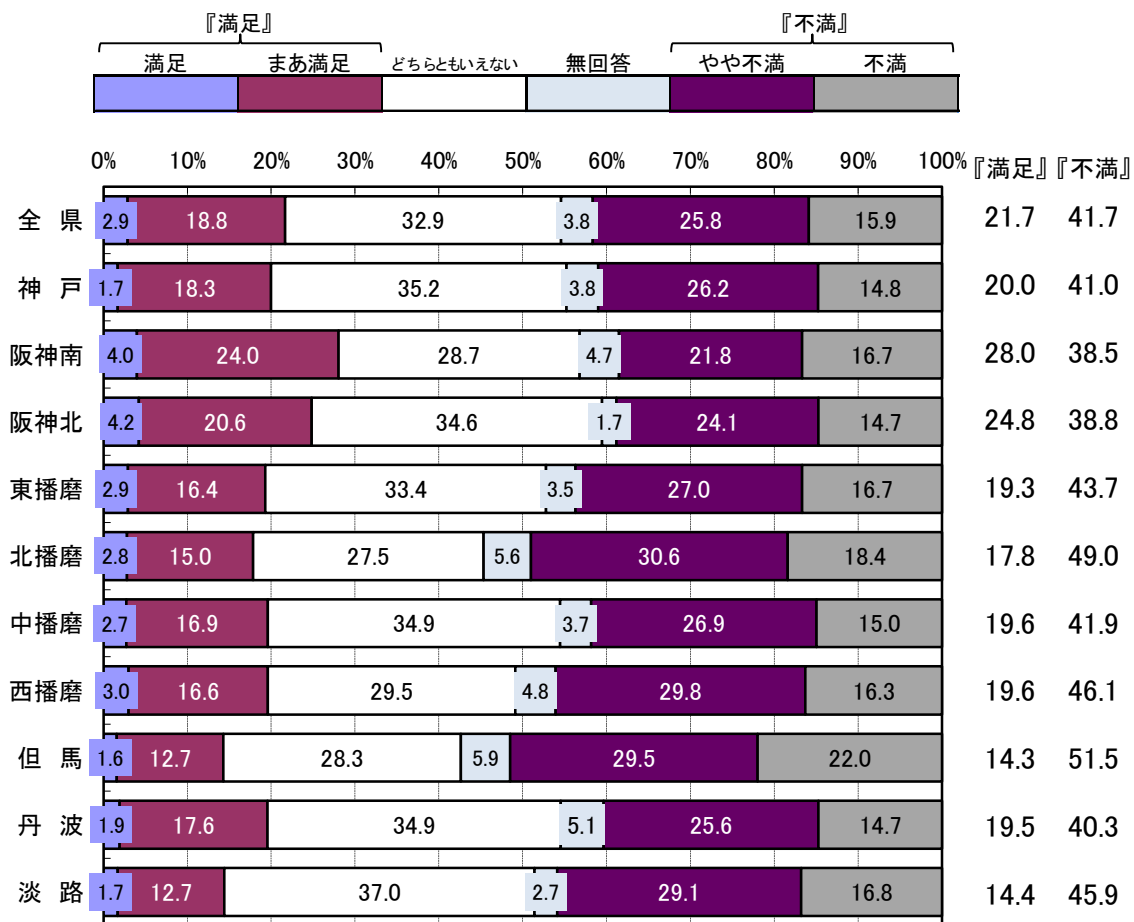


今の生活の項目別での満足度-金融資産

〔イ 貯蓄などの金融資産〕

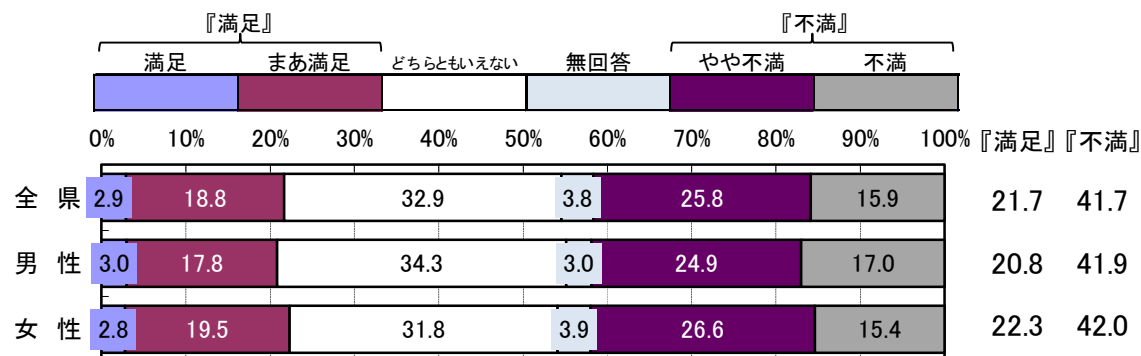
【地域別】

『満足』は阪神南が最も高く、阪神北、神戸が続いている。



【性別】

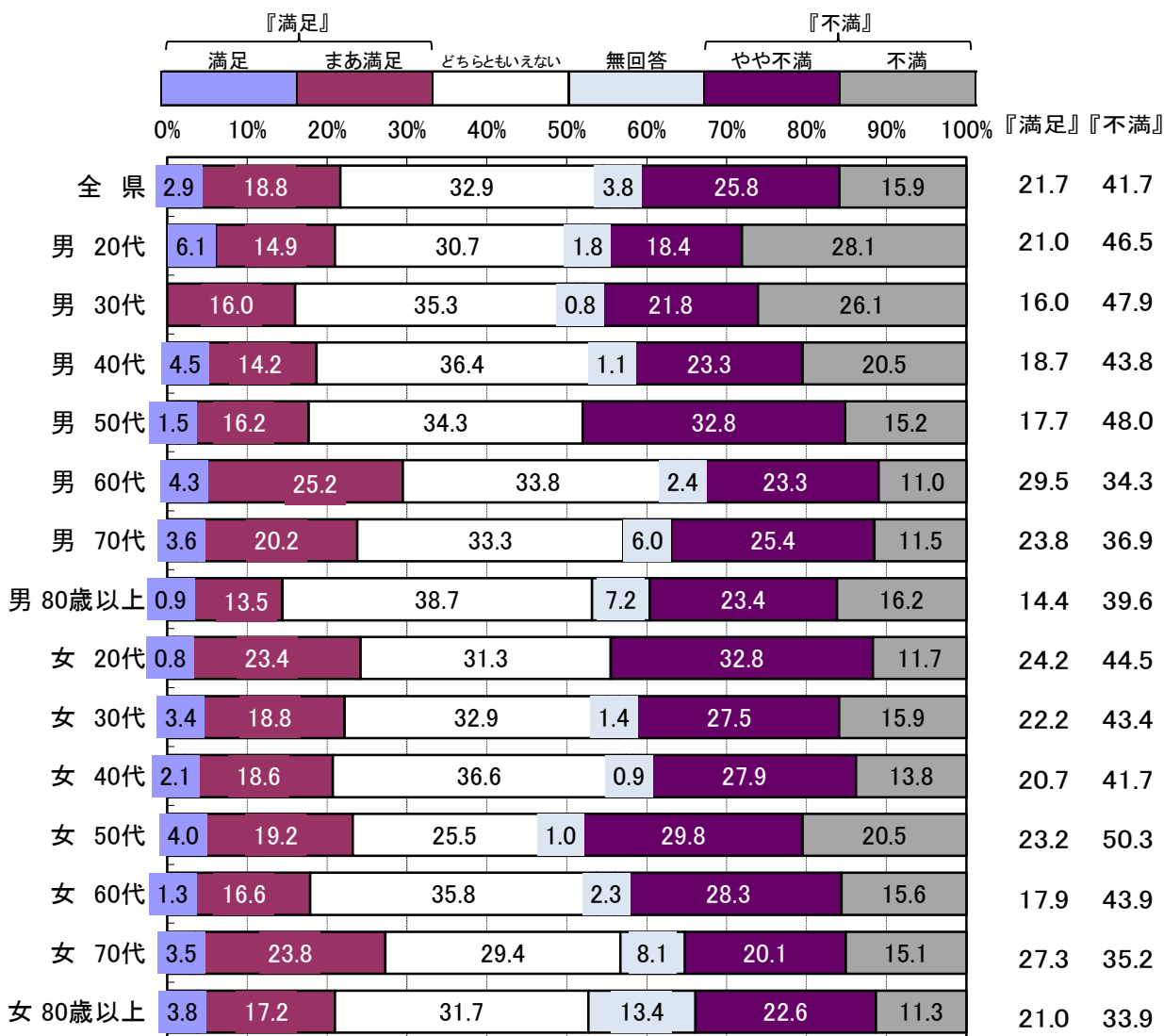
男女間で大きな差は見られない。



今の生活の項目別での満足度-金融資産

【性・年代別】

『満足』は、男性は60代、女性は70代が最も高い。

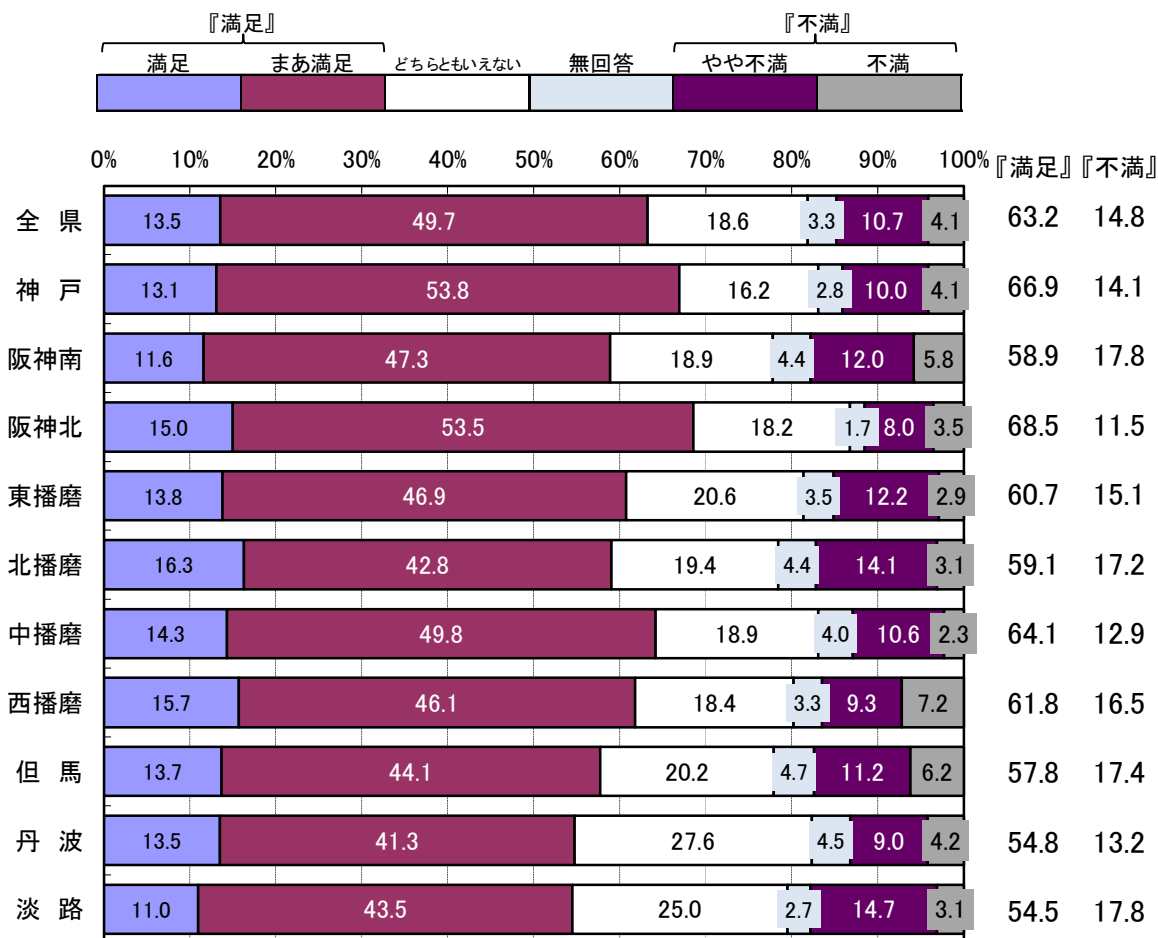


今の生活の項目別での満足度-住居

〔ウ 住居〕

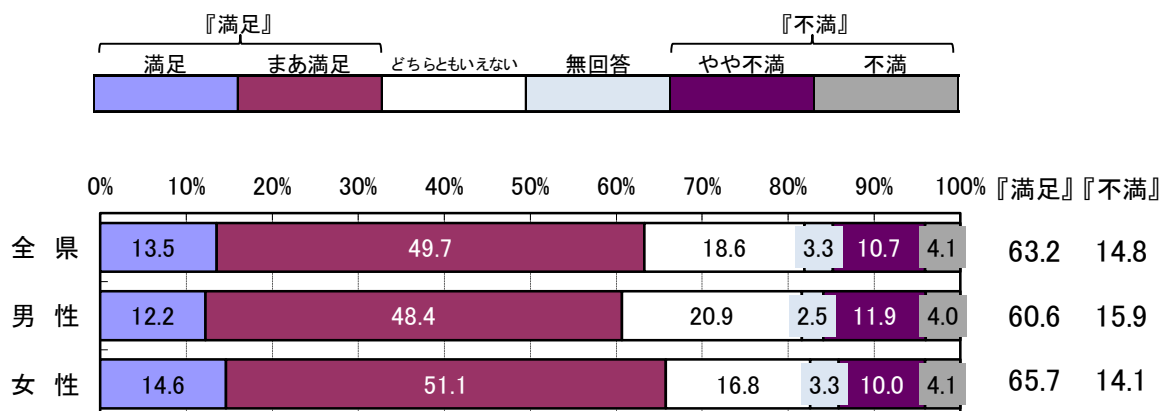
【地域別】

『満足』は阪神北が最も高く、神戸、東播磨が続いている。



【性別】

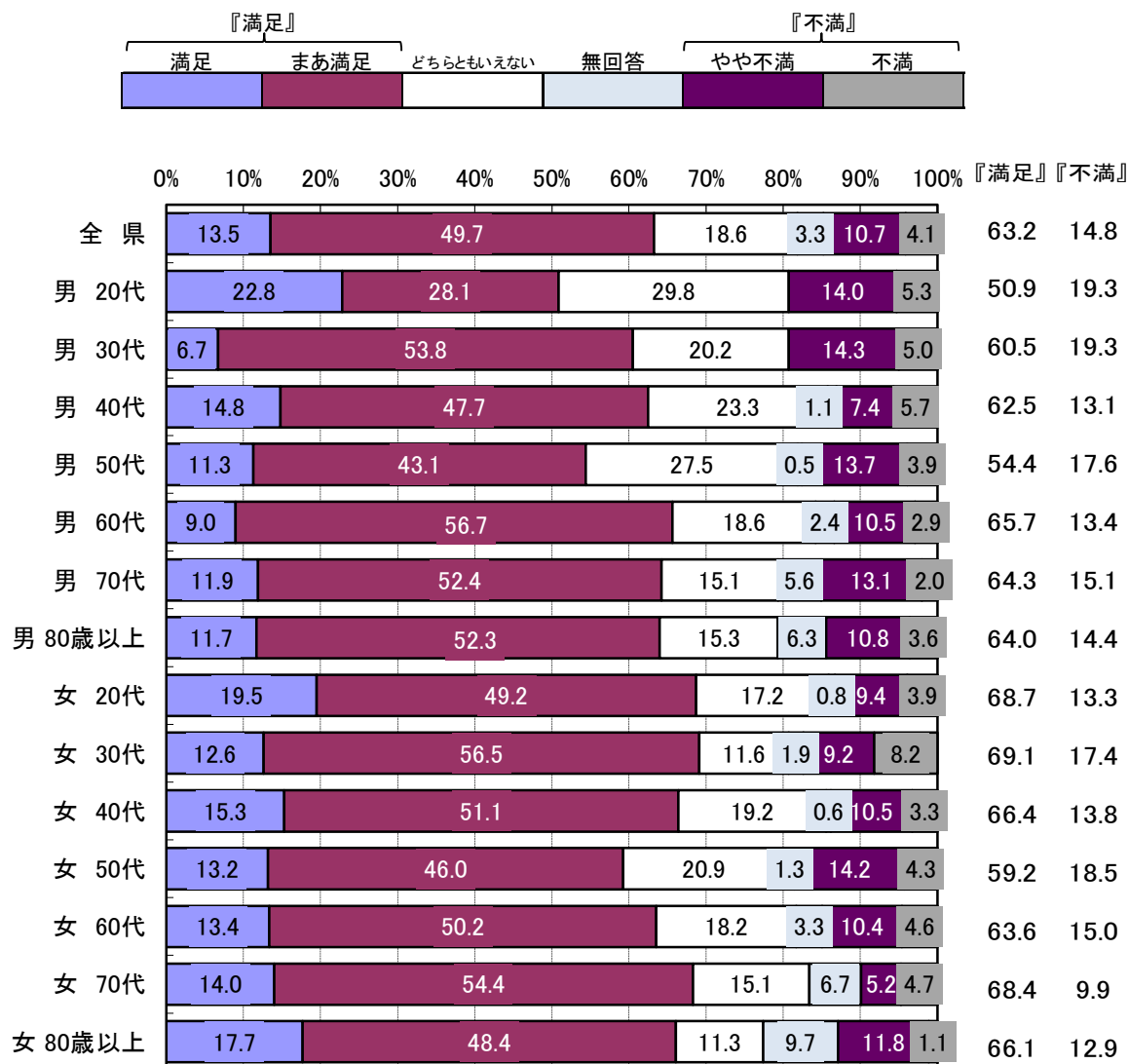
『満足』は女性の方が男性より5.1ポイント高い。



今の生活の項目別での満足度-住居

【性・年代別】

『満足』は、男性は60代、女性は30代が最も高い。

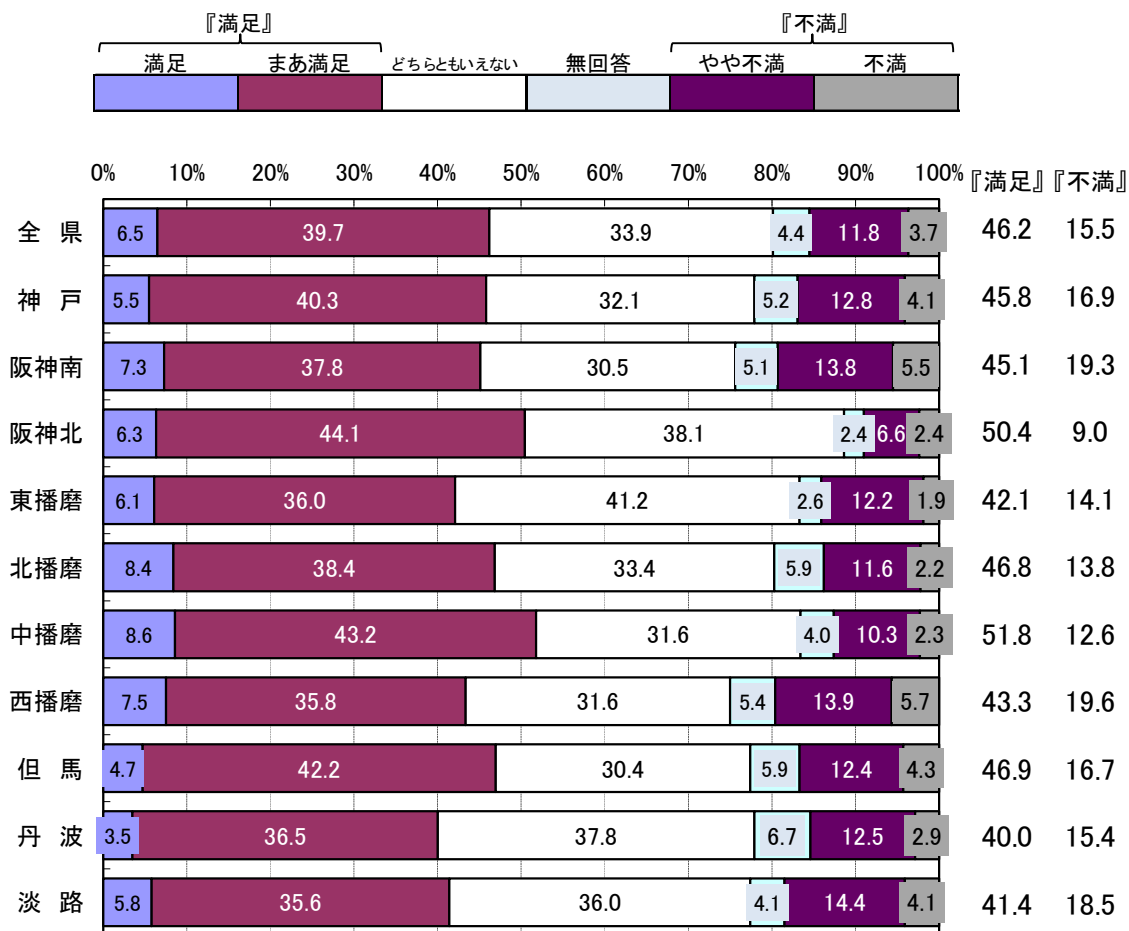


今の生活の項目別での満足度-耐久消費財

〔エ 車、家具などの耐久消費財〕

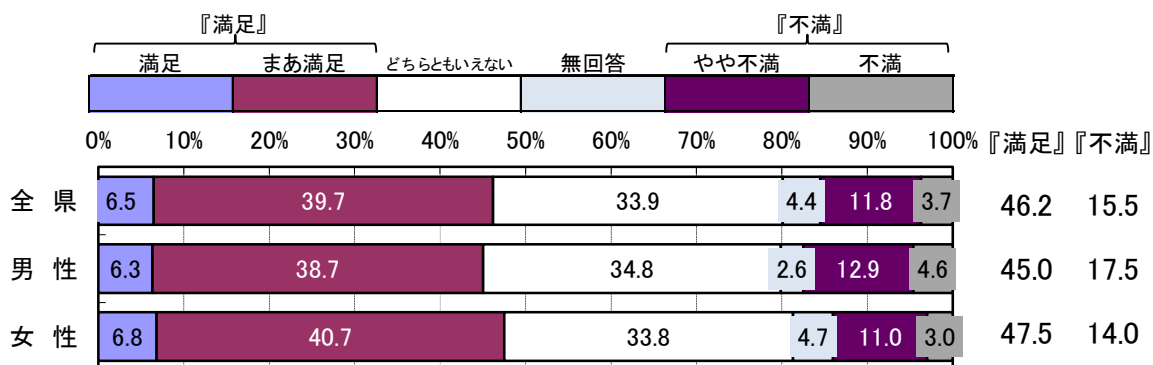
【地域別】

『満足』は中播磨が最も高く、阪神北、但馬が続いている。



【性別】

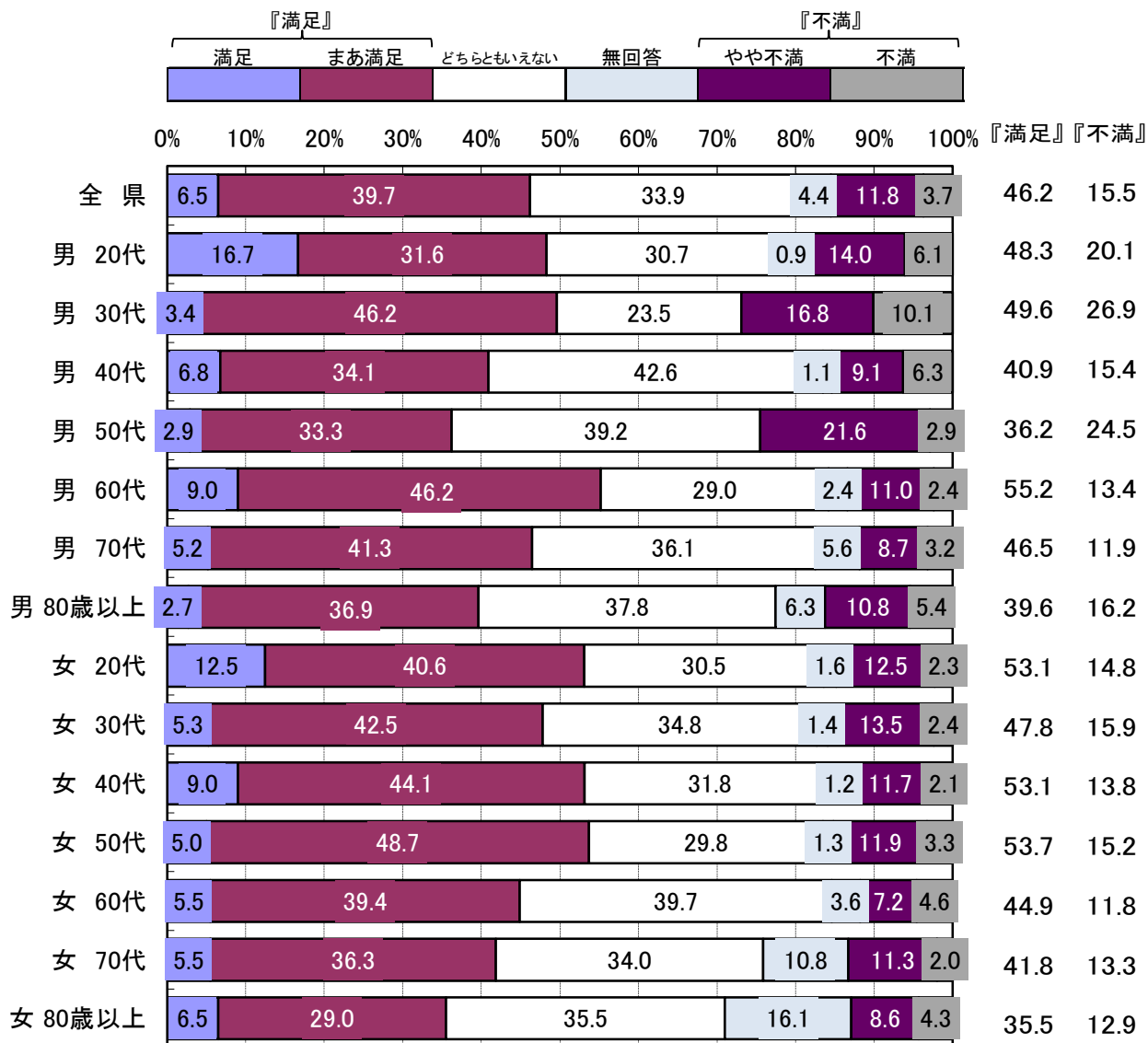
『満足』は、女性が男性よりも2.5ポイント高く、『不満』は、男性が女性より3.5ポイント高い。



今の生活の項目別での満足度-耐久消費財

【性・年代別】

『満足』は、男性は60代、女性は50代が最も高い。

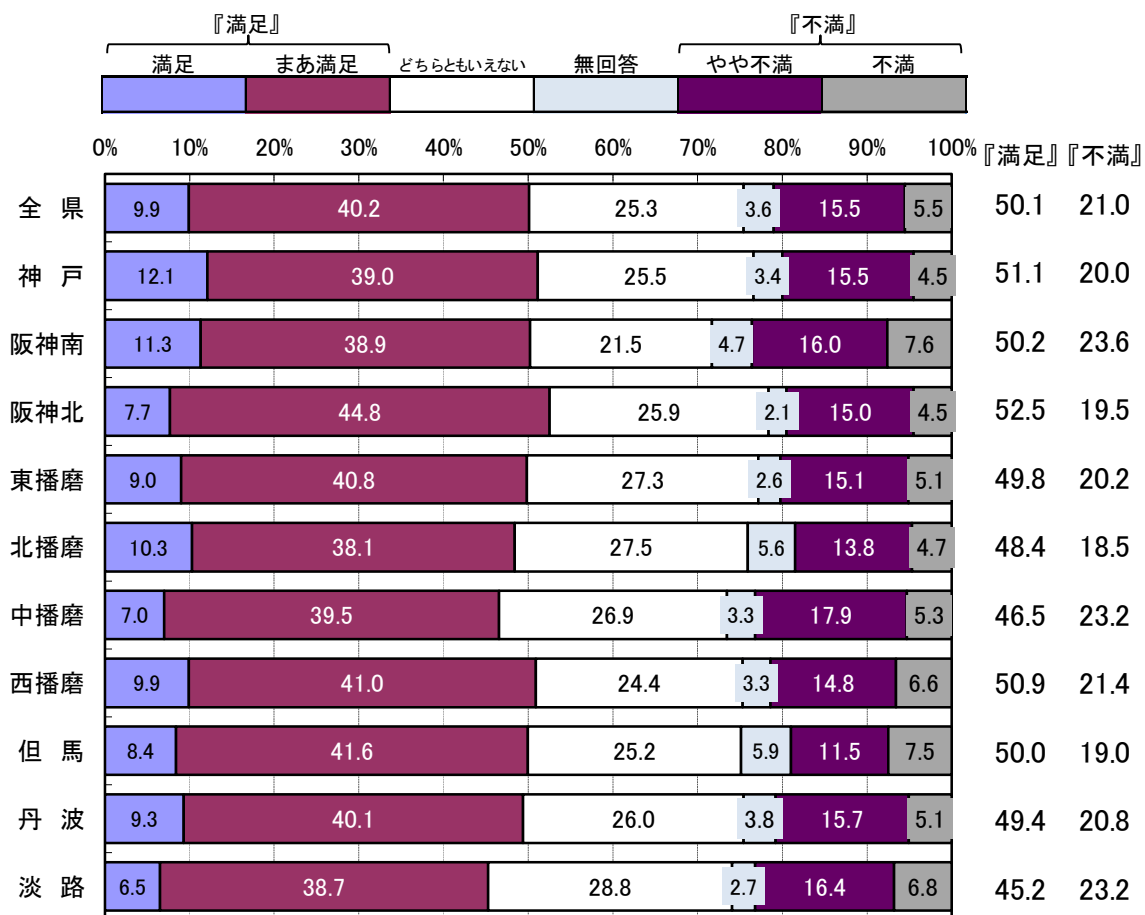


今の生活の項目別での満足度-時間のゆとり

〔オ 時間のゆとり〕

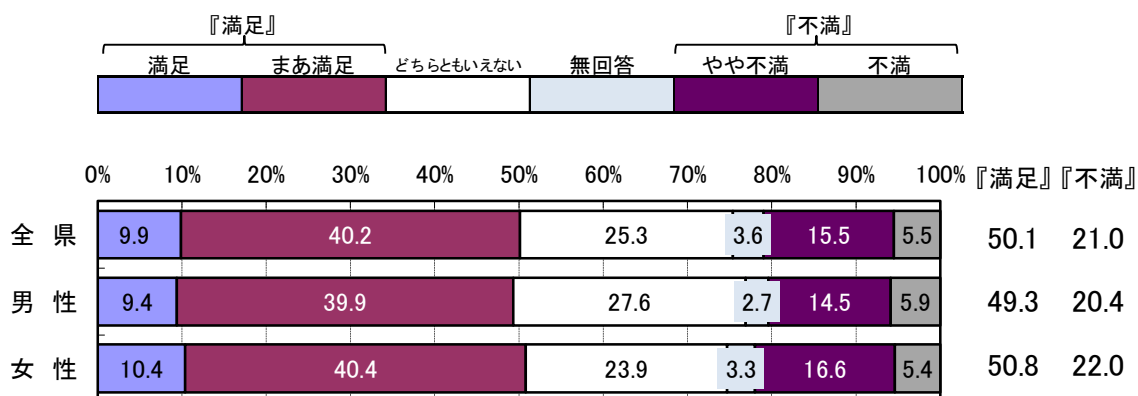
【地域別】

『満足』は阪神北が最も高く、神戸、西播磨が続いている。



【性別】

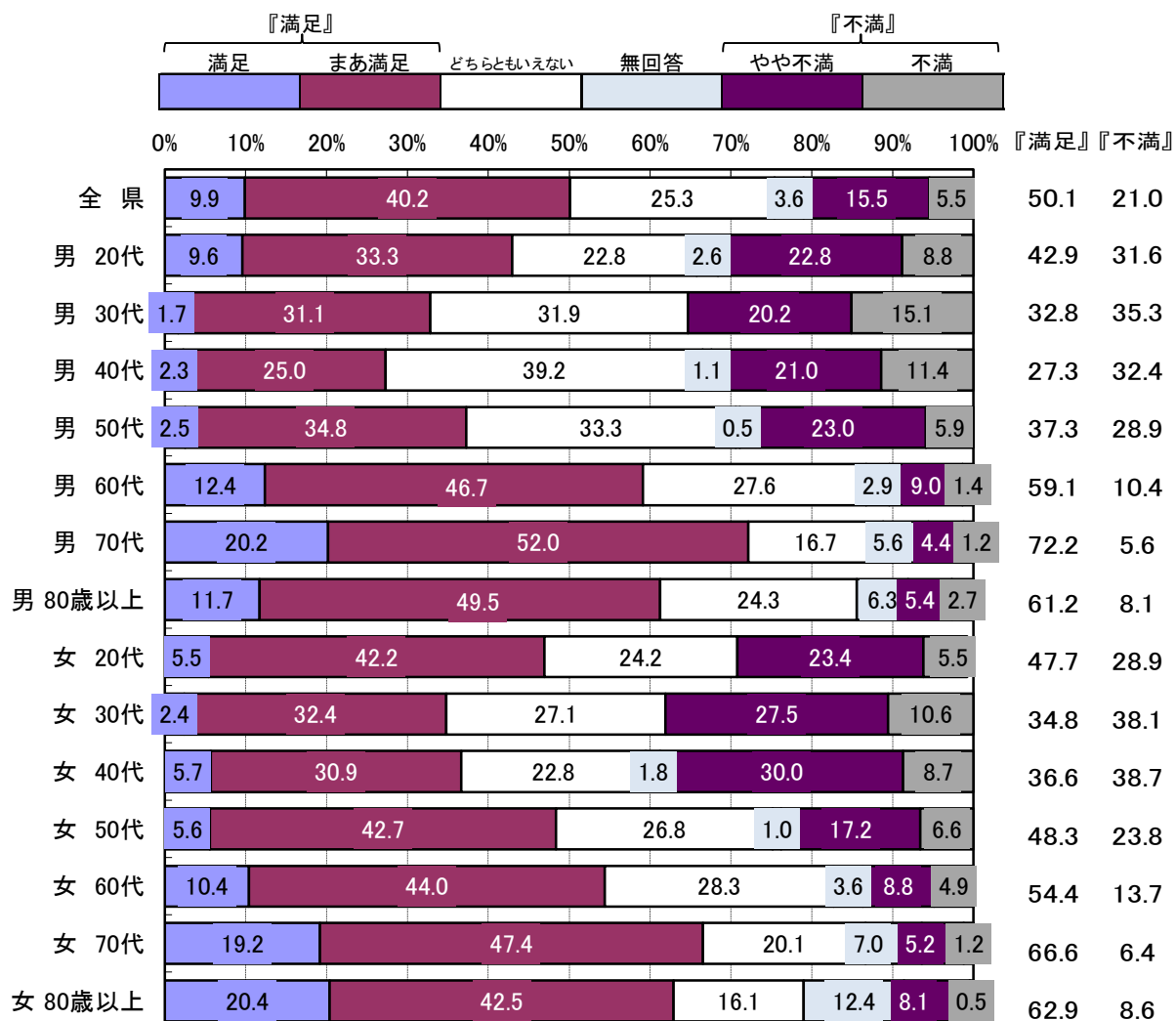
男女間で、大きな差は見られない。



今の生活の項目別での満足度-時間のゆとり

【性・年代別】

『満足』は、男女ともに70代が最も高い。

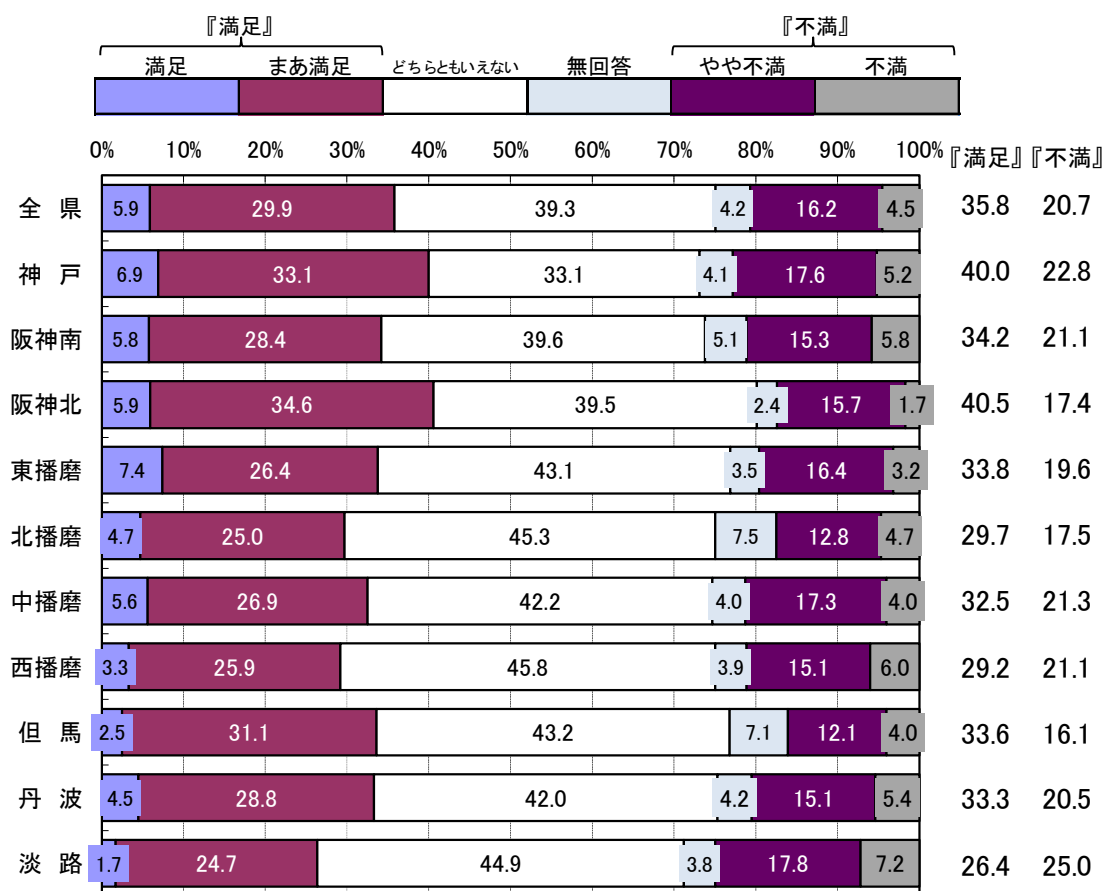


今の生活の項目別での満足度・趣味やレクリエーションの取組

〔カ 趣味やレクリエーションへの取組〕

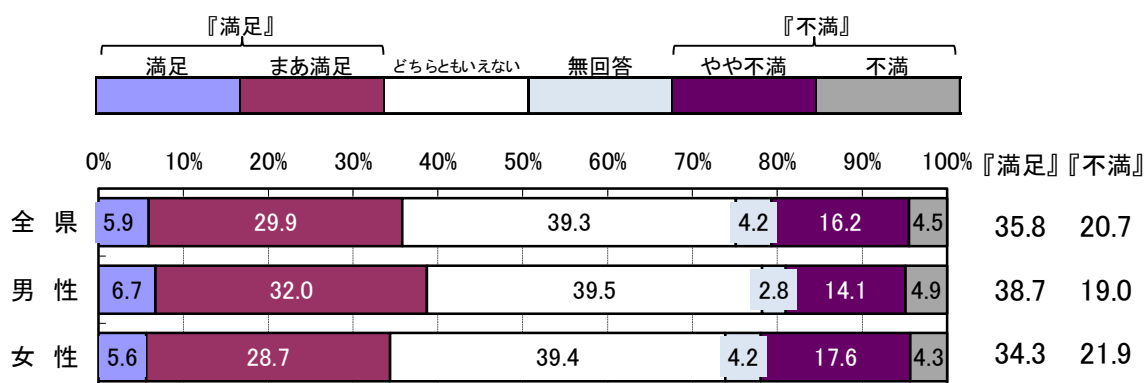
【地域別】

『満足』は阪神北が最も高く、神戸、阪神南が続いている。



【性別】

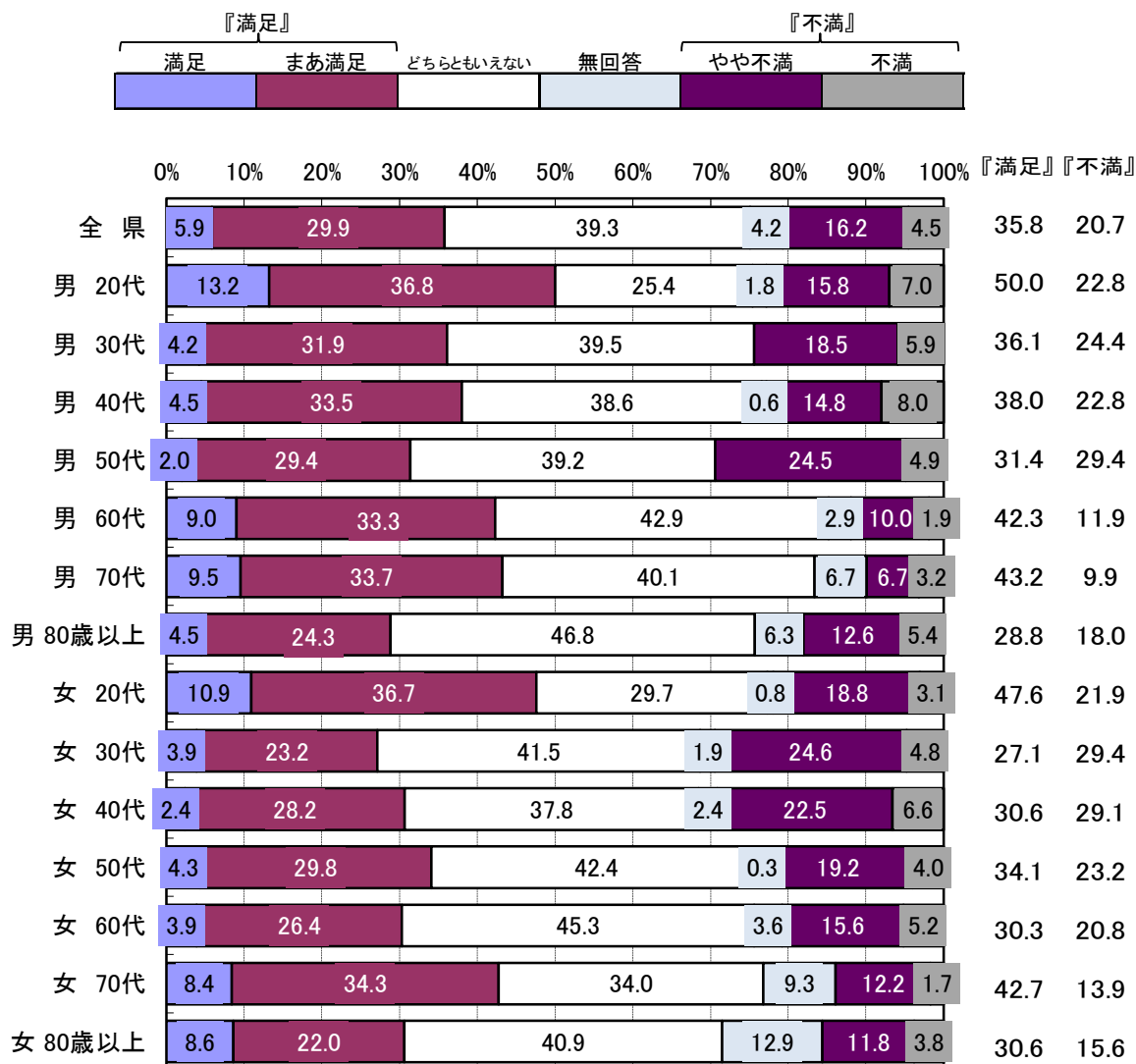
『満足』は男性の方が女性より4.4ポイント高い。



今の生活の項目別での満足度・趣味やレクリエーションの取組

【性・年代別】

『満足』は、男女ともに20代が最も高い。

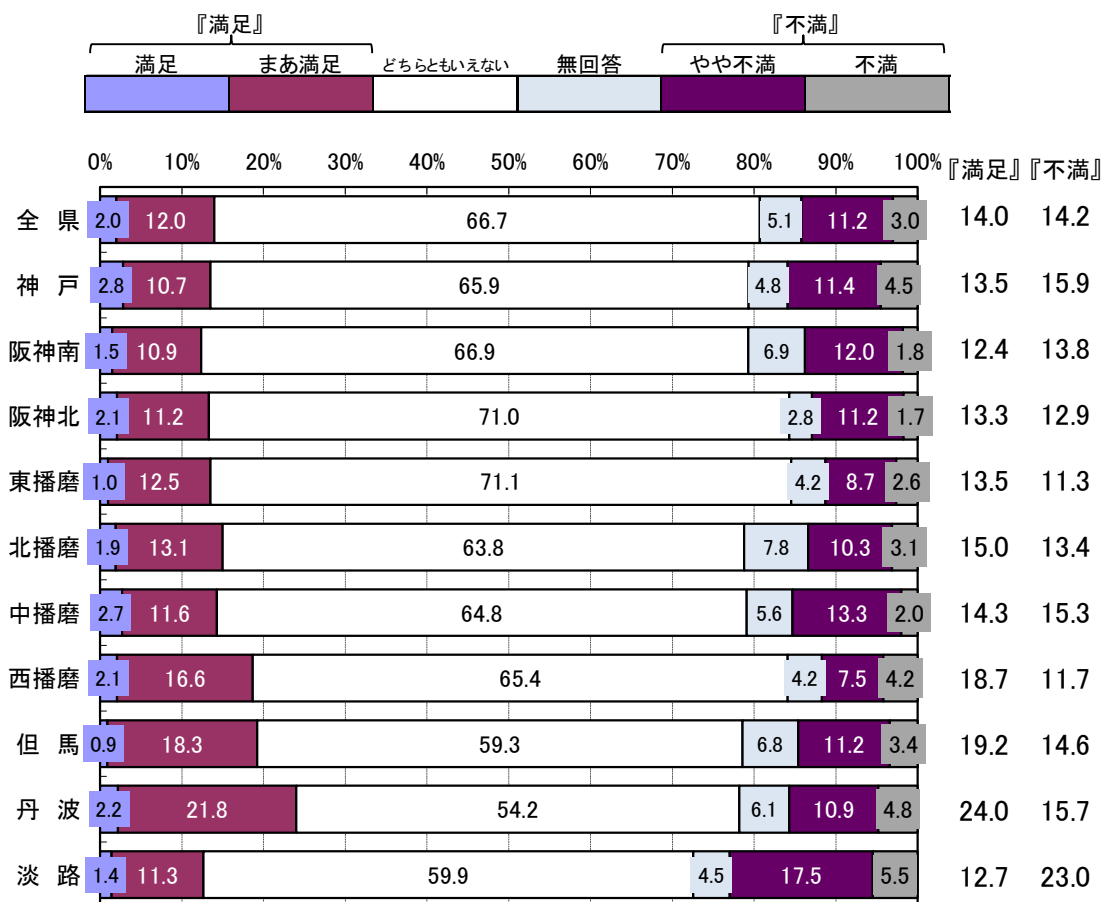


今の生活の項目別での満足度-地域活動やボランティアへの取組

〔キ 地域活動やボランティアへの取組〕

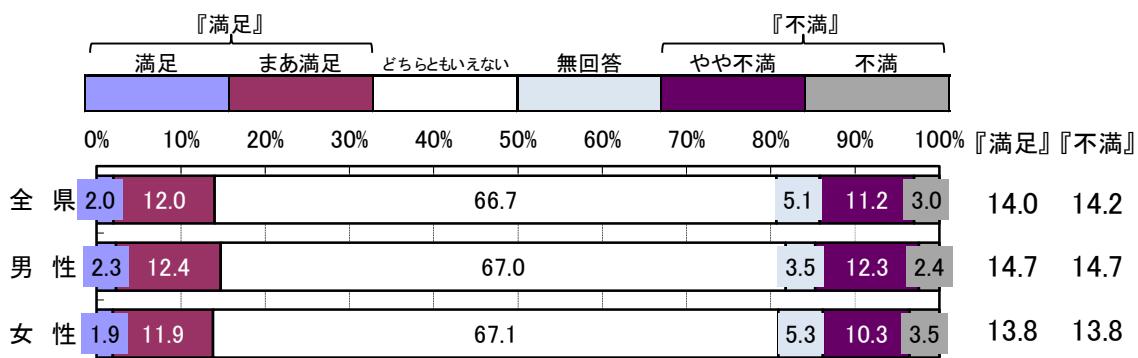
【地域別】

『満足』は丹波が最も高く、但馬、西播磨が続いている。



【性別】

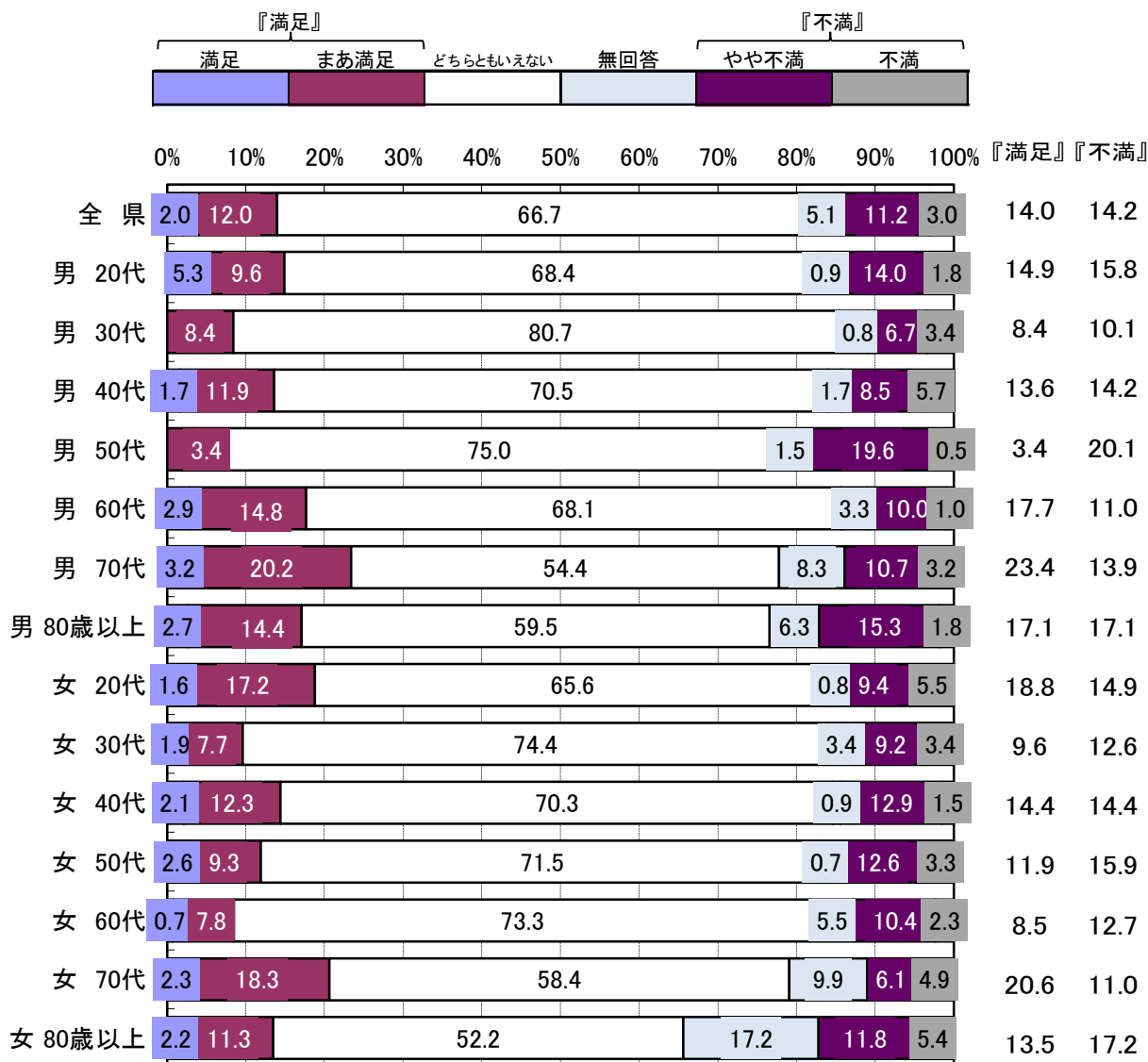
男女間で大きな差は見られない。



今の生活の項目別での満足度-地域活動やボランティアへの取組

【性・年代別】

『満足』は、男女ともに70代が最も高い。

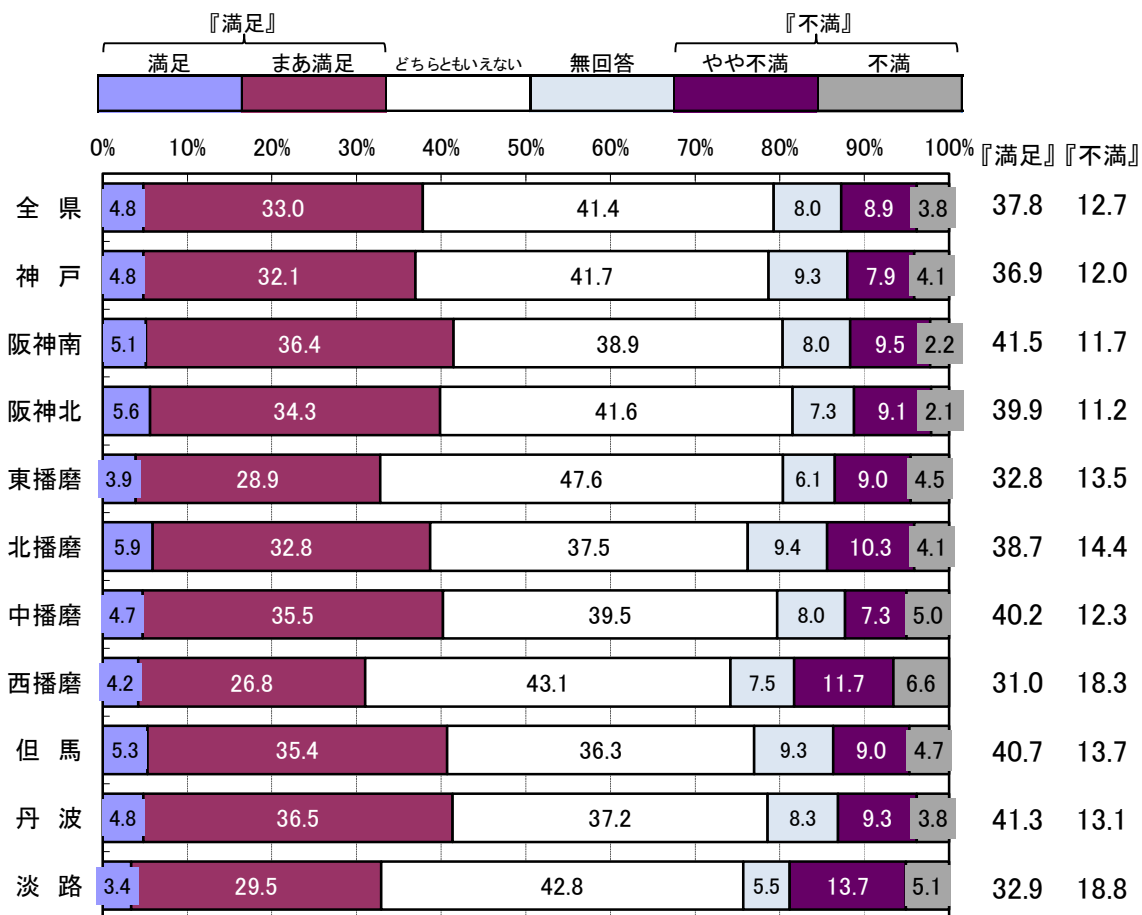


今の生活の項目別での満足度-仕事の内容

〔ク 仕事の内容〕

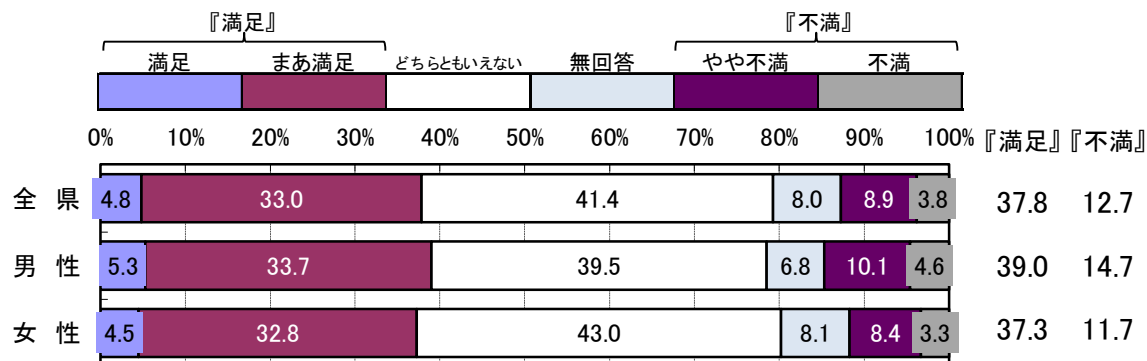
【地域別】

『満足』は、阪神南が最も高く、丹波、但馬が続いている。



【性別】

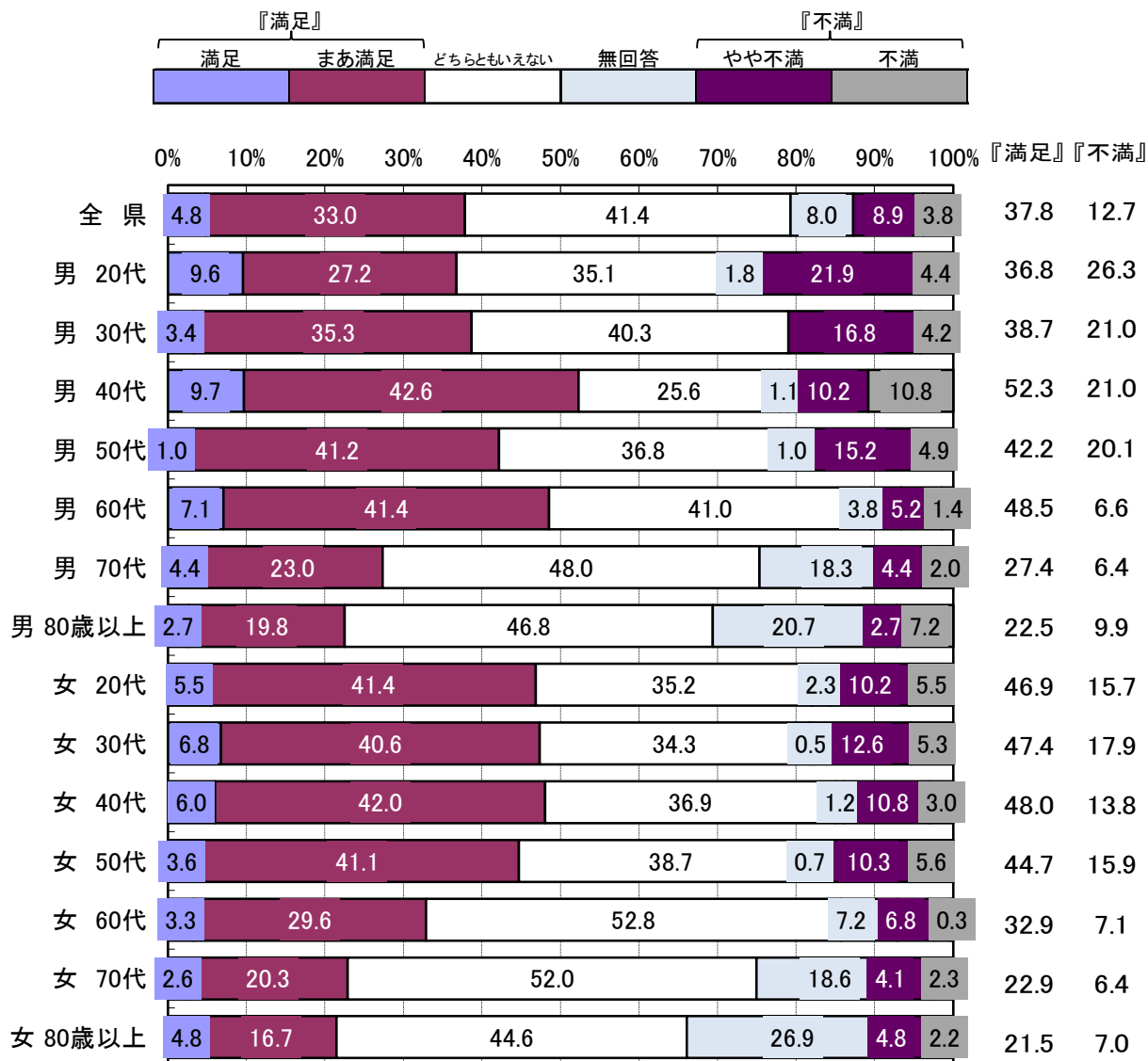
『満足』は、男性が女性より1.7ポイント高い。



今の生活の項目別での満足度-仕事の内容

【性・年代別】

『満足』は、男女ともに40代が最も高い。

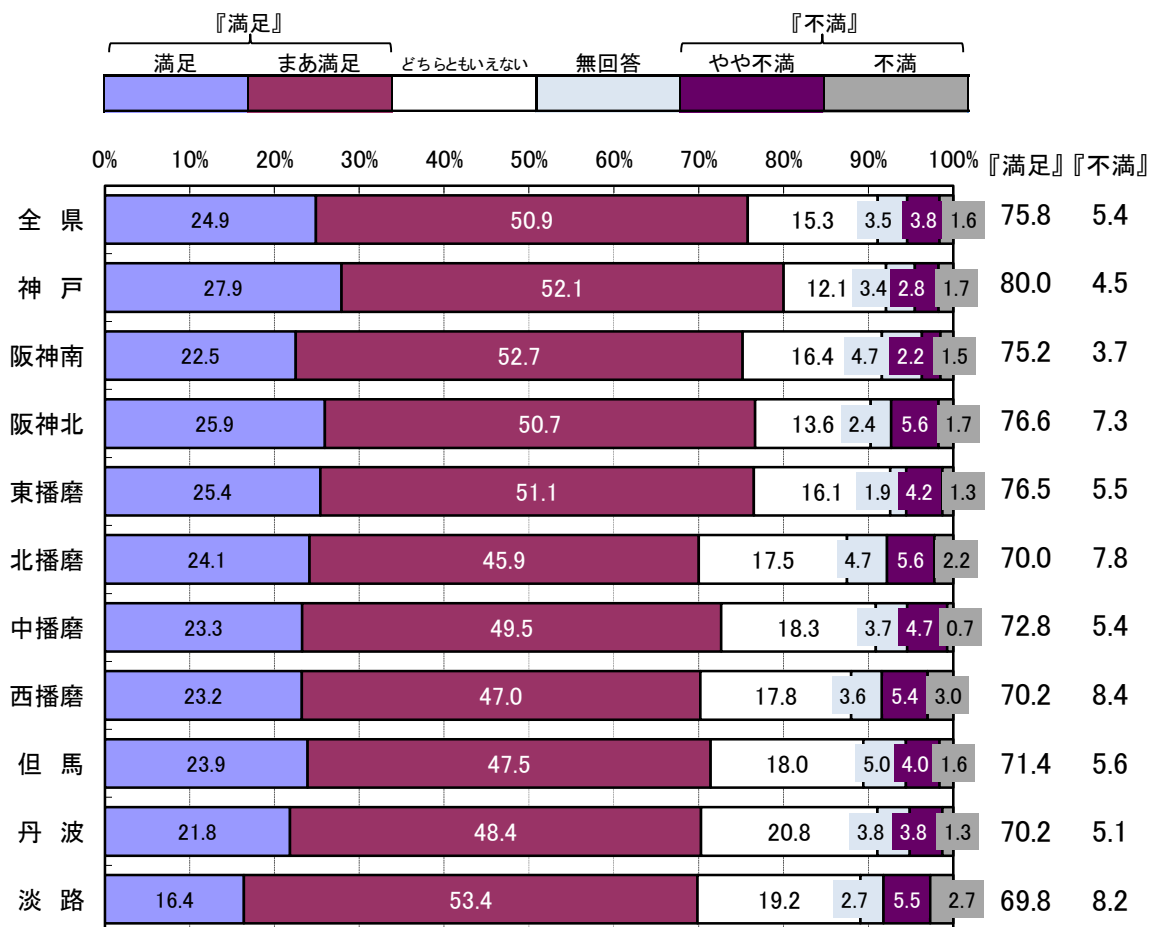


今の生活の項目別での満足度-家族との関係

〔ケ 家族との関係〕

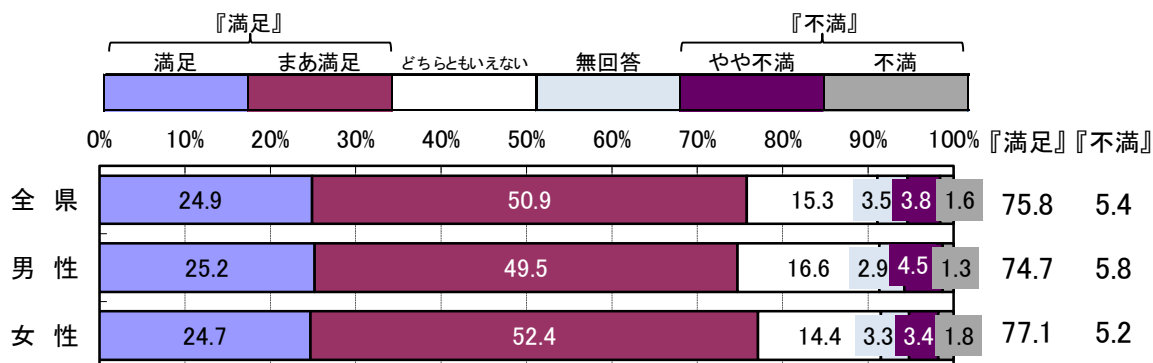
【地域別】

『満足』は、神戸が最も高く、阪神北、東播磨が続いている。



【性別】

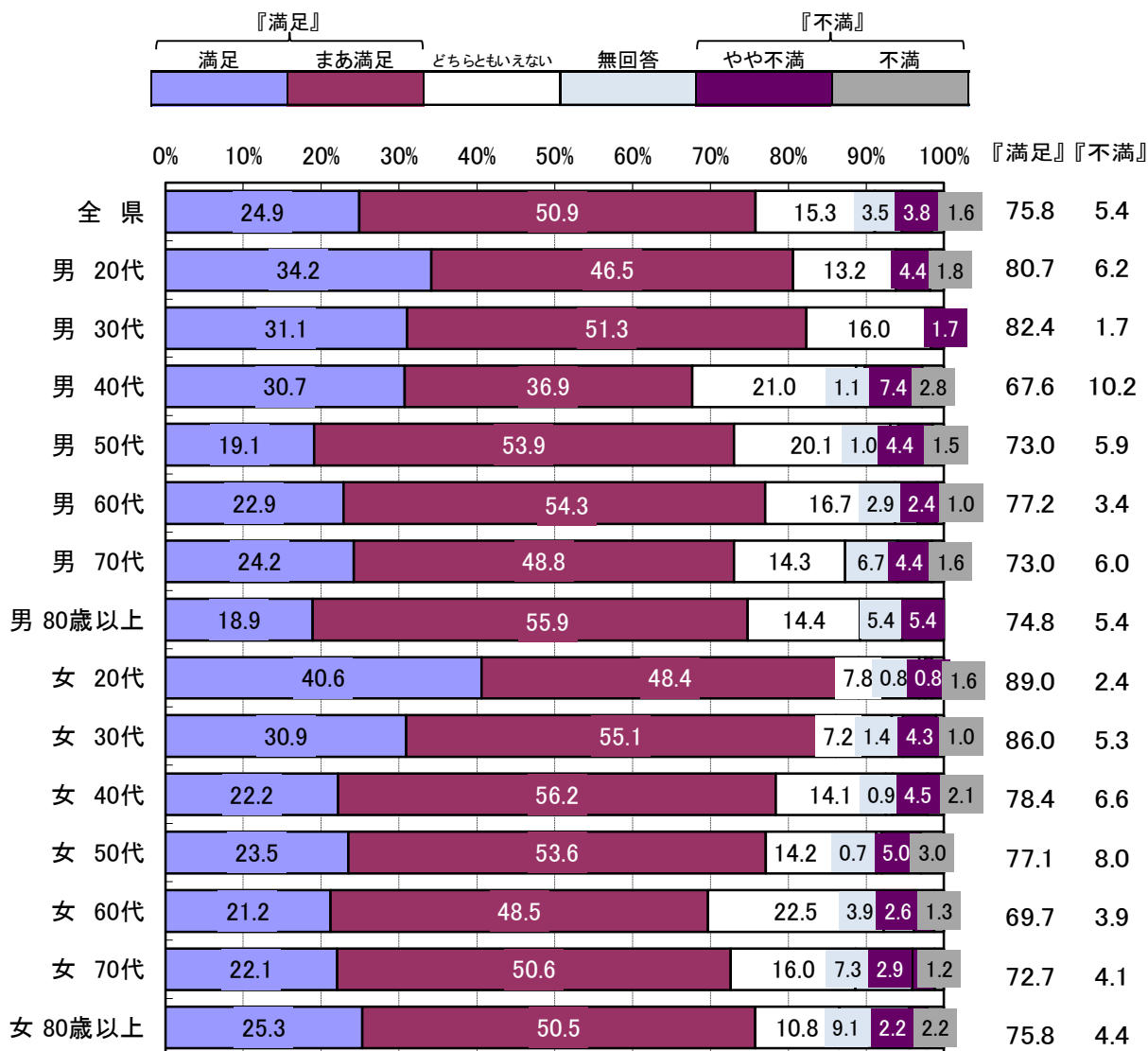
『満足』は、女性の方が男性より2.4ポイント高い。



今の生活の項目別での満足度・家族との関係

【性・年代別】

『満足』は、男性は30代、女性は20代が最も高い。

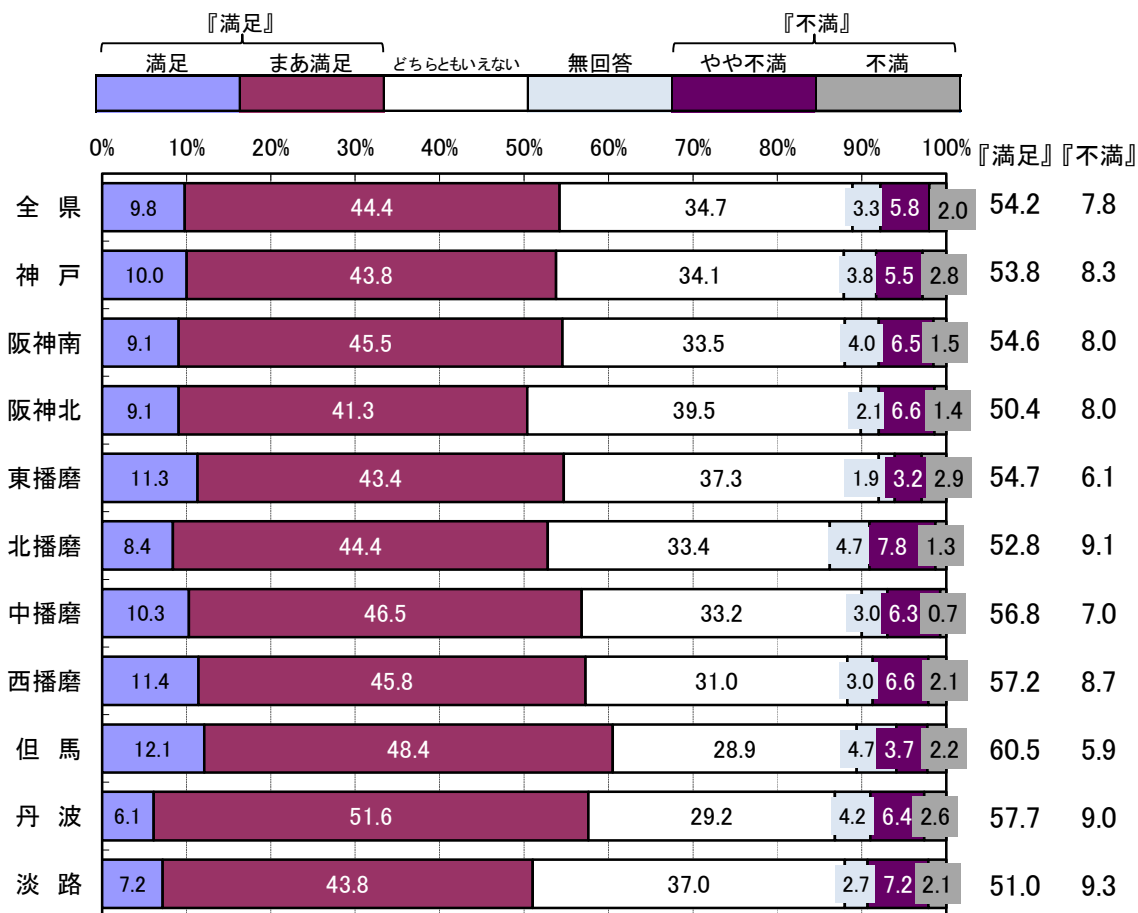


今の生活の項目別での満足度-知人や近所の人との関係

〔コ 知人や近所の人との関係〕

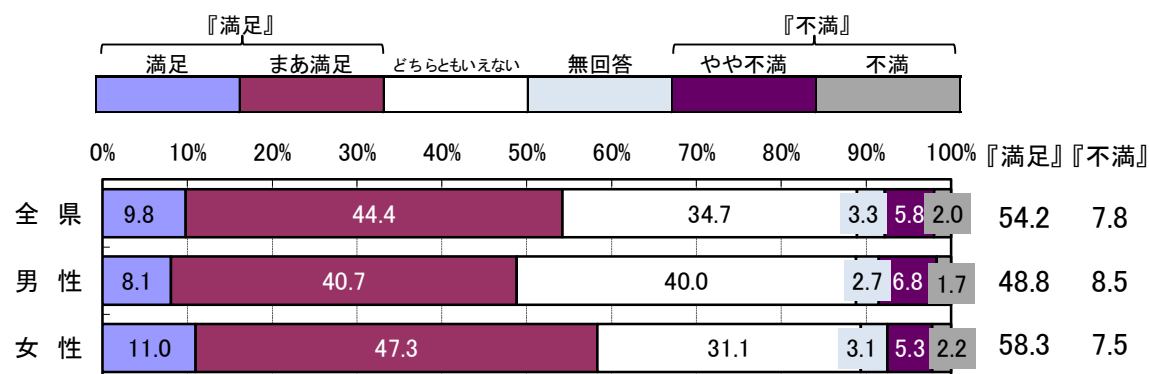
【地域別】

『満足』は、但馬が最も高く、丹波、西播磨が続いている。



【性別】

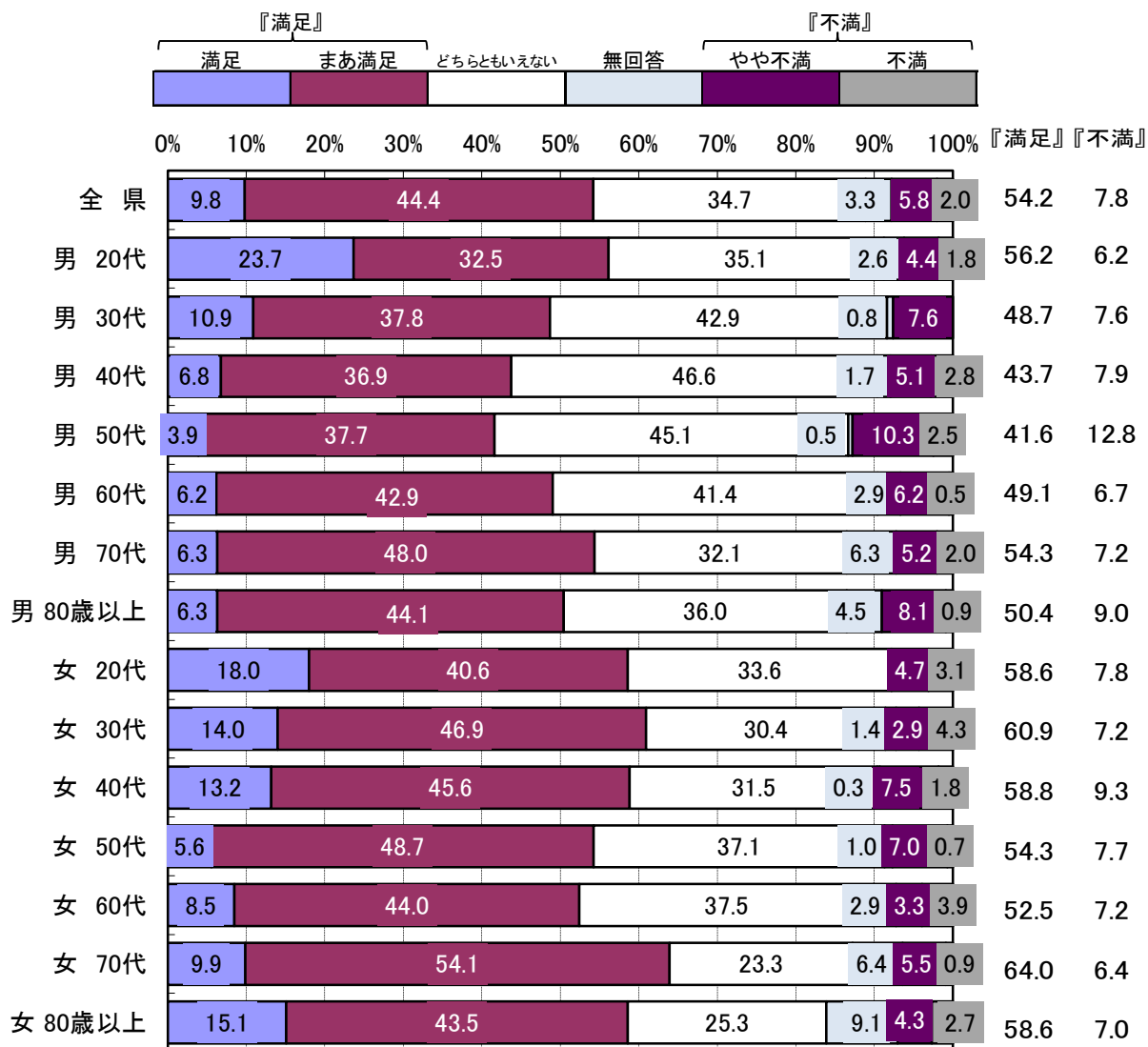
『満足』は、女性の方が男性より9.5ポイント高い。



今の生活の項目別での満足度-知人や近所の人との関係

【性・年代別】

『満足』は、男性は20代、女性は70代が最も高い。

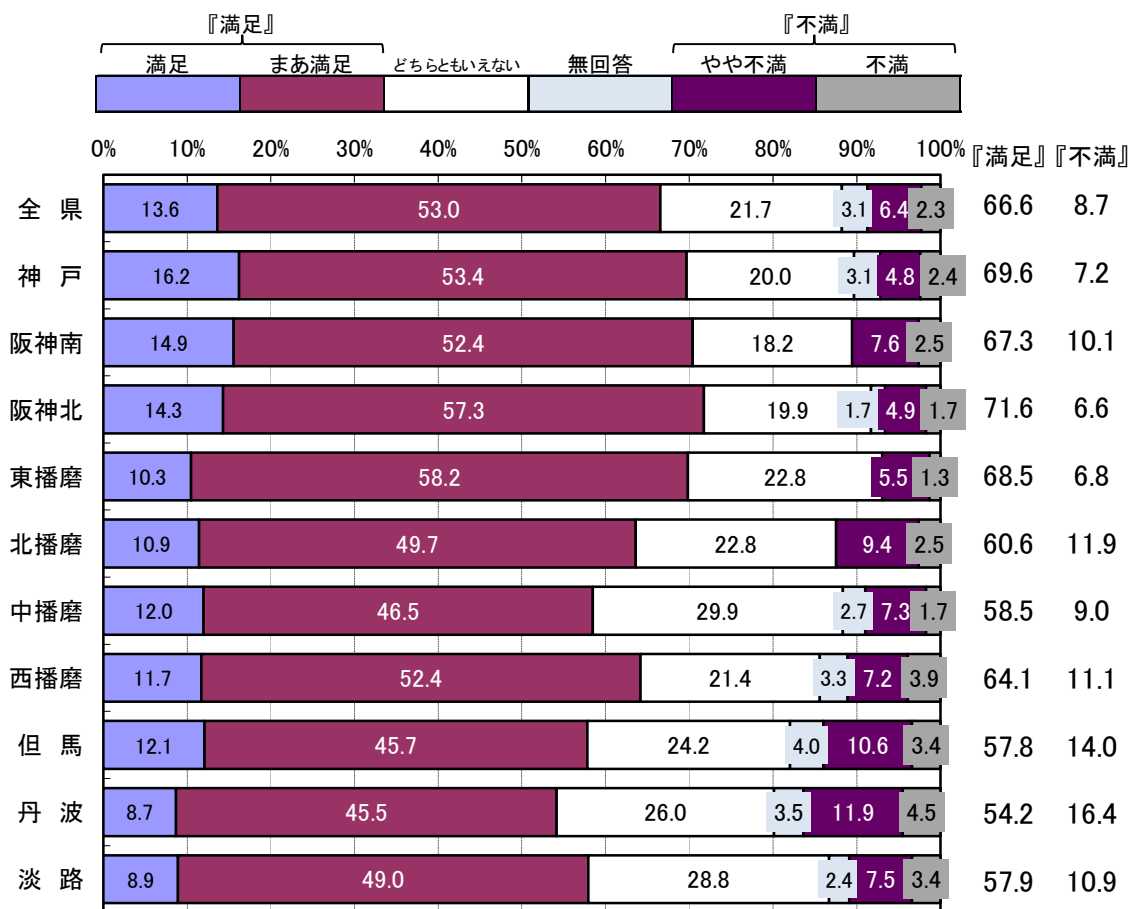


今の生活の項目別での満足度-住んでいる地域の住み心地

〔サ 住んでいる地域の住み心地〕

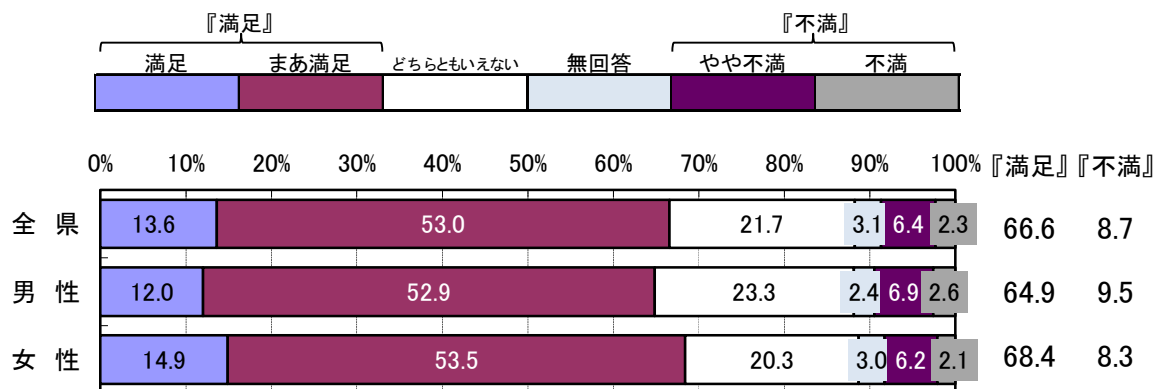
【地域別】

『満足』は神戸が最も高く、東播磨、阪神南が続いている。



【性別】

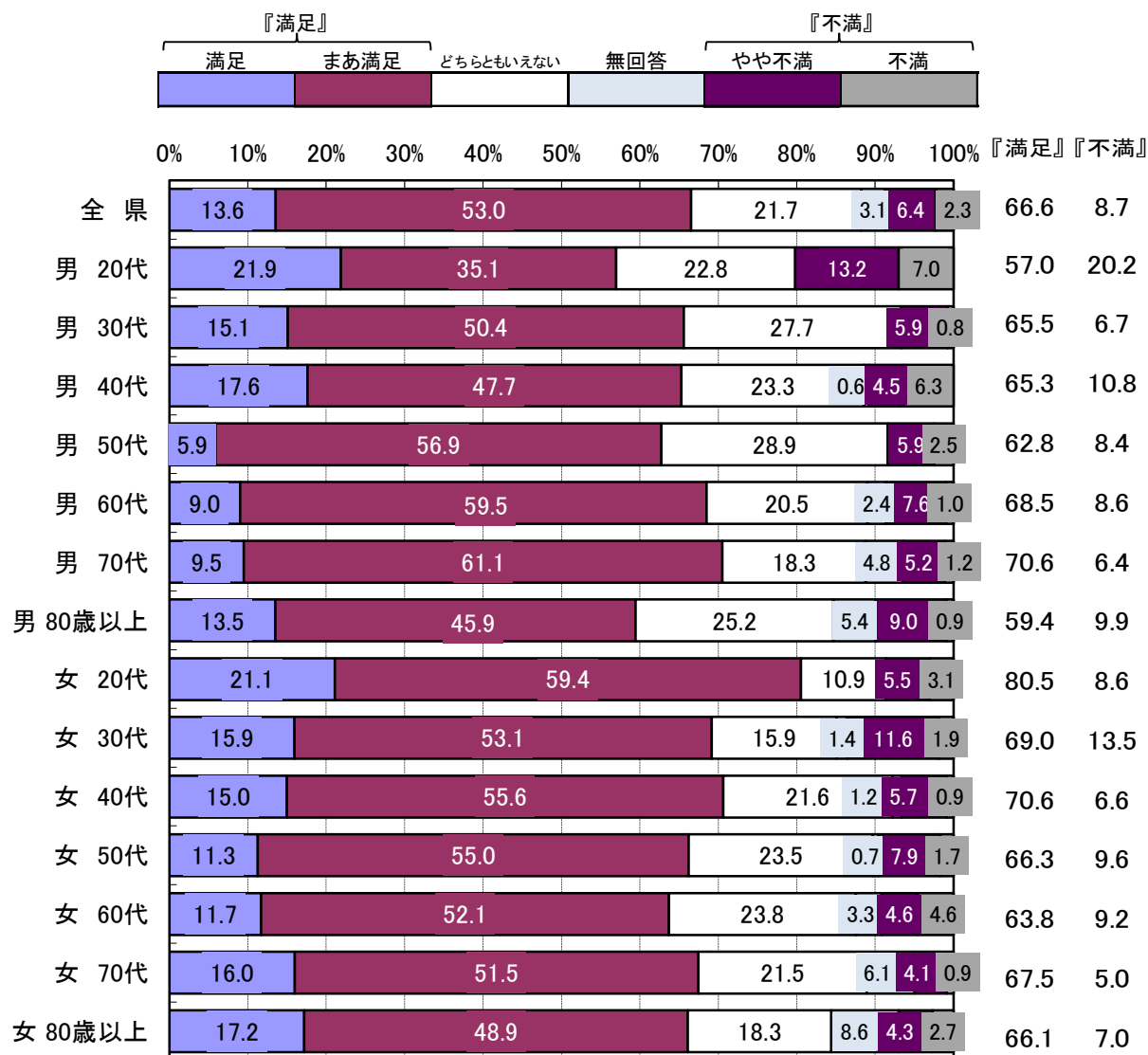
『満足』は、女性の方が男性より3.5ポイント高い。



今の生活の項目別での満足度-住んでいる地域の住み心地

【性・年代別】

『満足』は、男性は70代、女性は20代が最も高い。

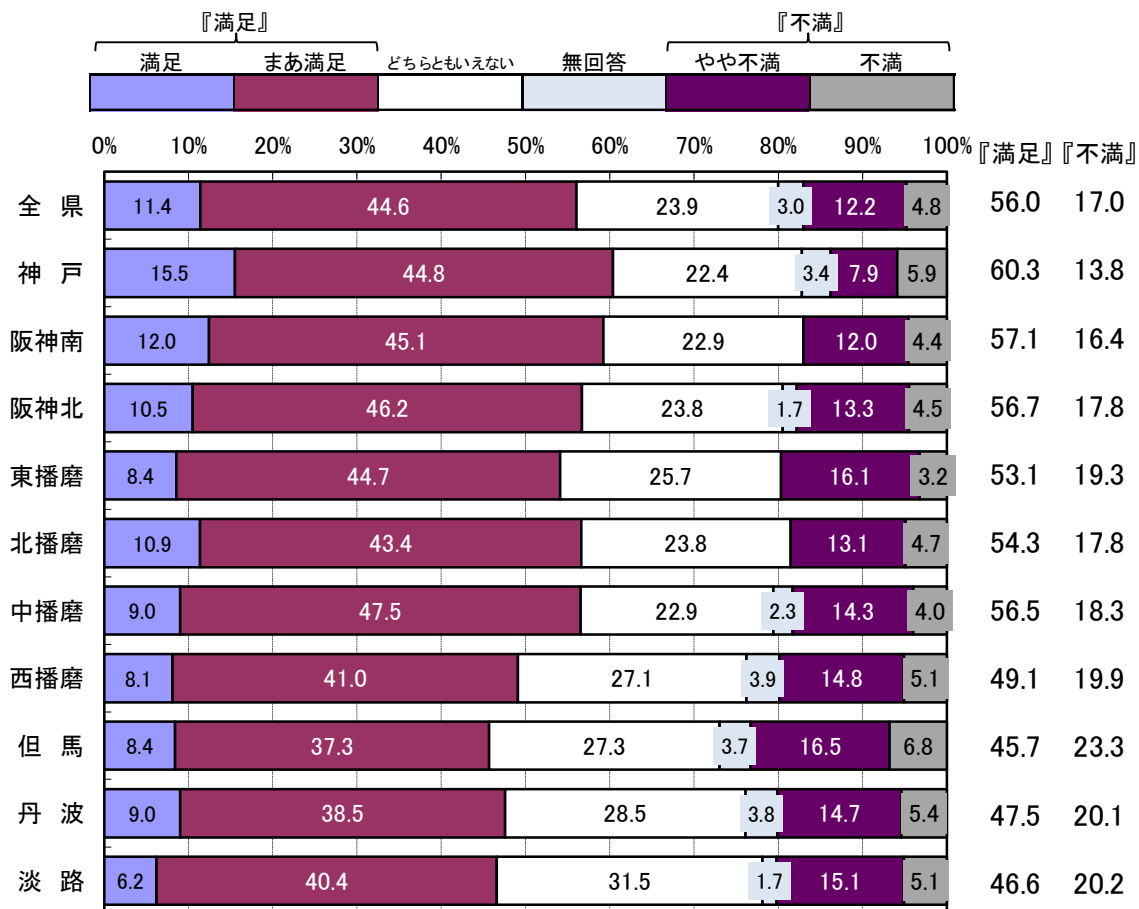


今の生活の項目別での満足度-あなた自身の健康

〔シ あなた自身の健康〕

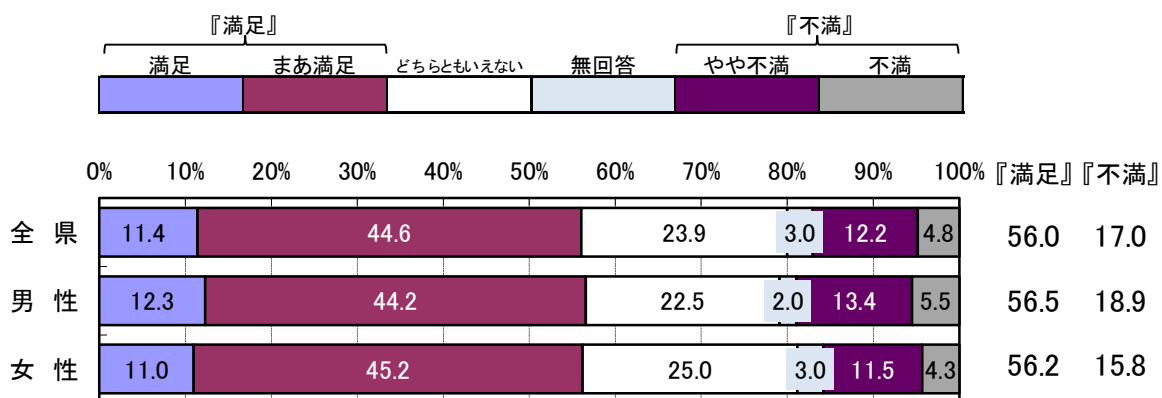
【地域別】

『満足』は、神戸が最も高く、阪神南、阪神北が続いている。



【性別】

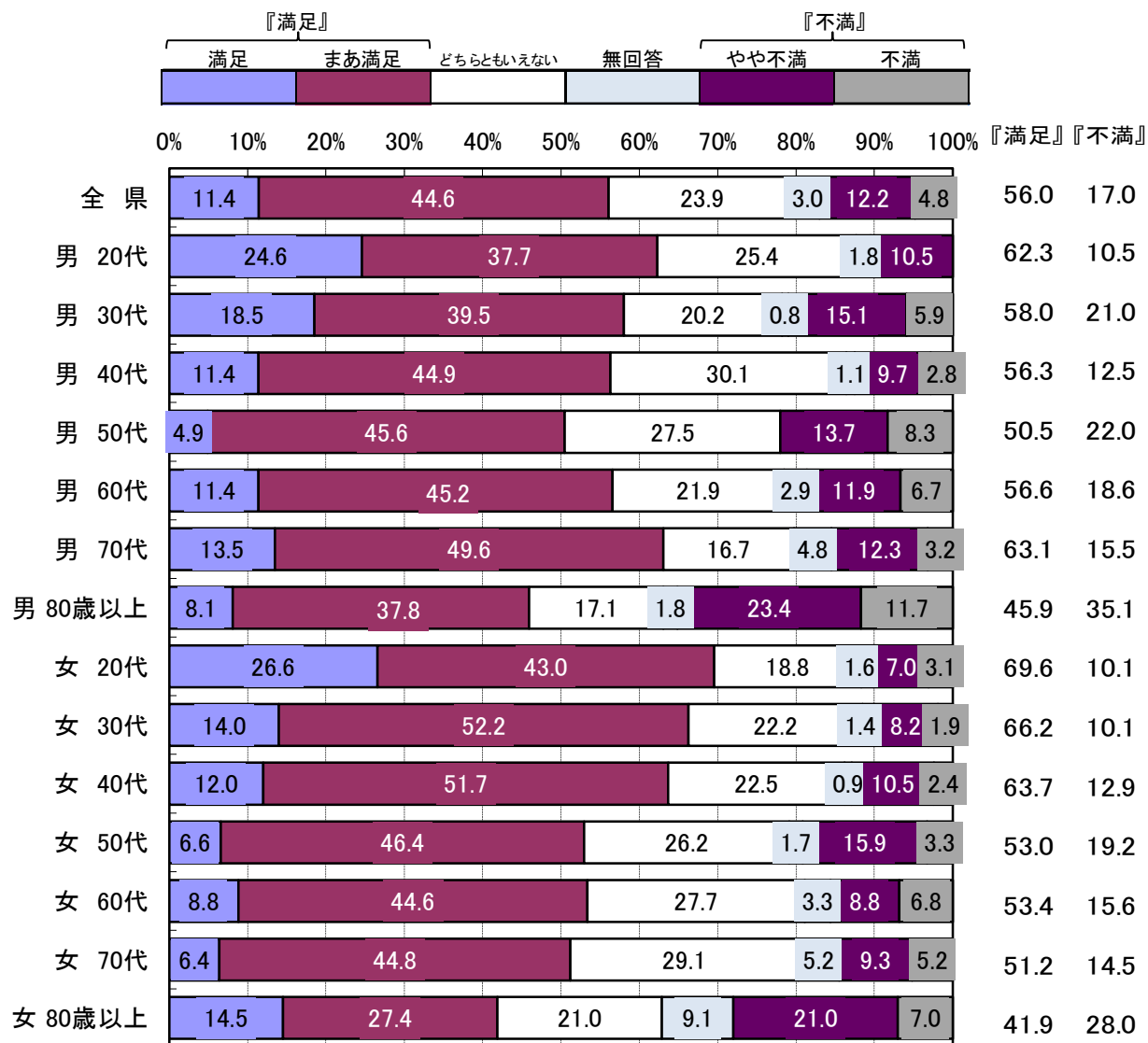
『不満』は、男性の方が女性より 3.1 ポイント高い。



今の生活の項目別での満足度-あなた自身の健康

【性・年代別】

『満足』は、男性は70代、女性は20代が最も高い。

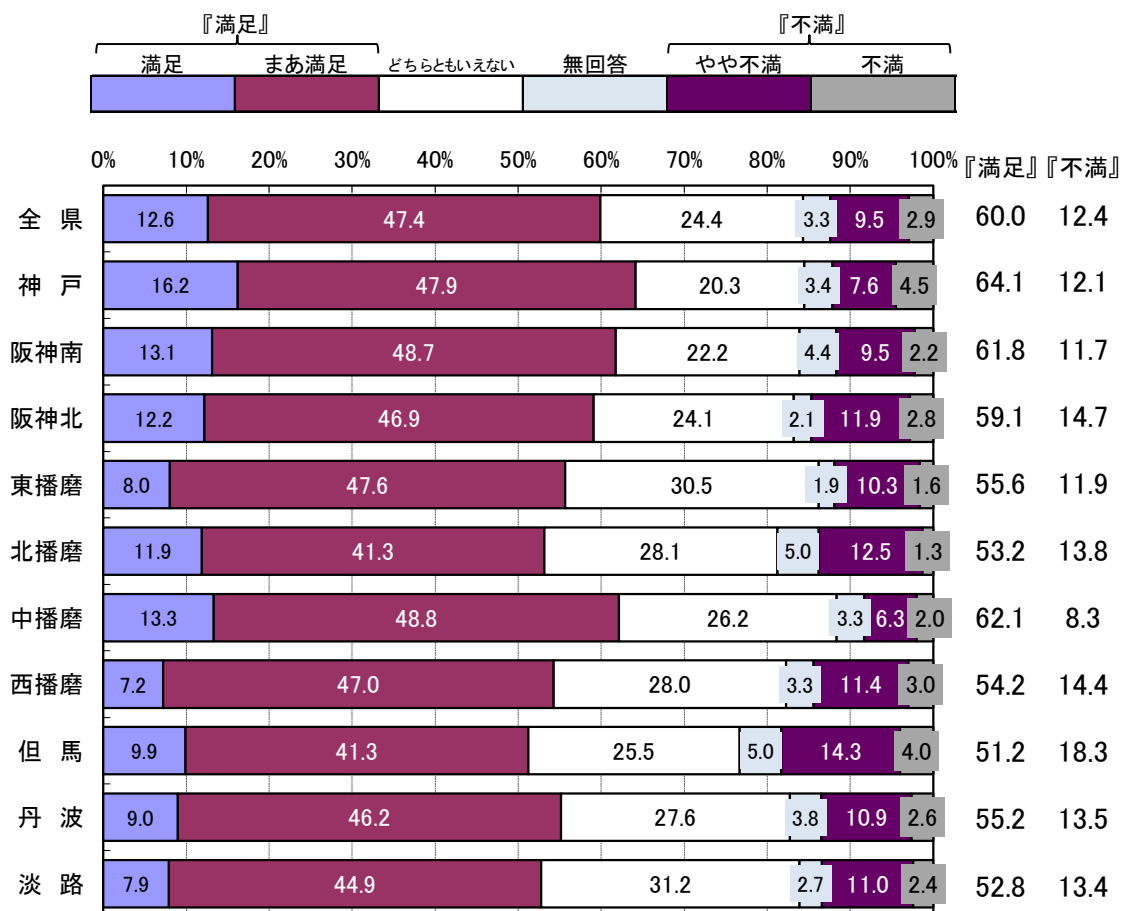


今の生活の項目別での満足度-家族の健康

〔ス 家族の健康〕

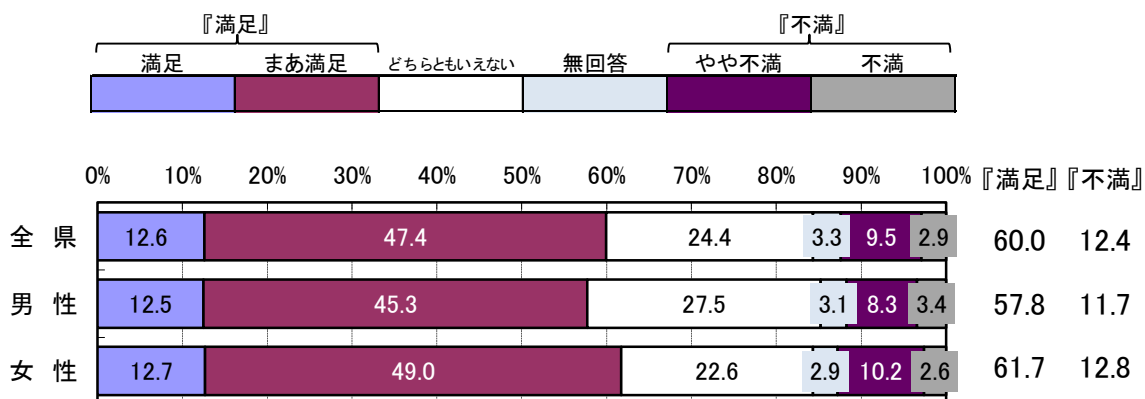
【地域別】

『満足』は、神戸が最も高く、中播磨、阪神南が続いている。



【性別】

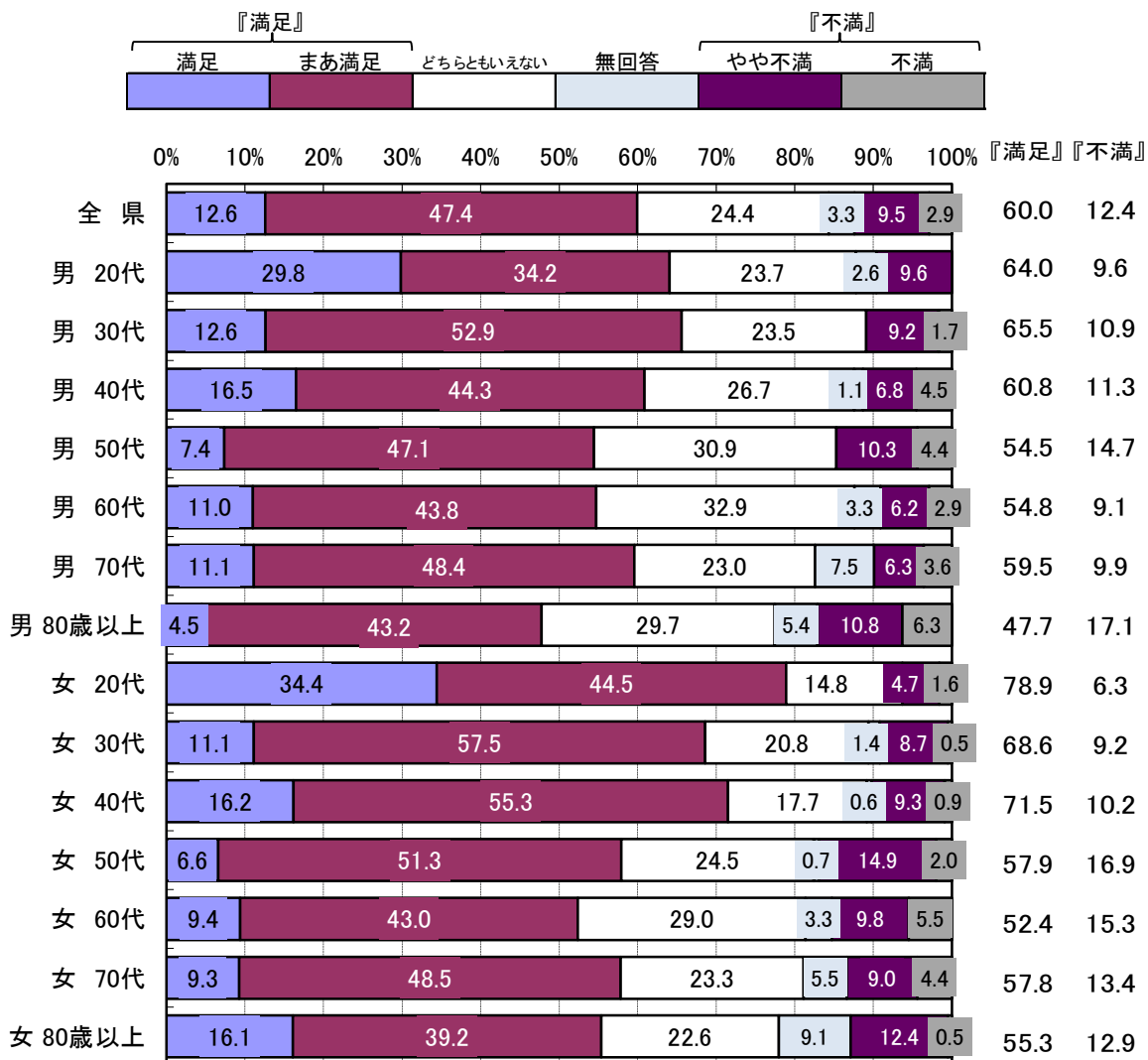
『満足』は、女性の方が男性より3.9ポイント高い。



今の生活の項目別での満足度-家族の健康

【性・年代別】

『満足』は、男性は30代、女性は20代が最も高い。



問 13 去年と比べた生活の向上感

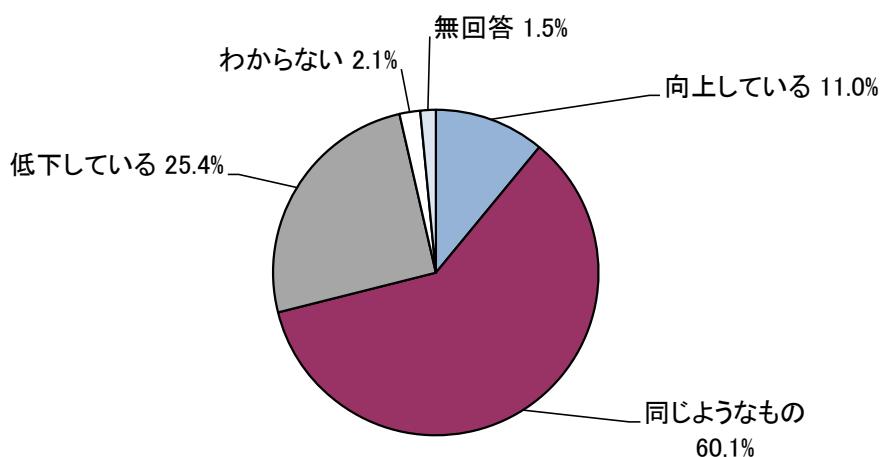
問 13

あなたが、今の生活をどう思っておられるかお聞きします。あなたの生活は、去年の今頃と比べてどうでしょうか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 向上している
- 2 同じようなもの
- 3 低下している
- 4 わからない

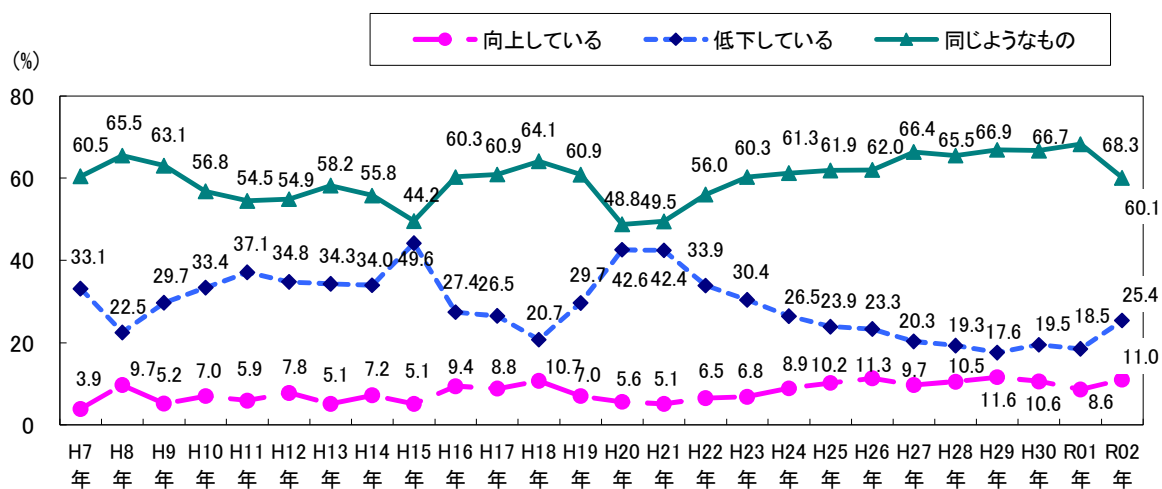
【全県】

「同じようなもの」が最も高く、次いで「低下している」、「向上している」の順となった。



【経年比較】

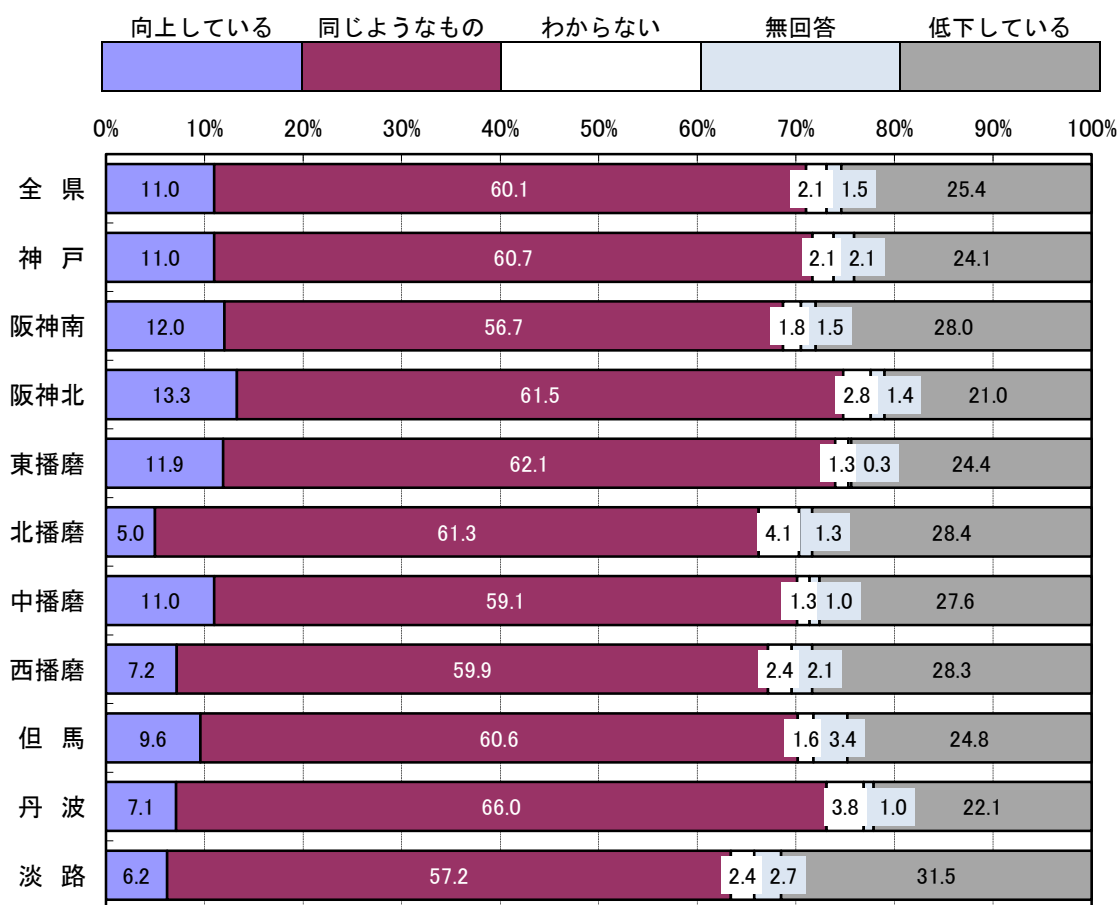
「向上している」は前年から2.4ポイント増加し、「低下している」は8.2ポイント減少した。



去年と比べた生活の向上感

【地域別】

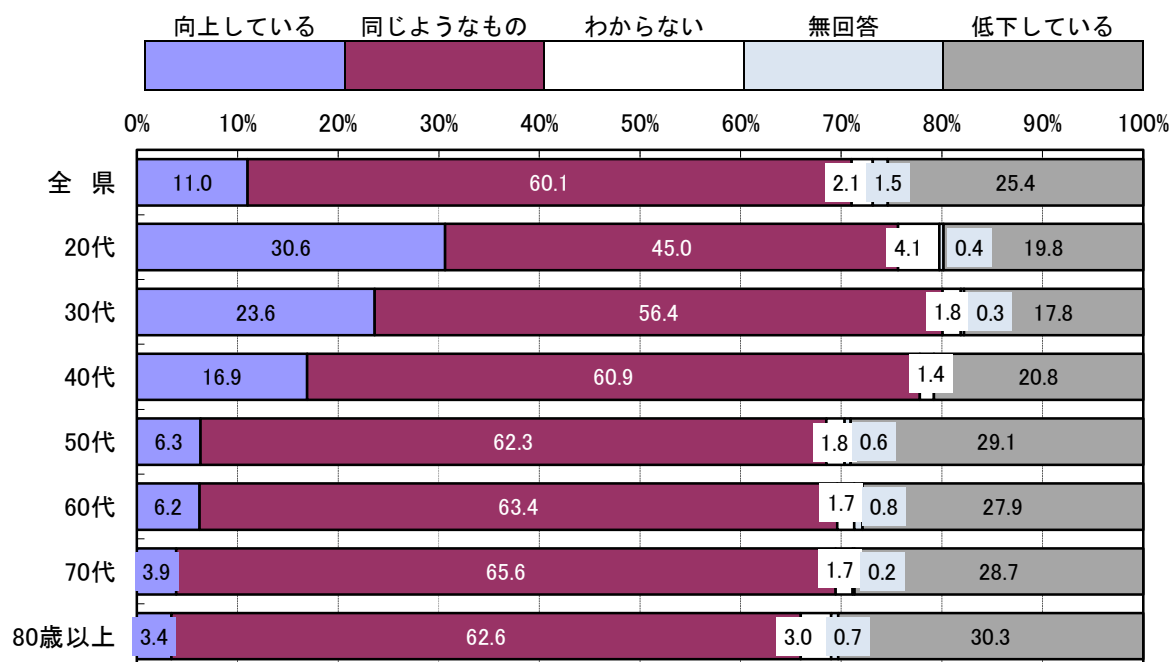
「向上している」は阪神北が最も高く、阪神南、東播磨が続いている。



去年と比べた生活の向上感

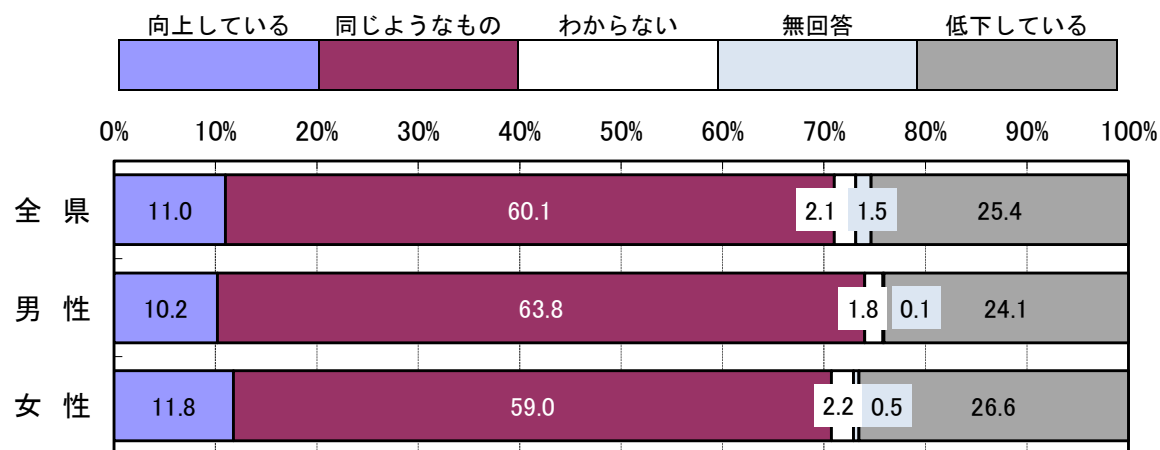
【年代別】

「向上している」は20代が最も高い。



【性別】

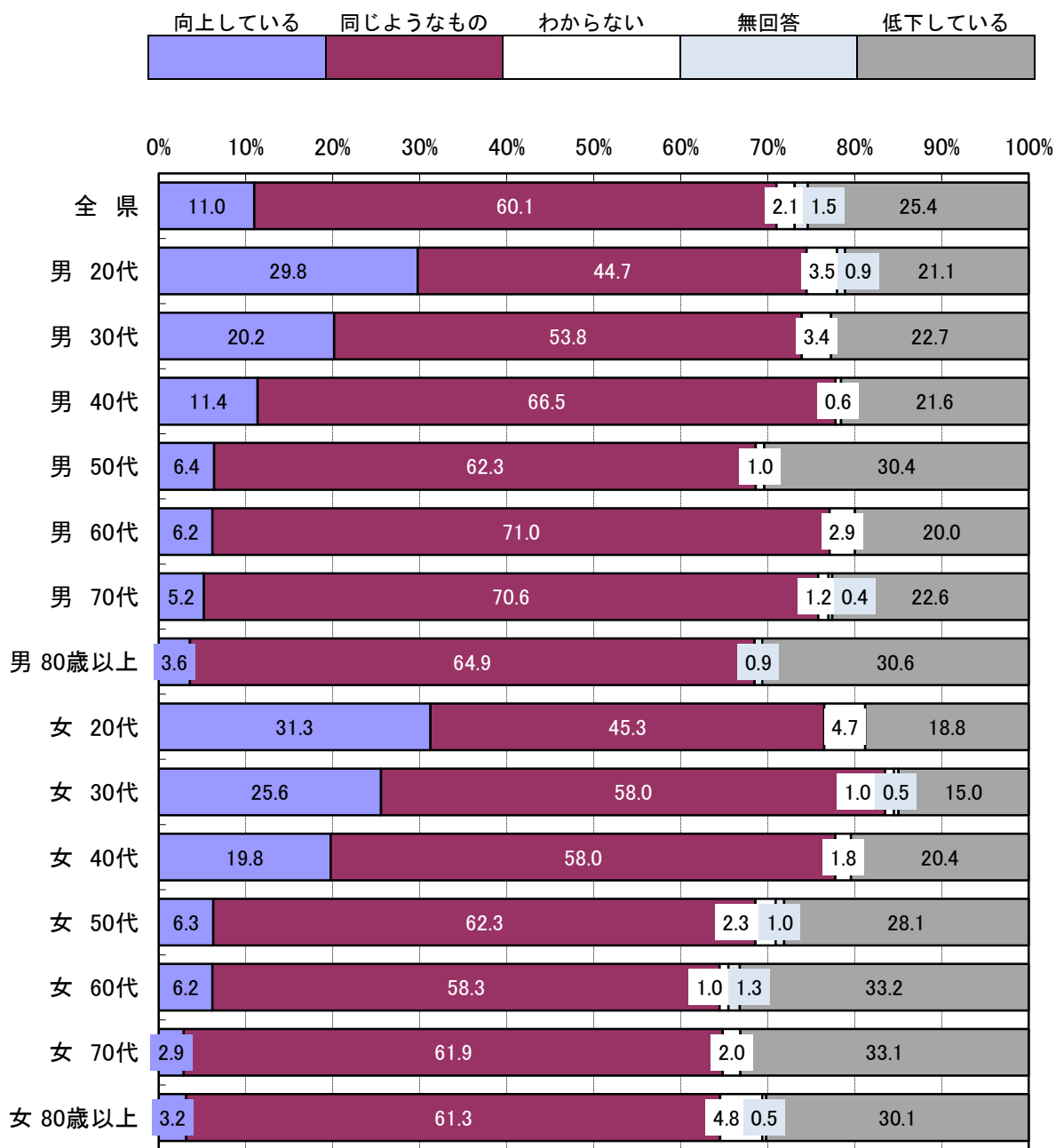
「向上している」は、女性の方が男性より1.6ポイント高い。



去年と比べた生活の向上感

【性・年代別】

「向上している」は、男女ともに20代が最も高い。



問 14 大地震発生の可能性

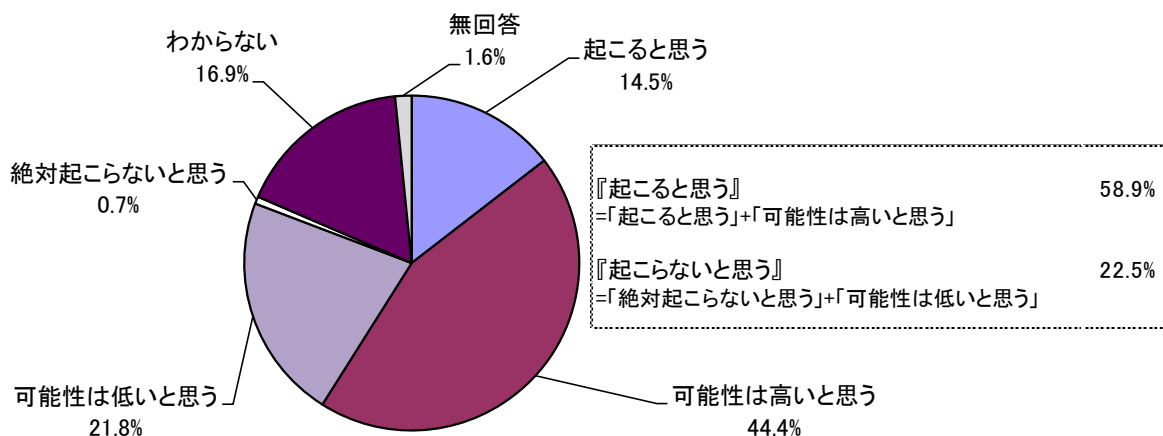
問 14

あなたの住んでいる地域で、今後 10 年くらいの間に大地震が起こると思いますか。次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 起こると思う
- 2 可能性は高いと思う
- 3 可能性は低いと思う
- 4 絶対起こらないと思う
- 5 わからない

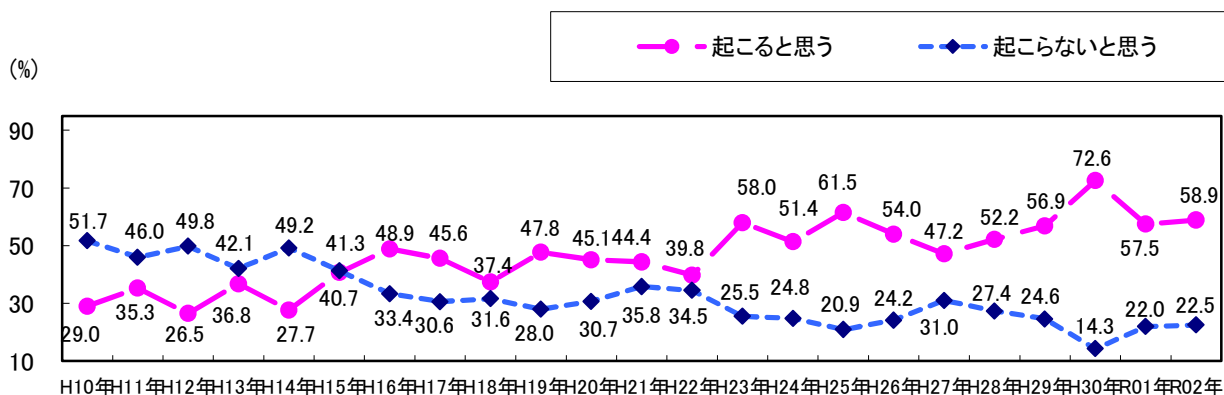
【全県】

「起こると思う」と「可能性は高いと思う」を合わせた『起こると思う』は 58.9%で、「絶対起こらない」と「可能性は低いと思う」を合わせた『起こらないと思う』は 22.5%となった。



【経年比較】

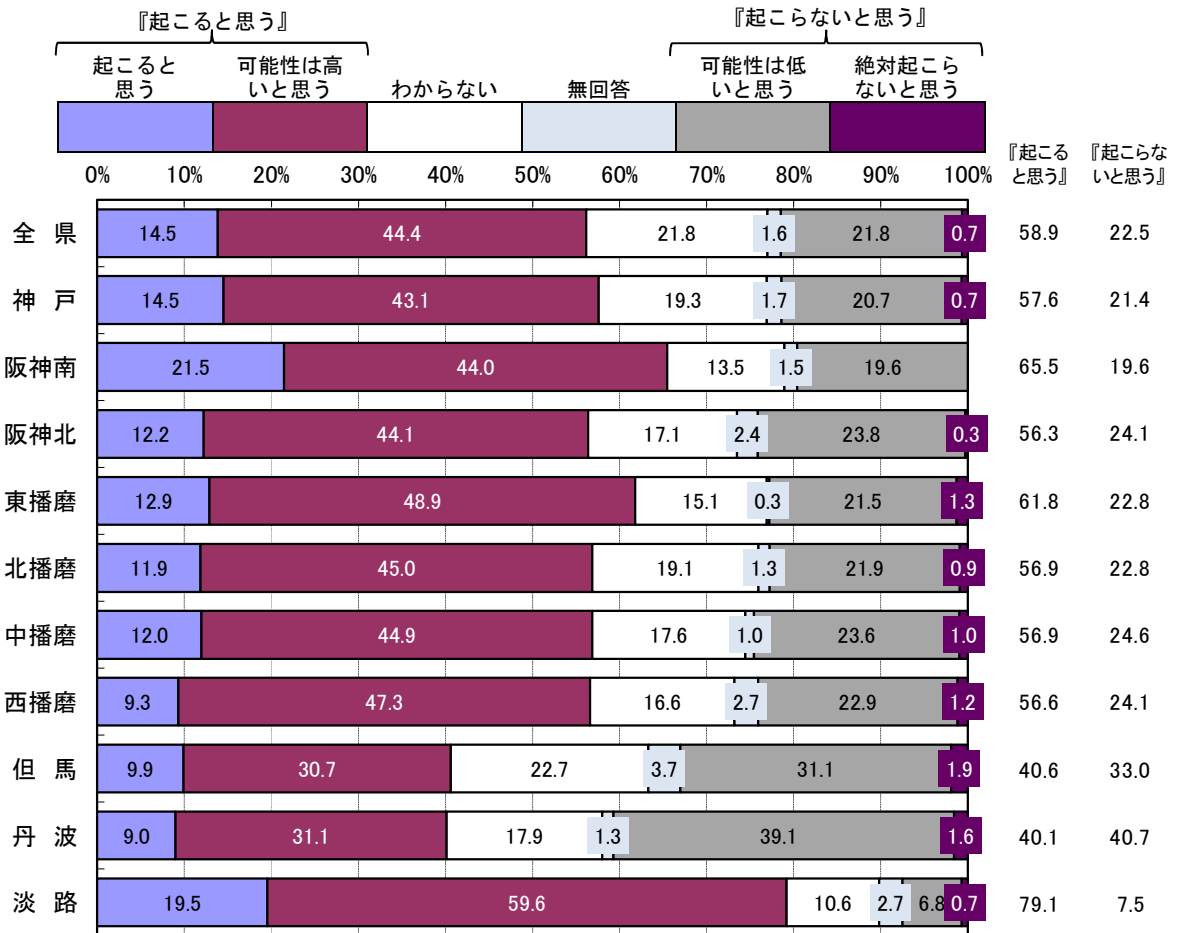
『起こると思う』は、前年よりも 1.4 ポイント増加している。



大地震発生の可能性

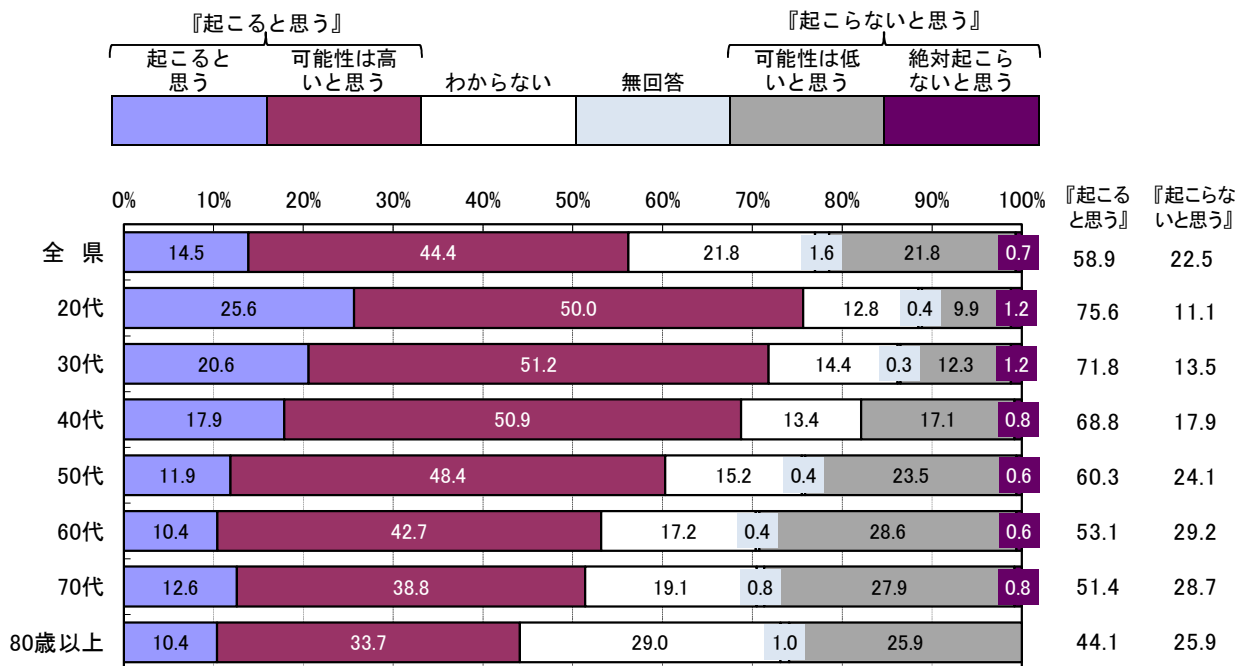
【地域別】

『起こると思う』は淡路が最も高く、次いで阪神南、東播磨が続いている。



【年代別】

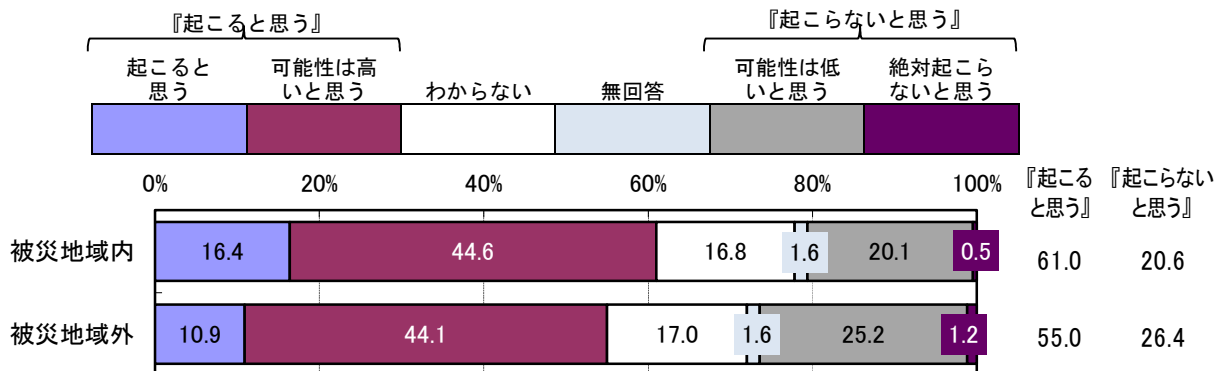
『起こると思う』は20代がもっとも高い。



大地震発生の可能性

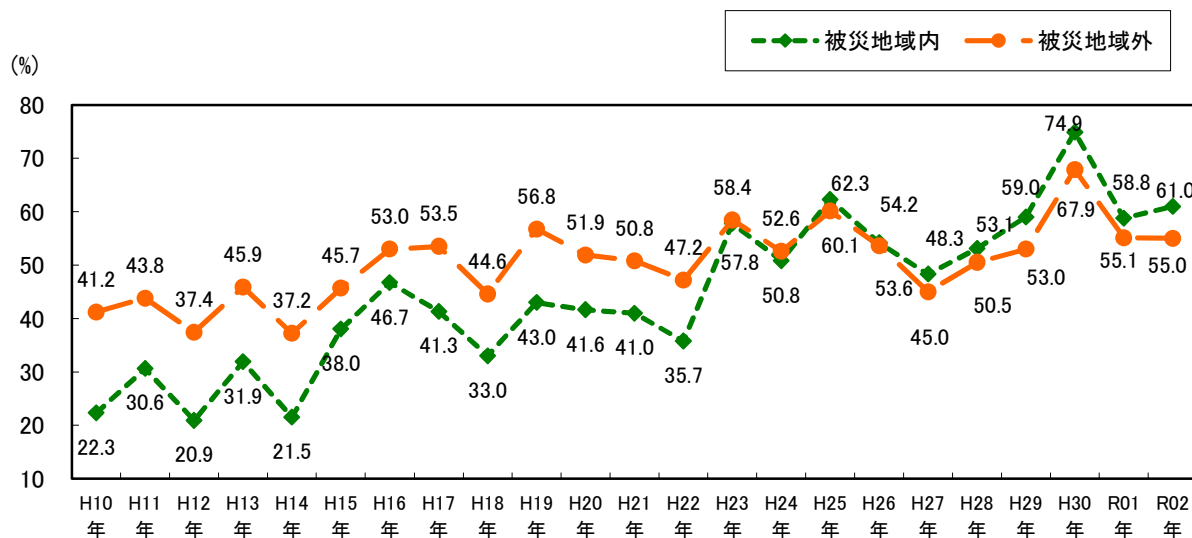
【阪神・淡路大震災 被災地域内外別(※)】

『起こると思う』は、被災地域外よりも被災地域内の方が6.0ポイント高くなっている。



【阪神・淡路大震災 被災地域内外別『起こると思う』(経年比較)】

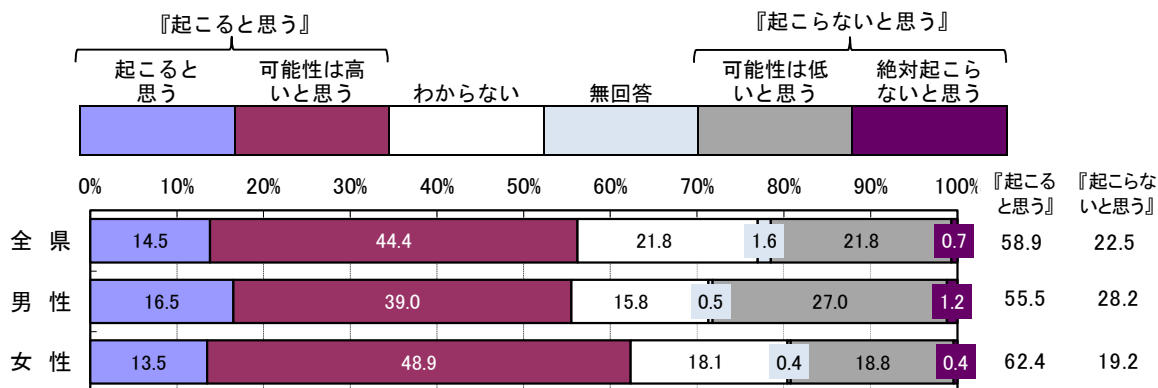
被災地域内は前年より2.0ポイント増加し、被災地域外は0.1ポイント減少している。



※被災地域…神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、三木市、川西市、淡路市、洲本市、南あわじ市

【性別】

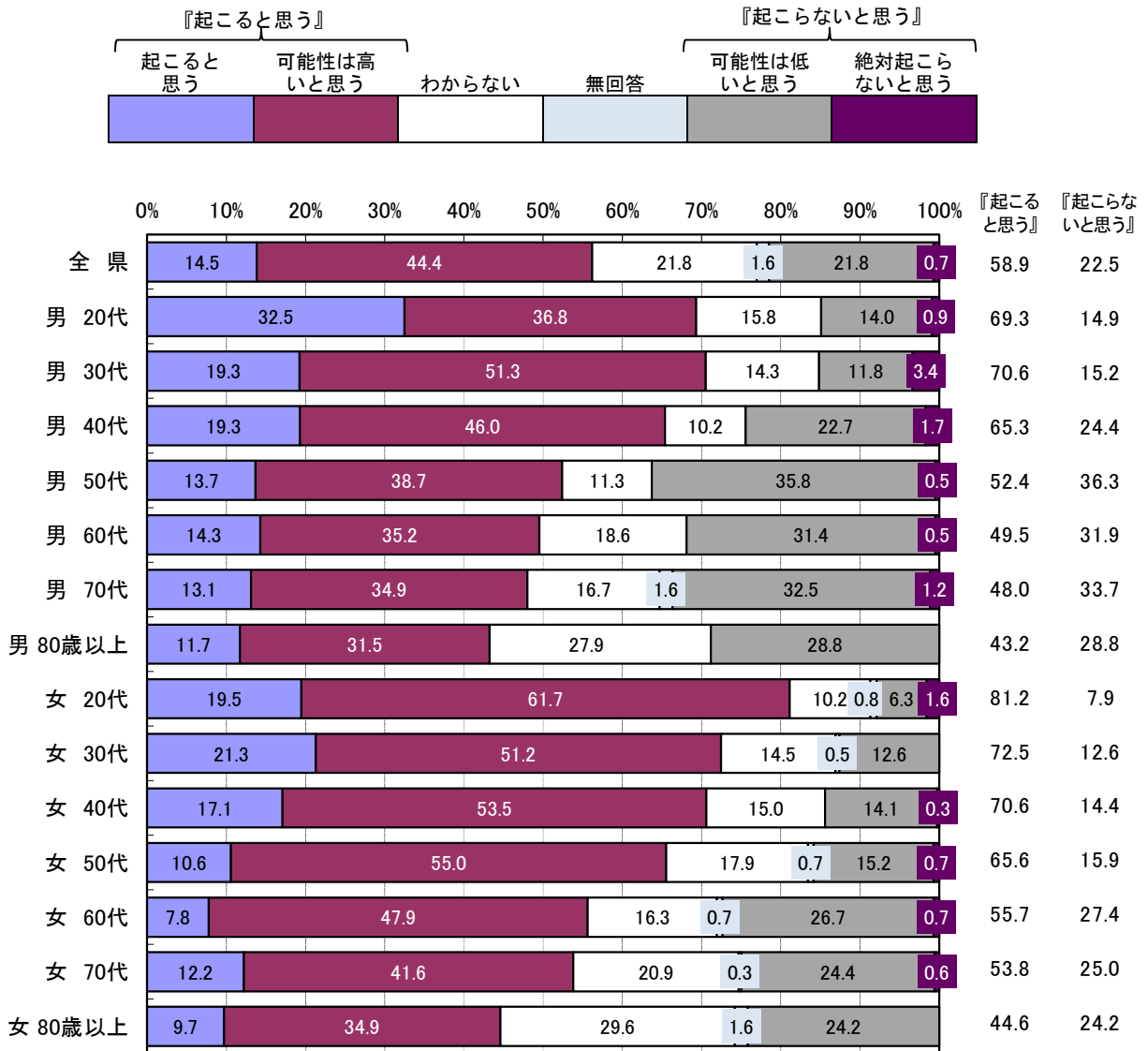
『起こらないと思う』は、男性の方が女性より9.0ポイント高い。



大地震発生の可能性

【性・年代別】

『起こると思う』は、男性は30代、女性は20代が最も高い。



問 15 地域活動への参加

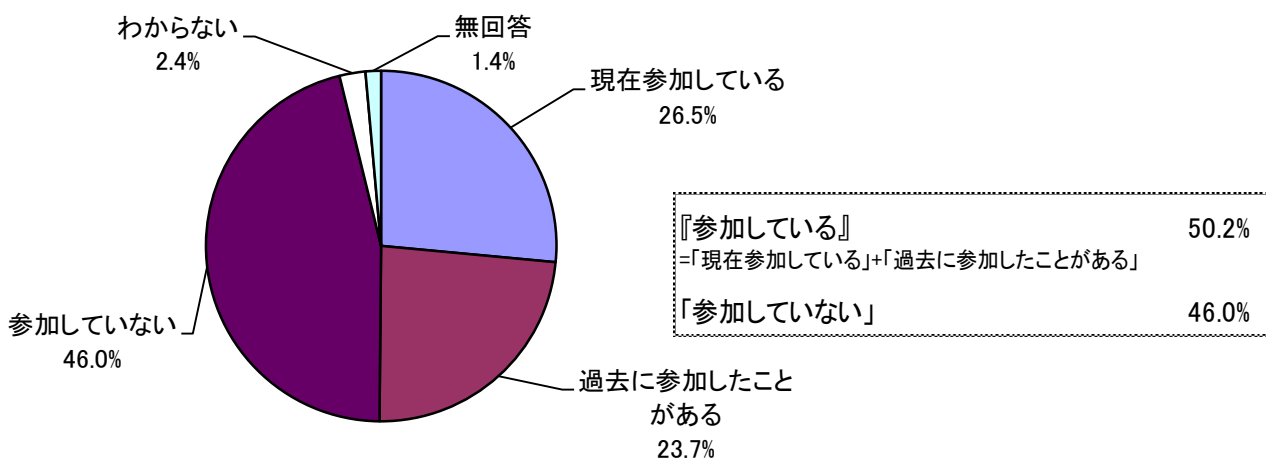
問 15

あなたは、お住まいの地域の自治会や婦人会をはじめ、コミュニティ組織などによる地域活動に参加されていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 現在参加している
- 2 過去に参加したことがある
- 3 参加していない
- 4 わからない

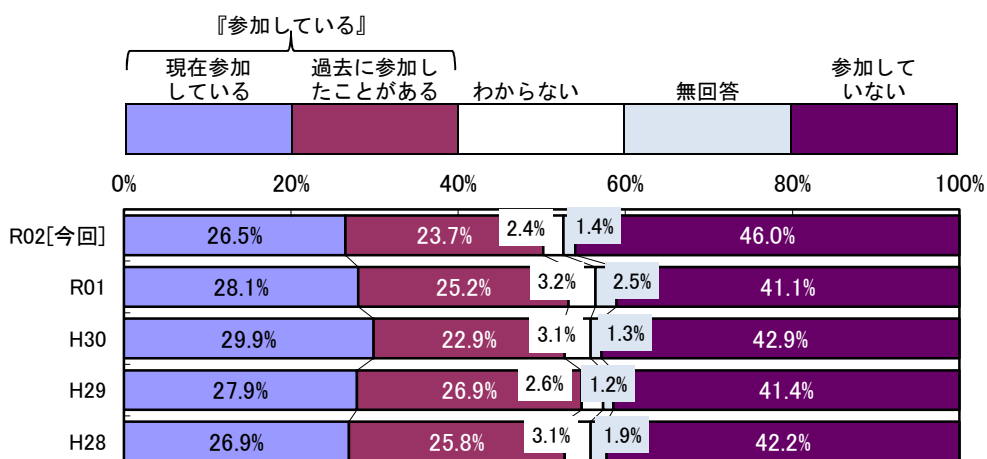
【全県】

「現在参加している」と「過去に参加したことがある」を合わせた『参加している』は50.2%となった。



【経年比較】

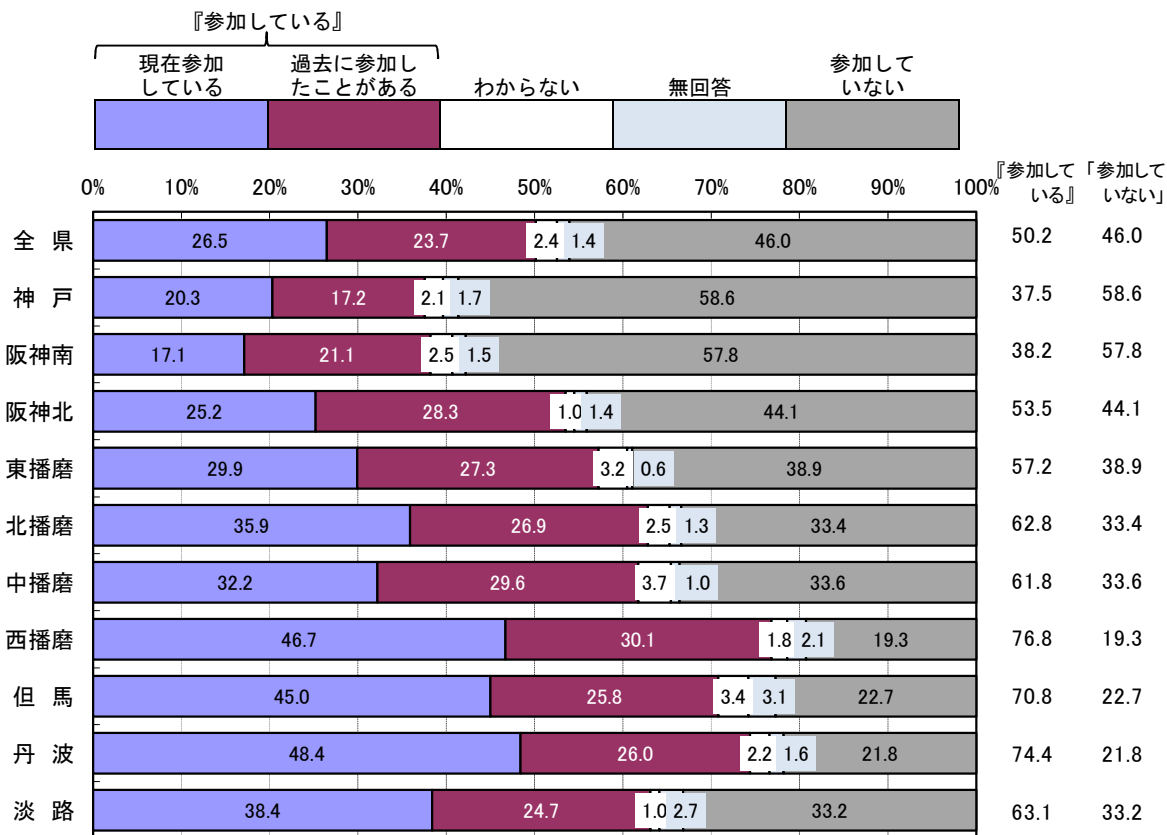
『参加している』は、前年（53.3%）より3.1ポイント減少した。



地域活動への参加

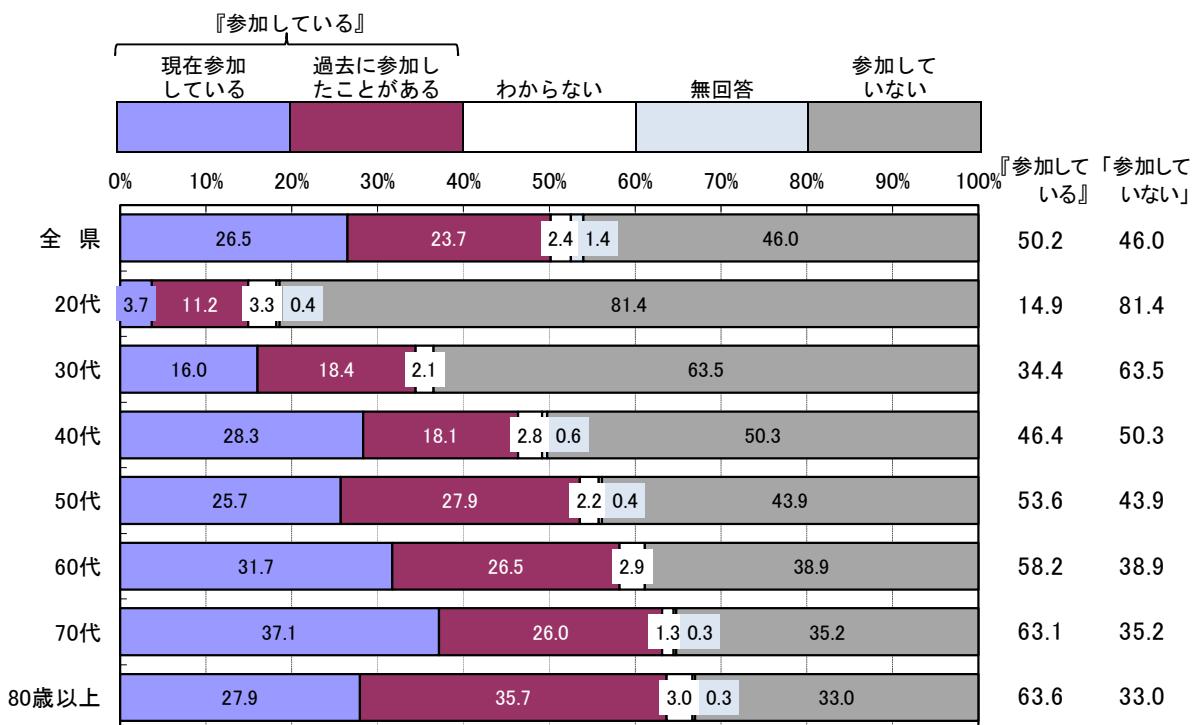
【地域別】

『参加している』は、西播磨が最も高く、丹波、但馬が続いている。



【年代別】

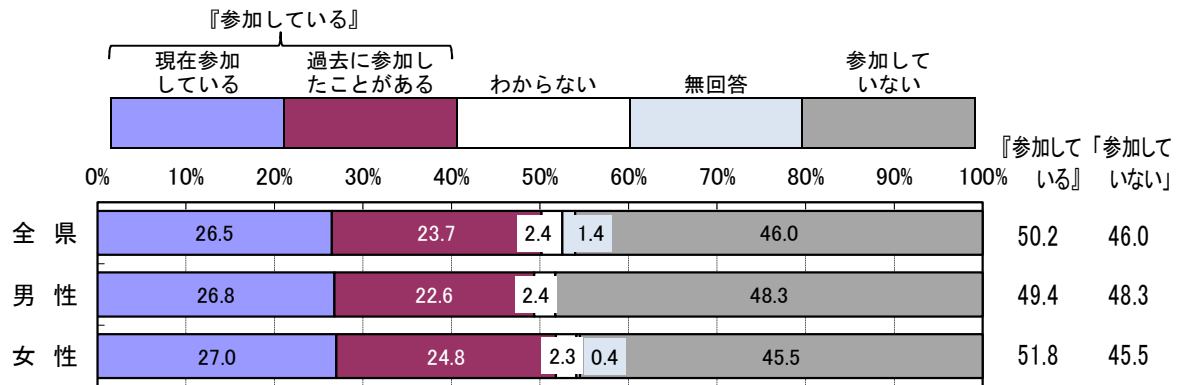
『参加している』は80歳以上が最も高い。



地域活動への参加

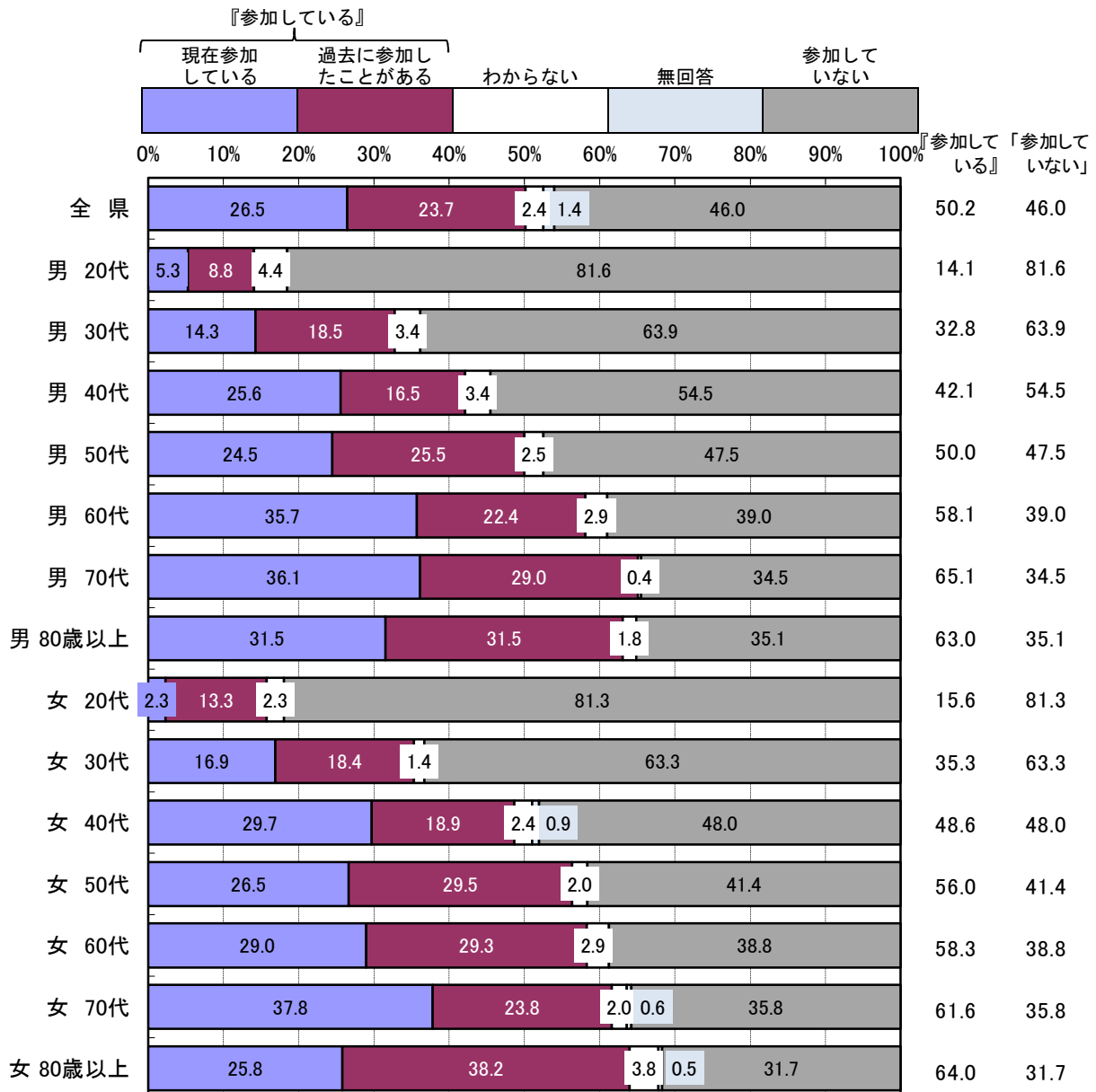
【性別】

『参加している』は、女性の方が男性より2.4ポイント高い。



【性・年代別】

『参加している』は、男性は70代、女性は80歳以上が最も高い。



問 16 県政への関心

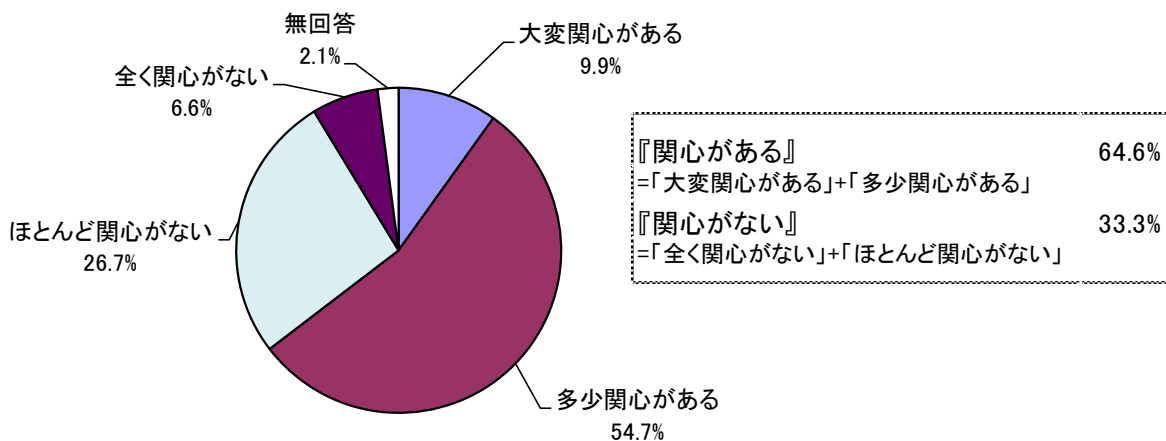
問 16

あなたは県政に関心がありますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 大変関心がある
- 2 多少関心がある
- 3 ほとんど関心がない
- 4 全く関心がない

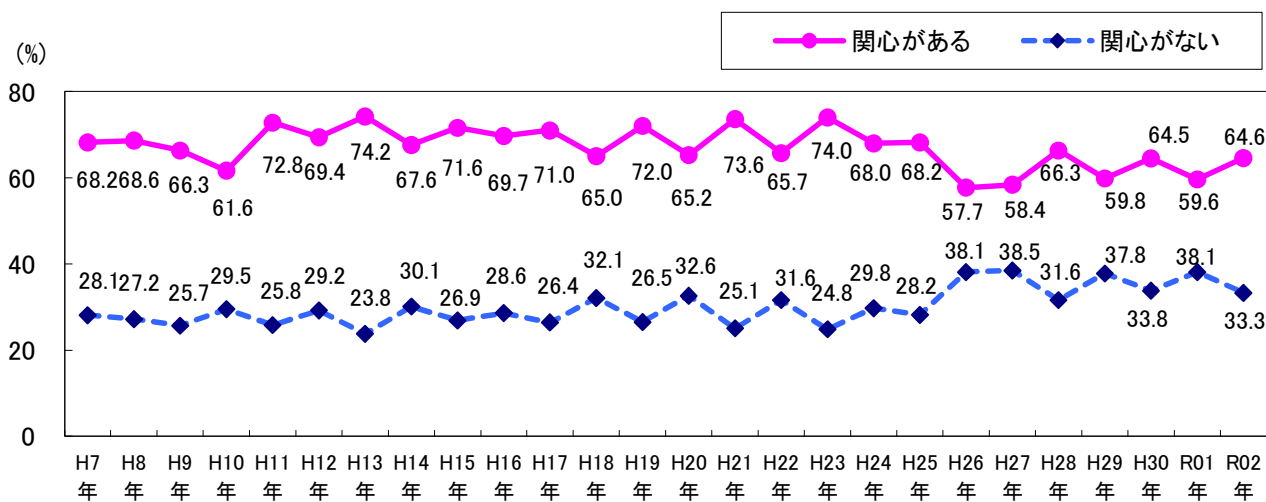
【全県】

「大変関心がある」と「多少関心がある」を合わせた『関心がある』が 64.6%で、「全く関心がない」と「ほとんど関心がない」を合わせた『関心がない』は 33.3%となった。



【経年比較】

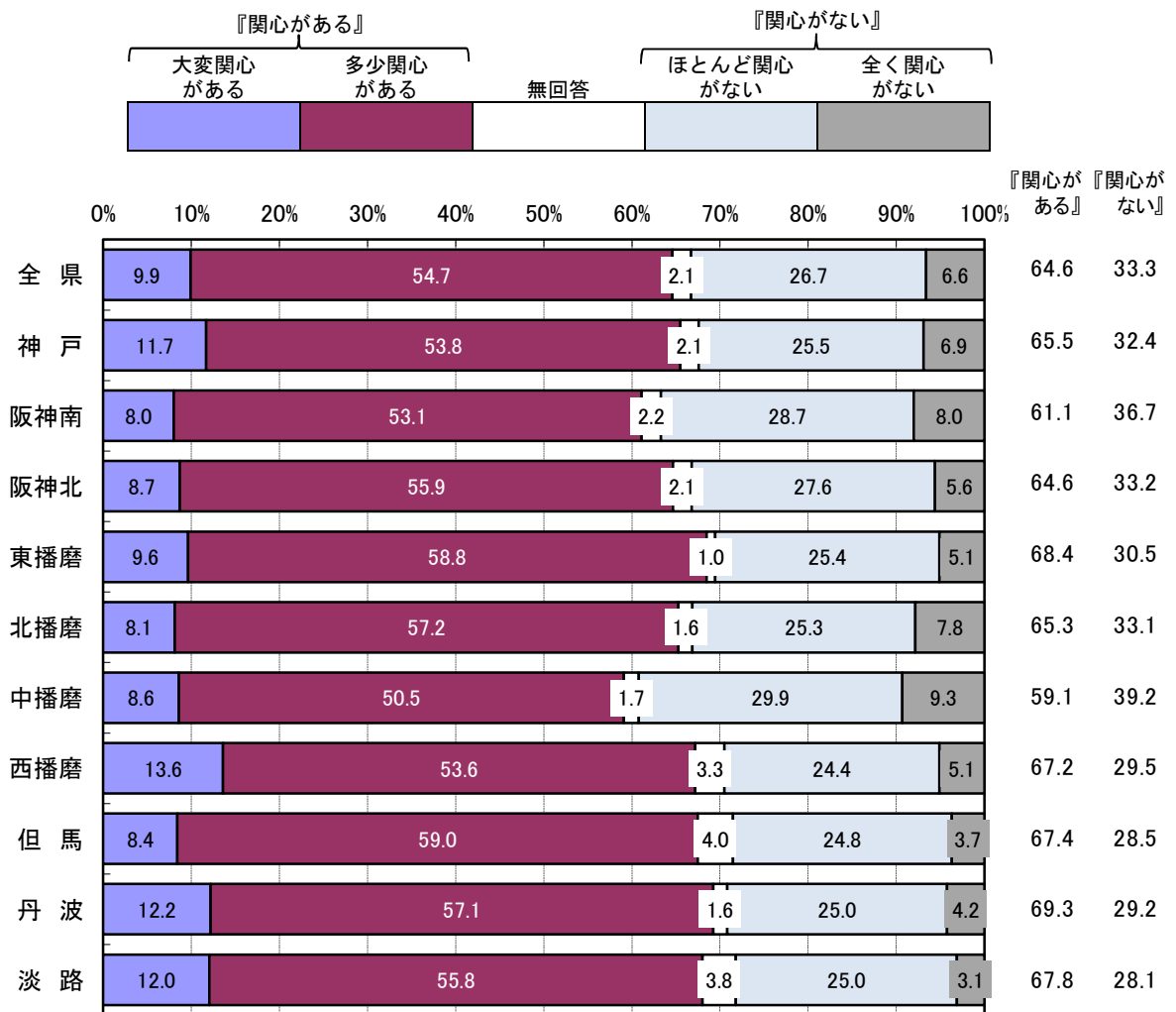
『関心がある』は前年より 5.0 ポイント増加し、『関心がない』は前年より 4.8 ポイント減少している。



県政への関心

【地域別】

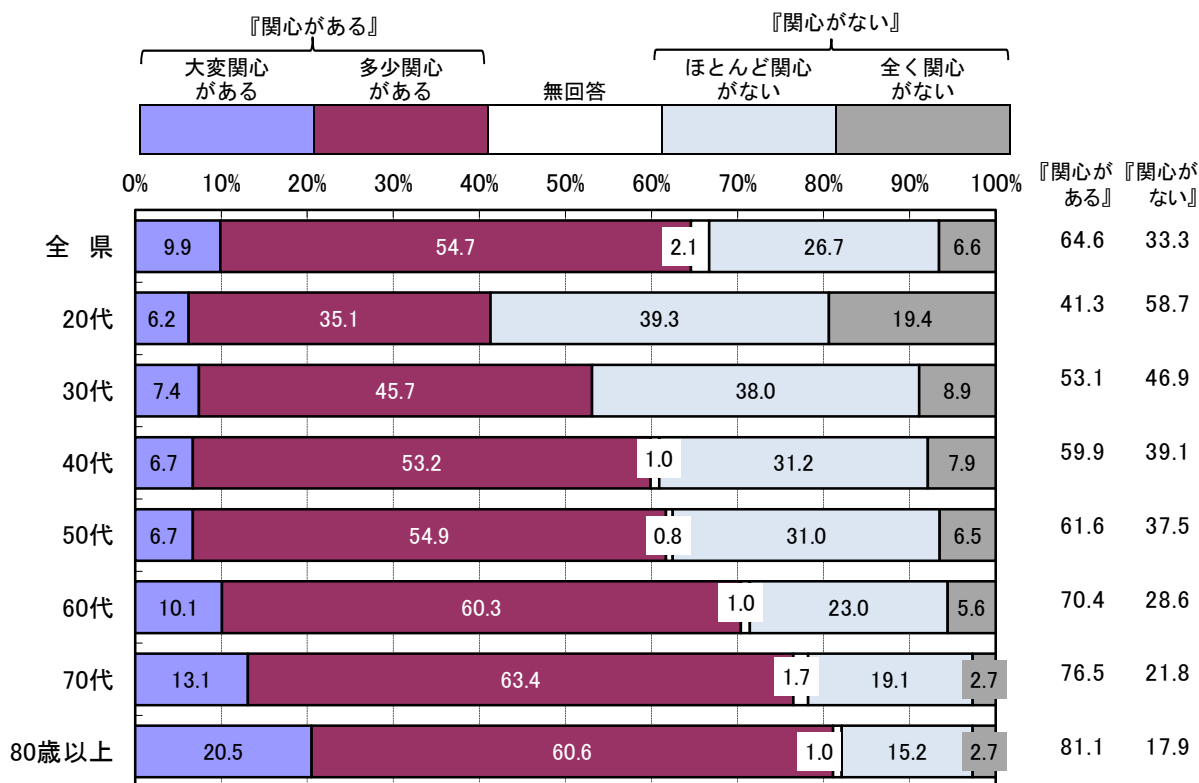
『関心がある』は丹波が最も高く、東播磨、淡路、但馬が続いている。



県政への関心

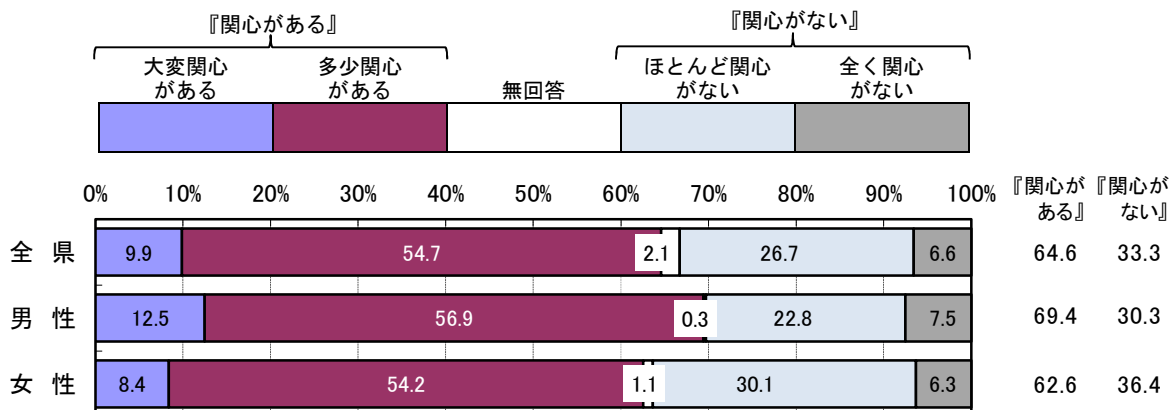
【年代別】

『関心がある』は、80歳以上が最も高い。



【性別】

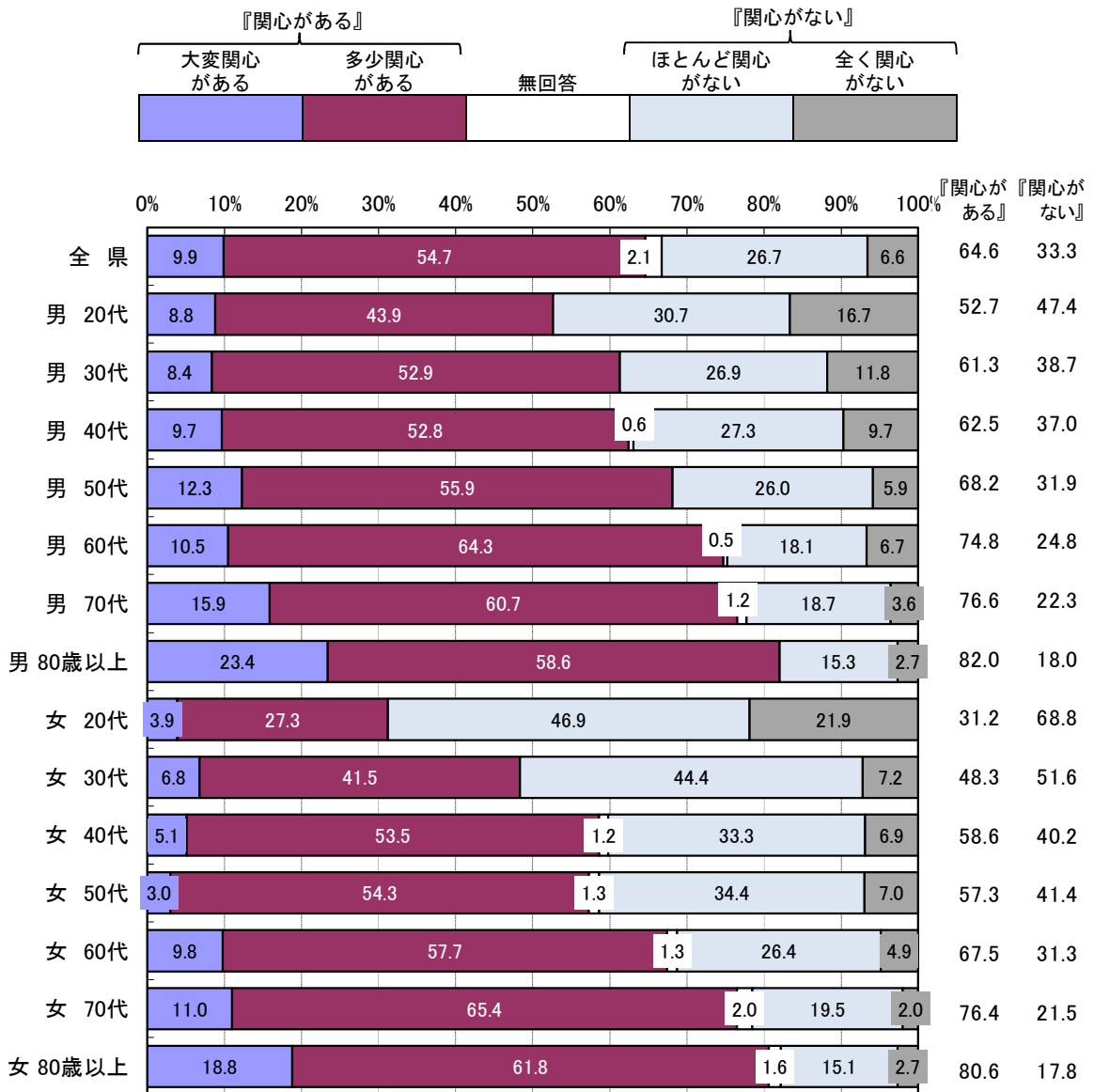
『関心がある』は、男性の方が女性より6.8ポイント高い。



県政への関心

【性・年代別】

『関心がある』は、男女ともに80歳以上が最も高い。



問 17 県政への評価

問 17

県に行っている仕事をあげています。次のア～ツについて、あなたのお考えに近いものをそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

- ア 国際的な交流や協力
- イ 県政の広報・広聴活動
- ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力
- エ 防災対策の充実
- オ 生涯学習活動への支援
- カ 芸術文化の振興
- キ 環境の保全と創造
- ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策
- ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実
- コ 県内中小企業の育成
- サ 雇用の安定と職業能力の開発
- シ 観光の振興
- ス 農林水産業の活性化対策
- セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備
- ソ 良質な住宅の供給
- タ 学校教育の充実
- チ 交通安全・防犯対策
- ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策

- 1 よくやっている 2 まあまあやっている 3 どちらともいえない
4 もう少し努力が必要 5 もっと努力が必要

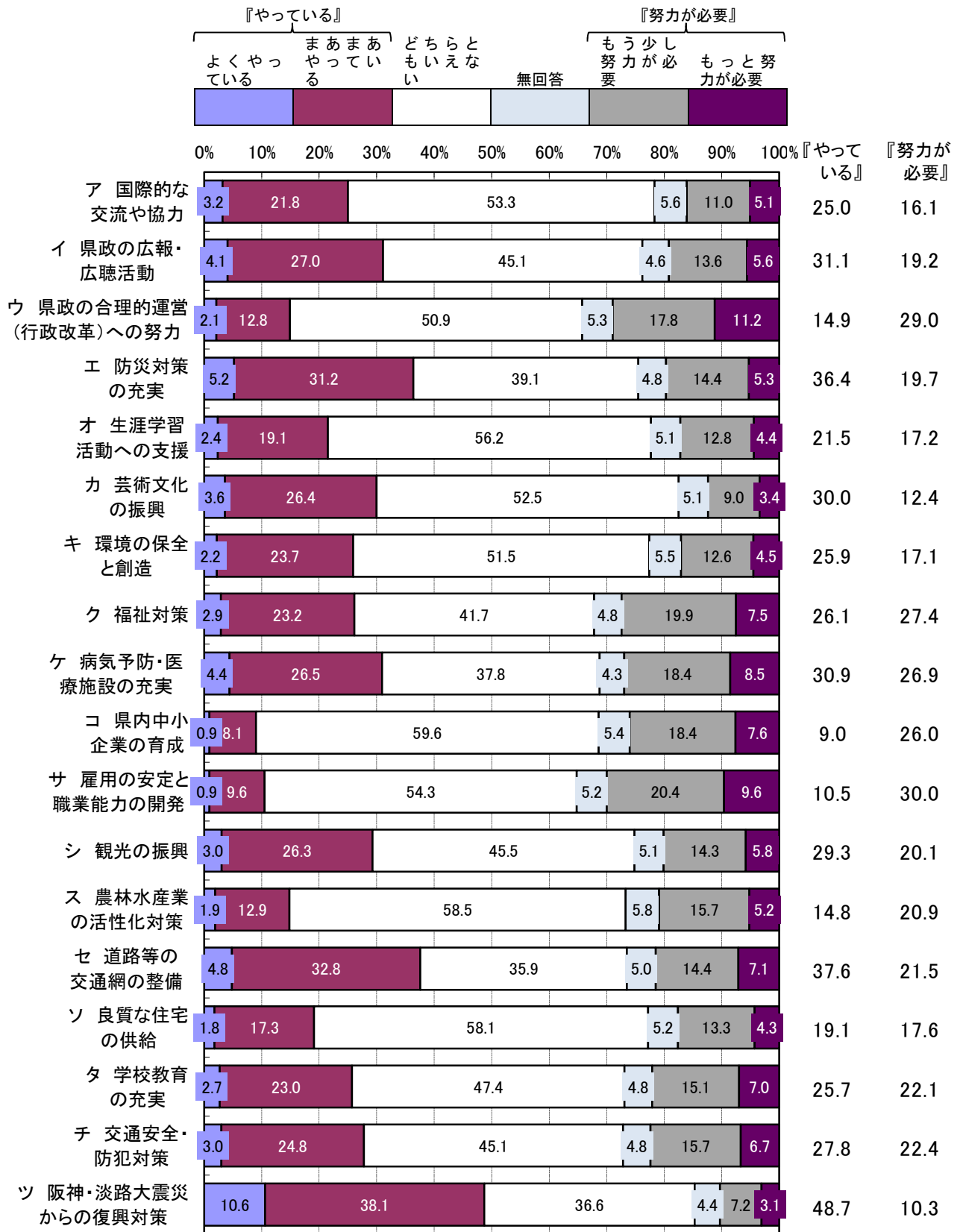
【全 県】

「よくやっている」と「まあまあやっている」を合わせた『やっている』は「ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策(48.7%)」が最も高く、「セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備(37.6%)」、「エ 防災対策の充実(36.4%)」と続く。

「もう少し努力が必要」と「もっと努力が必要」を合わせた『努力が必要』は、「サ 雇用の安定と職業能力の開発(30.0%)」が最も高く、「ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力(29.0%)」、「ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策(27.4%)」と続いている。

18項目中、13項目で『やっている』が『努力が必要』を上回った。

県政への評価



県政への評価

【前年度比較】

『やっている』は、〔ス 農林水産業の活性化対策（1.4ポイント増）〕など、3項目で増加した。

一方、『努力が必要』は〔ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力（8.0ポイント増）〕、〔ア 国際的な交流や協力（2.6ポイント増）〕、〔イ 県政の広報・広聴活動（1.8ポイント増）〕など、9項目で増加した。

◎県政への評価【前年度比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ス 農林水産業の活性化対策	1.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	0.5
シ 観光の振興	0.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.2
コ 県内中小企業の育成	-0.2
ク お年寄り等が安心して暮らせる福祉対策	-0.5
ソ 良質な住宅の供給	-1.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.4
オ 生涯学習活動への支援	-3.3
イ 県政の広報・広聴活動	-3.4
キ 環境の保全と創造	-4.3
カ 芸術文化の振興	-4.6
ア 国際的な交流や協力	-4.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-5.4
チ 交通安全・防犯対策	-5.5
ケ 病気予防や医療施設の充実	-5.6
テ 学校教育の充実	-6.7
エ 防災対策の充実	-7.0

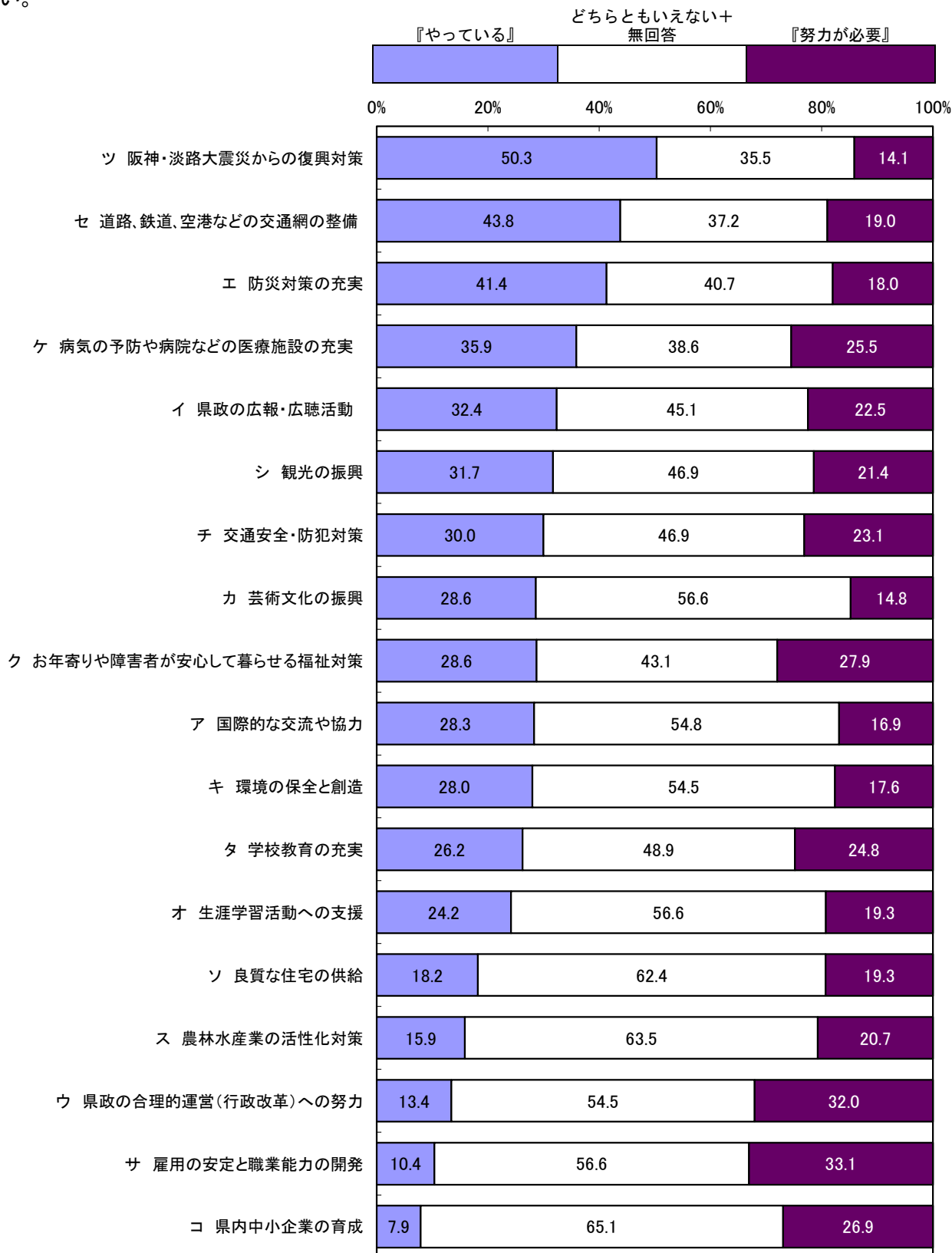
◎県政への評価【前年度比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

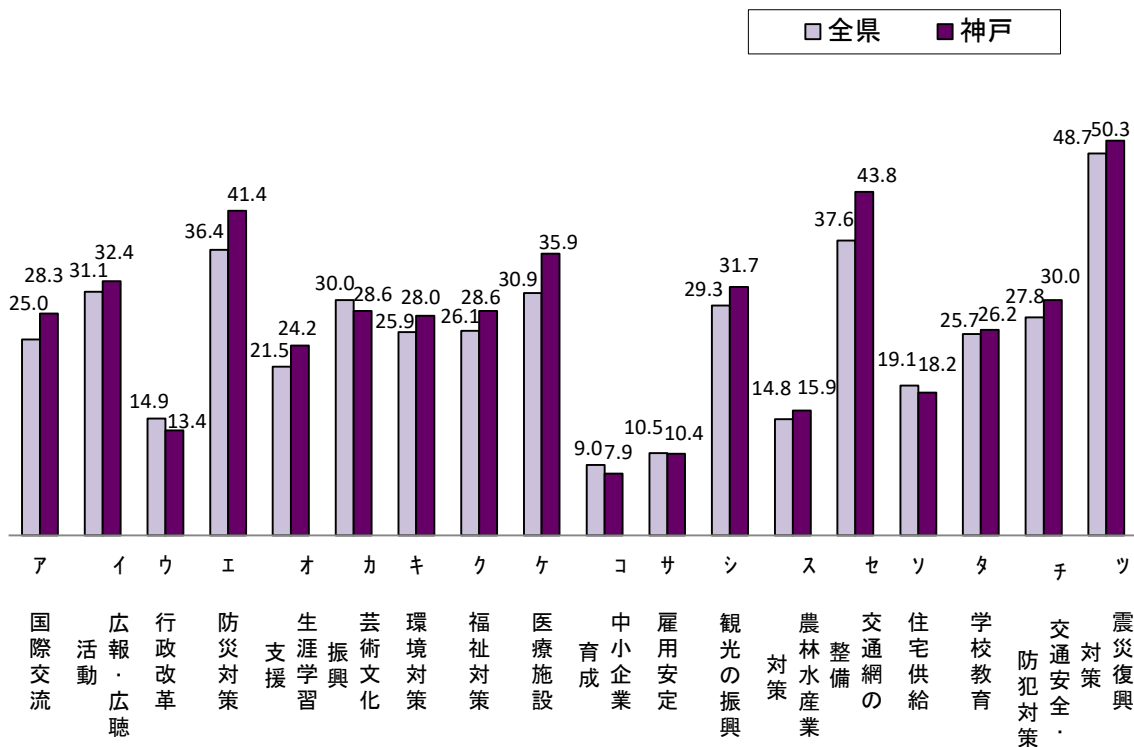
『努力が必要』	増減
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	8.0
ア 国際的な交流や協力	2.6
イ 県政の広報・広聴活動	1.8
オ 生涯学習活動への支援	1.4
タ 学校教育の充実	1.2
カ 芸術文化の振興	0.9
キ 環境の保全と創造	0.9
エ 防災対策の充実	0.5
ソ 良質な住宅の供給	0.1
コ 県内中小企業の育成	-0.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.5
カ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.1
チ 交通安全・防犯対策	-1.7
ケ 病気予防や医療施設の充実	-2.2
ク お年寄り等が安心して暮らせる福祉対策	-2.4
シ 観光の振興	-3.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.2
ス 農林水産業の活性化対策	-3.4

《神戸地域》

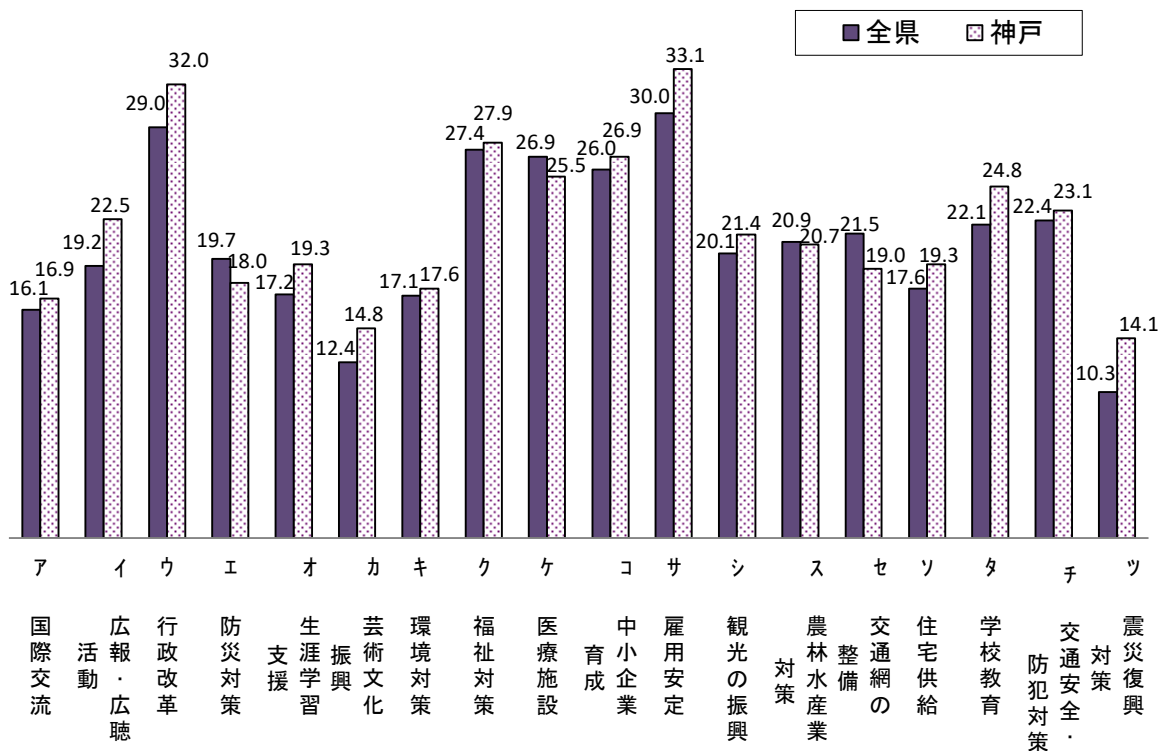
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と神戸】



『努力が必要』【全県と神戸】



県政への評価・神戸地域

全県との比較では、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等の評価が高く、〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔オ 生涯学習活動への支援〕等の評価が高く、〔ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	6.2
エ 防災対策の充実	5.0
ケ 病気予防や病院などの医療施設の充実	5.0
ア 国際的な交流や協力	3.3
オ 生涯学習活動への支援	2.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.5
シ 観光の振興	2.4
チ 交通安全・防犯対策	2.2
キ 環境の保全と創造	2.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1.6
イ 県政の広報・広聴活動	1.3
ス 農林水産業の活性化対策	1.1
タ 学校教育の充実	0.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.1
ソ 良質な住宅の供給	-0.9
コ 県内中小企業の育成	-1.1
カ 芸術文化の振興	-1.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.5

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	3.8
イ 県政の広報・広聴活動	3.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	3.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	3.0
タ 学校教育の充実	2.7
カ 芸術文化の振興	2.4
オ 生涯学習活動への支援	2.1
ソ 良質な住宅の供給	1.7
シ 観光の振興	1.3
コ 県内中小企業の育成	0.9
ア 国際的な交流や協力	0.8
チ 交通安全・防犯対策	0.7
キ 環境の保全と創造	0.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.5
ス 農林水産業の活性化対策	-0.2
ケ 病気予防や病院などの医療施設の充実	-1.4
エ 防災対策の充実	-1.7
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-2.5

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

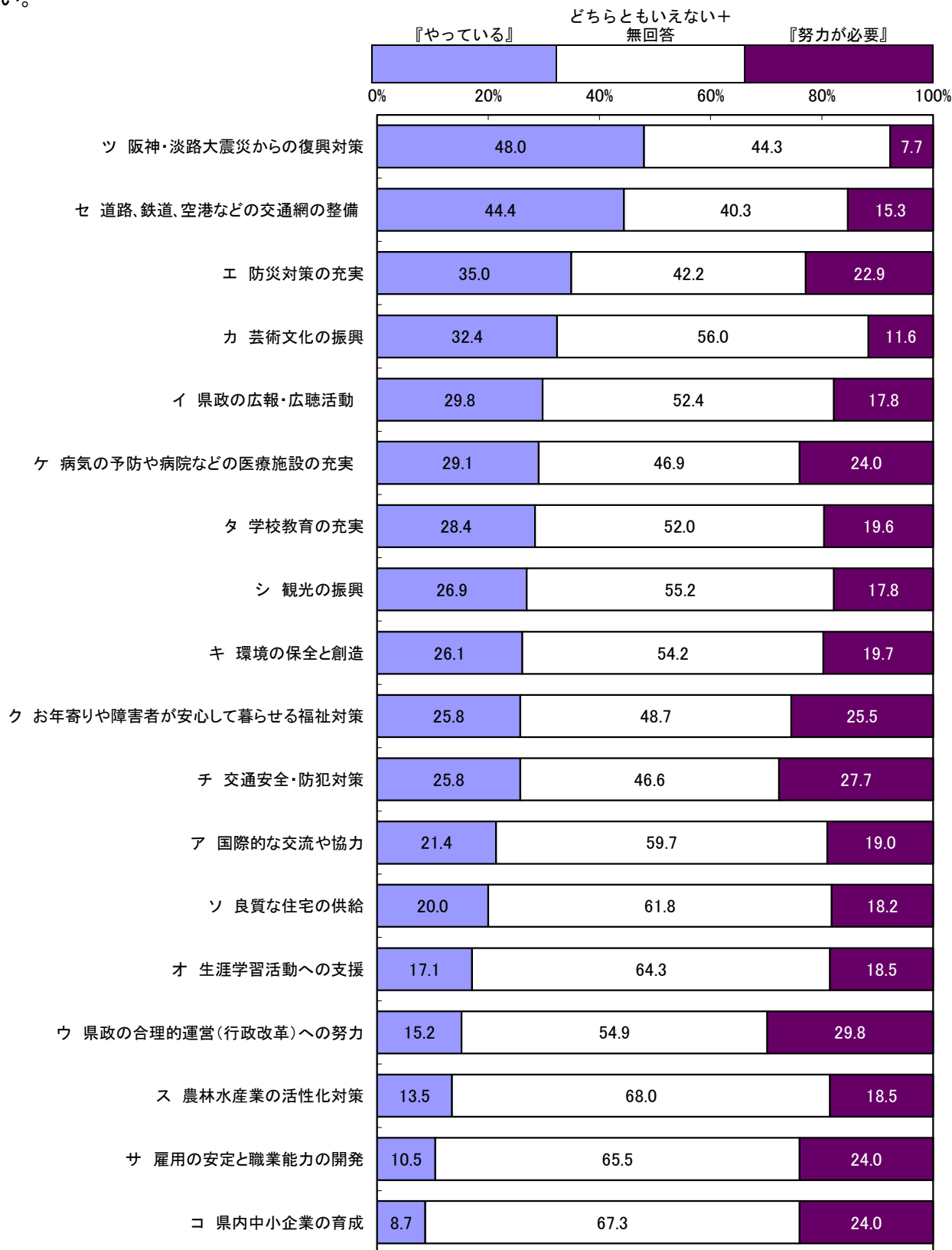
『やっている』	増減
オ 生涯学習活動への支援	2.2
シ 観光の振興	2.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.7
ス 農林水産業の活性化対策	0.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.3
コ 県内中小企業の育成	-1.4
エ 防災対策の充実	-1.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.5
イ 県政の広報・広聴活動	-2.7
ア 国際的な交流や協力	-3.8
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-4.0
ソ 良質な住宅の供給	-4.2
キ 環境の保全と創造	-4.4
カ 芸術文化の振興	-5.0
ケ 病気予防や病院などの医療施設の充実	-5.4
タ 学校教育の充実	-6.2
チ 交通安全・防犯対策	-6.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-8.0

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

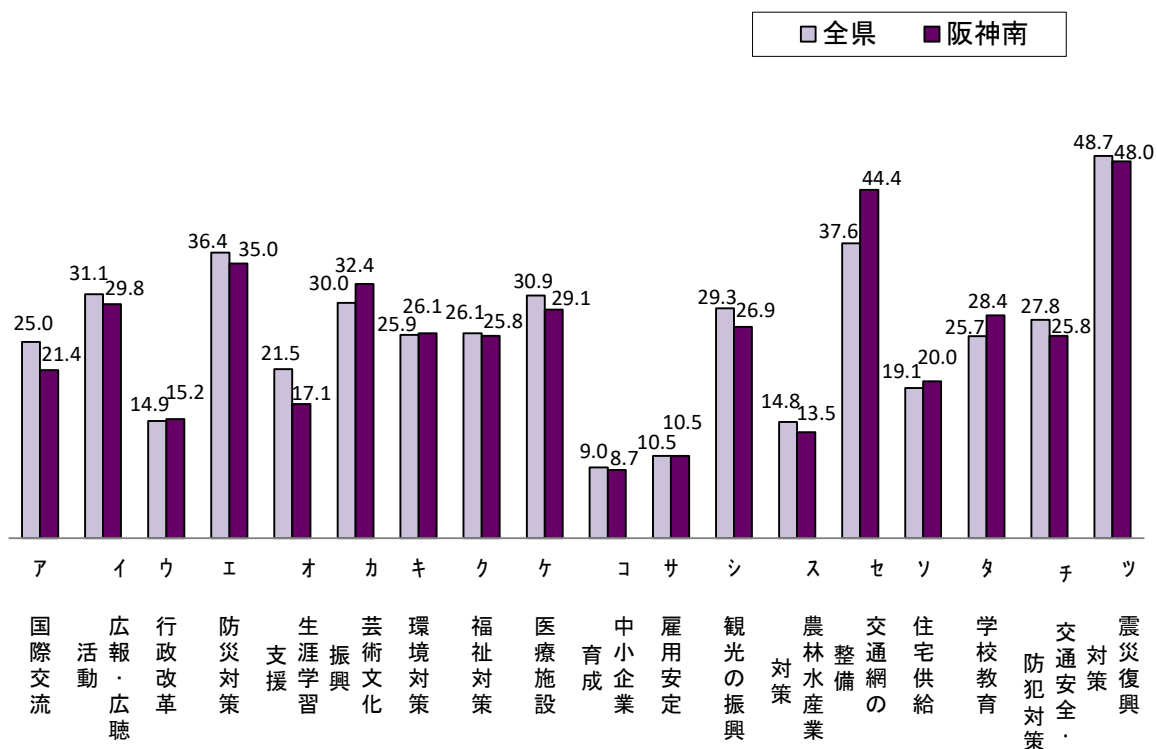
『努力が必要』	増減
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	6.1
カ 芸術文化の振興	3.6
イ 県政の広報・広聴活動	2.8
タ 学校教育の充実	2.8
キ 環境の保全と創造	1.8
ソ 良質な住宅の供給	1.1
オ 生涯学習活動への支援	0.8
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.2
ケ 病気予防や病院などの医療施設の充実	-0.8
チ 交通安全・防犯対策	-0.9
ア 国際的な交流や協力	-1.3
エ 防災対策の充実	-1.3
コ 県内中小企業の育成	-1.3
シ 観光の振興	-3.7
ス 農林水産業の活性化対策	-4.8
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-7.3

《阪神南地域》

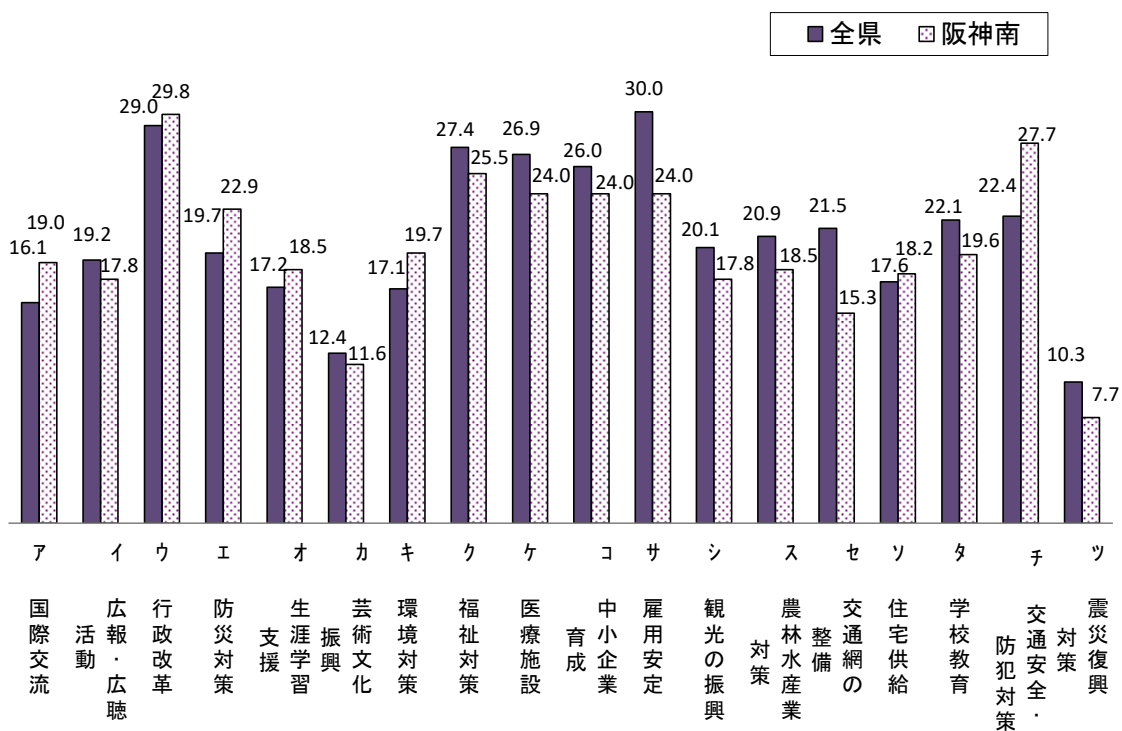
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と阪神南】



『努力が必要』【全県と阪神南】



県政への評価-阪神南地域

全県との比較では、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等の評価が高く、〔チ 交通安全・防犯対策〕等で努力が求められている。

前年度の比較は〔ス 農林水産業の活性化対策〕等の評価が高く、〔ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	6.8
タ 学校教育の充実	2.7
カ 芸術文化の振興	2.4
ソ 良質な住宅の供給	0.9
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.3
キ 環境の保全と創造	0.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.3
コ 県内中小企業の育成	-0.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.7
ス 農林水産業の活性化対策	-1.3
イ 県政の広報・広聴活動	-1.3
エ 防災対策の充実	-1.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.8
チ 交通安全・防犯対策	-2.0
シ 観光の振興	-2.4
ア 国際的な交流や協力	-3.6
オ 生涯学習活動への支援	-4.4

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
チ 交通安全・防犯対策	5.3
エ 防災対策の充実	3.2
ア 国際的な交流や協力	2.9
キ 環境の保全と創造	2.6
オ 生涯学習活動への支援	1.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.8
ソ 良質な住宅の供給	0.6
カ 芸術文化の振興	-0.8
イ 県政の広報・広聴活動	-1.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.9
コ 県内中小企業の育成	-2.0
シ 観光の振興	-2.3
ス 農林水産業の活性化対策	-2.4
タ 学校教育の充実	-2.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-2.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-6.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-6.2

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

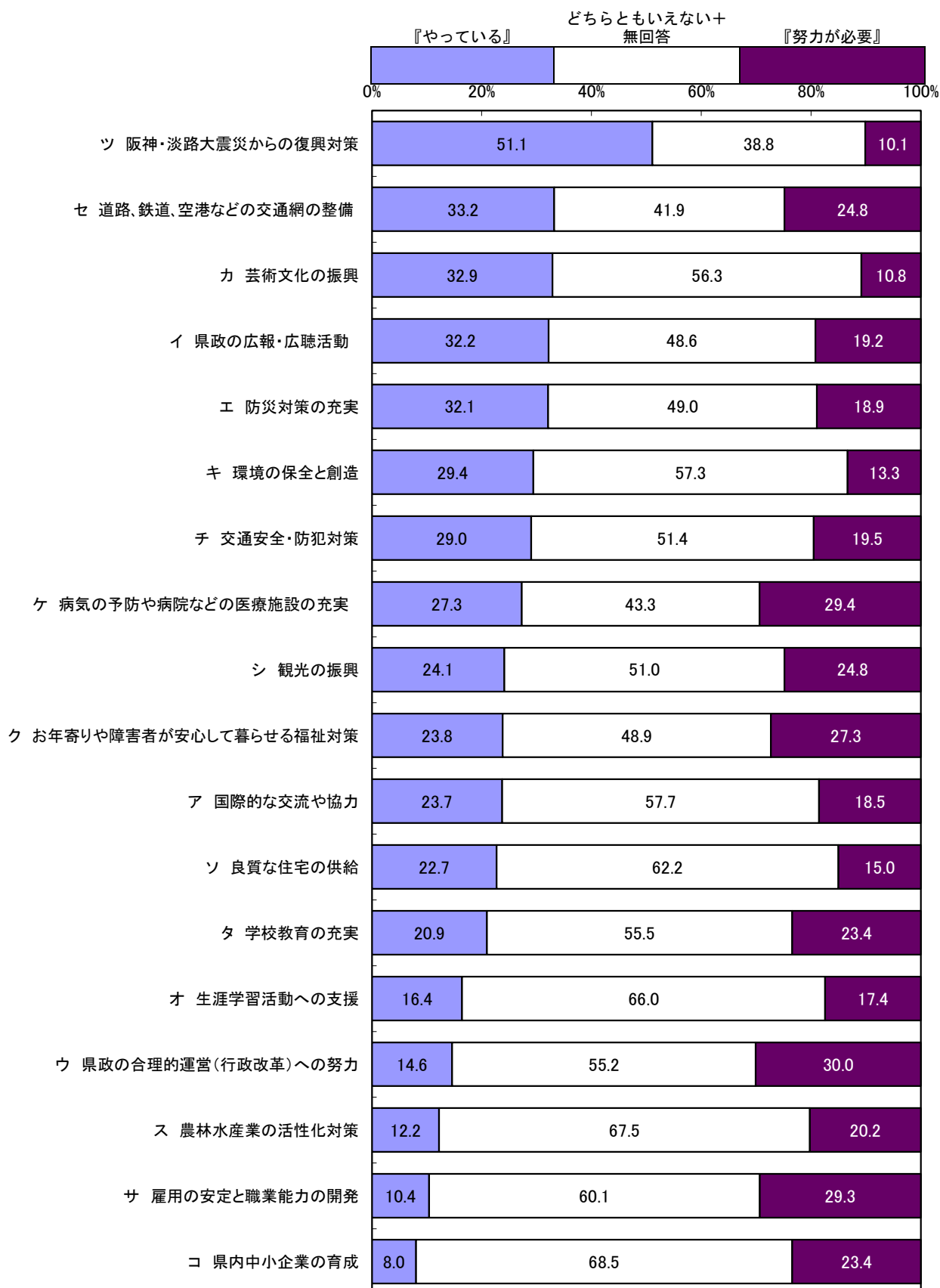
『やっている』	増減
ス 農林水産業の活性化対策	3.4
シ 観光の振興	2.8
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	2.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.7
コ 県内中小企業の育成	0.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.6
イ 県政の広報・広聴活動	-2.2
ソ 良質な住宅の供給	-4.9
オ 生涯学習活動への支援	-5.7
カ 芸術文化の振興	-6.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-6.0
タ 学校教育の充実	-6.6
ア 国際的な交流や協力	-7.3
キ 環境の保全と創造	-7.6
チ 交通安全・防犯対策	-10.0
エ 防災対策の充実	-11.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-13.9

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

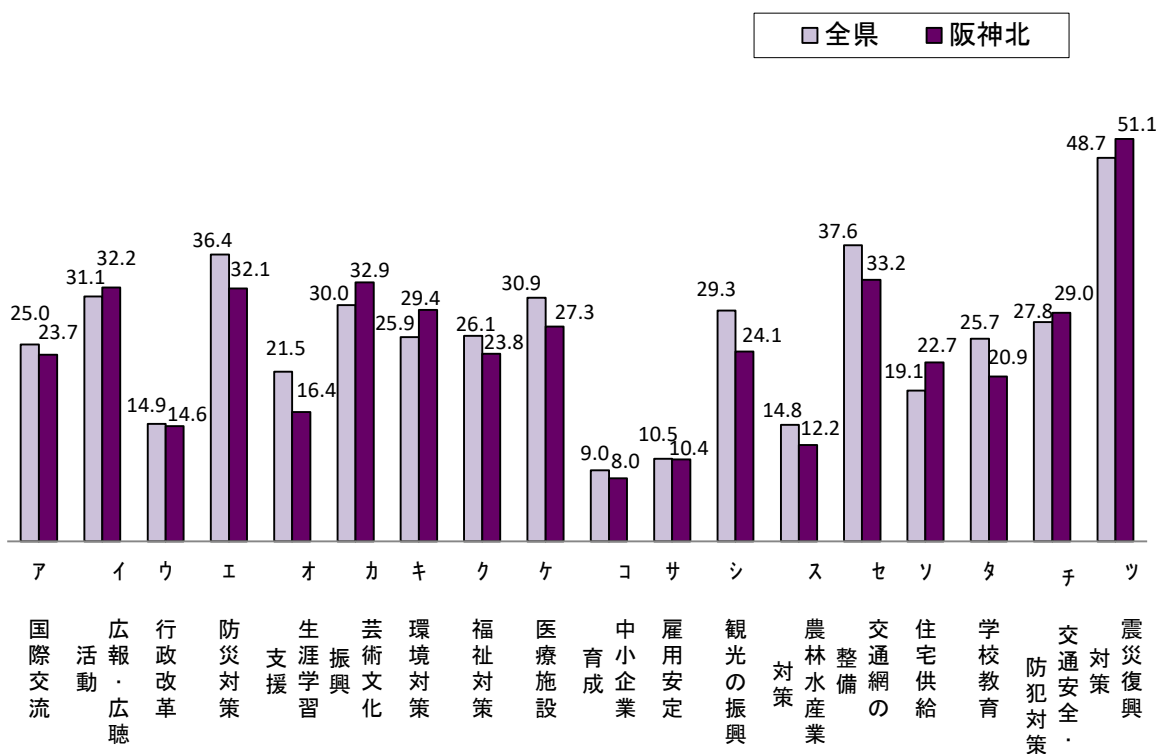
『努力が必要』	増減
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	9.1
ア 国際的な交流や協力	5.9
チ 交通安全・防犯対策	5.3
タ 学校教育の充実	4.8
キ 環境の保全と創造	3.2
コ 県内中小企業の育成	2.9
ソ 良質な住宅の供給	2.2
エ 防災対策の充実	1.8
オ 生涯学習活動への支援	1.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	0.6
イ 県政の広報・広聴活動	-0.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.3
カ 芸術文化の振興	-1.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-3.2
ス 農林水産業の活性化対策	-4.3
シ 観光の振興	-6.2

《阪神北地域》

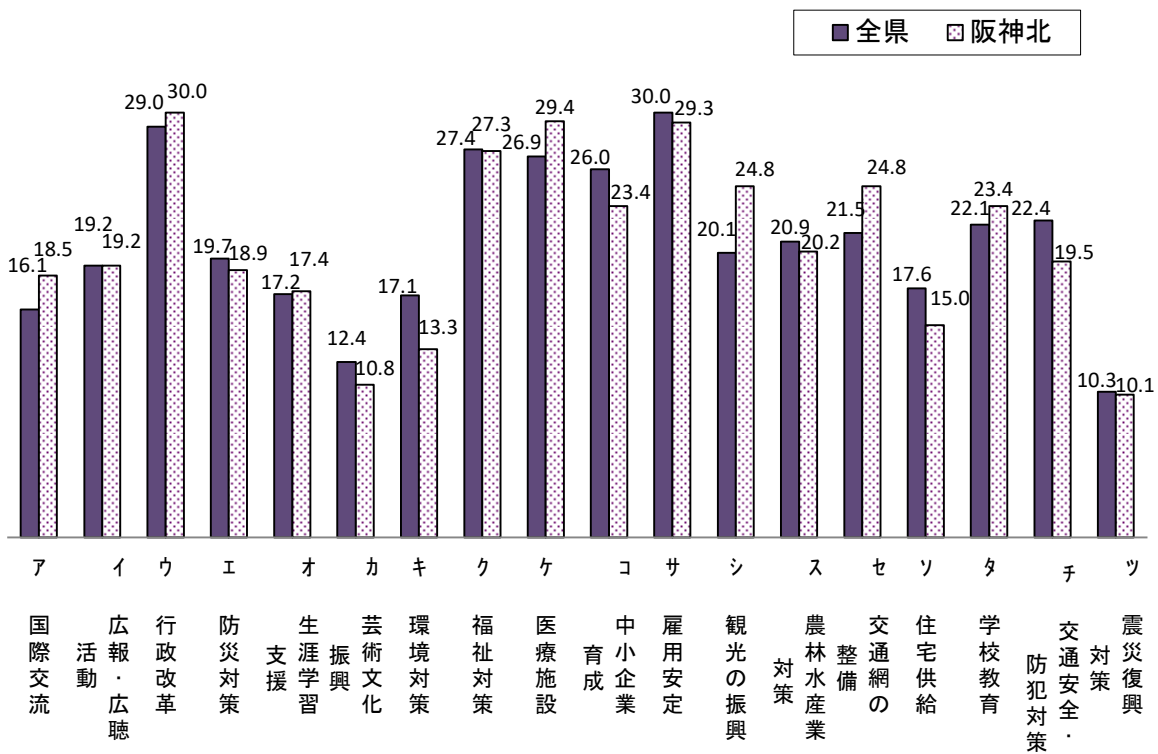
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と阪神北】



『努力が必要』【全県と阪神北】



県政への評価-阪神北地域

全県との比較では、〔ソ 良質な住宅の供給〕党で評価が高く、〔シ 観光の振興〕等で努力が求められている。

前年度の比較は〔キ 環境の保全と創造〕等の評価が高く、〔ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
ソ 良質な住宅の供給	3.6
キ 環境の保全と創造	3.5
カ 芸術文化の振興	2.9
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.4
チ 交通安全・防犯対策	1.2
イ 県政の広報・広聴活動	1.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.1
ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-0.3
コ 県内中小企業の育成	-1.0
ア 国際的な交流や協力	-1.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.3
ス 農林水産業の活性化対策	-2.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-3.6
エ 防災対策の充実	-4.3
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-4.4
タ 学校教育の充実	-4.8
オ 生涯学習活動への支援	-5.1
シ 観光の振興	-5.2

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
シ 観光の振興	4.7
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	3.3
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	2.5
ア 国際的な交流や協力	2.4
タ 学校教育の充実	1.3
ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力	1.0
オ 生涯学習活動への支援	0.2
イ 県政の広報・広聴活動	0.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.7
ス 農林水産業の活性化対策	-0.7
エ 防災対策の充実	-0.8
カ 芸術文化の振興	-1.6
コ 県内中小企業の育成	-2.6
ソ 良質な住宅の供給	-2.6
チ 交通安全・防犯対策	-2.9
キ 環境の保全と創造	-3.8

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

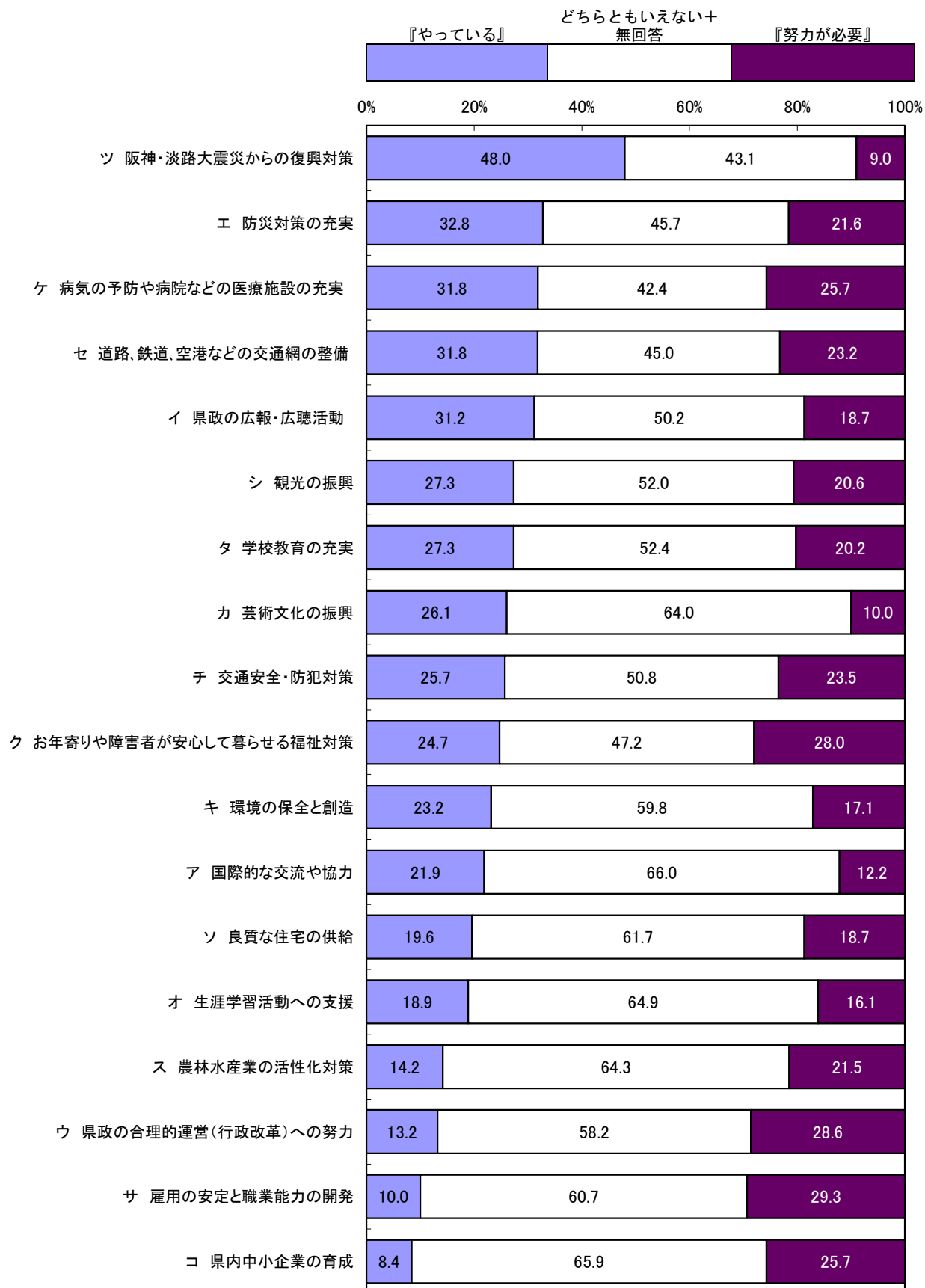
『やっている』	増減
キ 環境の保全と創造	4.0
ソ 良質な住宅の供給	3.6
コ 県内中小企業の育成	2.4
ス 農林水産業の活性化対策	2.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	2.1
ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力	1.4
チ 交通安全・防犯対策	1.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.5
カ 芸術文化の振興	-0.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.2
イ 県政の広報・広聴活動	-1.8
シ 観光の振興	-1.9
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.3
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.7
エ 防災対策の充実	-4.4
ア 国際的な交流や協力	-4.7
オ 生涯学習活動への支援	-4.7
タ 学校教育の充実	-5.8

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

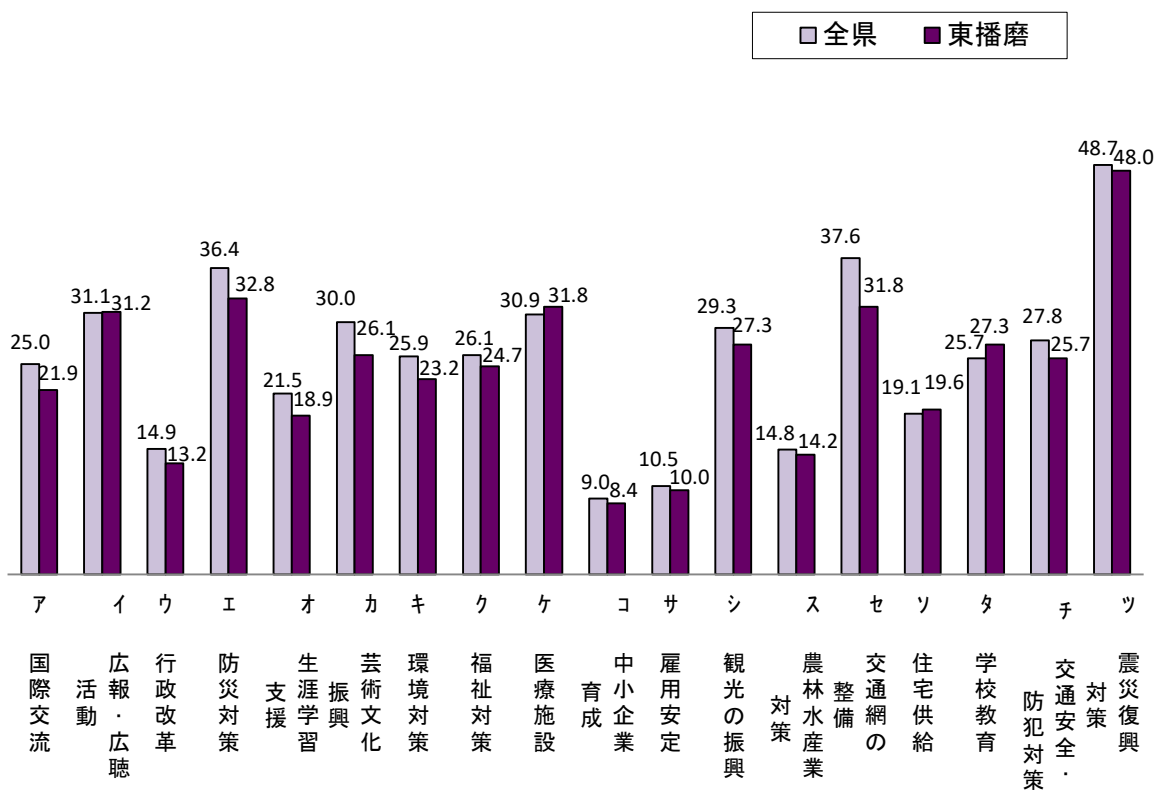
『努力が必要』	増減
ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力	9.2
ア 国際的な交流や協力	7.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	3.6
オ 生涯学習活動への支援	3.5
イ 県政の広報・広聴活動	2.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.9
カ 芸術文化の振興	1.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.4
タ 学校教育の充実	-0.2
シ 観光の振興	-0.6
ソ 良質な住宅の供給	-1.0
エ 防災対策の充実	-1.3
コ 県内中小企業の育成	-1.6
キ 環境の保全と創造	-2.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-3.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-4.0
ス 農林水産業の活性化対策	-4.5
チ 交通安全・防犯対策	-6.6

《東播磨地域》

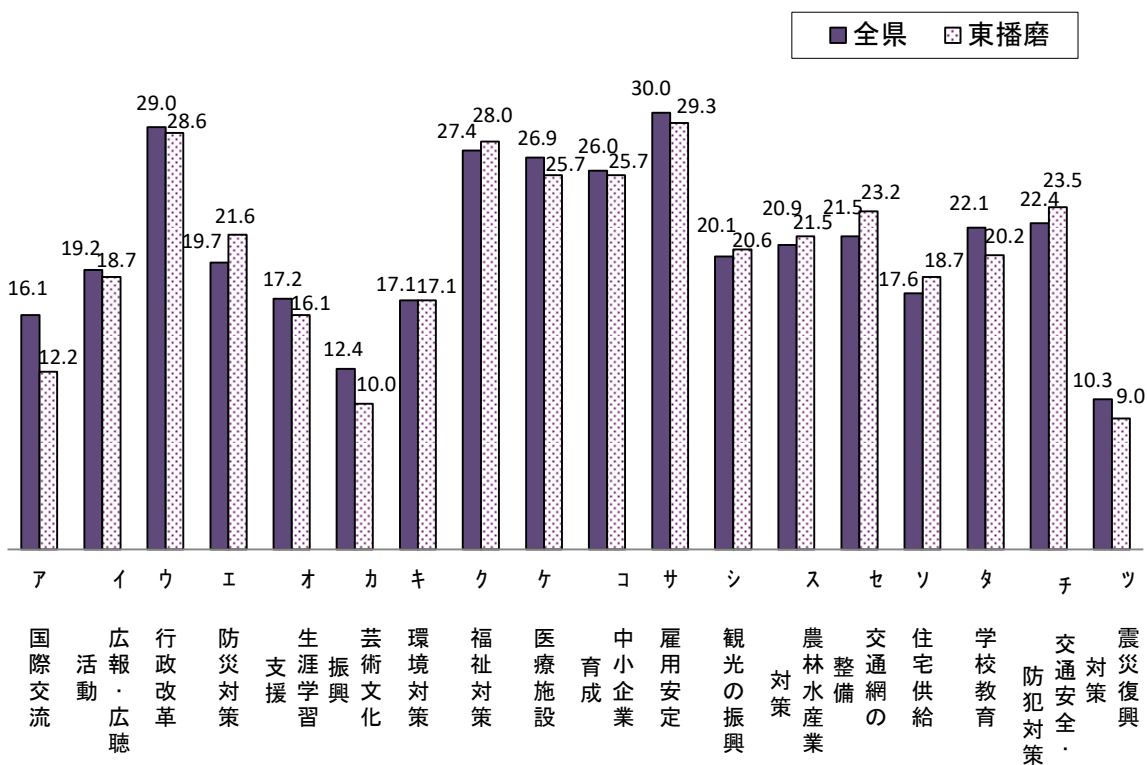
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕、〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と東播磨】



『努力が必要』【全県と東播磨】



全県との比較では、〔タ 学校教育の充実〕等で評価が高く、〔エ 防災対策の充実〕で努力が求められている。

前年との比較では、〔ソ 良質な住宅の供給〕等で評価が高く、〔ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
タ 学校教育の充実	1.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.9
ソ 良質な住宅の供給	0.5
イ 県政の広報・広聴活動	0.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.5
コ 県内中小企業の育成	-0.6
ス 農林水産業の活性化対策	-0.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.4
ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-1.7
シ 観光の振興	-2.0
チ 交通安全・防犯対策	-2.1
オ 生涯学習活動への支援	-2.6
キ 環境の保全と創造	-2.7
ア 国際的な交流や協力	-3.1
エ 防災対策の充実	-3.6
カ 芸術文化の振興	-3.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-5.8

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
エ 防災対策の充実	1.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.7
チ 交通安全・防犯対策	1.1
ソ 良質な住宅の供給	1.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.6
ス 農林水産業の活性化対策	0.6
シ 観光の振興	0.5
キ 環境の保全と創造	0.0
コ 県内中小企業の育成	-0.3
ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-0.4
イ 県政の広報・広聴活動	-0.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.7
オ 生涯学習活動への支援	-1.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.3
タ 学校教育の充実	-1.9
カ 芸術文化の振興	-2.4
ア 国際的な交流や協力	-3.9

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

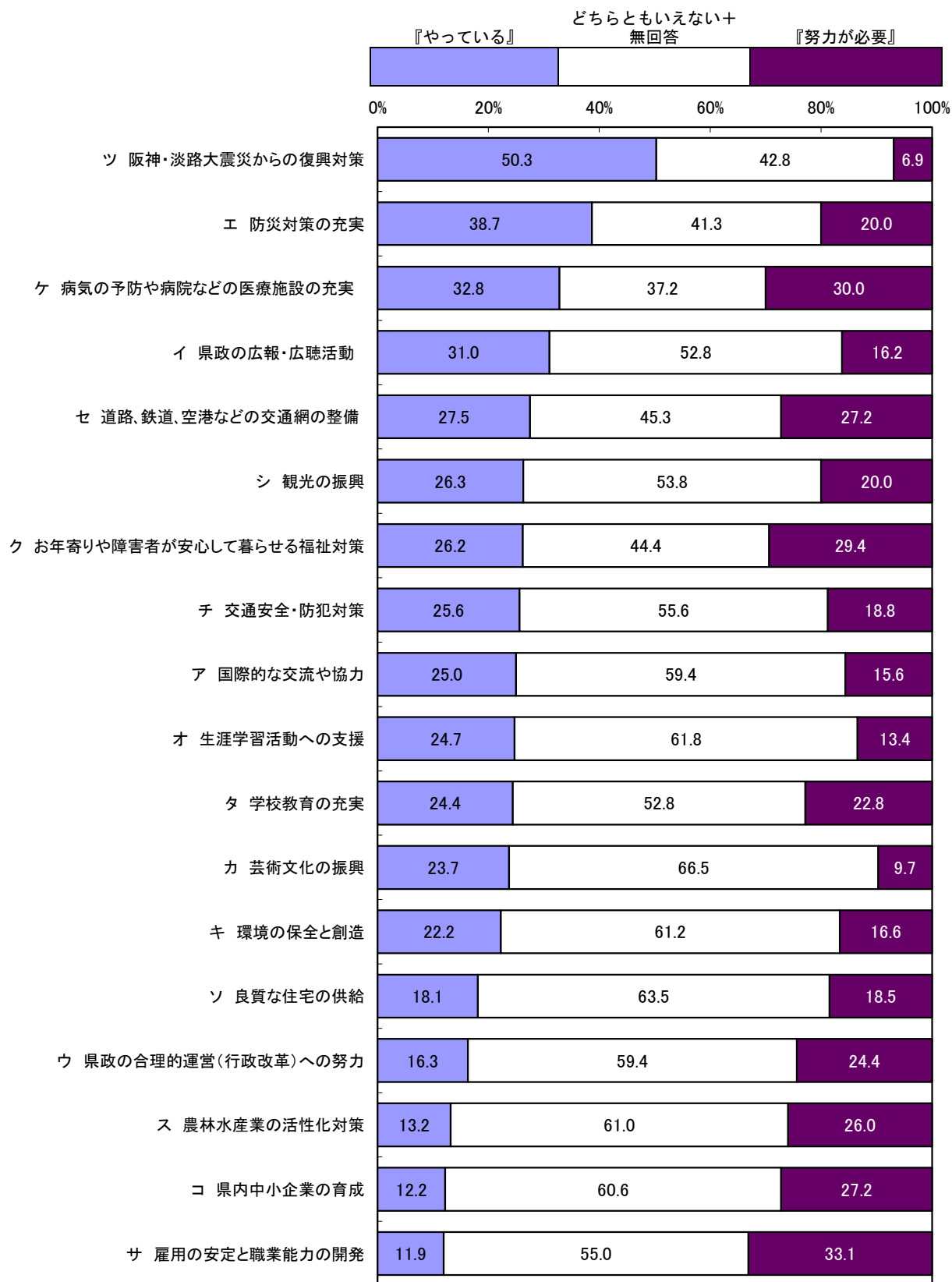
『やっている』	増減
ソ 良質な住宅の供給	2.9
ス 農林水産業の活性化対策	1.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.1
イ 県政の広報・広聴活動	-1.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.7
シ 観光の振興	-2.4
タ 学校教育の充実	-2.5
コ 県内中小企業の育成	-3.0
ア 国際的な交流や協力	-3.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.8
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-5.1
ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-5.2
オ 生涯学習活動への支援	-5.6
キ 環境の保全と創造	-6.3
カ 芸術文化の振興	-6.6
チ 交通安全・防犯対策	-6.6
エ 防災対策の充実	-11.5

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

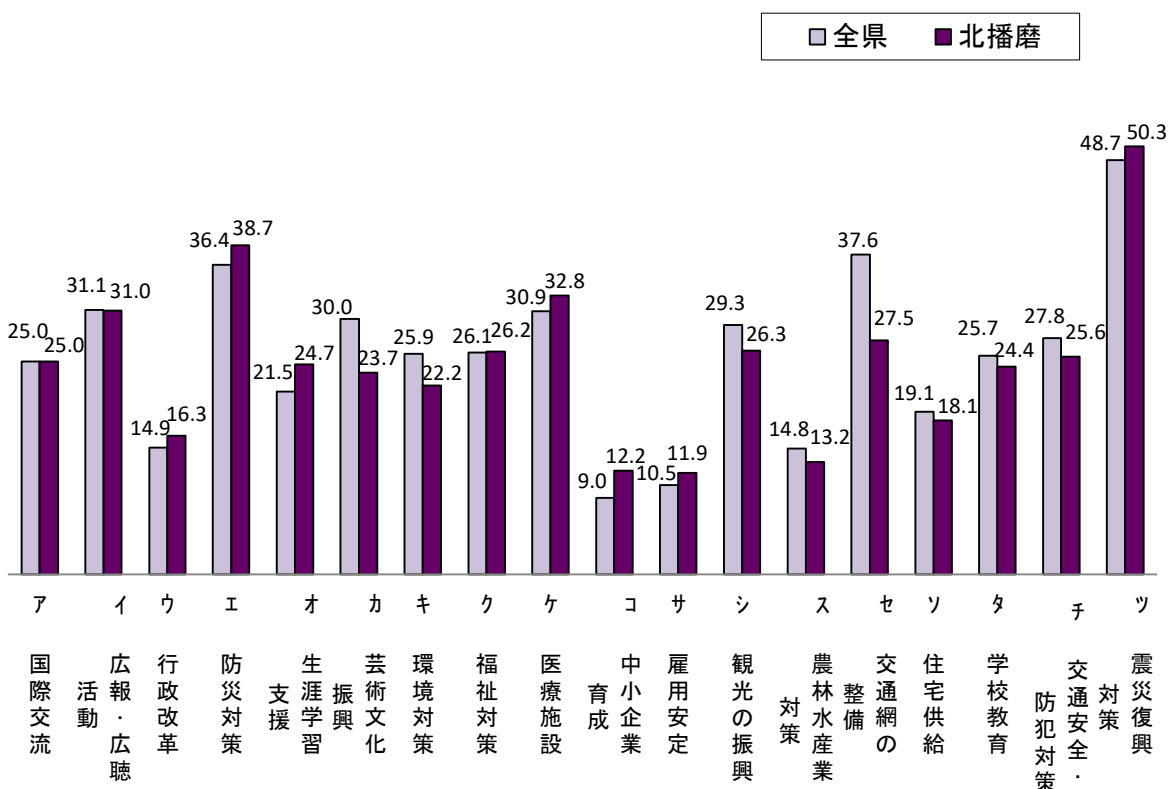
『努力が必要』	増減
ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力	10.1
エ 防災対策の充実	2.1
チ 交通安全・防犯対策	1.5
イ 県政の広報・広聴活動	0.3
キ 環境の保全と創造	0.0
コ 県内中小企業の育成	-0.2
ア 国際的な交流や協力	-0.2
ス 農林水産業の活性化対策	-0.4
オ 生涯学習活動への支援	-0.5
ソ 良質な住宅の供給	-0.8
シ 観光の振興	-1.1
タ 学校教育の充実	-1.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-4.4
カ 芸術文化の振興	-4.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-4.8

《北播磨地域》

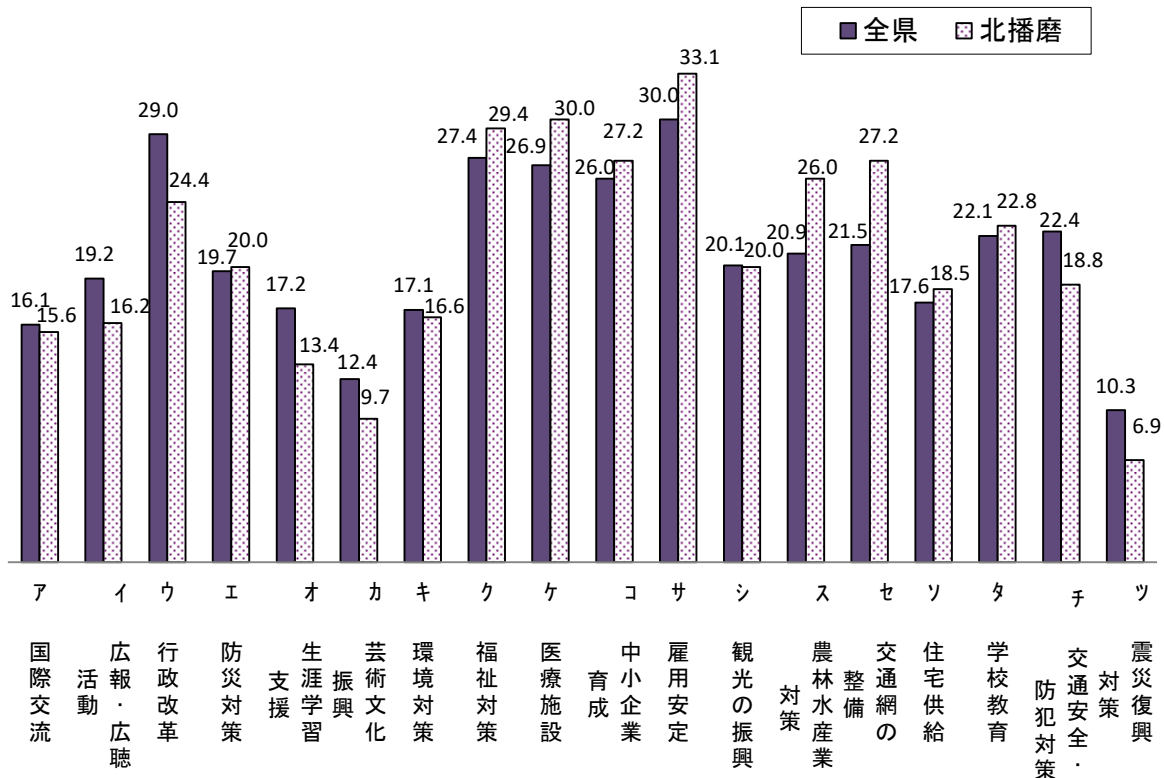
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕、〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と北播磨】



『努力が必要』【全県と北播磨】



県政への評価-北播磨地域

全県との比較では〔オ 生涯学習活動への支援〕等で評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔シ 観光の振興〕等で評価が高く、〔ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	3.2
コ 県内中小企業の育成	3.2
エ 防災対策の充実	2.3
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.9
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1.6
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	1.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.1
ア 国際的な交流や協力	0.0
イ 県政の広報・広聴活動	-0.1
ソ 良質な住宅の供給	-1.0
タ 学校教育の充実	-1.3
ス 農林水産業の活性化対策	-1.6
チ 交通安全・防犯対策	-2.2
シ 観光の振興	-3.0
キ 環境の保全と創造	-3.7
カ 芸術文化の振興	-6.3
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-10.1

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	5.7
ス 農林水産業の活性化対策	5.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	3.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.0
コ 県内中小企業の育成	1.2
ソ 良質な住宅の供給	0.9
タ 学校教育の充実	0.7
エ 防災対策の充実	0.3
シ 観光の振興	-0.1
キ 環境の保全と創造	-0.5
ア 国際的な交流や協力	-0.5
カ 芸術文化の振興	-2.7
イ 県政の広報・広聴活動	-3.0
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.4
チ 交通安全・防犯対策	-3.6
オ 生涯学習活動への支援	-3.8
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-4.6

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

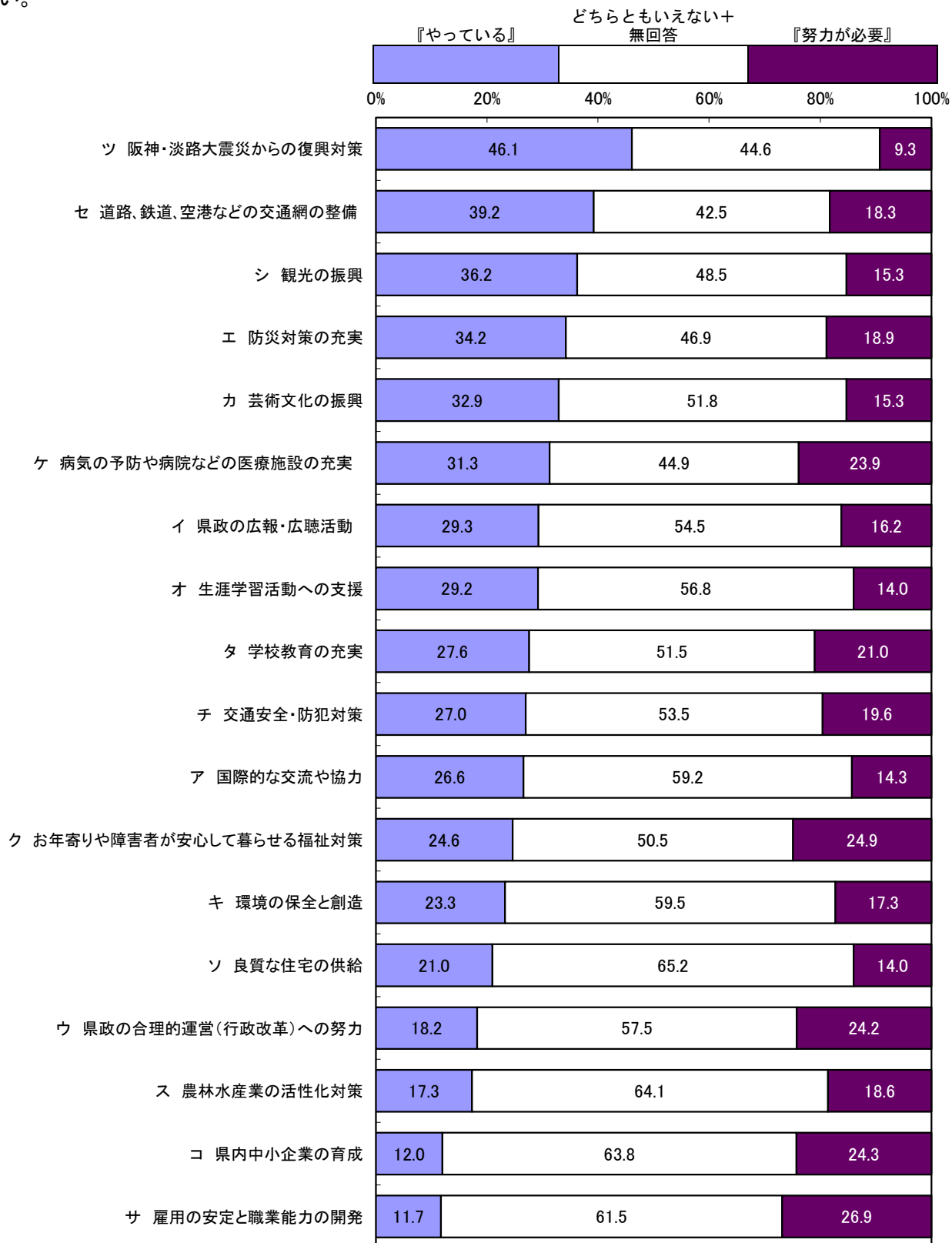
『やっている』	増減
シ 観光の振興	0.1
コ 県内中小企業の育成	0.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.3
ソ 良質な住宅の供給	-1.4
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.9
ス 農林水産業の活性化対策	-2.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-4.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-5.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-6.6
ア 国際的な交流や協力	-7.9
イ 県政の広報・広聴活動	-9.2
タ 学校教育の充実	-9.2
チ 交通安全・防犯対策	-9.8
エ 防災対策の充実	-10.0
オ 生涯学習活動への支援	-10.4
カ 芸術文化の振興	-10.6
キ 環境の保全と創造	-11.0

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

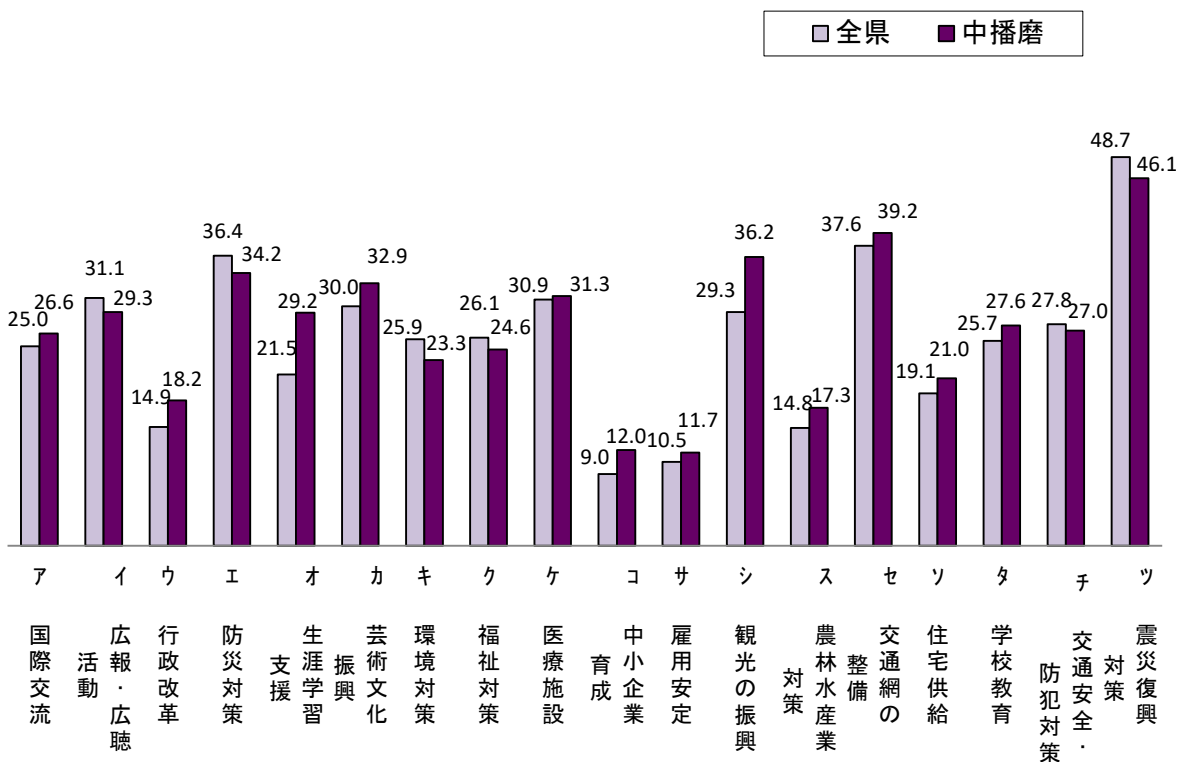
『努力が必要』	増減
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	10.4
ア 国際的な交流や協力	5.6
イ 県政の広報・広聴活動	5.2
ス 農林水産業の活性化対策	4.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	3.6
タ 学校教育の充実	3.3
エ 防災対策の充実	3.1
ソ 良質な住宅の供給	2.3
キ 環境の保全と創造	1.1
コ 県内中小企業の育成	1.0
オ 生涯学習活動への支援	0.9
カ 芸術文化の振興	0.5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.1
シ 観光の振興	-2.1
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.3
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.0
チ 交通安全・防犯対策	-5.2

《中播磨地域》

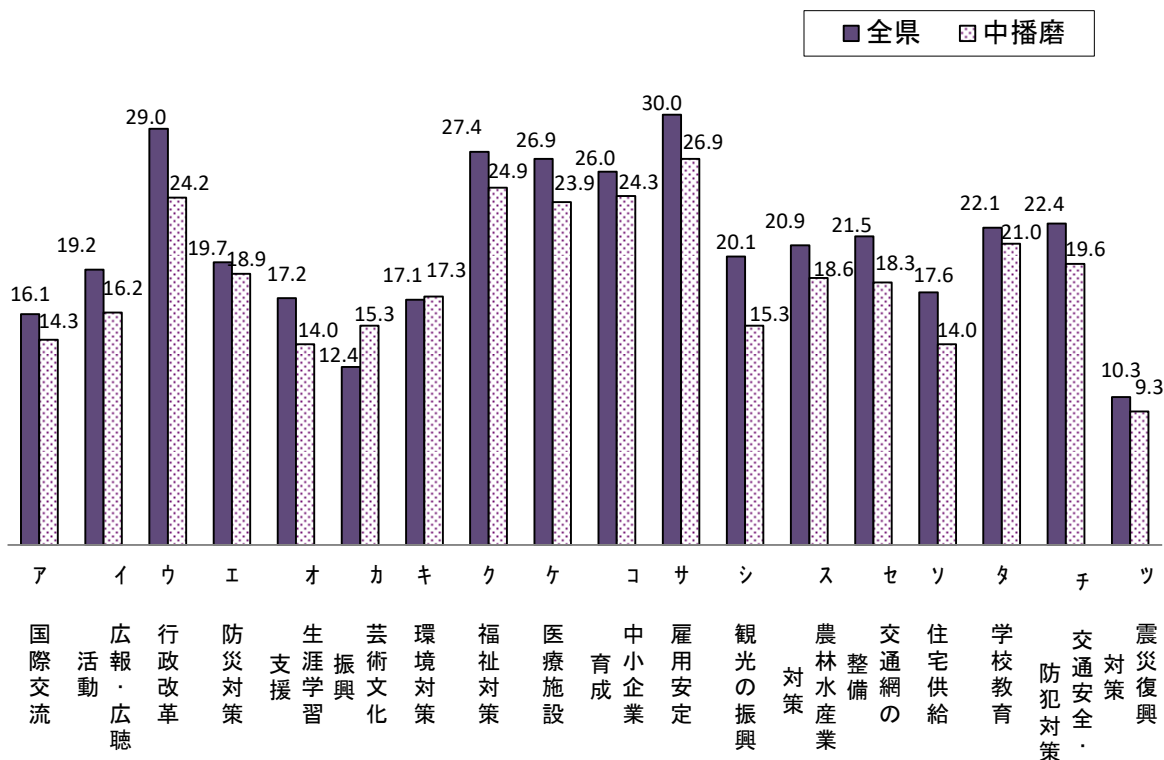
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と中播磨】



『努力が必要』【全県と中播磨】



全県との比較では〔オ 生涯学習活動への支援〕等で評価が高く、〔カ 芸術文化の振興〕等で努力が求められている。

前年との比較では〔セ 道路、鉄道、空港などの交通整備〕等で評価が高く、〔ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	7.7
シ 観光の振興	6.9
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	3.3
コ 県内中小企業の育成	3.0
カ 芸術文化の振興	2.9
ス 農林水産業の活性化対策	2.5
タ 学校教育の充実	1.9
ソ 良質な住宅の供給	1.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.6
ア 国際的な交流や協力	1.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.2
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.4
チ 交通安全・防犯対策	-0.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.5
イ 県政の広報・広聴活動	-1.8
エ 防災対策の充実	-2.2
キ 環境の保全と創造	-2.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.6

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
カ 芸術文化の振興	2.9
キ 環境の保全と創造	0.2
エ 防災対策の充実	-0.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.0
タ 学校教育の充実	-1.1
コ 県内中小企業の育成	-1.7
ア 国際的な交流や協力	-1.8
ス 農林水産業の活性化対策	-2.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.5
チ 交通安全・防犯対策	-2.8
イ 県政の広報・広聴活動	-3.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-3.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-3.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.2
オ 生涯学習活動への支援	-3.2
ソ 良質な住宅の供給	-3.6
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-4.8
シ 観光の振興	-4.8

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

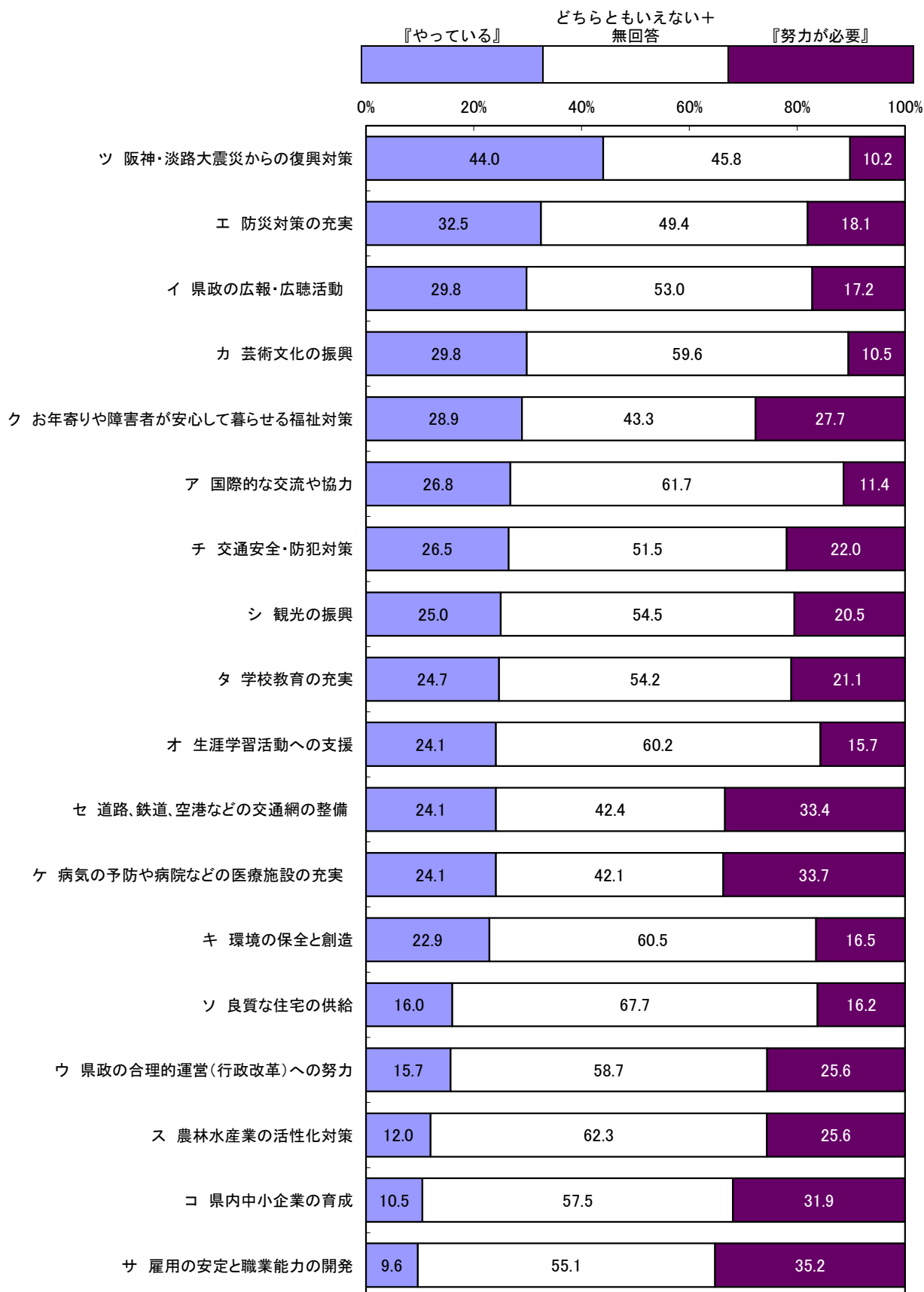
『やっている』	増減
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	6.0
ソ 良質な住宅の供給	4.2
ス 農林水産業の活性化対策	2.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.2
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.2
タ 学校教育の充実	0.7
コ 県内中小企業の育成	0.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.8
シ 観光の振興	-1.3
オ 生涯学習活動への支援	-1.3
カ 芸術文化の振興	-2.7
キ 環境の保全と創造	-2.9
チ 交通安全・防犯対策	-3.0
ア 国際的な交流や協力	-3.1
イ 県政の広報・広聴活動	-5.5
エ 防災対策の充実	-6.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-6.6

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

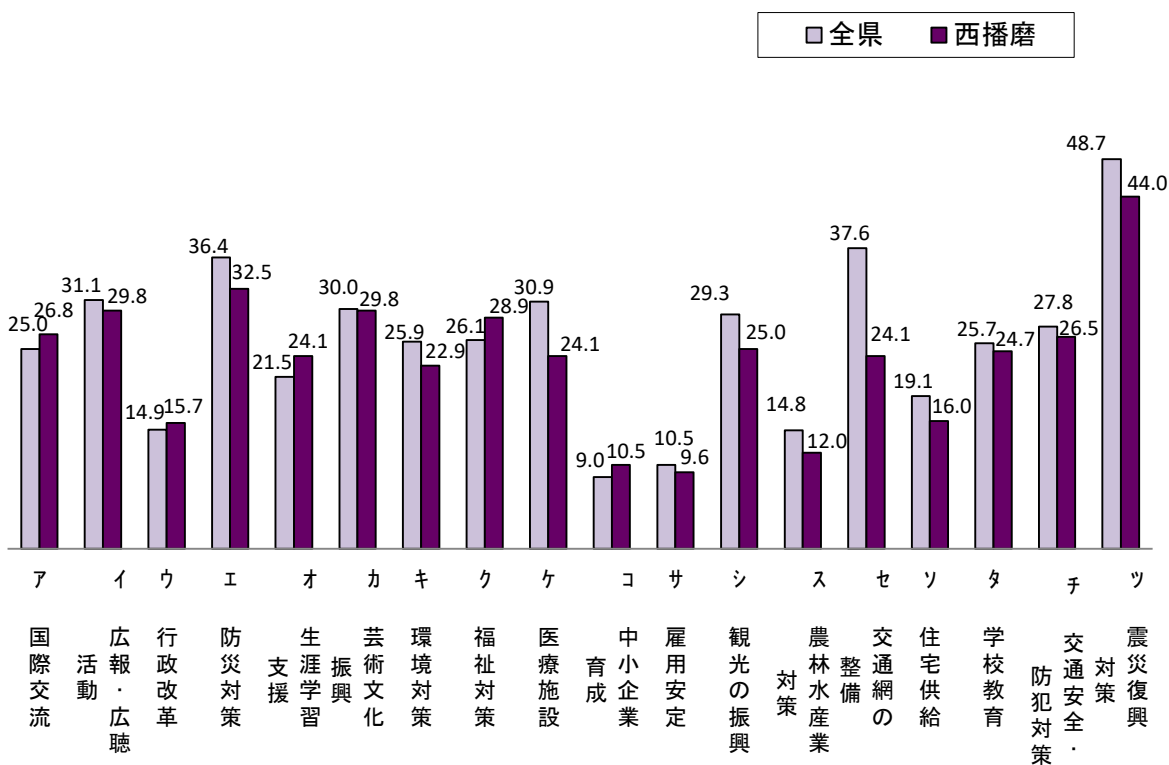
『努力が必要』	増減
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	5.1
カ 芸術文化の振興	4.8
ア 国際的な交流や協力	3.0
オ 生涯学習活動への支援	2.6
エ 防災対策の充実	2.5
キ 環境の保全と創造	2.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.1
イ 県政の広報・広聴活動	-0.6
コ 県内中小企業の育成	-1.1
シ 観光の振興	-1.9
ソ 良質な住宅の供給	-2.4
タ 学校教育の充実	-2.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-3.6
ス 農林水産業の活性化対策	-4.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-5.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-6.3
チ 交通安全・防犯対策	-7.7
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-10.2

《西播磨地域》

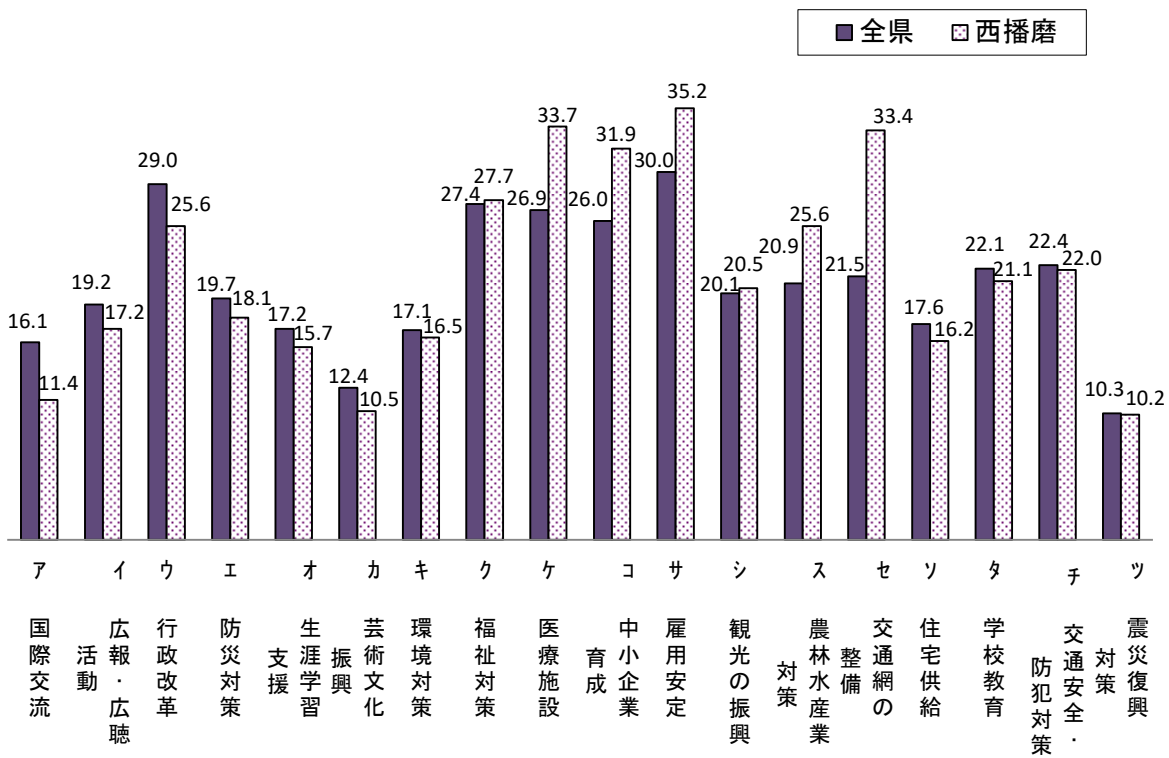
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕、〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と西播磨】



『努力が必要』【全県と西播磨】



全県との比較では〔ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策〕等で評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

前年との比較では〔コ 県内中小企業の育成〕等で評価が高く、〔ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.8
オ 生涯学習活動への支援	2.6
ア 国際的な交流や協力	1.8
コ 県内中小企業の育成	1.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.8
カ 芸術文化の振興	-0.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.9
タ 学校教育の充実	-1.0
イ 県政の広報・広聴活動	-1.3
チ 交通安全・防犯対策	-1.3
ス 農林水産業の活性化対策	-2.8
キ 環境の保全と創造	-3.0
ソ 良質な住宅の供給	-3.1
エ 防災対策の充実	-3.9
シ 観光の振興	-4.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-4.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-6.8
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-13.5

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	11.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	6.8
コ 県内中小企業の育成	5.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	5.2
ス 農林水産業の活性化対策	4.7
シ 観光の振興	0.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.1
チ 交通安全・防犯対策	-0.4
キ 環境の保全と創造	-0.6
タ 学校教育の充実	-1.0
ソ 良質な住宅の供給	-1.4
オ 生涯学習活動への支援	-1.5
エ 防災対策の充実	-1.6
カ 芸術文化の振興	-1.9
イ 県政の広報・広聴活動	-2.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-3.4
ア 国際的な交流や協力	-4.7

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

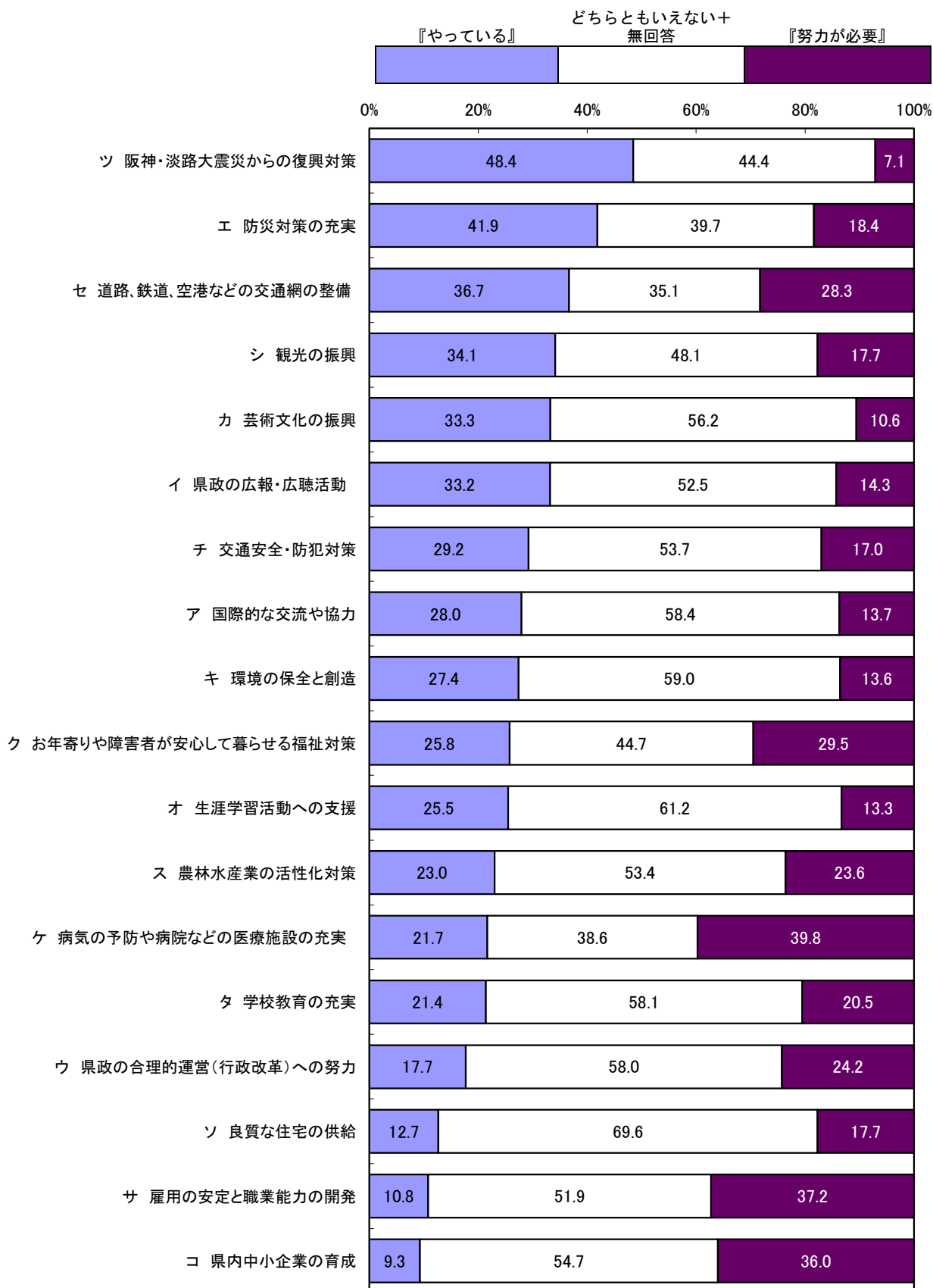
『やっている』	増減
コ 県内中小企業の育成	0.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.6
キ 環境の保全と創造	-1.4
ソ 良質な住宅の供給	-2.2
ス 農林水産業の活性化対策	-2.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.7
ア 国際的な交流や協力	-2.8
カ 芸術文化の振興	-2.8
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-3.3
シ 観光の振興	-3.6
チ 交通安全・防犯対策	-4.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-5.2
タ 学校教育の充実	-5.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-5.8
オ 生涯学習活動への支援	-6.1
イ 県政の広報・広聴活動	-7.7
エ 防災対策の充実	-14.7

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

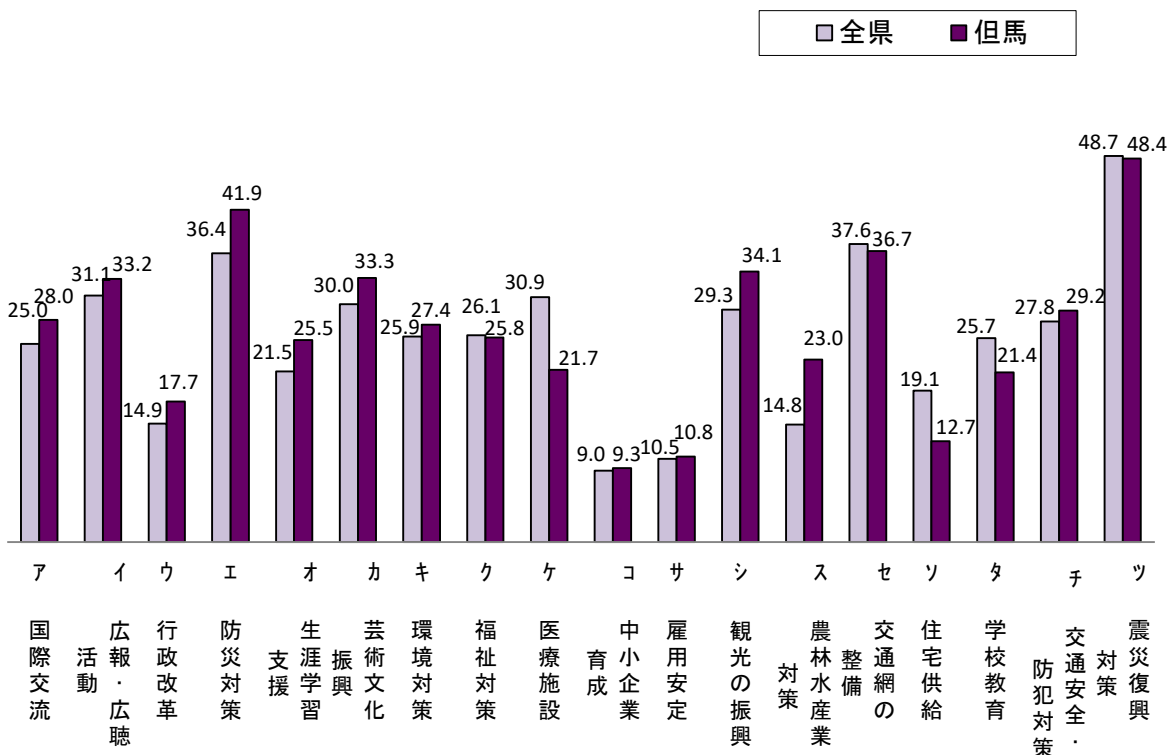
『努力が必要』	増減
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	7.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	4.1
イ 県政の広報・広聴活動	3.9
ア 国際的な交流や協力	1.4
オ 生涯学習活動への支援	1.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.8
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.0
エ 防災対策の充実	-0.5
カ 芸術文化の振興	-0.8
コ 県内中小企業の育成	-1.3
キ 環境の保全と創造	-1.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.2
タ 学校教育の充実	-3.2
シ 観光の振興	-3.4
ソ 良質な住宅の供給	-3.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.5
ス 農林水産業の活性化対策	-4.3
チ 交通安全・防犯対策	-4.9

《但馬地域》

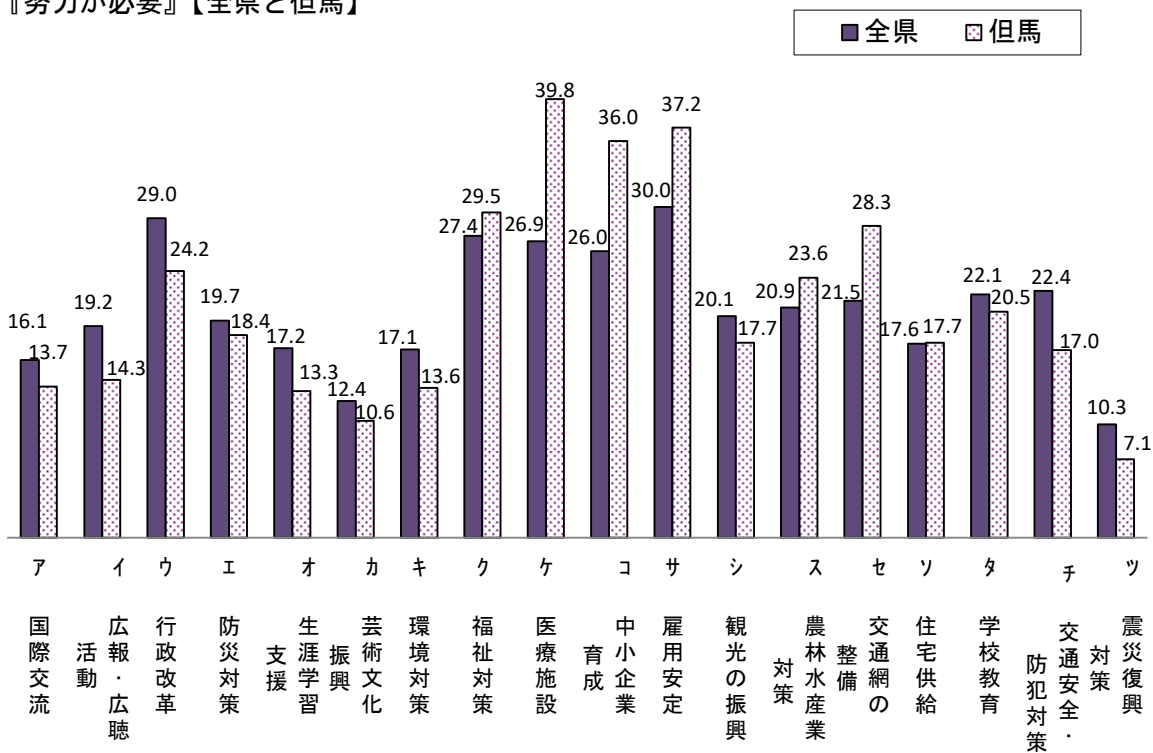
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕、〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と但馬】



『努力が必要』【全県と但馬】



県政への評価-但馬地域

全県との比較では、〔ス 農林水産業の活性化対策〕等で評価が高く、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔ス 農林水産業の活性化対策〕等で評価が高く、〔ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
ス 農林水産業の活性化対策	8.2
エ 防災対策の充実	5.5
シ 観光の振興	4.8
オ 生涯学習活動への支援	4.0
カ 芸術文化の振興	3.3
ア 国際的な交流や協力	3.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.8
イ 県政の広報・広聴活動	2.1
キ 環境の保全と創造	1.5
チ 交通安全・防犯対策	1.4
コ 県内中小企業の育成	0.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.3
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.3
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.9
タ 学校教育の充実	-4.3
ソ 良質な住宅の供給	-6.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-9.2

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	12.9
コ 県内中小企業の育成	10.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	7.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	6.8
ス 農林水産業の活性化対策	2.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.1
ソ 良質な住宅の供給	0.1
エ 防災対策の充実	-1.3
タ 学校教育の充実	-1.6
カ 芸術文化の振興	-1.8
シ 観光の振興	-2.4
ア 国際的な交流や協力	-2.4
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.2
キ 環境の保全と創造	-3.5
オ 生涯学習活動への支援	-3.9
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-4.8
イ 県政の広報・広聴活動	-4.9
チ 交通安全・防犯対策	-5.4

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

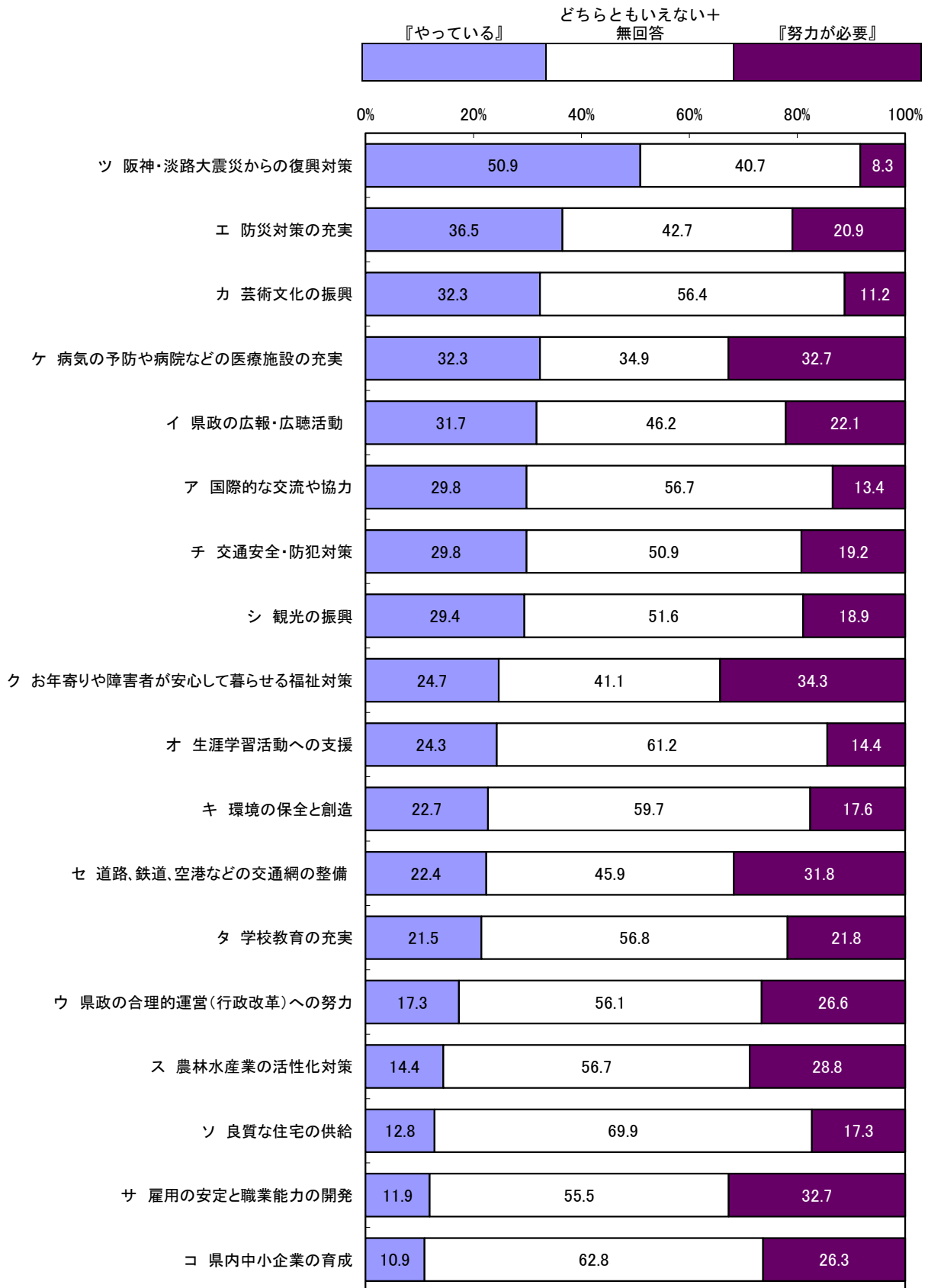
『やっている』	増減
ス 農林水産業の活性化対策	6.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	3.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.3
ソ 良質な住宅の供給	0.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.5
コ 県内中小企業の育成	0.5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.3
シ 観光の振興	-0.7
オ 生涯学習活動への支援	-1.2
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.8
イ 県政の広報・広聴活動	-1.9
カ 芸術文化の振興	-2.2
チ 交通安全・防犯対策	-3.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-3.3
キ 環境の保全と創造	-3.5
ア 国際的な交流や協力	-4.7
エ 防災対策の充実	-11.1
タ 学校教育の充実	-11.2

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

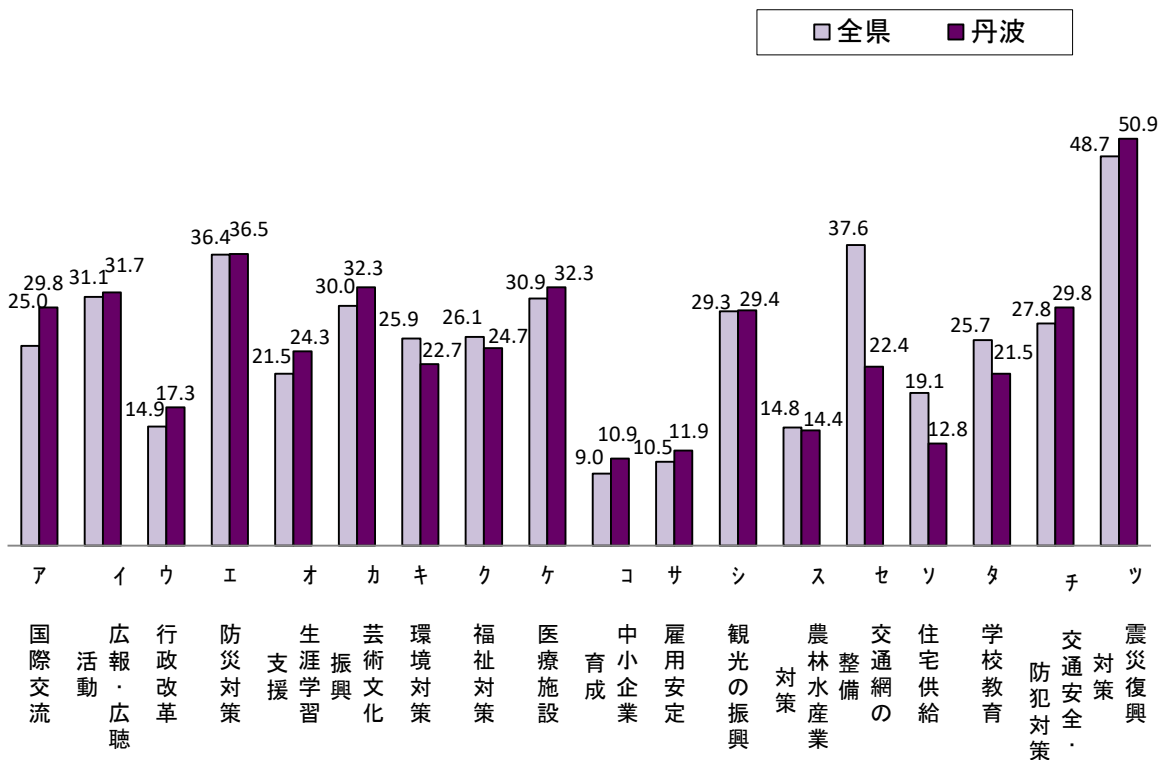
『努力が必要』	増減
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	7.3
ア 国際的な交流や協力	2.1
エ 防災対策の充実	1.9
カ 芸術文化の振興	1.4
ソ 良質な住宅の供給	0.2
オ 生涯学習活動への支援	-0.8
イ 県政の広報・広聴活動	-1.1
キ 環境の保全と創造	-2.2
コ 県内中小企業の育成	-2.6
ス 農林水産業の活性化対策	-2.7
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.1
シ 観光の振興	-3.3
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.3
タ 学校教育の充実	-3.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-5.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-6.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-6.3
チ 交通安全・防犯対策	-7.2

《丹波地域》

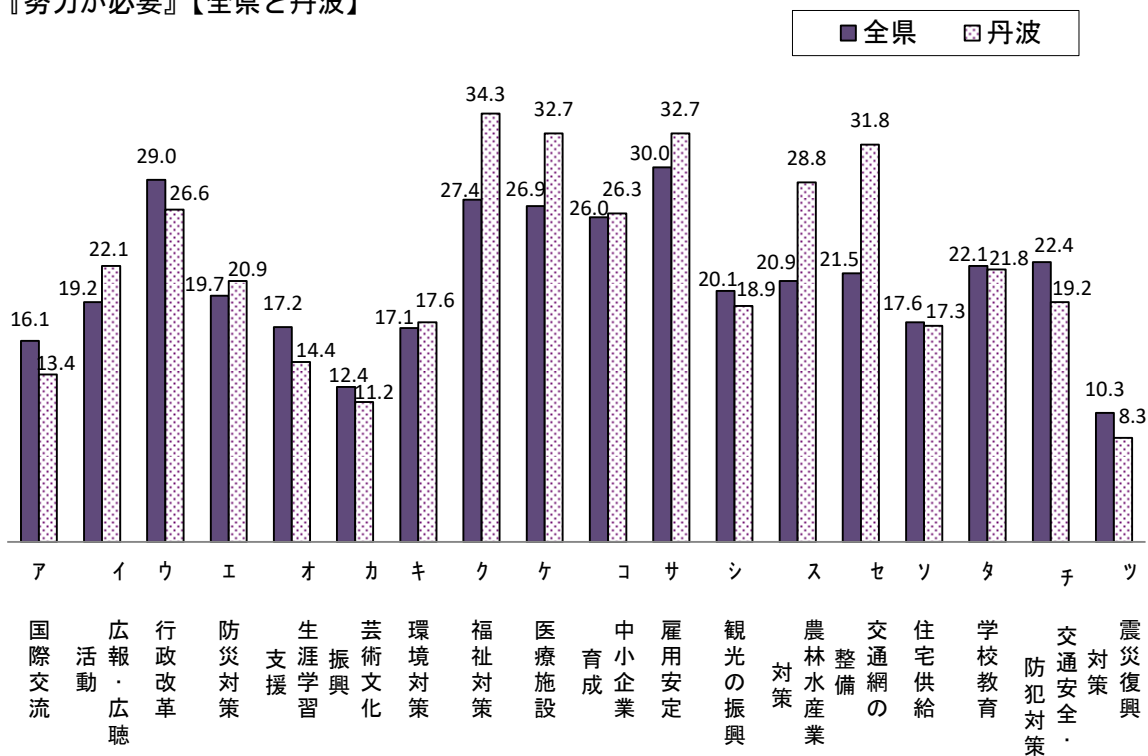
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕、〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と丹波】



『努力が必要』【全県と丹波】



県政への評価・丹波地域

全県との比較では〔ア 国際的な交流や協力〕が最も評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕等で評価が高く、〔イ 県政の広報・広聴活動〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
ア 国際的な交流や協力	4.8
オ 生涯学習活動への支援	2.8
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.4
カ 芸術文化の振興	2.3
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.2
チ 交通安全・防犯対策	2.0
コ 県内中小企業の育成	1.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.4
イ 県政の広報・広聴活動	0.6
エ 防災対策の充実	0.1
シ 観光の振興	0.1
ス 農林水産業の活性化対策	-0.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.4
キ 環境の保全と創造	-3.2
タ 学校教育の充実	-4.2
ソ 良質な住宅の供給	-6.3
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-15.2

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	10.3
ス 農林水産業の活性化対策	7.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	6.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	5.8
イ 県政の広報・広聴活動	2.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	2.7
エ 防災対策の充実	1.2
キ 環境の保全と創造	0.5
コ 県内中小企業の育成	0.3
ソ 良質な住宅の供給	-0.3
タ 学校教育の充実	-0.3
カ 芸術文化の振興	-1.2
シ 観光の振興	-1.2
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.4
ア 国際的な交流や協力	-2.7
オ 生涯学習活動への支援	-2.8
チ 交通安全・防犯対策	-3.2

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

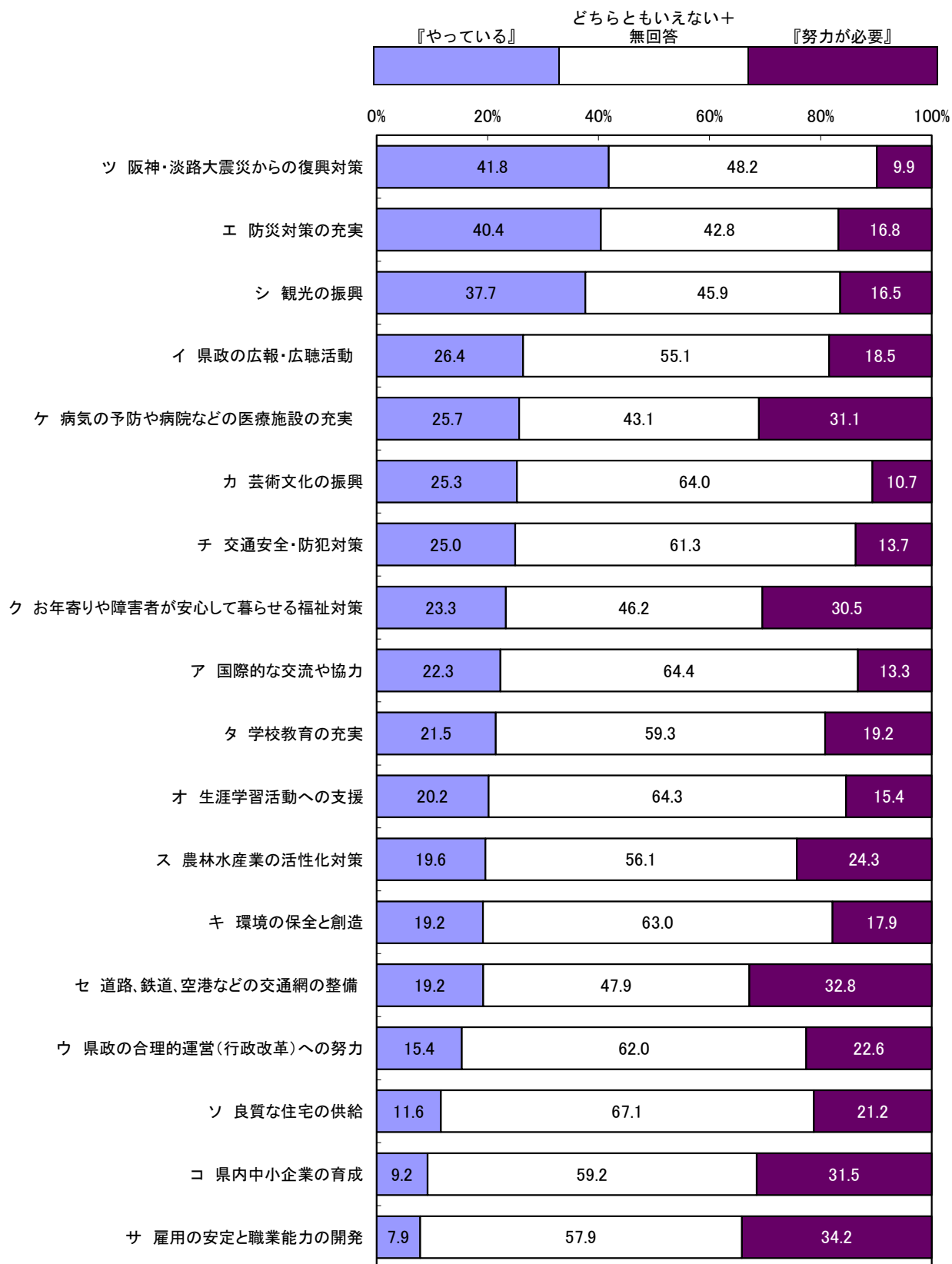
『やっている』	増減
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.7
ス 農林水産業の活性化対策	1.1
シ 観光の振興	0.9
コ 県内中小企業の育成	0.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-1.8
チ 交通安全・防犯対策	-1.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.7
ソ 良質な住宅の供給	-3.0
ア 国際的な交流や協力	-3.8
カ 芸術文化の振興	-3.9
キ 環境の保全と創造	-5.1
イ 県政の広報・広聴活動	-5.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-5.8
オ 生涯学習活動への支援	-6.2
エ 防災対策の充実	-6.2
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-8.1
タ 学校教育の充実	-9.2

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

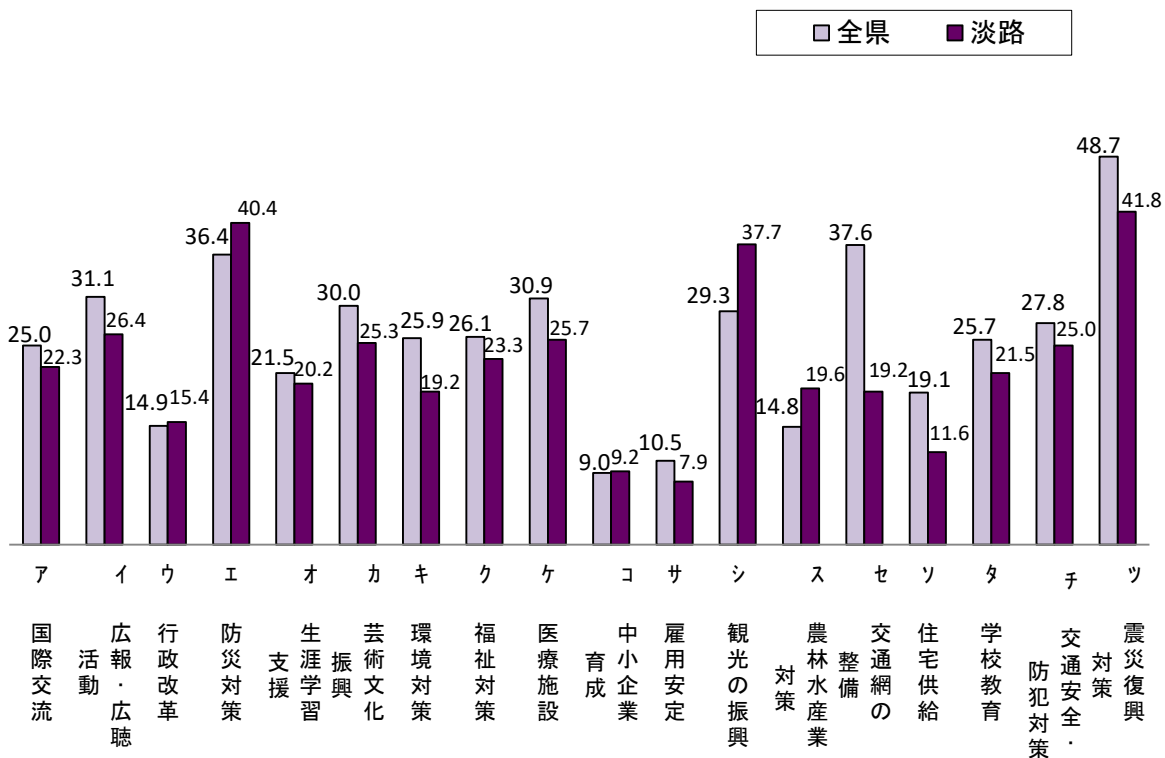
『努力が必要』	増減
イ 県政の広報・広聴活動	11.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	8.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	4.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.3
ア 国際的な交流や協力	2.7
キ 環境の保全と創造	1.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.6
カ 芸術文化の振興	1.1
エ 防災対策の充実	0.5
コ 県内中小企業の育成	0.4
オ 生涯学習活動への支援	0.2
タ 学校教育の充実	-0.9
ス 農林水産業の活性化対策	-1.0
ソ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.8
シ 観光の振興	-1.8
ソ 良質な住宅の供給	-2.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.4
チ 交通安全・防犯対策	-6.4

《淡路地域》

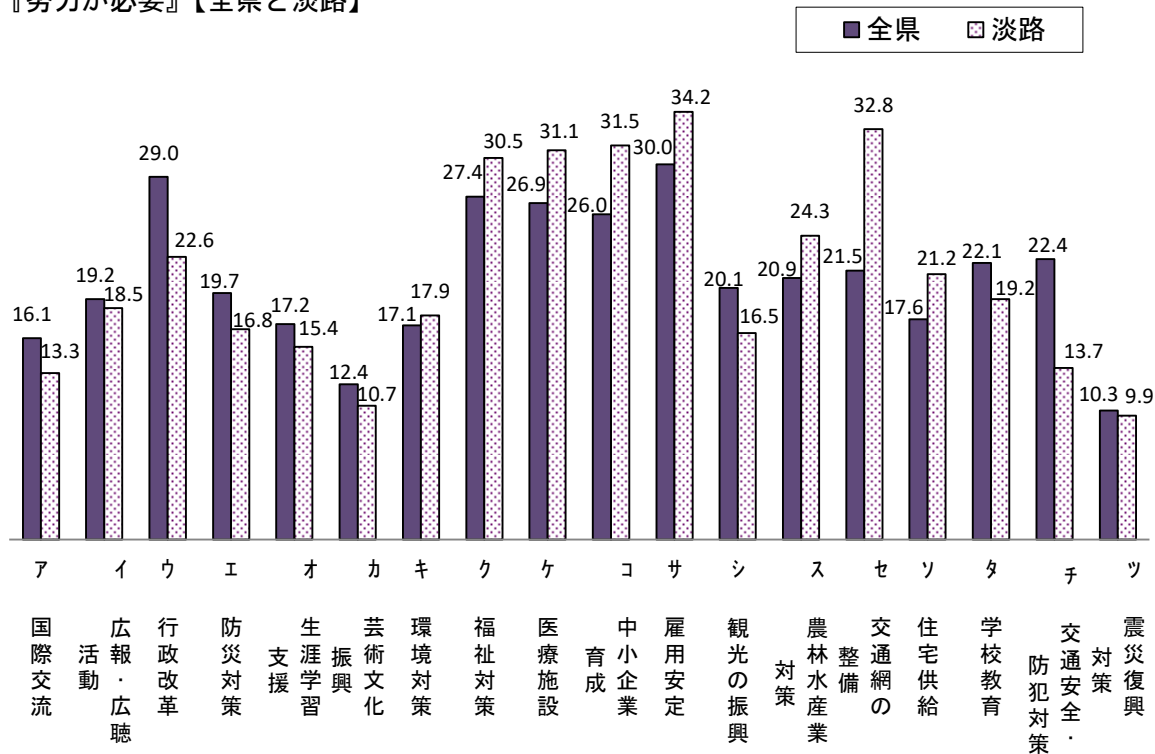
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕、〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と淡路】



『努力が必要』【全県と淡路】



県政への評価-淡路地域

全県との比較では〔シ 観光の振興〕が最も評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔シ 観光の振興〕等で評価が高く、〔ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力〕等で努力が求められている。

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
シ 観光の振興	8.4
ス 農林水産業の活性化対策	4.8
エ 防災対策の充実	4.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.5
コ 県内中小企業の育成	0.2
オ 生涯学習活動への支援	-1.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.6
ア 国際的な交流や協力	-2.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.8
チ 交通安全・防犯対策	-2.8
タ 学校教育の充実	-4.2
イ 県政の広報・広聴活動	-4.7
カ 芸術文化の振興	-4.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-5.2
キ 環境の保全と創造	-6.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-6.9
ソ 良質な住宅の供給	-7.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-18.4

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	11.3
コ 県内中小企業の育成	5.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	4.2
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	4.2
ソ 良質な住宅の供給	3.6
ス 農林水産業の活性化対策	3.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.1
キ 環境の保全と創造	0.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.4
イ 県政の広報・広聴活動	-0.7
カ 芸術文化の振興	-1.7
オ 生涯学習活動への支援	-1.8
ア 国際的な交流や協力	-2.8
エ 防災対策の充実	-2.9
タ 学校教育の充実	-2.9
シ 観光の振興	-3.6
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-6.4
チ 交通安全・防犯対策	-8.7

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
シ 観光の振興	0.0
コ 県内中小企業の育成	-2.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-3.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-3.2
ス 農林水産業の活性化対策	-3.8
チ 交通安全・防犯対策	-4.1
ソ 良質な住宅の供給	-4.3
エ 防災対策の充実	-5.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-6.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-6.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-7.8
オ 生涯学習活動への支援	-7.8
カ 芸術文化の振興	-8.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-8.4
ア 国際的な交流や協力	-9.2
タ 学校教育の充実	-9.6
イ 県政の広報・広聴活動	-11.7
キ 環境の保全と創造	-12.7

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	7.8
イ 県政の広報・広聴活動	6.4
ア 国際的な交流や協力	4.8
コ 県内中小企業の育成	4.2
オ 生涯学習活動への支援	3.8
キ 環境の保全と創造	1.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	0.5
タ 学校教育の充実	0.5
カ 芸術文化の振興	0.2
エ 防災対策の充実	0.1
ソ 良質な住宅の供給	0.1
ス 農林水産業の活性化対策	-0.9
シ 観光の振興	-1.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.2
チ 交通安全・防犯対策	-6.2

問 18 県民局・県民センターの認知度

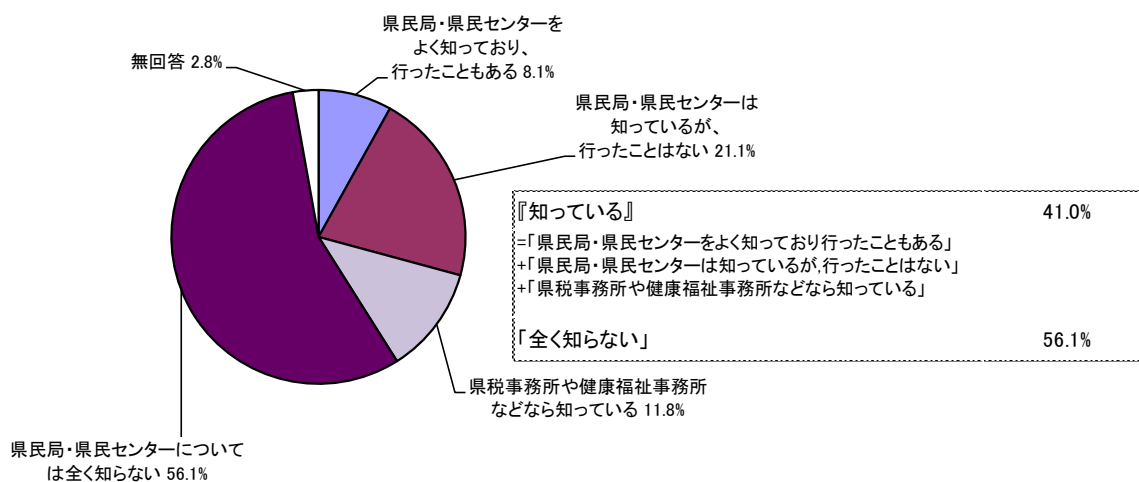
問 18

あなたがお住まいの地域の県民局・県民センターについて、あてはまるものを次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 県民局・県民センターをよく知っており、行ったこともある
- 2 県民局・県民センターは知っているが、行ったことはない
- 3 事務所（県税・健康福祉・農林水産振興・土木等）なら知っている
- 4 県民局・県民センターについては全く知らない

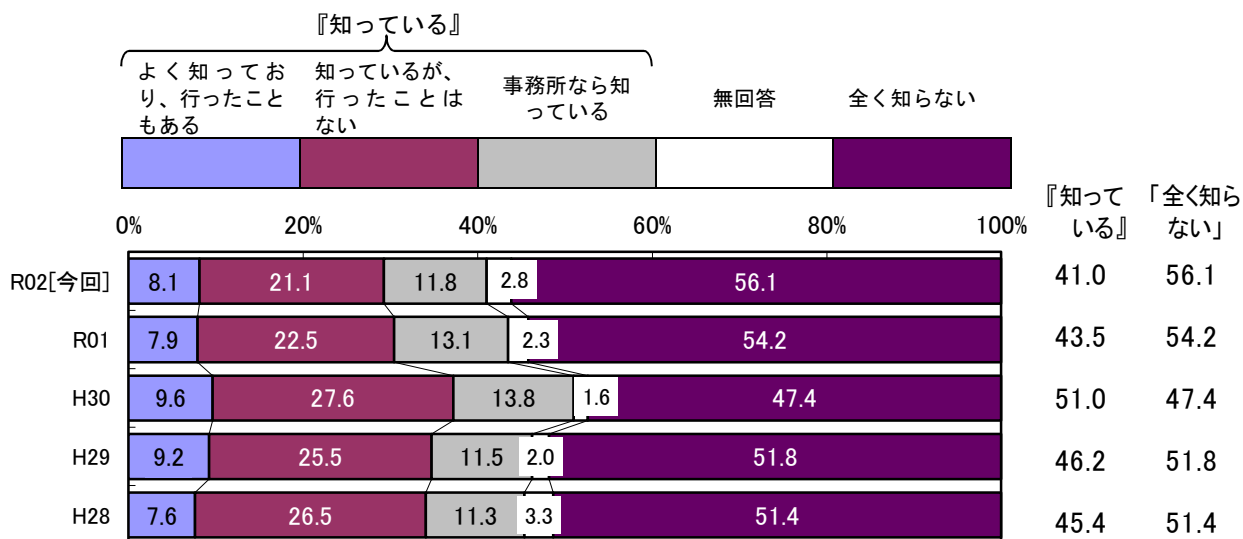
【全県】

「よく知っており、いったこともある」、「知っているが、行ったことはない」、「事務所なら知っている」を合わせた『知っている』は41.0%となった。



【経年比較】

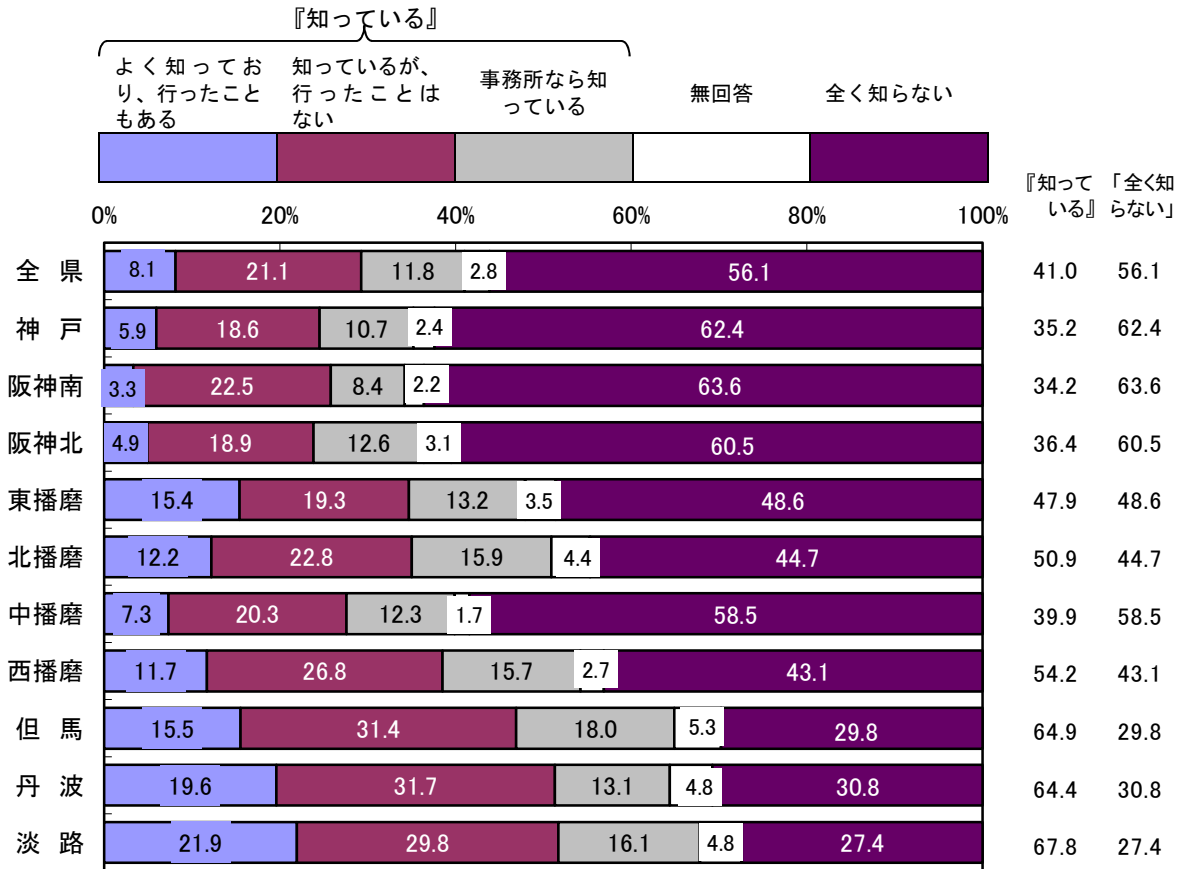
『知っている』は、前年より2.5ポイント減少した。



県民局・県民センターの認知度

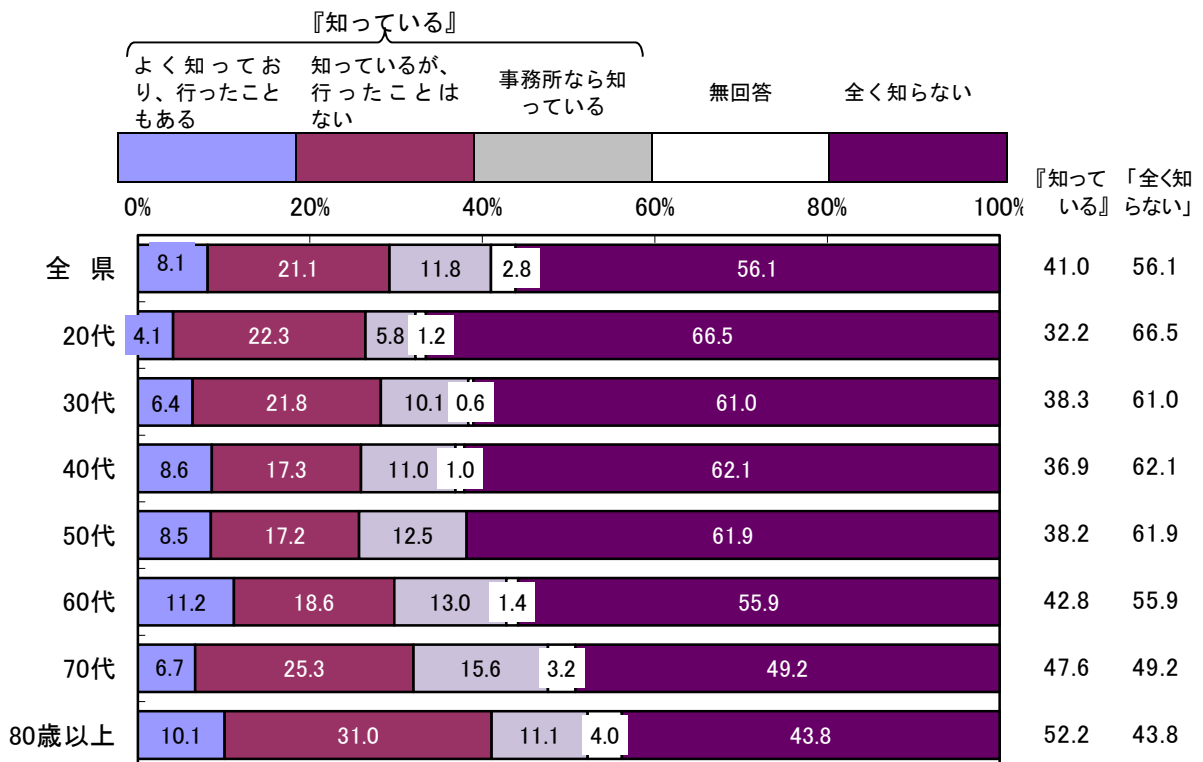
【地域別】

『知っている』は、淡路が最も高く、但馬、丹波が続いている。



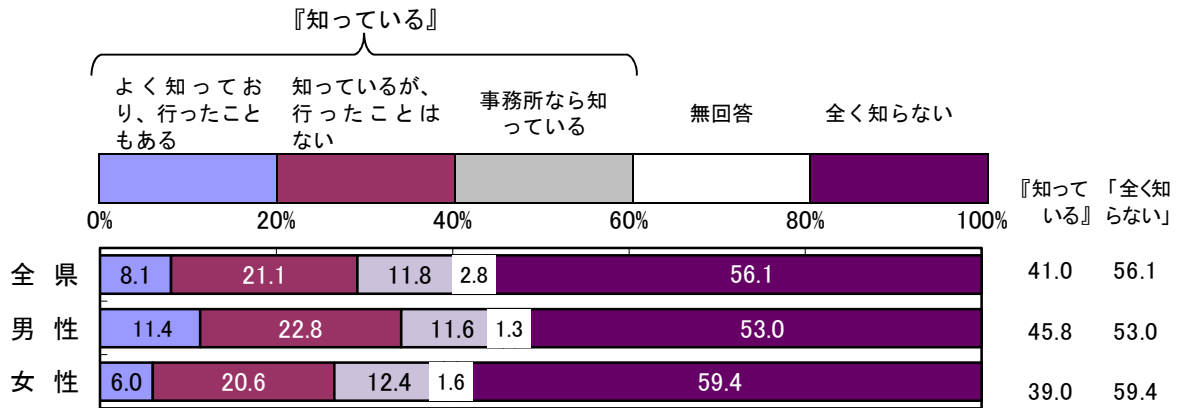
【年代別】

『知っている』は80歳以上が最も高い。



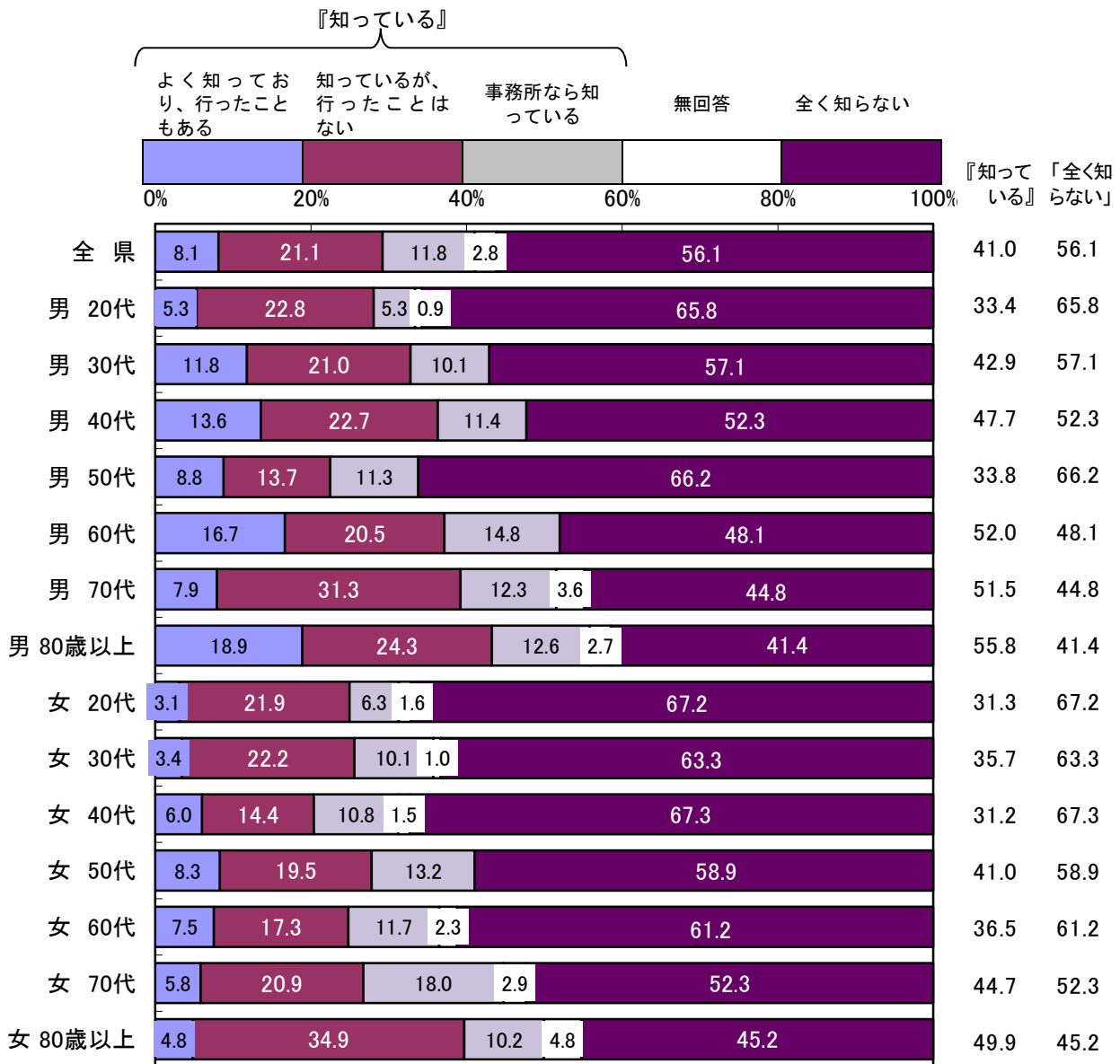
【性別】

『知っている』は、男性の方が女性より6.8ポイント高い。



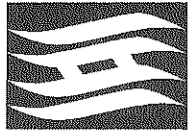
【性・年代別】

『知っている』は、男女ともに80歳以上が最も高い。



Ⅲ 調査票

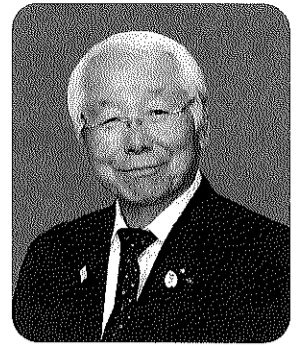
第 26 回 県民意識調査「兵庫の未来を考える」調査票



兵庫の未来を考える

本格的な人口減少社会の到来、情報通信技術の発展、国境を超える移動・流通の拡大など、兵庫を取り巻く環境は大きく変化しています。また、このたびの新型コロナウイルス感染症の世界的流行は、私たちの社会の様々な課題を浮き彫りにしました。

こうしたことを背景に、県では、今後の県政の指針となる新しい長期ビジョンの検討を進めています。その検討に役立てるため、兵庫の将来像について、県民の皆様のお考えを伺うこととし、回答者として県民の皆様の中からあなたを選ばせていただきました。お忙しい中誠に恐縮ですが、下記の調査にご協力いただきますようお願いいたします。



令和2年11月
兵庫県知事 井戸 敏三

※ 回答ご記入についてのお願い

- ご回答は、必ずあて名の方がご記入くださいますようお願いいたします。なお、調査票は、両面刷りになっておりますので、お開きいただき1から4ページまでの全てに回答をお願いします。
- ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、恐縮ですが、12月11日（金）までにご返送くださいますようお願いいたします。
- この調査は無記名でお願いしておりますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。
- 調査結果は、来年2月をめどに、県ホームページなどで公表するとともに、県政の貴重な資料として活用いたします。
- ご不明な点がありましたら、下記にお問い合わせください。また、点字の調査票を用意いたしますので、必要な場合は下記までご連絡ください。

◆ 兵庫県企画県民部 広聴課広聴相談班 TEL078(362)3021

I お住まいの地域

問1 あなたは、お住まいの地域の生活環境についてどう感じていますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------|--------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 |
| 3 どちらともいえない | 4 やや不満 |
| 5 不満 | |

問2 あなたは、お住まいの地域における次の面について、どう感じていますか。次のア～サのそれぞれの項目について1つ選んで番号に○をつけてください。

	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
ア 子育て・教育環境	1	2	3	4	5
イ 介護・福祉、医療体制	1	2	3	4	5
ウ 人と人とのつながり	1	2	3	4	5
エ 雇用、働く環境	1	2	3	4	5
オ 商店・商業施設（買物の環境）	1	2	3	4	5
カ 公共交通、道路整備	1	2	3	4	5
キ 娯楽・レジャー施設、公園	1	2	3	4	5
ク 文化・芸術活動、地域のイベント	1	2	3	4	5
ケ 大気や水などの環境	1	2	3	4	5
コ 災害への備え	1	2	3	4	5
サ 犯罪・交通事故	1	2	3	4	5

問3-1 あなたは現在、お住まいのところに通算、何年お住まいですか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| 1 1年未満 | 2 1～3年未満 | 3 3～5年未満 |
| 4 5～10年未満 | 5 10～15年未満 | 6 15～20年未満 |
| 7 20年以上 | | |

問3-2 住む場所について、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 一つの場所に長く定住する
- 2 住む場所をときどき変える
- 3 複数の場所に居所を構える
- 4 わからない

問3-3 あなたが暮らす場所を好きに選べるとしたら、どこに住みたいですか。次の中からあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 大都市の市街地
- 2 大都市郊外の住宅地
- 3 地域の中小都市の市街地
- 4 地域の中小都市の住宅地
- 5 自然豊かな農山漁村
- 6 風光明媚なリゾート地
- 7 その他（ ）

問3-4 あなたが暮らす場所を好きに選べるとしたら、どのようなところを重視しますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 学校や職場に近いところ
- 2 親族や親しい人が近くに住んでいるところ
- 3 主要な駅など交通の結節点に近いところ
- 4 買物が便利なところ
- 5 図書館や公園などの公共施設が充実しているところ
- 6 子育て環境が充実しているところ
- 7 医療・福祉サービスが安心して受けられるところ
- 8 人通りが少なく静かなところ
- 9 街並みや景観が美しいところ
- 10 伝統が色濃く残っているところ
- 11 空気が澄み、自然豊かなところ
- 12 その他（ ）

II 日々の暮らし

問4 あなたが、日常生活において充実感を感じるのは、主にどのような時ですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 仕事をしている時
- 2 勉強をしている時
- 3 趣味やスポーツを楽しんでいる時
- 4 ひとりで休養している時
- 5 家族団らんの時
- 6 友人や知人と過ごしている時
- 7 ボランティアや地域活動をしている時
- 8 その他()
- 9 わからない

問5-1 日々の暮らしを誰と過ごすのが理想ですか、次の中からあてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 配偶者
- 2 子
- 3 親
- 4 兄弟姉妹
- 5 その他親族
- 6 友人など親族でない者
- 7 一人暮らし
- 8 その他()

問5-2 人と一緒に暮らすことに対して求めることは何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 心の安らぎや休息を得ること
- 2 愛情をはぐくむこと
- 3 子どもを育てること
- 4 喜びや苦勞を分かち合うこと
- 5 互いに学び高め合うこと
- 6 自分らしさや存在を認めあうこと
- 7 経済的に支えあうこと
- 8 家事などを協力し助け合うこと
- 9 互いを尊重し干渉しないこと
- 10 その他()
- 11 わからない

問6-1 あなたにとってどのような仕事が理想的ですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 世の中のためになる仕事
- 2 自分の専門知識や能力が生かせる仕事
- 3 自分にとって楽しい仕事
- 4 男女を問わず活躍できる仕事
- 5 失業の心配が少ない仕事
- 6 収入が安定している仕事
- 7 高い収入が得られる仕事
- 8 その他()
- 9 わからない

問6-2 あなたにとってどのような働き方が理想的ですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 残業や休日勤務をすることなく働く
- 2 転勤なく同じ場所で働く
- 3 場所にとらわれずに働く
- 4 時間にとらわれずに働く

- 5 次々に仕事を変えながら働く(自ら仕事を生み出すことも含む)
- 6 本業に加え副業・兼業しながら働く
- 7 本業はもたず複数の仕事をしながら働く
- 8 趣味の一環として働く
- 9 時おり大学などで学び直しをしながら働く
- 10 その他()
- 11 わからない

問6-3 現在、場所にとらわれない働き方であるテレワークが注目されています。テレワークの経験について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 経験がある
- 2 経験はないが身近に経験者がいる
- 3 全く関わりがない

問6-4 テレワークを進めるうえでの課題は何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 テレワークに適した業務が少ない
- 2 アクセスしにくいシステムや人事管理が不明瞭など制度が不十分
- 3 機密情報の取扱いなどセキュリティ面で不安
- 4 職場にある紙の書類が確認できず、稟議や書類処理も遅れる
- 5 同僚や上司、取引先との連絡・意思疎通が困難
- 6 仕事へのモチベーション維持、時間管理が困難
- 7 自宅の仕事環境が悪い(スペースの確保、机・椅子の性能)
- 8 パソコンの性能や通信環境が悪い
- 9 その他()
- 10 わからない

問6-5 テレワークの導入に向けて何が整備されるとよいですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 職場のシステム改善や人事管理の方法の明示など環境整備
- 2 機密情報の取扱いなどのルールづくり
- 3 書類のやりとりの電子化、ペーパーレス化、押印の廃止
- 4 好事例の周知やアドバイザー派遣、監督職への研修など運用改善
- 5 同僚や上司とのコミュニケーションツールの導入
- 6 自宅の仕事環境の改善
- 7 サテライトオフィスなどの整備
- 8 その他()
- 9 わからない

問6-6 テレワークの普及による働き方や生活の変化に期待することについて、あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 通勤時間がなく時間を有効活用できる
- 2 業務に集中でき生産性が向上する
- 3 自由な環境の中でアイデアを生み出せる
- 4 共同スペースやネットワーク上で様々な人と一緒に仕事ができる
- 5 人間関係によるストレスがなくなる
- 6 災害時でも事業の継続性を確保できる
- 7 体調不良時の対応や感染症予防など健康管理がしやすい
- 8 出産・育児・介護や配偶者の転勤があっても働き続けられる
- 9 食費や衣料費などが削減できる
- 10 居住地の選択肢が広がる
- 11 地域コミュニティへの参加機会が増える
- 12 その他()

(右上につづく)

Ⅲ 将来への期待

問7-1 これからの学校教育について、あなたが大切だと思うことはどのようなことですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 他者への思いやりや、多様な価値観を尊重できること
- 2 目標に対して粘り強くやり抜く力を育むこと
- 3 社会の課題について自ら考える力を育むこと
- 4 常識にとらわれない創造力を育むこと
- 5 基礎的・基本的な学力を身につけること
- 6 情報通信の技術に親しみ、役立てられるようになること
- 7 最先端技術の知識や技能を学ぶこと
- 8 郷土の自然や文化の素晴らしさに触れること
- 9 外国語や外国文化に触れ、国際的な理解を深めること
- 10 その他()

問7-2 これから重点的に取り組むべき教育の手法について、次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 オンライン教育
- 2 少人数学級
- 3 小学校における教科担任制
- 4 対話を重視した教育
- 5 体験学習
- 6 外部人材の活用
- 7 学校間・学年間の連携
- 8 その他()

問8 あなたは科学技術の発展によってもたらされる社会の変化について何に期待し、あるいは不安を感じますか。次の中からあてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 遺伝子治療など医療の発達により元気に長生きできる
- 2 自動運転やドローンなどにより暮らしが便利になる
- 3 オンライン教育・診療によりどこでも安心して暮らせる
- 4 自動翻訳機などでどこでも誰とでもコミュニケーションがとれる
- 5 個人情報管理され、不正をしにくい社会になる
- 6 インターネットなどを不正に利用した犯罪が増える
- 7 人工知能(AI)の発達により、人間の仕事が奪われる
- 8 人間的なふれあいが減少する
- 9 その他()
- 10 わからない

問9 今後、在留外国人が増えることが見込まれますが、お住まいの地域で在留外国人が増えることについてどのような印象をお持ちですか、あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 外国人を地域の一員として捉え、日本人の国際的視野が広がる
- 2 労働力不足の解消につながる
- 3 新しい考えや文化がもたらされ地域が活性化する
- 4 低賃金化や雇用喪失につながる
- 5 異なる文化・習慣・宗教の面で地域住民との意思疎通が難しい
- 6 その他()

問10 あなたが特に期待する地域社会の将来像はどれですか。次の中からあてはまるものを5つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 子育てや教育環境が充実している
- 2 介護・福祉、医療の体制が充実している
- 3 性別や年齢、障害、国籍を問わず活躍できる
- 4 地域に温かい人間関係がある
- 5 働き方の見直しにより自由な時間が増加している
- 6 芸術文化やスポーツを気軽に楽しめる
- 7 観光で多くの人を訪れる
- 8 起業しやすい
- 9 最先端の産業や研究が盛んである
- 10 地場産業や商店街が元気である
- 11 農林水産業が盛んである
- 12 地産地消の取組が盛んで地域の経済が自立的である
- 13 環境に優しく豊かな自然が守られている
- 14 自動運転車の普及により便利で快適に移動できる
- 15 災害への備えが充実している
- 16 犯罪や交通事故が少ない
- 17 都市の人口集中が解消し地方の過疎化が緩和している
- 18 その他()
- 19 特にない
- 20 わからない

◆「生活全般や県政」に関することについてお聞きします。

問11 あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------|--------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 |
| 3 どちらともいえない | 4 やや不満 |
| 5 不満 | |

問12 あなたは、今の生活の次のような面ではそれぞれどの程度満足していますか。次のア～スについて、それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
----	------	-----------	------	----

ア 所得・収入	1	2	3	4	5
イ 貯蓄などの金融資産	1	2	3	4	5
ウ 住居	1	2	3	4	5
エ 車、家具などの耐久消費財	1	2	3	4	5
オ 時間のゆとり	1	2	3	4	5
カ 趣味やレクリエーションへの取組	1	2	3	4	5
キ 地域活動やボランティアへの取組	1	2	3	4	5
ク 仕事の内容	1	2	3	4	5
ケ 家族との関係	1	2	3	4	5
コ 知人や近所の人との関係	1	2	3	4	5
サ 住んでいる地域の住み心地	1	2	3	4	5
シ あなた自身の健康	1	2	3	4	5
ス 家族の健康	1	2	3	4	5

問13 あなたが、今の生活をどう思っておられるかお聞きします。あなたの生活は、去年の今頃と比べてどうでしょうか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 向上している
- 2 同じようなもの
- 3 低下している
- 4 わからない

問14 あなたの住んでいる地域で、今後10年くらいの間に大地震が起これると思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 起これると思う
- 2 可能性は高いと思う
- 3 可能性は低いと思う
- 4 絶対起これないと思う
- 5 わからない

問15 あなたは、お住まいの地域の自治会や婦人会をはじめ、コミュニティ組織などによる地域活動に参加されていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 現在参加している
- 2 過去に参加したことがある
- 3 参加していない
- 4 わからない

問16 あなたは県政に関心がありますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 大変関心がある
- 2 多少関心がある
- 3 ほとんど関心がない
- 4 全く関心がない

問17 県の行っている仕事をあげています。次のア～ツについて、あなたのお考えに近いものをそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

よくやっている	まあまあやっている	どちらともいえない	もう少し努力が必要	もっと努力が必要
---------	-----------	-----------	-----------	----------

- | | | | | | |
|-------------------------|---|---|---|---|---|
| ア 国際的な交流や協力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| イ 県政の広報・広聴活動 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| エ 防災対策の充実 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| オ 生涯学習活動への支援 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| カ 芸術文化の振興 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| キ 環境の保全と創造 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| コ 県内中小企業の育成 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| サ 雇用の安定と職業能力の開発 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| シ 観光の振興 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ス 農林水産業の活性化対策 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ソ 良質な住宅の供給 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| タ 学校教育の充実 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| チ 交通安全・防犯対策 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問18 あなたがお住まいの地域の県民局・県民センターについて、あてはまるものを次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 県民局・県民センターをよく知っており、行ったこともある
- 2 県民局・県民センターは知っているが、行ったことはない
- 3 事務所(県税・健康福祉・農林水産振興・土木等)なら知っている
- 4 県民局・県民センターについては全く知らない

★ 最後に、お答えいただいた回答を統計的に分析するため、あなたご自身や家族構成等についてお聞かせください。下記のことについて、あてはまるものに○をつけてください。

F1 あなたの性別は

- 1 男性
- 2 女性

F2 あなたの年代は

- 1 20代
- 2 30代
- 3 40代
- 4 50代
- 5 60代
- 6 70代
- 7 80歳以上

F3 あなたの主な職業は

- 1 自営業(農林漁業、商工サービス業、自由業などを含む)
- 2 会社・団体などの正規社員(職員)
- 3 会社・団体などの役員
- 4 契約社員や派遣社員など
- 5 短時間勤務のパートタイマーやアルバイト
- 6 専業主婦(主夫)
- 7 学生
- 8 無職(専業主婦(主夫)・学生を除く)

F4 あなたが現在お住まいのところの郵便番号は

(ご不明の場合、当調査票をお届けした封筒に記載の郵便番号をご覧ください)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

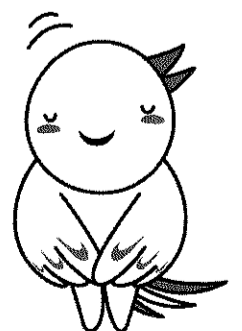
F5 あなたの同居のご家族の構成は

- 1 1人世帯
- 2 夫婦だけ(1世代)
- 3 自分(たち)と子ども、または親と自分(たち)(2世代)
- 4 親と子と孫(3世代)
- 5 その他()

F6 あなたがインターネットを利用する環境についておたずねします

- 1 主にパソコンを使っている
- 2 主にスマートフォンを使っている
- 3 持っていない

ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒でご返送ください。



兵庫県マスコット はばタン